

学 生 生 活 等
实 态 调 查
报 告 书

平成
29 年度
调查

まえがき

今回(平成29年度)に実施した「学生生活等実態調査」は、本学の学生の生活実態や学生支援等への要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的としています。

今回の調査では、平成6年度から平成24年度まで3年に1回実施されてきた「学生生活実態調査」の内容を大幅に見直し、以下のとおり、目的・対象別に、

- ①「学生生活実態調査」(選択肢中心。学部学生及び大学院生全員を対象)、
- ②「大学への要望等調査」(自由記述。学部学生及び大学院生全員を対象(回答は任意))、
- ③「学生寮調査」(選択肢+自由記述。学生寮入寮者全員を対象)

の3つの調査に調査票を分けて行いました。

今回の調査では、回答者となる学生の回答負担を減らすべく、設問数を大幅に厳選しました。

調査内容等の主な見直し点としては、学部学生については、学生の学業成績についての設問を新たに追加し、学生の生活習慣等と学業成績との関係等についても集計を行いました。大学院生については、現職教員とストレートマスターに分けて集計を行いました。

また、前回の調査では、本学の大学教育情報システムを利用して調査を実施していましたが、今回の調査では、調査の実施を外部(株式会社ベネッセ iキャリア)に委託し、Web上に設定した専用のアンケートシステムに回答する方法により実施しました。

今回の調査の結果を見ると、残念ながら、学生の皆さんの回答状況は芳しくなかったところですが、本学の学生の皆さんの生活実態や意識、大学に対する要望、学生寮に対する要望等を把握することができました。大学として今後の学生支援等の取組に役立てていきます。

次回の調査は、平成32年度(2020年度)を予定しています。今回の調査で浮かび上がった課題を踏まえ、更なる調査方法の改善に努めるとともに、学生の皆さんの学生生活がより充実したものとなり、本学に対する満足度が少しでも上がるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

最後になりますが、今回の調査に協力してくれた学生の皆さん及び関係の教職員各位に感謝と御礼を申し上げます。

平成30年6月

国立大学法人北海道教育大学理事・副学長

佐川 正人

目 次

■ 調査の概要	1
1. 調査の目的	
2. 調査対象	
3. 調査方法	
4. 調査の時期	
5. 調査項目等の見直し	
6. 回答状況	
■ 学生生活実態調査	4
【学部学生】	
Ⅰ 基本事項について（問1～問2）	6
Ⅱ 住居及び通学について（問3～問4）	7
Ⅲ 経済状況について（問5～問12）	9
Ⅳ 普段の生活について（問13～問21）	25
Ⅴ 修学について（問22～問29）	38
Ⅵ 課外活動やボランティア活動について（問30～問37）	49
Ⅶ 学生相談体制について（問38～問42）	59
【大学院生】	
Ⅰ 基本事項について（問1～問4）	68
Ⅱ 本学を志望した動機について（問5）	69
Ⅲ 住居及び通学について（問6～問7）	71
Ⅳ 経済状況について（問8～問14）	75
Ⅴ 普段の生活について（問15～問23）	97
Ⅵ 修学について（問24～問26）	115
Ⅶ ボランティア活動について（問27～問28）	121
Ⅷ 学生相談体制について（問29～問33）	125
Ⅸ 修了後の進路について（問34～問35）	135

■ 大学への要望等調査【学部学生、大学院生】	140
I 札幌校	142
II 旭川校	147
III 釧路校	151
IV 函館校	157
V 岩見沢校	159
■ 学生寮調査	166
○ 基本事項について（問1）	168
○ 学生寮の満足度について（問2）	169
○ 学生寮に満足な理由について（問3）	171
○ 学生寮に不満な理由について（問4）	173
○ 学生寮への要望等について（問5）	175
■ 参考資料(調査票等)	180
○ 平成29年度学生生活等実態調査の実施について（通知）	182
○ 平成29年度学生生活等実態調査の調査期間延長について（通知）	204

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、本学の学生の生活実態や学生支援等への要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的として、目的・対象別に以下の3つの調査を行うものである。

①学生生活実態調査

本学の学生の生活実態や学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施する。

②大学への要望等調査

本学の学生支援等に対する要望等を把握し、今後の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施する。

③学生寮調査

学生寮に対する評価や要望等を把握し、今後の学生寮の改善等に役立てることを目的に実施する。

2. 調査対象

①学生生活実態調査

調査実施時(平成29年11月～平成30年1月)に、本学に在籍する学部学生と大学院生全員を対象とする。(ただし、休学、留学中の者は除く。)

②大学への要望等調査

上記①と同じ(ただし、特になければ回答不要)

③学生寮調査

本学の学生寮入寮者全員を対象とする。

3. 調査方法

株式会社ベネッセ iキャリアに委託し、Web 上に設定したアンケートシステムを利用して、学部学生・大学院生がパソコンやスマートフォン等から回答する方法により実施した。

4. 調査の時期

当初、平成29年11月20日から平成30年1月8日までを回答期間として設定したが、回答状況が十分ではなかったため、平成30年1月26日まで回答期間を延長して実施した。

5. 調査項目等の見直し

今回の調査では、調査目的の達成のために必要な内容に絞って調査を行うとともに、回答者の負担軽減と回答率の向上に資するため、設問数を大幅に厳選した。また、該当しない問についても回答者に回答を求めている取扱い(全ての設問に回答が必要)から、該当する設問のみ回答すればよいことに改めた。

＜学生生活実態調査＞

※学部学生調査設問数: 前回(平成24年度) 112問 → 今回(平成29年度) 42問

※大学院生調査設問数: 前回(平成24年度) 98問 → 今回(平成29年度) 35問

調査内容の主な見直し点としては、学生の学業成績についての設問を新たに追加(学部学生のみ)、学生の生活習慣等と学業成績との関係についても集計を行うこととした。

また、前回までは、学生生活実態調査の中に含めていた大学への要望等に関する自由記述や学生寮に関する設問は、学生生活実態調査から取り出して、それぞれ「大学への要望等調査」「学生寮調査」として目的・対象別に調査を分けて実施した。

6. 回答状況

【学生生活実態調査】

＜学部＞

	学生数	回答数	回答率
札幌校	1,121	230	20.52%
旭川校	1,159	321	27.70%
釧路校	765	264	34.51%
函館校	1,187	72	6.07%
岩見沢校	765	73	9.54%
キャンパス不明	—	125	—
計	4,997	1,085	21.71%

＜大学院(修士課程)＞

	学生数	回答数	回答率
札幌校・岩見沢校	151	25	16.56%
旭川校	46	20	43.48%
釧路校	22	9	40.91%
函館校	16	1	6.25%
計	235	55	23.40%

※調査票では、札幌校と岩見沢校を分けて質問したが、集計に当たっては、「札幌校・岩見沢校」としてまとめて集計した。

< 大学院(教職大学院) >

	学生数	回答数	回答率
札幌校	33	10	30.30%
旭川校	20	3	15.00%
釧路校	17	1	5.88%
函館校	5	5	100.00%
計	75	19	25.33%

【大学への要望等調査】

	学生数	回答数	回答率
札幌校	1,305	39	2.99%
旭川校	1,225	40	3.27%
釧路校	804	62	7.71%
函館校	1,208	30	2.48%
岩見沢校	765	9	1.18%
計	5,307	180	3.39%

【学生寮調査】

< 男子寮 >

	学生数	回答数	回答率
札幌校	68	10	14.71%
旭川校	87	20	22.99%
釧路校	83	28	33.73%
函館校	93	20	21.51%
岩見沢校	56	6	10.71%
計	387	84	21.71%

< 女子寮 >

	学生数	回答数	回答率
札幌校	61	11	18.03%
旭川校	48	16	33.33%
釧路校	60	24	40.00%
函館校	52	11	21.15%
岩見沢校	60	7	11.67%
計	281	69	24.56%

学 生 生 活 实 态 调 查
【学 部 学 生】

Ⅰ 基本事項について

問1. あなたの修学校について教えてください。

問2. あなたの現在の学年は何年次ですか。

(単位:人)

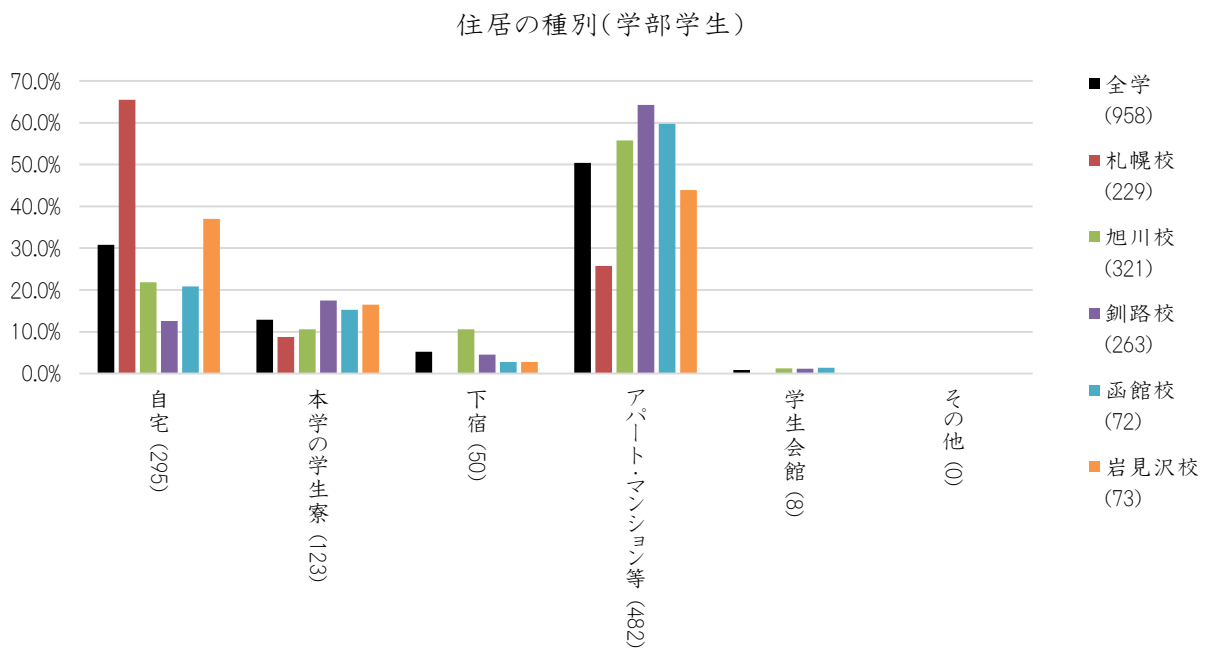
区分	全学	札幌校	旭川校	釧路校	函館校	岩見沢校
全 学 年	960	230	321	264	72	73
1 年 次	243	55	103	53	16	16
2 年 次	235	52	85	69	12	17
3 年 次	212	46	60	65	19	22
4 年 次	260	74	73	74	21	18
年次未回答	10	3	0	3	4	0

II 住居及び通学について

問3. あなたの現在の住居はどれですか。

区 分	全学 (958)	札幌校 (229)	旭川校 (321)	釧路校 (263)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
自宅 (295)	30.8%	65.5%	21.8%	12.5%	20.8%	37.0%
本学の学生寮 (123)	12.8%	8.7%	10.6%	17.5%	15.3%	16.4%
下宿 (50)	5.2%	0.0%	10.6%	4.6%	2.8%	2.7%
アパート・マンション等 (482)	50.4%	25.8%	55.8%	64.3%	59.7%	43.9%
学生会館 (8)	0.8%	0.0%	1.2%	1.1%	1.4%	0.0%
その他 (0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※()内の数字は回答数。また、回答割合の高いもの(上位3位など)を網掛けで表示(以下、全て同じ)



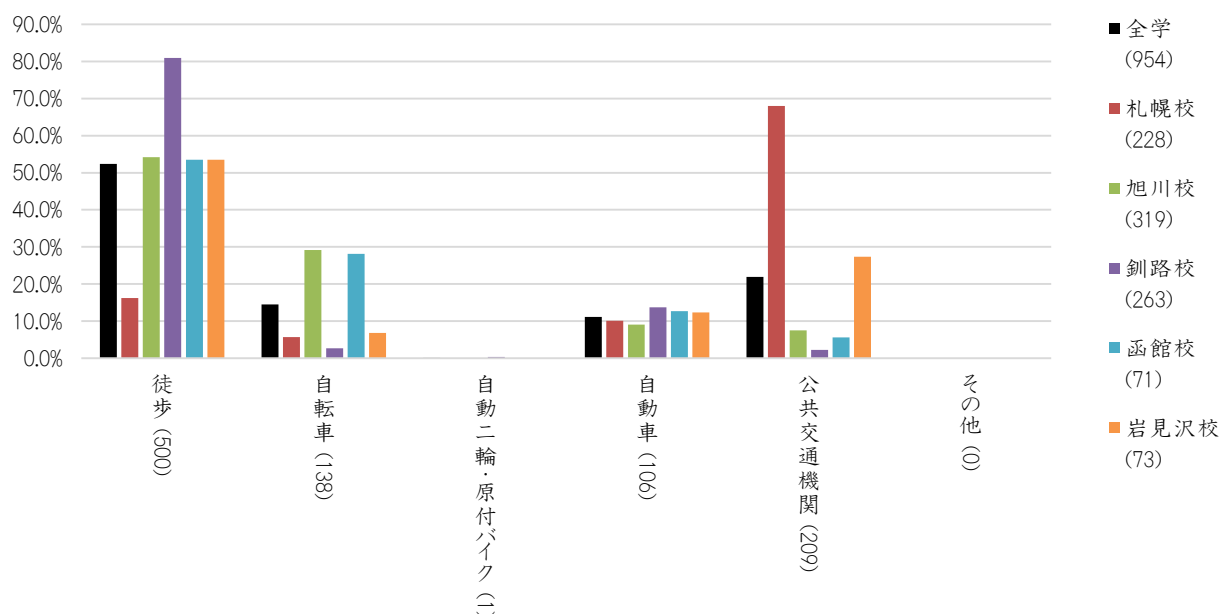
全学では、①「アパート・マンション等」(50.4%)、②「自宅」(30.8%)、③「学生寮」(12.8%)の順であった。

各キャンパス別では、札幌校で「自宅」(65.5%)、「アパート・マンション等」(25.8%)の順となっており、全学の傾向とは異なり、自宅通学者の割合がかなり高い状況であった。

問4. 主として何を利用して通学していますか。

区 分	全学 (954)	札幌校 (228)	旭川校 (319)	釧路校 (263)	函館校 (71)	岩見沢校 (73)
徒歩 (500)	52.4%	16.2%	54.2%	80.9%	53.5%	53.5%
自転車 (138)	14.5%	5.7%	29.2%	2.7%	28.2%	6.8%
自動二輪・原付バイク (1)	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
自動車 (106)	11.1%	10.1%	9.1%	13.7%	12.7%	12.3%
公共交通機関 (209)	21.9%	68.0%	7.5%	2.3%	5.6%	27.4%
その他 (0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

通学手段(学部学生)



全学では、①「徒歩」(52.4%)、②「公共交通機関」(21.9%)、③「自転車」(14.5%)、④「自動車」(11.1%)の順であった。

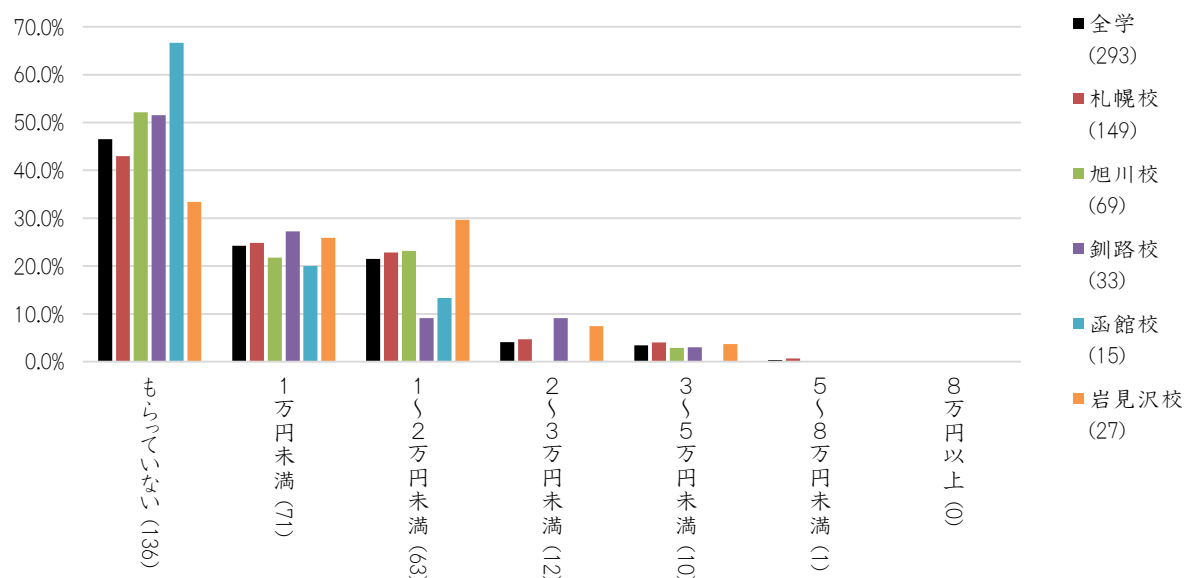
キャンパス別では、札幌校で「公共交通機関」(68.0%)、「徒歩」(16.2%)の順となっており、全学の傾向とは大きく異なる結果となった。また、釧路校では、「徒歩」(80.9%)となっており、全学の割合(52.4%)を大きく上回る結果となった。「自転車」での通学者については、旭川校(29.2%)、函館校(28.2%)で、全学の割合(14.5%)を上回る結果となった。

III 経済状況について

問5. あなたは、保護者等から1カ月平均いくら小遣いをもらっていますか。(交通費, 書籍代, 自宅外での食費を含む。) ※問3で、「自宅」を選択した方だけの回答。

区分	全学 (293)	札幌校 (149)	旭川校 (69)	釧路校 (33)	函館校 (15)	岩見沢校 (27)
もらっていない (136)	46.5%	43.0%	52.2%	51.5%	66.7%	33.4%
1万円未満 (71)	24.2%	24.8%	21.7%	27.3%	20.0%	25.9%
1～2万円未満 (63)	21.5%	22.8%	23.2%	9.1%	13.3%	29.6%
2～3万円未満 (12)	4.1%	4.7%	0.0%	9.1%	0.0%	7.4%
3～5万円未満 (10)	3.4%	4.0%	2.9%	3.0%	0.0%	3.7%
5～8万円未満 (1)	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8万円以上 (0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

小遣い(平均月額)(学部学生)



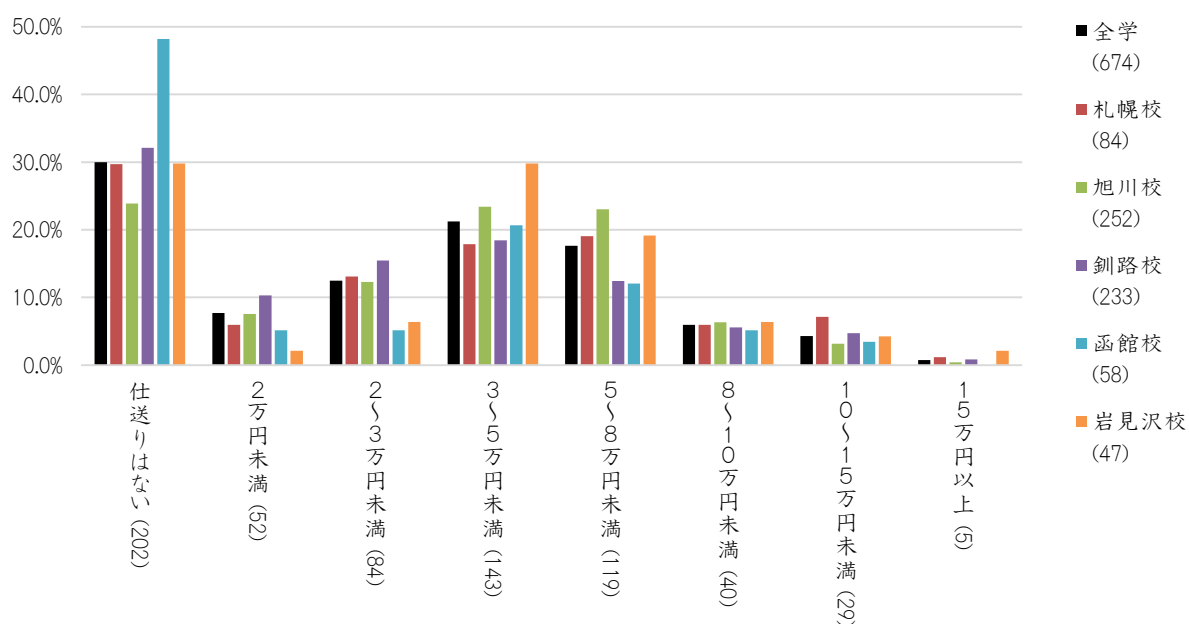
全学では、①「もらっていない」(46.5%)、②「1万円未満」(24.2%)、③「1～2万円未満」(21.5%)の順となっており、2万円未満の回答が全体の約92%を占める結果となった。

キャンパス別では、「もらっていない」の割合が最も高かったのは函館校(66.7%)で、最も低かったのは岩見沢校(33.4%)であった。また、お小遣いを1万円以上もらっている者が全学では約29%であったが、釧路校では約21%、函館校では約13%であった。

問6. あなたは、保護者等から1カ月平均いくら仕送りを受けていますか。 ※問3で、「大学の学生寮」「下宿」「アパート・マンション等」「学生会館」「その他」を回答した方が対象。

区 分	全学 (674)	札幌校 (84)	旭川校 (252)	釧路校 (233)	函館校 (58)	岩見沢校 (47)
仕送りはない (202)	30.0%	29.7%	23.9%	32.1%	48.2%	29.8%
2万円未満 (52)	7.7%	6.0%	7.5%	10.3%	5.2%	2.1%
2～3万円未満 (84)	12.5%	13.1%	12.3%	15.5%	5.2%	6.4%
3～5万円未満 (143)	21.2%	17.9%	23.4%	18.5%	20.7%	29.8%
5～8万円未満 (119)	17.7%	19.0%	23.0%	12.4%	12.1%	19.1%
8～10万円未満 (40)	5.9%	6.0%	6.3%	5.6%	5.2%	6.4%
10～15万円未満 (29)	4.3%	7.1%	3.2%	4.7%	3.4%	4.3%
15万円以上 (5)	0.7%	1.2%	0.4%	0.9%	0.0%	2.1%

仕送り(平均月額)(学部学生)



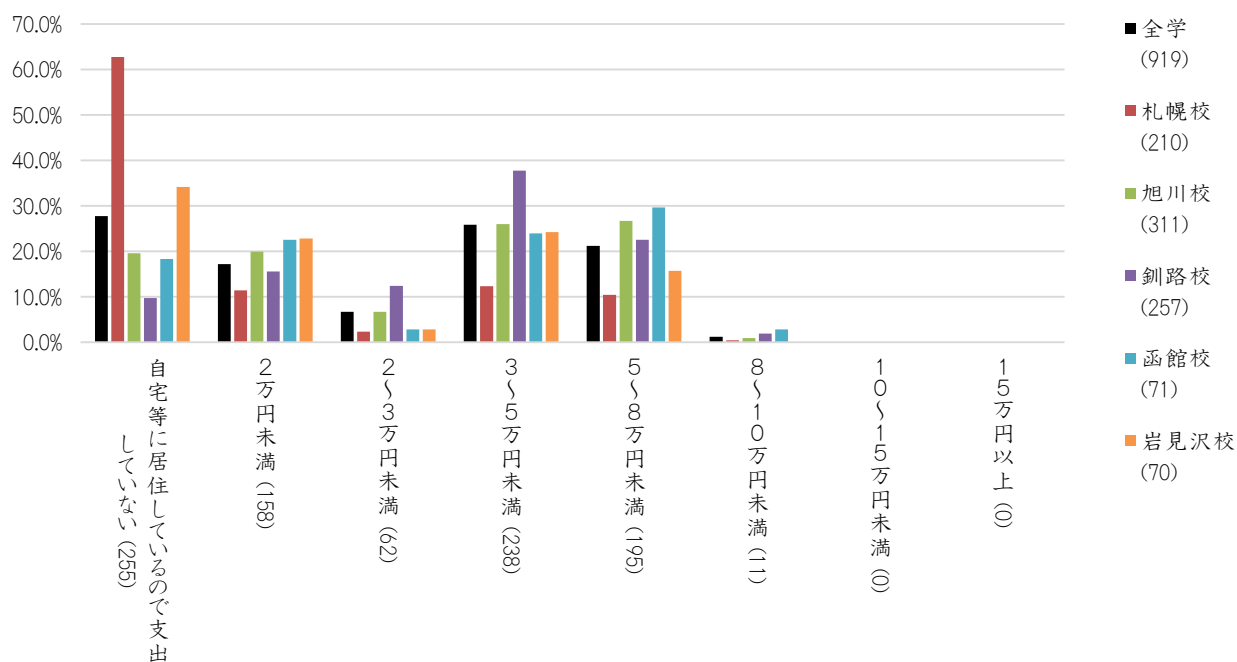
全学では、①「仕送りはない」(30.0%)、②「3～5万円未満」(21.2%)、③「5～8万円未満」(17.7%)、④「2～3万円未満」(12.5%)の順となっており、仕送りを受けている者は全学で70%、うち8万円以上仕送りを受けている者は全学で約11%であった。

キャンパス別では、「仕送りはない」の割合について、函館校(48.2%)が最も高く、旭川校(23.9%)が最も低かった。

問7. あなたの部屋代(光熱・水道費を含む)は, 1カ月平均いくらですか。

区 分	全学 (919)	札幌校 (210)	旭川校 (311)	釧路校 (257)	函館校 (71)	岩見沢校 (70)
自宅等に居住しているので支出していない(255)	27.8%	62.8%	19.6%	9.7%	18.3%	34.2%
2万円未満(158)	17.2%	11.4%	19.9%	15.6%	22.5%	22.9%
2～3万円未満(62)	6.7%	2.4%	6.8%	12.5%	2.8%	2.9%
3～5万円未満(238)	25.9%	12.4%	26.0%	37.7%	23.9%	24.3%
5～8万円未満(195)	21.2%	10.5%	26.7%	22.6%	29.7%	15.7%
8～10万円未満(11)	1.2%	0.5%	1.0%	1.9%	2.8%	0.0%
10～15万円未満(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15万円以上(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

部屋代(光熱・水道費を含む)(平均月額)(学部学生)



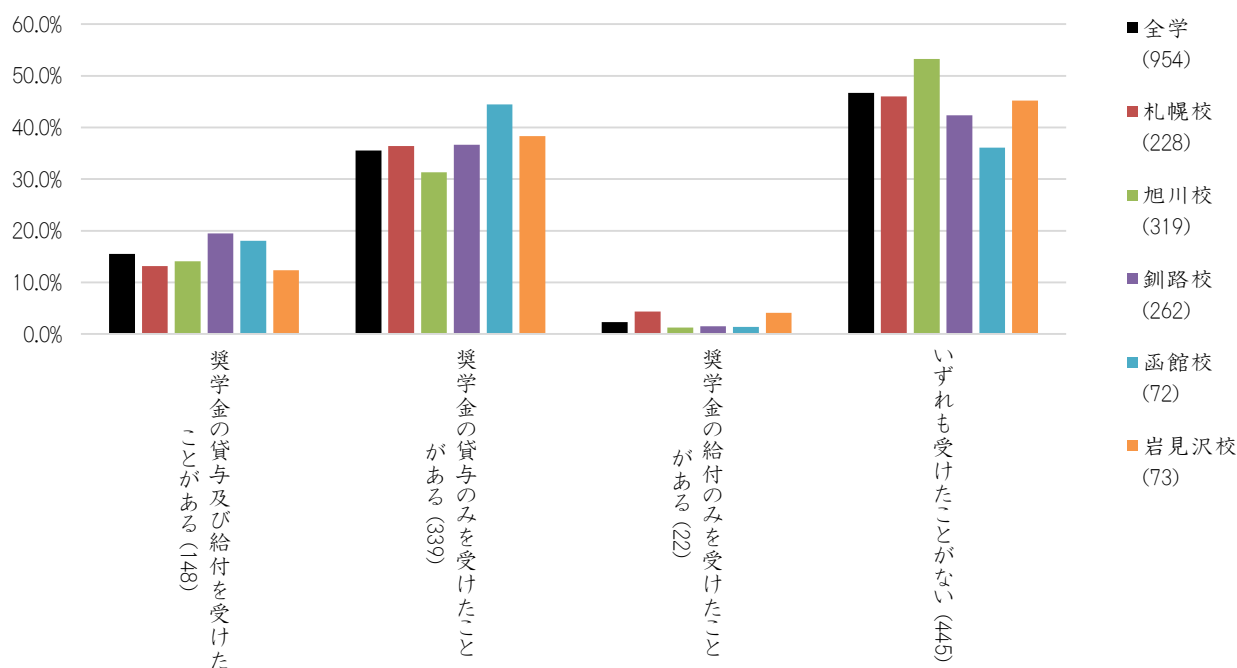
全学では、①「自宅等に居住しているので支出していない」(27.8%)、②「3～5万円未満」(25.9%)、③「5～8万円未満」(21.2%)、④「2万円未満」(17.2%)の順であり、部屋代を支出している者は全学で約72%、うち3万円～8万円未満の部屋代を支出している者が全学で約48%という結果であった。

キャンパス別では、「自宅等に居住しているので支出していない」の割合が札幌校(62.8%)で高く(全学は27.8%)、「5～8万円未満」の割合が函館校(29.7%)で最も高かった(全学は21.2%)。

問8. あなたは、これまでに奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。

区 分	全学 (954)	札幌校 (228)	旭川校 (319)	釧路校 (262)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
奨学金の貸与及び給付を受けたことがある (148)	15.5%	13.2%	14.1%	19.5%	18.1%	12.3%
奨学金の貸与のみを受けたことがある (339)	35.5%	36.4%	31.3%	36.6%	44.4%	38.4%
奨学金の給付のみを受けたことがある (22)	2.3%	4.4%	1.3%	1.5%	1.4%	4.1%
いずれも受けたことがない (445)	46.7%	46.0%	53.3%	42.4%	36.1%	45.2%

奨学金の貸与・給付の有無(学部学生)



全学では、奨学金の貸与、給付の①「いずれも受けたことがない」(46.7%)、②「奨学金の貸与のみ受けたことがある」(35.5%)、③「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」(15.5%)、④「奨学金の給付のみ受けたことがある」(2.3%)の順であった。

キャンパス別では、「いずれも受けたことがない」の割合が旭川校(53.3%)で最も高く、函館校(36.1%)で最も低かった。

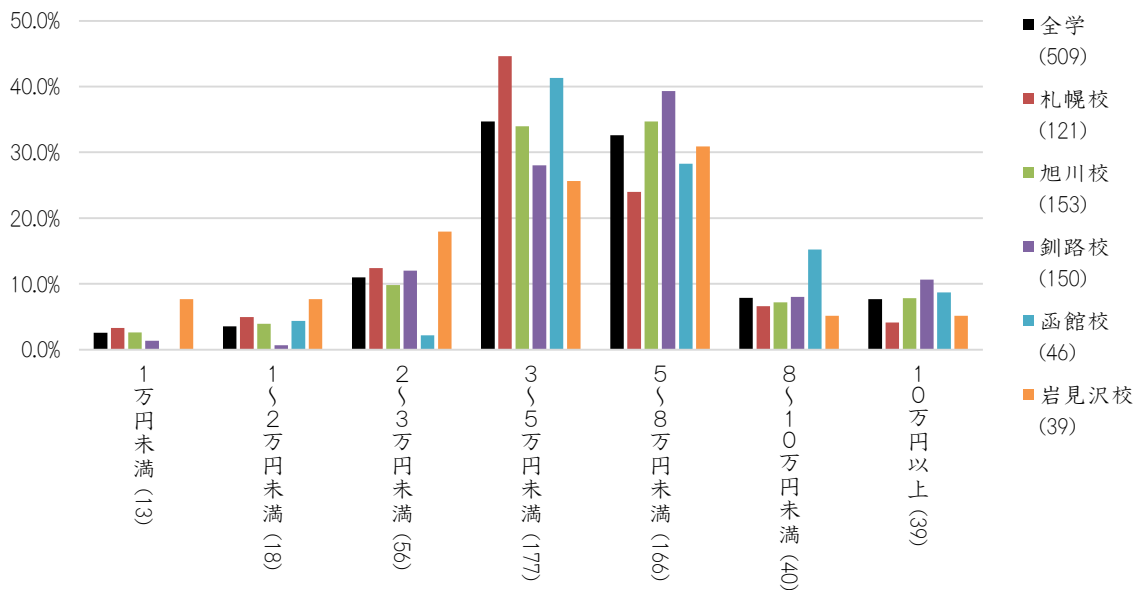
問9. 奨学金の月額はいくらですか。

(貸与及び給付を合わせた額。一時金の場合は月額に換算する。)

※問8で、「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」「奨学金の貸与のみを受けたことがある」「奨学金の給付のみを受けたことがある」を回答した方が対象。

区 分	全学 (509)	札幌校 (121)	旭川校 (153)	釧路校 (150)	函館校 (46)	岩見沢校 (39)
1万円未満 (13)	2.6%	3.3%	2.6%	1.3%	0.0%	7.7%
1～2万円未満 (18)	3.5%	5.0%	3.9%	0.7%	4.3%	7.7%
2～3万円未満 (56)	11.0%	12.4%	9.8%	12.0%	2.2%	17.9%
3～5万円未満 (177)	34.7%	44.6%	34.0%	28.0%	41.3%	25.6%
5～8万円未満 (166)	32.6%	24.0%	34.7%	39.3%	28.3%	30.9%
8～10万円未満 (40)	7.9%	6.6%	7.2%	8.0%	15.2%	5.1%
10万円以上 (39)	7.7%	4.1%	7.8%	10.7%	8.7%	5.1%

奨学金月額(学部学生)

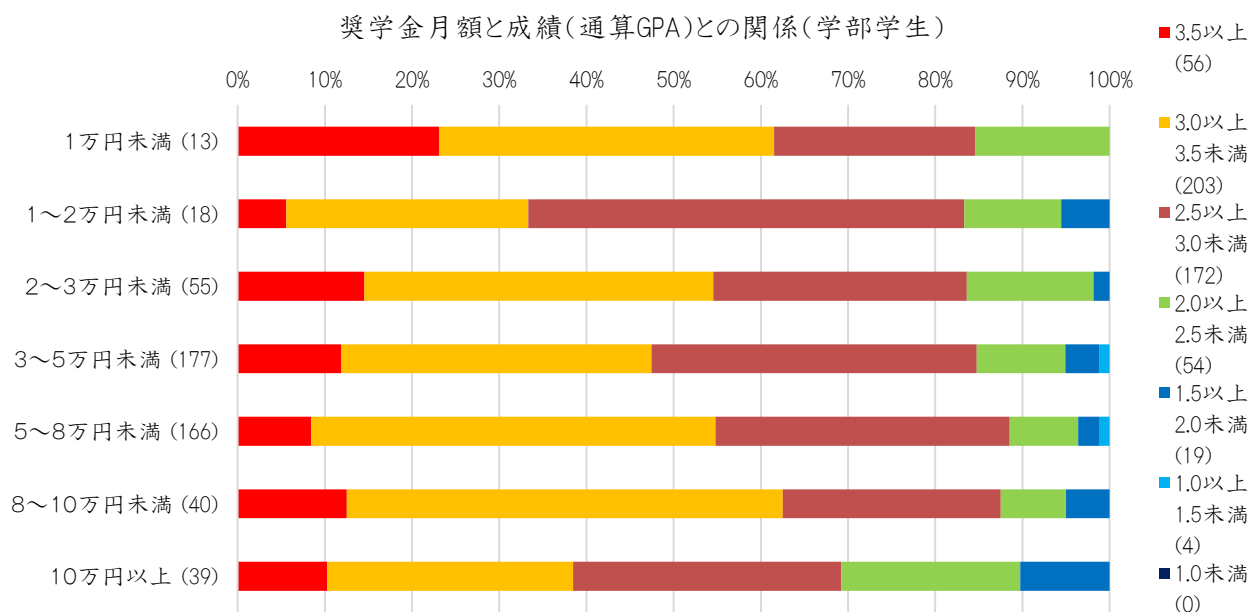


全学では、①「3～5万円未満」(34.7%)、②「5～8万円未満」(32.6%)、③「2～3万円未満」(11.0%)の順であり、8万円未満が全学で約 84%、うち3万円～8万円未満が全学で約 67%を占める結果となった。

キャンパス別では、8万円以上の者の割合が函館校(23.9%)、釧路校(18.7%)で、全学(15.6%)よりも高い傾向であった。

■奨学金月額と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (56)	3.0以上 3.5未満 (203)	2.5以上 3.0未満 (172)	2.0以上 2.5未満 (54)	1.5以上 2.0未満 (19)	1.0以上 1.5未満 (4)	1.0未満 (0)
1万円未満 (13)	23.1%	38.5%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
1～2万円未満 (18)	5.6%	27.8%	50.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
2～3万円未満 (55)	14.5%	40.0%	29.1%	14.5%	1.8%	0.0%	0.0%
3～5万円未満 (177)	11.9%	35.6%	37.3%	10.2%	4.0%	1.1%	0.0%
5～8万円未満 (166)	8.4%	46.4%	33.7%	7.8%	2.4%	1.2%	0.0%
8～10万円未満 (40)	12.5%	50.0%	25.0%	7.5%	5.0%	0.0%	0.0%
10万円以上 (39)	10.3%	28.2%	30.8%	20.5%	10.3%	0.0%	0.0%

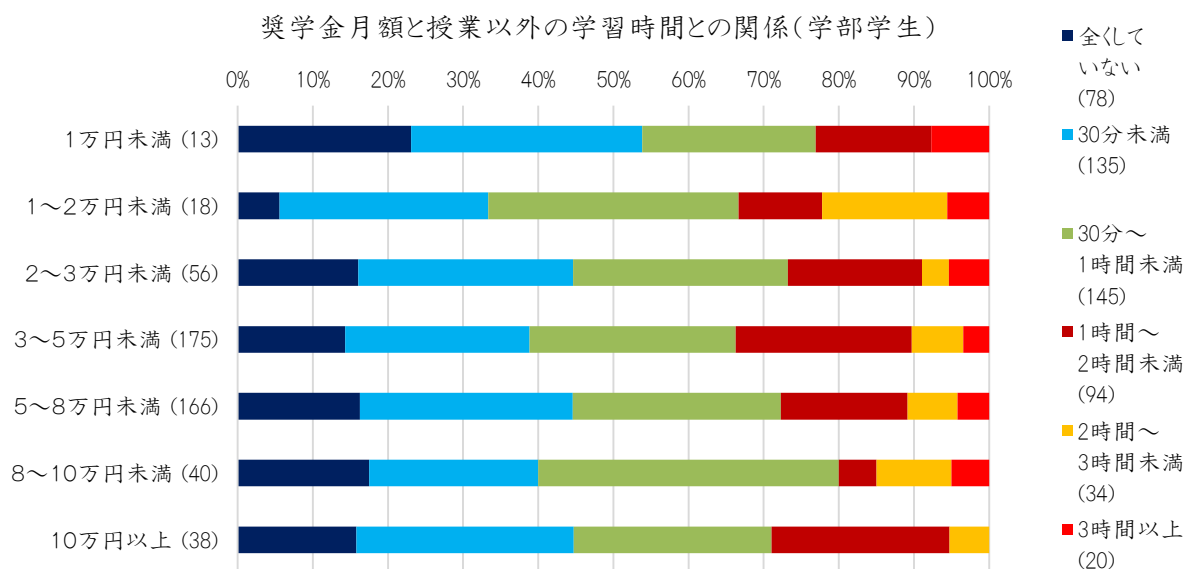


奨学金月額と成績(通算 GPA)との関係を見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、「1万円未満」から「8～10万円未満」までの区分で約 83%～約 89%であり、区分間で大きな傾向の違いは見られない一方、「10万円以上」では、約 69.3%であり、他の区分よりは通算 GPA2.5 以上の占める割合は低かった。

今回の調査結果からは、全体的な傾向として、奨学金月額の多寡と成績(通算 GPA)の高低との間に、相関関係はうかがえなかった。

■奨学金月額と授業以外の学習時間(問 27)の関係について

区 分	全くして いない (78)	30分未満 (135)	30分～ 1時間未満 (145)	1時間～ 2時間未満 (94)	2時間～ 3時間未満 (34)	3時間以上 (20)
1万円未満 (13)	23.1%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	7.7%
1～2万円未満 (18)	5.6%	27.8%	33.3%	11.1%	16.7%	5.6%
2～3万円未満 (56)	16.1%	28.6%	28.6%	17.9%	3.6%	5.4%
3～5万円未満 (175)	14.3%	24.6%	27.4%	23.4%	6.9%	3.4%
5～8万円未満 (166)	16.3%	28.3%	27.7%	16.9%	6.6%	4.2%
8～10万円未満 (40)	17.5%	22.5%	40.0%	5.0%	10.0%	5.0%
10万円以上 (38)	15.8%	28.9%	26.3%	23.7%	5.3%	0.0%



奨学金月額と授業以外の学習時間との関係を見たところ、授業以外の学習時間が「1時間未満」の者の割合は、「1万円未満」から「10万円未満」までの区分で約67%～約80%であったが、奨学金月額の増加と、授業以外の学習時間が「1時間未満」の者の割合との間に相関は見られなかった。

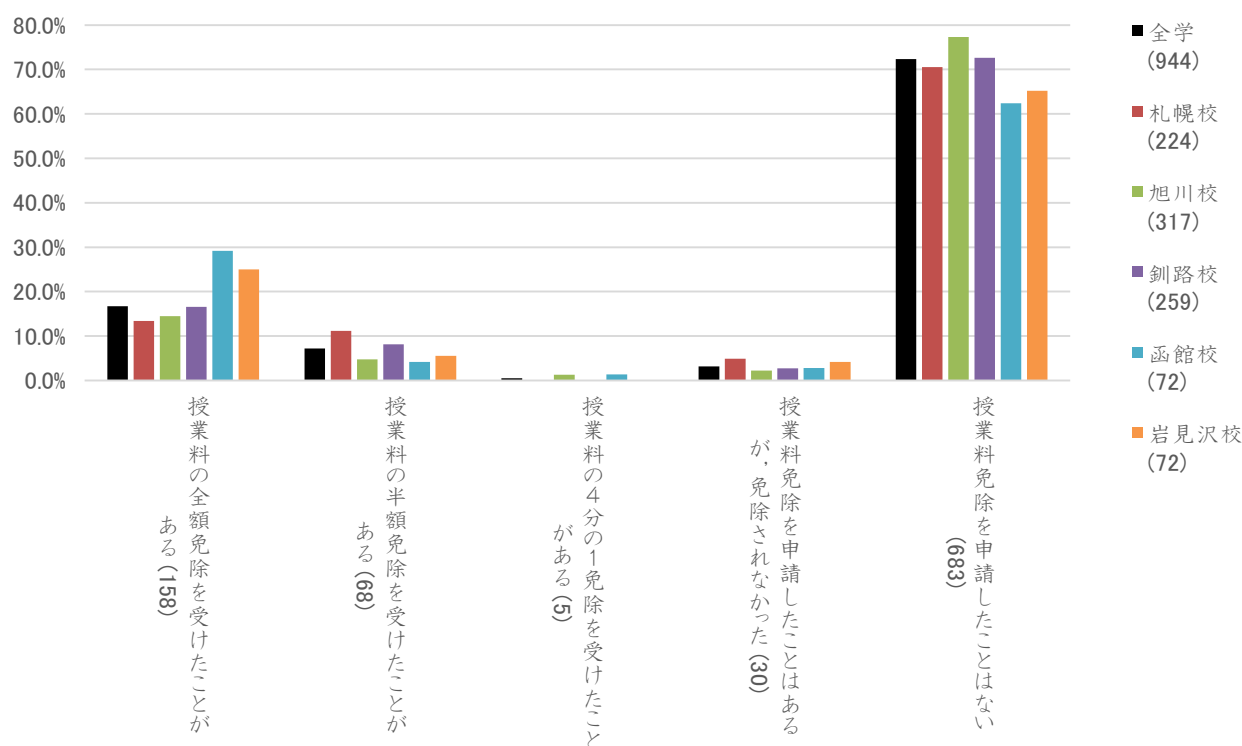
今回の調査結果からは、全体的な傾向として、奨学金月額の多寡と授業以外の学習時間数との間に、相関関係はうかがえなかった。

問10. あなたは、これまでに授業料免除を受けたことがありますか。

(次の選択肢に複数該当する場合は、最も免除額の多いものを一つ選んでください。)

区 分	全学 (944)	札幌校 (224)	旭川校 (317)	釧路校 (259)	函館校 (72)	岩見沢校 (72)
授業料の全額免除を受けたことがある (158)	16.7%	13.4%	14.5%	16.6%	29.2%	25.0%
授業料の半額免除を受けたことがある (68)	7.2%	11.2%	4.7%	8.1%	4.2%	5.6%
授業料の4分の1免除を受けたことがある (5)	0.5%	0.0%	1.3%	0.0%	1.4%	0.0%
授業料免除を申請したことはあるが、免除されなかった (30)	3.2%	4.9%	2.2%	2.7%	2.8%	4.2%
授業料免除を申請したことはない (683)	72.4%	70.5%	77.3%	72.6%	62.4%	65.2%

授業料免除状況(学部学生)



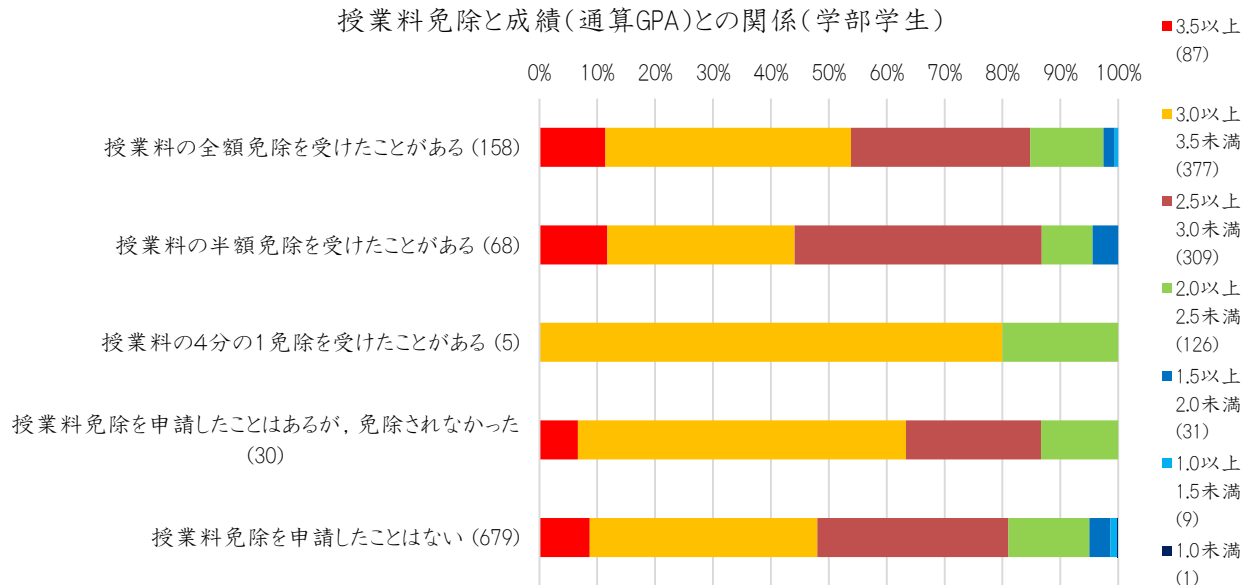
全学では、①「授業料免除を申請したことはない」(72.4%)、②「授業料の全額免除を受けたことがある」(16.7%)、③「授業料の半額免除を受けたことがある」(7.2%)の順であった。「授業料免除を申請したことがあるが、免除されなかった」は全学で3.2%であった。

キャンパス別では、「授業料の全額免除を受けたことがある」と「授業料の半額免除を受けたことがある」の合計が全学では約24%であるが、函館校では約33%、岩見沢校では約31%であった。

■ 授業料免除と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (87)	3.0以上 3.5未満 (377)	2.5以上 3.0未満 (309)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (31)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
授業料の全額免除を受けたことがある(158)	11.4%	42.4%	31.0%	12.7%	1.9%	0.6%	0.0%
授業料の半額免除を受けたことがある(68)	11.8%	32.4%	42.6%	8.8%	4.4%	0.0%	0.0%
授業料の4分の1免除を受けたことがある(5)	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
授業料免除を申請したことはあるが、免除されなかった(30)	6.7%	56.7%	23.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
授業料免除を申請したことはない(679)	8.7%	39.3%	33.0%	14.0%	3.7%	1.2%	0.1%

授業料免除と成績(通算GPA)との関係(学部学生)



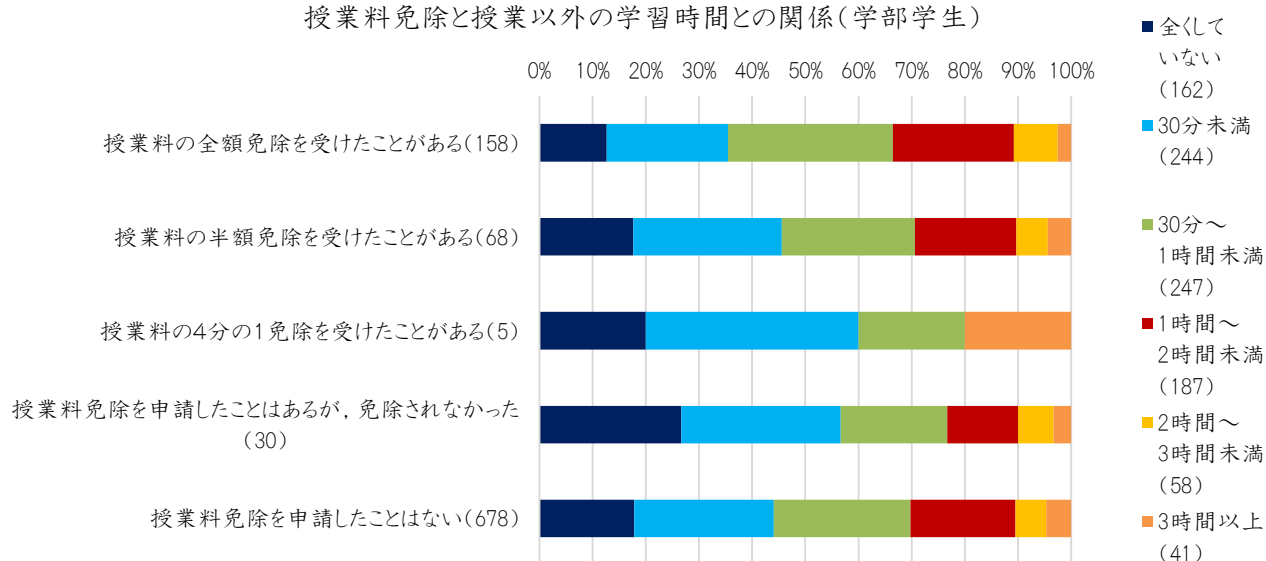
授業料免除と成績(通算 GPA)との関係を見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、授業料免除状況の各区分で約 81%～約 87%であり、区分間で大きな傾向の違いは見られない。

今回の調査結果からは、全体的な傾向として、授業料免除状況と授業以外の学習時間数との間に、相関関係はうかがえなかった。

■ 授業料免除と授業以外の学習時間(問 27)の関係について

区 分	全くして いない (162)	30分未 満 (244)	30分～ 1時間未 満 (247)	1時間～ 2時間未 満 (187)	2時間～ 3時間未 満 (58)	3時間以上 (41)
授業料の全額免除を受けたことがある(158)	12.7%	22.8%	31.0%	22.8%	8.2%	2.5%
授業料の半額免除を受けたことがある(68)	17.6%	27.9%	25.0%	19.1%	5.9%	4.4%
授業料の4分の1免除を受けたことがある(5)	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
授業料免除を申請したことはあるが、免除されなかった(30)	26.7%	30.0%	20.0%	13.3%	6.7%	3.3%
授業料免除を申請したことはない(678)	17.8%	26.3%	25.7%	19.8%	5.8%	4.7%

授業料免除と授業以外の学習時間との関係(学部学生)



授業料免除と授業以外の学習時間との関係を見たところ、授業以外の学習時間が「1時間未満」の者の割合は、授業料免除状況の各区分で約 68%～約 80%であった。

「全額免除」「半額免除」を受けたことのある者と「免除申請したことはあるが、免除されなかった」者を比較すると、免除されなかった者の方が、学習を「全くしていない」者、「30分未満」の者、「30分～1時間未満」の者いずれについても、その割合が高く、学習時間が少ない傾向が見られた。

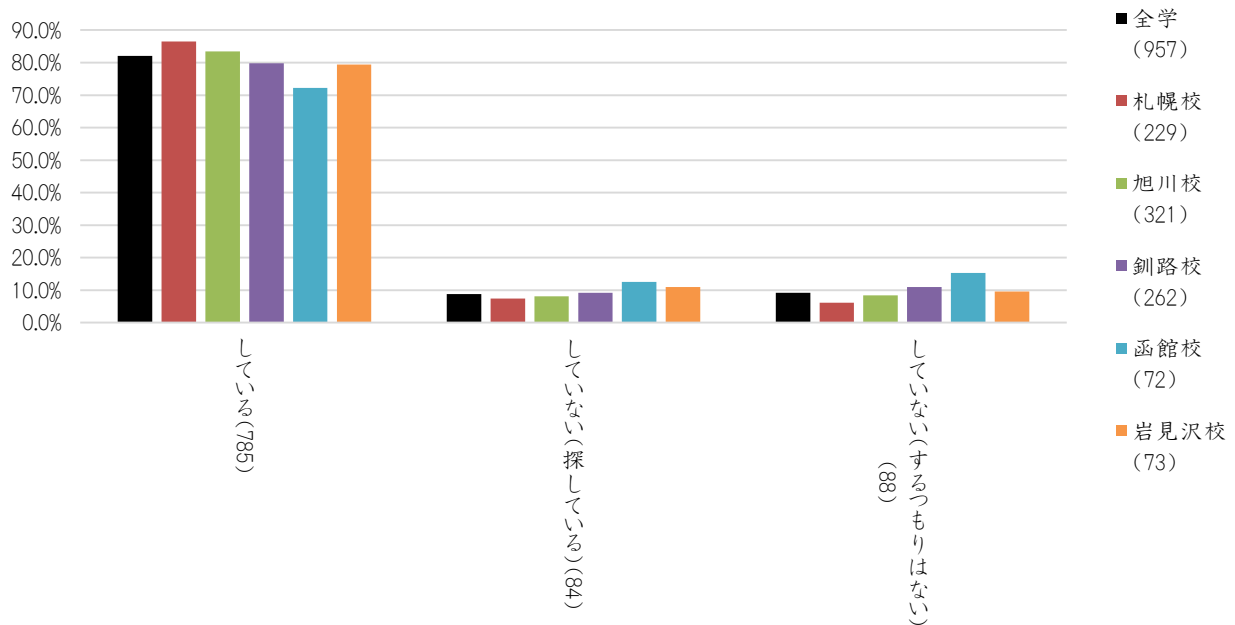
「全額免除」「半額免除」を受けたことのある者と「授業料免除を申請したことはない」との比較では、「半額免除」者と「免除申請をしたことはない」者の間では、大きな傾向の違いは見られなかったが、「全額免除」との比較では、免除されなかった者の方が、学習を「全くしていない」者、「30分未満」の者、「30分～1時間未満」の者いずれについても、その割合が高く、学習時間が少ない傾向が見られた。

「全額免除」と「半額免除」を受けたことのある者の比較では、「半額免除」を受けたことのある者の方が、学習を「全くしていない」者、「30分未満」の者、「30分～1時間未満」の者いずれについても、その割合が高く、学習時間が少ない傾向が見られた。

問11. あなたは、現在アルバイトをしていますか。

区分	全学 (957)	札幌校 (229)	旭川校 (321)	釧路校 (262)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
している(785)	82.0%	86.5%	83.5%	79.8%	72.2%	79.4%
していない(探している)(84)	8.8%	7.4%	8.1%	9.2%	12.5%	11.0%
していない(するつもりはない)(88)	9.2%	6.1%	8.4%	11.0%	15.3%	9.6%

アルバイトの有無(学部学生)



全学では、アルバイトを①「している」(82.0%)、②「していない(するつもりはない)」(9.2%)、③「していない(探している)」(8.8%)の順であった。

キャンパス別では、アルバイトを「していない(するつもりはない)」で全学(9.2%)を上回っていたのが、函館校(15.3%)、釧路校(11.0%)、岩見沢校(9.6%)であった。

問12. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

※問11で「01.している」を選択した人のみ回答してください。

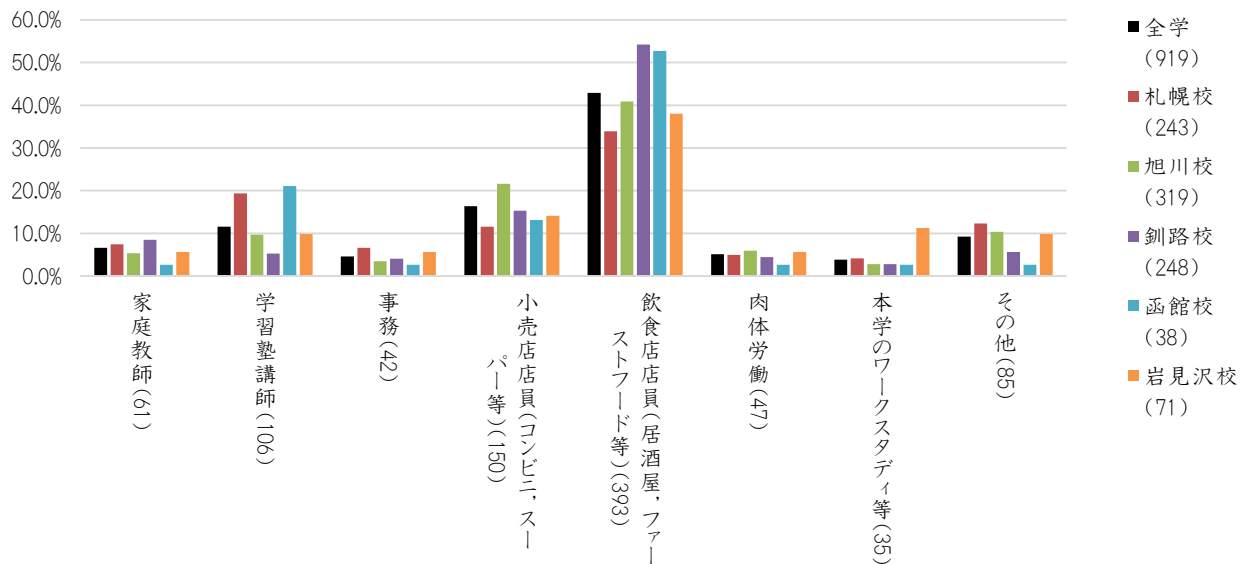
ア. 職種は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

区 分	全学 (919)	札幌校 (243)	旭川校 (319)	釧路校 (248)	函館校 (38)	岩見沢校 (71)
家庭教師(61)	6.6%	7.4%	5.3%	8.5%	2.6%	5.6%
学習塾講師(106)	11.5%	19.3%	9.7%	5.2%	21.1%	9.9%
事務(42)	4.6%	6.6%	3.4%	4.0%	2.6%	5.6%
小売店店員(コンビニ、スーパー等)(150)	16.3%	11.5%	21.6%	15.3%	13.2%	14.1%
飲食店店員(居酒屋、ファーストフード等)(393)	42.9%	33.9%	40.9%	54.2%	52.7%	38.0%
肉体労働(47)	5.1%	4.9%	6.0%	4.4%	2.6%	5.6%
本学のワークスタディ等(35)	3.8%	4.1%	2.8%	2.8%	2.6%	11.3%
その他(85)	9.2%	12.3%	10.3%	5.6%	2.6%	9.9%

※その他

(余暇産業、接客業(宿泊)、児童館、イベントスタッフ、アパレル店員、スポーツクラブ、コールセンター、眼科、結婚式場、撮影、寄宿舎指導員、児童相談所、グループホーム、軽作業派遣、看護師、交通量調査、プール監視)

アルバイト(職種)(学部学生)



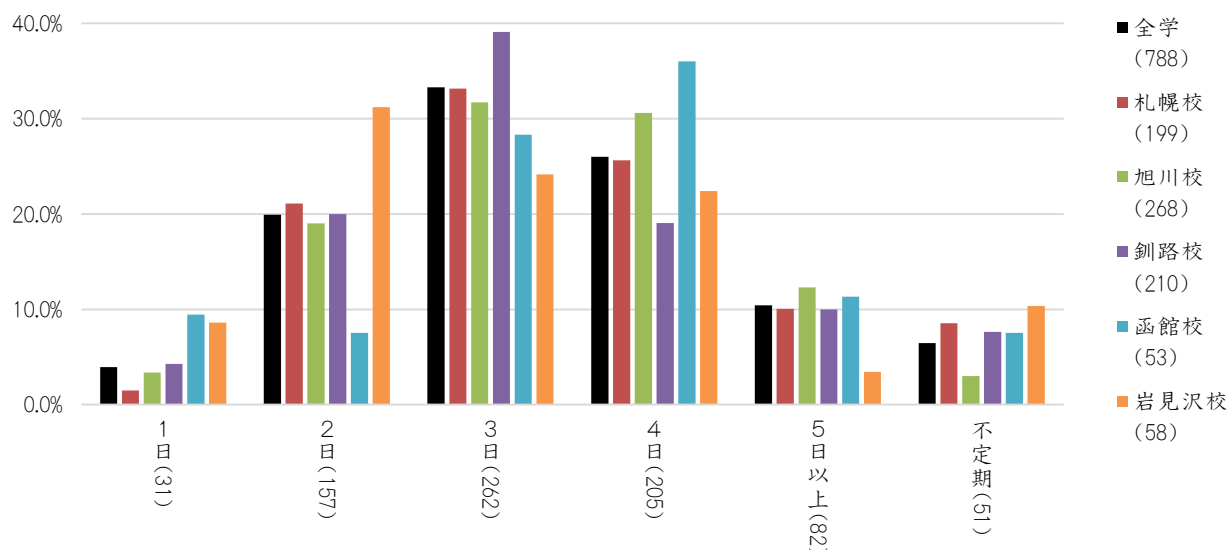
全学では、①「飲食店店員(居酒屋、ファーストフード等)」(42.9%)、②「小売店店員(コンビニ、スーパー等)」(16.3%)、③「学習塾講師」(11.5%)の順であった。

キャンパス別では、全学と比べて、「飲食店店員(居酒屋、ファーストフード等)」は、釧路校(54.2%)、函館校(52.7%)で割合が高く、「小売店店員(コンビニ、スーパー等)」は旭川校(21.6%)で割合が高く、「学習塾講師」は、函館校(21.1%)、札幌校(19.3%)で割合が高く、「本学のワークスタディ等」は岩見沢校(11.3%)で割合が高かった。

イ. 1週間に何日くらい働きますか。

区 分	全学 (788)	札幌校 (199)	旭川校 (268)	釧路校 (210)	函館校 (53)	岩見沢校 (58)
1日(31)	3.9%	1.5%	3.4%	4.3%	9.4%	8.6%
2日(157)	19.9%	21.1%	19.0%	20.0%	7.5%	31.2%
3日(262)	33.3%	33.2%	31.7%	39.1%	28.3%	24.1%
4日(205)	26.0%	25.6%	30.6%	19.0%	36.0%	22.4%
5日以上(82)	10.4%	10.1%	12.3%	10.0%	11.3%	3.4%
不定期(51)	6.5%	8.5%	3.0%	7.6%	7.5%	10.3%

アルバイト(週当たり勤務日数)(学部学生)

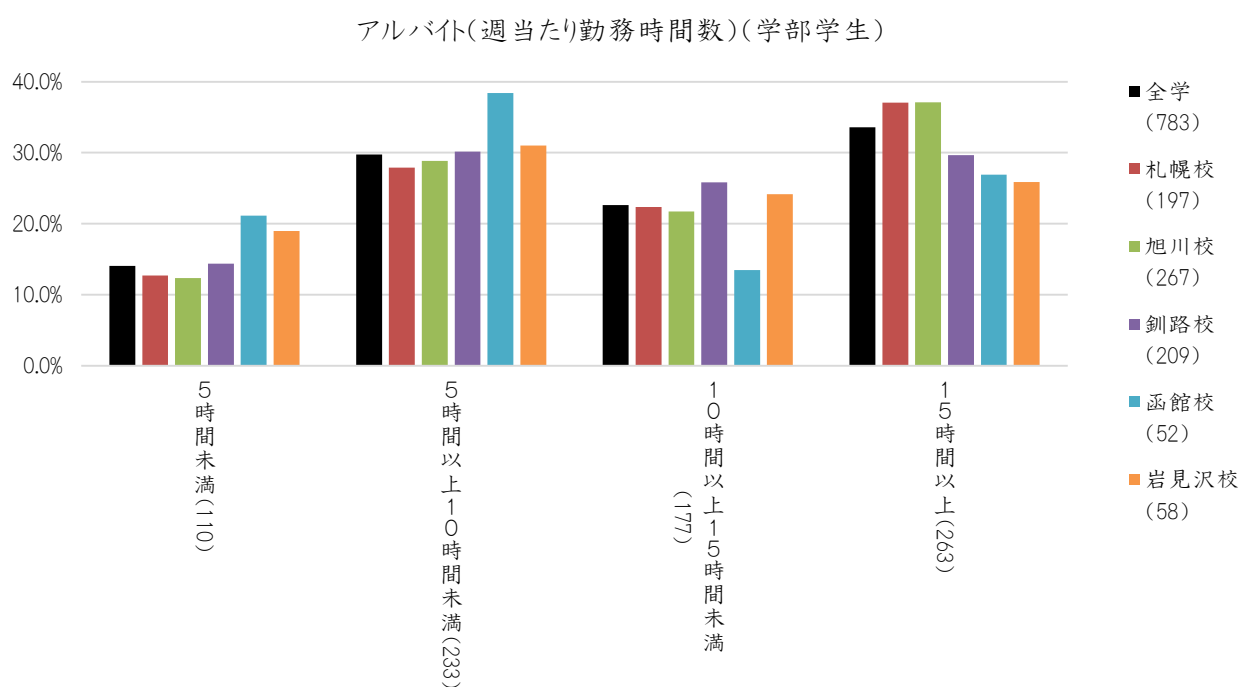


全学では、1週間で働く日数として、①「3日」(33.3%)、②「4日」(26.0%)、③「2日」(19.9%)の順であり、これらの合計で約79%を占めている。

キャンパス別では、全学と比べて、週「2日」の割合が岩見沢校(31.2%)で高く、週「3日」の割合が釧路校(39.1%)で高く、週「4日」の割合が函館校(36.0%)、旭川校(30.6%)で高かった。また、岩見沢校では、全学と比べて、週「5日以上」の割合(3.4%)が低く、週「1日」の割合(8.6%)、「不定期」の割合(10.3%)が高い結果となった。

ウ. 1週間に何時間ぐらい働きますか。

区 分	全学 (783)	札幌校 (197)	旭川校 (267)	釧路校 (209)	函館校 (52)	岩見沢校 (58)
5時間未満(110)	14.0%	12.7%	12.4%	14.4%	21.2%	19.0%
5時間以上10時間未満(233)	29.8%	27.9%	28.8%	30.1%	38.4%	31.0%
10時間以上15時間未満(177)	22.6%	22.3%	21.7%	25.8%	13.5%	24.1%
15時間以上(263)	33.6%	37.1%	37.1%	29.7%	26.9%	25.9%



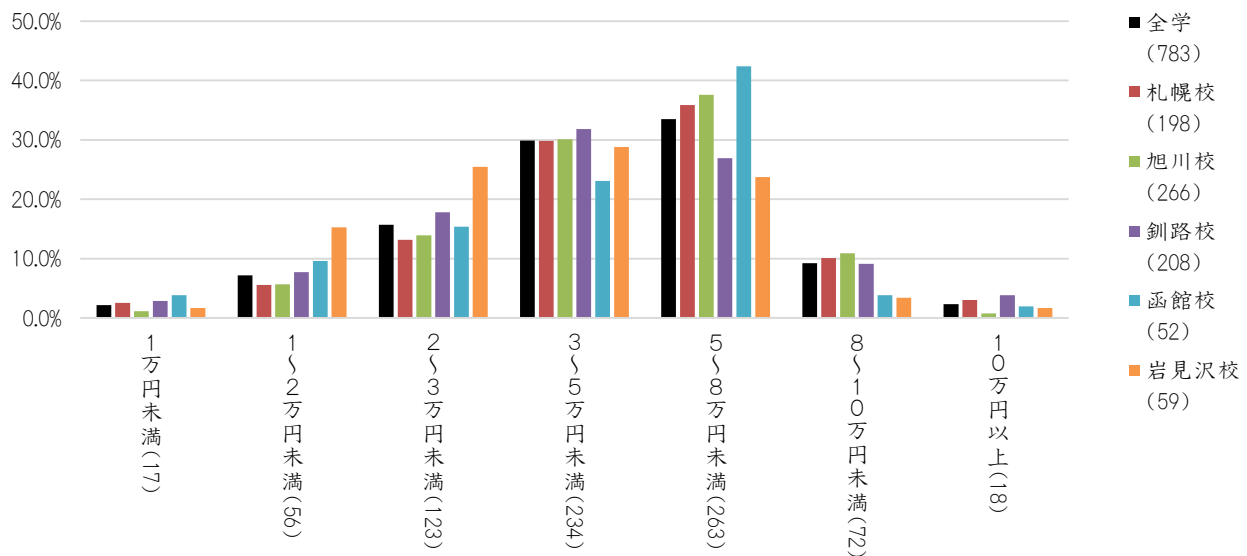
全学では、1週間に働く時間数として、①「15 時間以上」(33.6%)、②「5 時間以上 10 時間未満」(29.8%)、③「10 時間以上 15 時間未満」(22.6%)、④「5時間未満」(14.0%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校、旭川校は全学と同様の回答傾向であった。釧路校では「5時間以上 10 時間未満」(30.1%)が「15 時間以上」(29.7%)をやや上回っている。函館校では「5時間以上 10 時間未満」(38.4%)が「5時間以上」(26.9%)を 10 ポイント以上上回っているほか、「5時間未満」(21.2%)も全学 (14.0%)上回っている。岩見沢校では「5時間以上 10 時間未満」(31.0%)が「5時間以上」(25.9%)を6ポイントほど上回っている。

エ. アルバイトによる平均の月収はいくらですか。

区分	全学 (783)	札幌校 (198)	旭川校 (266)	釧路校 (208)	函館校 (52)	岩見沢校 (59)
1万円未満(17)	2.2%	2.5%	1.1%	2.9%	3.8%	1.7%
1～2万円未満(56)	7.2%	5.6%	5.6%	7.7%	9.6%	15.3%
2～3万円未満(123)	15.7%	13.1%	13.9%	17.8%	15.4%	25.4%
3～5万円未満(234)	29.9%	29.8%	30.1%	31.8%	23.1%	28.8%
5～8万円未満(263)	33.5%	35.9%	37.6%	26.9%	42.4%	23.7%
8～10万円未満(72)	9.2%	10.1%	10.9%	9.1%	3.8%	3.4%
10万円以上(18)	2.3%	3.0%	0.8%	3.8%	1.9%	1.7%

アルバイト(平均月収額)(学部学生)



全学では、①「5～8万円未満」(33.5%)、②「3～5万円未満」(29.9%)、③「2～3万円未満」(15.7%)の順であり、これらの合計で約79%を占めている。

キャンパス別では、全学で割合が最も高かった「5～8万円未満」と異なり、「3～5万円未満」の割合が最も高かったのが釧路校(31.5%)、岩見沢校(25.4%)であり、特に岩見沢校では「2～3万円未満」(25.4%)で全学(15.7%)よりも10ポイントほど高くなっている。また、函館校では「5～8万円未満」(42.4%)が全学(33.5%)よりも高くなっている。

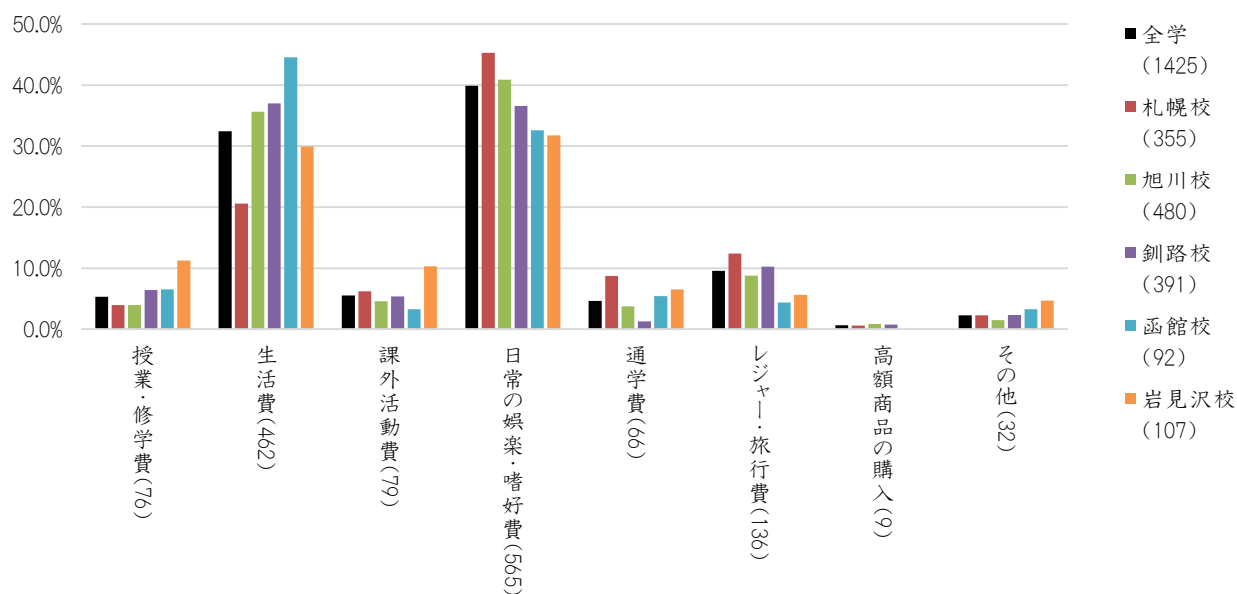
オ. 収入の主な使途は何ですか。〔主なものを2つ以内で選んでください。〕

区分	全学 (1425)	札幌校 (355)	旭川校 (480)	釧路校 (391)	函館校 (92)	岩見沢校 (107)
授業・修学費(76)	5.3%	3.9%	4.0%	6.4%	6.5%	11.2%
生活費(462)	32.4%	20.6%	35.6%	37.0%	44.6%	29.9%
課外活動費(79)	5.5%	6.2%	4.6%	5.4%	3.3%	10.3%
日常の娯楽・嗜好費(565)	39.9%	45.3%	40.9%	36.6%	32.6%	31.8%
通学費(66)	4.6%	8.7%	3.8%	1.3%	5.4%	6.5%
レジャー・旅行費(136)	9.5%	12.4%	8.8%	10.2%	4.3%	5.6%
高額商品の購入(9)	0.6%	0.6%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%
その他(32)	2.2%	2.3%	1.5%	2.3%	3.3%	4.7%

※その他

(貯蓄、車購入、帰省費用、仕送り、部活動にかかる費用、医療費、留学資金、絵画製作費、自動車免許取得)

アルバイト(収入の主な用途)(学部学生)



全学では、①「日常の娯楽・嗜好費」(39.9%)、②「生活費」(32.4%)、③「レジャー・旅行費」(9.5%)の順であった。

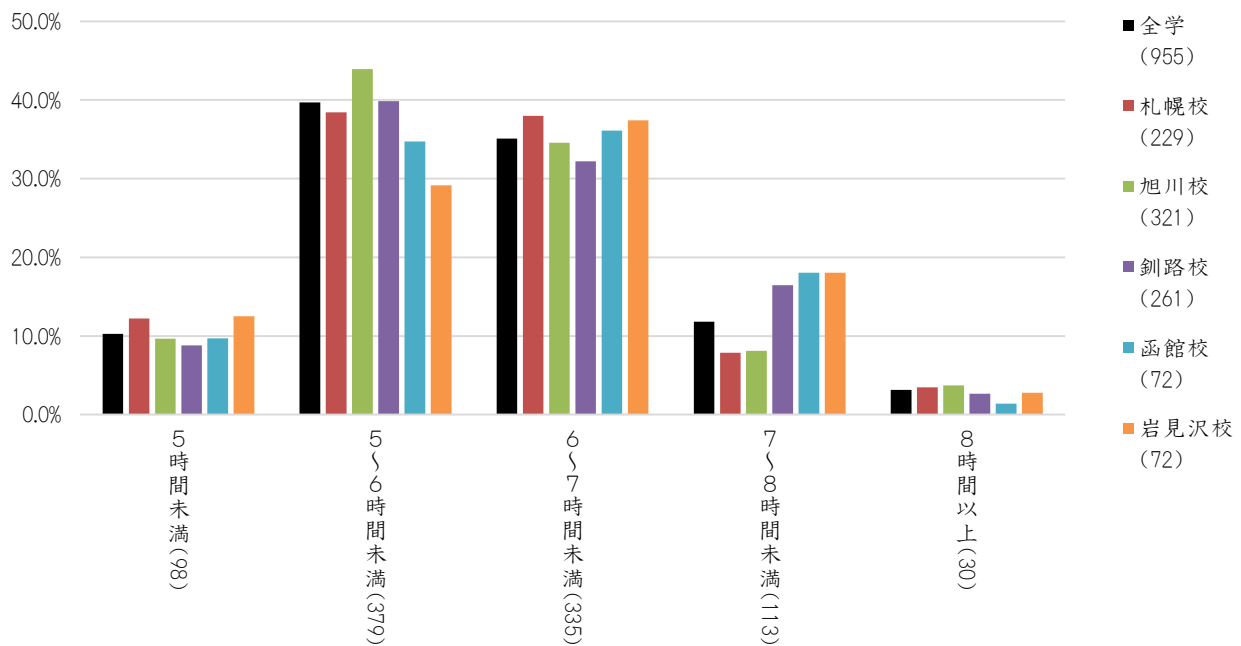
キャンパス別では、「日常の娯楽・嗜好費」よりも「生活費」の割合が高かったのが、函館校(44.6%)、釧路校(37.0%)であった。また、岩見沢校では、「授業・修学費」(11.2%)で全学(5.3%)よりも割合が高い傾向が見られた。

IV 普段の生活について

問13. あなたの1日の平均睡眠時間は、どのくらいですか。

区分	全学 (955)	札幌校 (229)	旭川校 (321)	釧路校 (261)	函館校 (72)	岩見沢校 (72)
5時間未満(98)	10.3%	12.2%	9.7%	8.8%	9.7%	12.5%
5～6時間未満(379)	39.7%	38.4%	43.9%	39.8%	34.7%	29.2%
6～7時間未満(335)	35.1%	38.0%	34.6%	32.2%	36.1%	37.4%
7～8時間未満(113)	11.8%	7.9%	8.1%	16.5%	18.1%	18.1%
8時間以上(30)	3.1%	3.5%	3.7%	2.7%	1.4%	2.8%

睡眠時間数(1日平均)(学部学生)

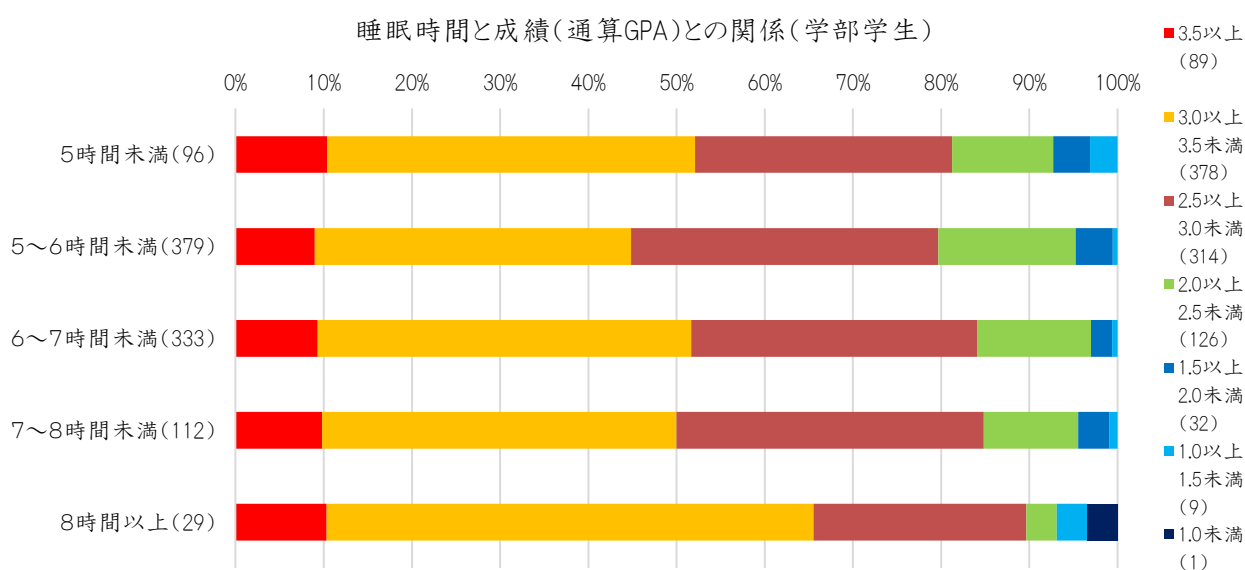


全学では、①「5～6時間未満」(39.7%)、②「6～7時間未満」(35.1%)、③「7～8時間未満」(11.8%)の順であった。5～7時間未満で全体の約75%を占める結果となった。

キャンパス別では、7時間以上の割合が旭川校で約12%、札幌校で約11%だが、岩見沢校で約21%、函館校で約20%、釧路校で約19%であった。

■睡眠時間と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (378)	2.5以上 3.0未満 (314)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
5時間未満(96)	10.4%	41.7%	29.2%	11.5%	4.2%	3.1%	0.0%
5～6時間未満(379)	9.0%	35.9%	34.8%	15.6%	4.2%	0.5%	0.0%
6～7時間未満(333)	9.3%	42.3%	32.4%	12.9%	2.4%	0.6%	0.0%
7～8時間未満(112)	9.8%	40.2%	34.8%	10.7%	3.6%	0.9%	0.0%
8時間以上(29)	10.3%	55.2%	24.1%	3.4%	0.0%	3.4%	3.4%



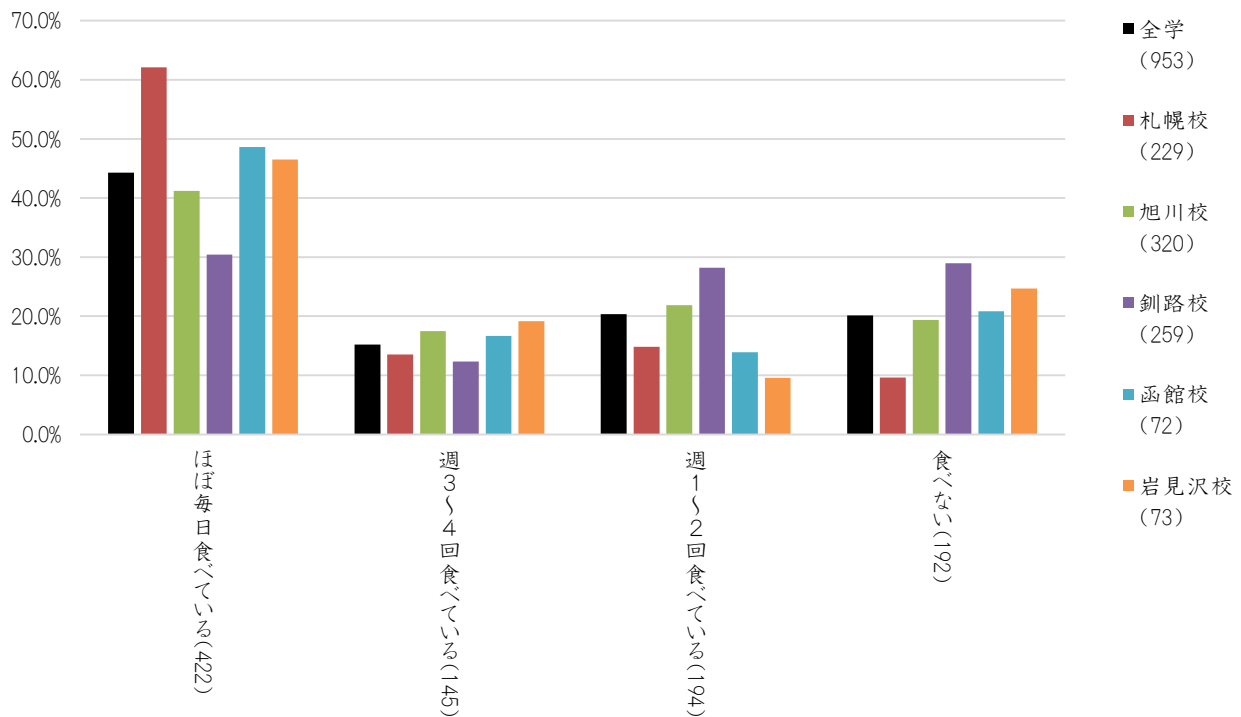
1日平均の睡眠時間数と成績(通算 GPA)との関係を見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、睡眠時間数の各区分で約 80%～約 90%であった。内訳を見ると、「5時間未満」(約 81%)、「5～6時間未満」(約 80%)、「6～7時間未満」(約 84.0%)、「7～8時間未満」(約 85%)、「8時間以上」(約 90%)となっており、睡眠時間6時間未満の者よりも6時間以上の者の方が通算 GPA2.5 以上の者の割合が高い傾向がうかがえる。

睡眠時間「8時間以上」の者は、通算 GPA3.0 以上の者の割合(約 66%)は、他の睡眠時間数の者の割合(約 45%～約 52%)と比べても高くなっているが、一方で、通算 GPA2.0 未満の者で比較すると、「8時間以上」が約 93%であるのに対し、「5時間未満」が約 93%でほぼ同様、「5～6時間未満」が約 95%、「6～7時間未満」が約 97%、「7～8時間未満」が約 96%となっており、「8時間以上」の方がやや下回っている。

問14. あなたは、朝食を摂っていますか。

区分	全学 (953)	札幌校 (229)	旭川校 (320)	釧路校 (259)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
ほぼ毎日食べている(422)	44.3%	62.1%	41.2%	30.4%	48.6%	46.5%
週3～4回食べている(145)	15.2%	13.5%	17.5%	12.4%	16.7%	19.2%
週1～2回食べている(194)	20.4%	14.8%	21.9%	28.2%	13.9%	9.6%
食べない(192)	20.1%	9.6%	19.4%	29.0%	20.8%	24.7%

朝食の摂取状況(学部学生)

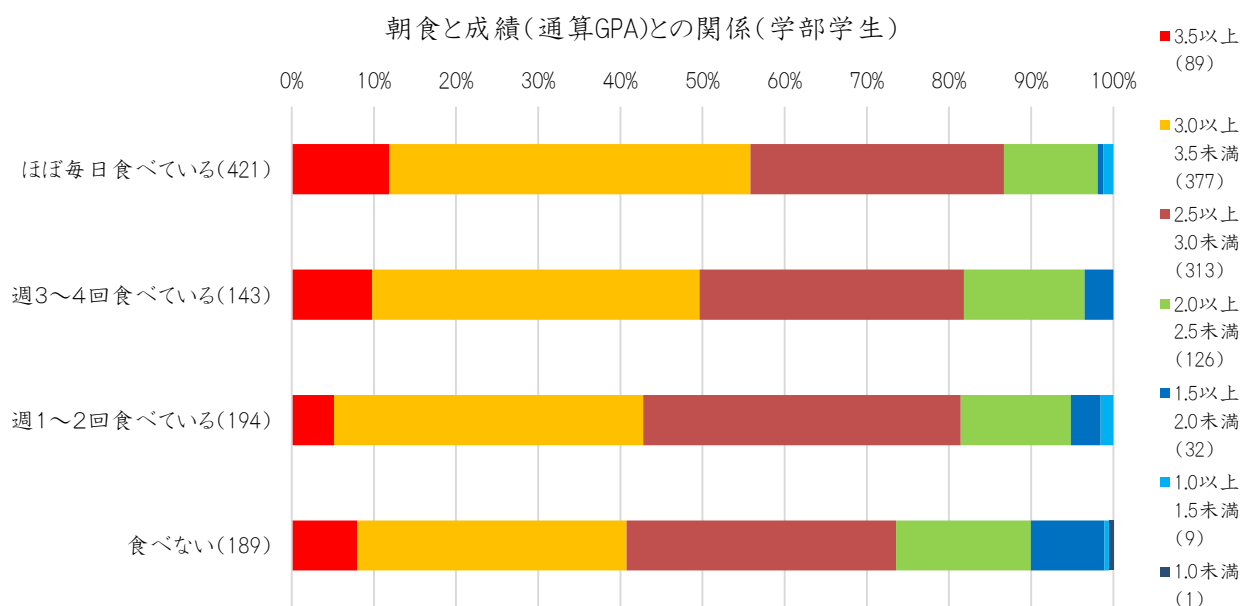


全学では、①「ほぼ毎日食べている」(44.3%)、②「週1～2回食べている」(20.4%)、③「週3～4回食べている」(15.2%)、④「食べない」(20.1%)の順であった。

キャンパス別では、「ほぼ毎日食べている」の割合が札幌校(62.1%)で最も高く、釧路校(30.4%)が最も低かった。「週1～2回食べている」と「食べない」の割合の合計を見ると、全学で約41%であり、旭川校は約41%で全学と同様の傾向であった。一方、函館校は約35%、岩見沢校は約34%、札幌校は約24%で全学の割合よりも低く、釧路校は約57%で全学の割合より高かった。

■朝食と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (377)	2.5以上 3.0未満 (313)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
ほぼ毎日食べている(421)	11.9%	43.9%	30.9%	11.4%	0.7%	1.2%	0.0%
週3～4回食べている(143)	9.8%	39.9%	32.2%	14.7%	3.5%	0.0%	0.0%
週1～2回食べている(194)	5.2%	37.6%	38.7%	13.4%	3.6%	1.5%	0.0%
食べない(189)	7.9%	32.8%	32.8%	16.4%	9.0%	0.5%	0.5%



1週間の朝食の摂取状況と成績(通算 GPA)との関係を見たところ、通算 GPA2.5 以上の割合は、朝食を「ほぼ毎日食べている」が約 87%、「週3～4回食べている」が約 82%、「週1～2回食べている」が約 82%、「食べない」が約 74%となっており、「ほぼ食べている」が最も高く、「食べない」が最も低い。

「週3～4回食べている」と「週1～2回食べている」を比較すると、通算 GPA3.0 以上の者は、「週3～4回」が約 50%、「週1～2回」が約 43%であり、「週3～4回」の方が上回っている。

通算 GPA2.0 未満の者を見ると、「食べない」が 10%で最も高く、順に「週1～2回」が約 5%、「週3～4回」が約 4%、「ほぼ毎日食べている」が約 2%で最も低くなっている。

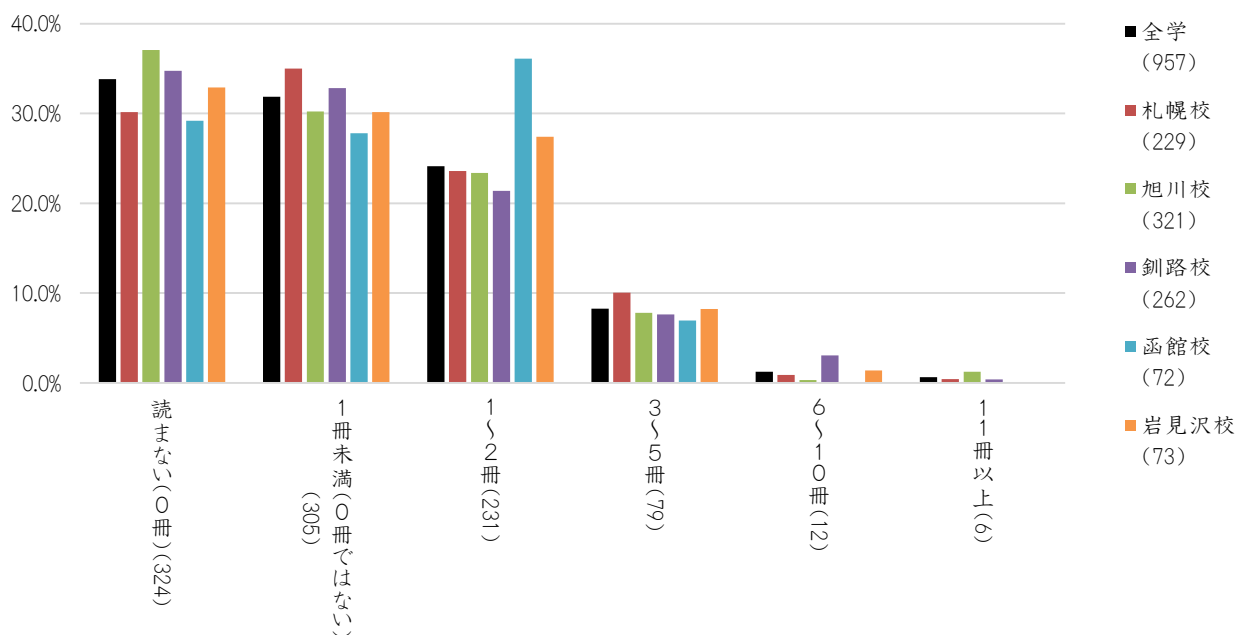
これらの結果からは、全体的な傾向として、1週間の朝食の摂取状況が多い者ほど、成績(通算 GPA)が高い者が多いという傾向がうかがえる。

問15. あなたは、平均して月に何冊ぐらい本を読みますか。

(専門書・教養書等の冊数。雑誌・週刊誌, マンガは除く。)

区分	全学 (957)	札幌校 (229)	旭川校 (321)	釧路校 (262)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
読まない(0冊)(324)	33.8%	30.1%	37.1%	34.7%	29.2%	32.9%
1冊未満(0冊ではない)(305)	31.9%	35.0%	30.2%	32.8%	27.8%	30.1%
1～2冊(231)	24.1%	23.6%	23.4%	21.4%	36.1%	27.4%
3～5冊(79)	8.3%	10.0%	7.8%	7.6%	6.9%	8.2%
6～10冊(12)	1.3%	0.9%	0.3%	3.1%	0.0%	1.4%
11冊以上(6)	0.6%	0.4%	1.2%	0.4%	0.0%	0.0%

読書量(月平均)(学部学生)

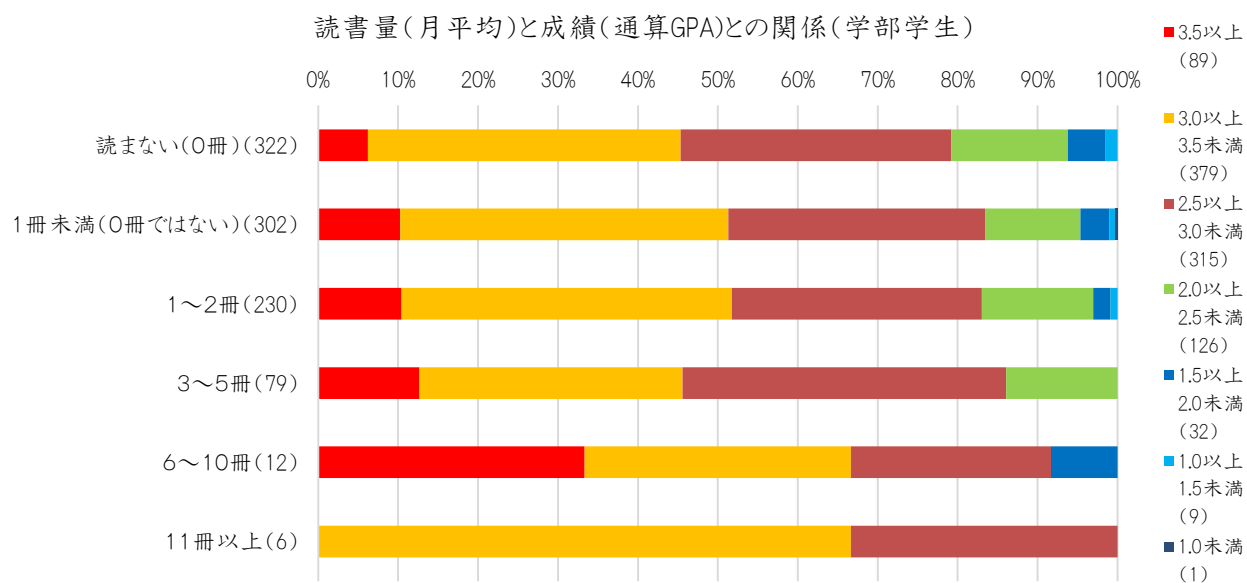


全学では、①「読まない(0冊)」(33.8%)、②「1冊未満(0冊ではない)」(31.9%)、③「1～2冊」(21.1%)の順となっており、これらの合計で全体の約87%を占めている。

キャンパス別では、全学と比べて、札幌校で「1冊未満(0冊ではない)」(35.0%)の割合が最も高く、函館校で「1～2冊」(36.1%)の割合が最も高かった。

■ 読書と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (379)	2.5以上 3.0未満 (315)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
読まない(0冊)(322)	6.2%	39.1%	33.9%	14.6%	4.7%	1.6%	0.0%
1冊未満(0冊ではない)(302)	10.3%	41.1%	32.1%	11.9%	3.6%	0.7%	0.3%
1～2冊(230)	10.4%	41.3%	31.3%	13.9%	2.2%	0.9%	0.0%
3～5冊(79)	12.7%	32.9%	40.5%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%
6～10冊(12)	33.3%	33.3%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
11冊以上(6)	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

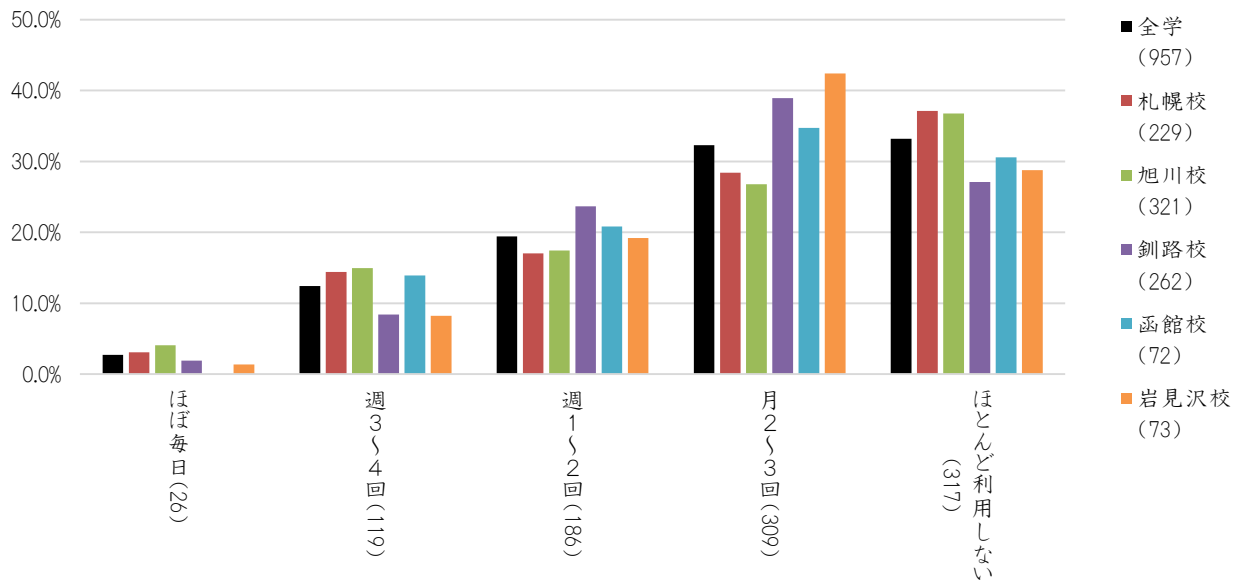


読書量(月平均の読書冊数)と成績(通算 GPA)との関係を見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、読書量の各区分で約 79～100%であり、全体的な傾向として、読書量の多い者ほど、その割合が高い傾向が見られ、特に、月平均の読書量が6冊以上では、約 67%となっており、読書量の他の区分の約 45%～約 55%と比べると、その割合が高くなっている。

問16. 本学の図書館をどの程度利用していますか。

区分	全学 (957)	札幌校 (229)	旭川校 (321)	釧路校 (262)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
ほぼ毎日(26)	2.7%	3.1%	4.0%	1.9%	0.0%	1.4%
週3～4回(119)	12.4%	14.4%	15.0%	8.4%	13.9%	8.2%
週1～2回(186)	19.4%	17.0%	17.4%	23.7%	20.8%	19.2%
月2～3回(309)	32.3%	28.4%	26.8%	38.9%	34.7%	42.4%
ほとんど利用しない(317)	33.2%	37.1%	36.8%	27.1%	30.6%	28.8%

本学の図書館利用状況(学部学生)

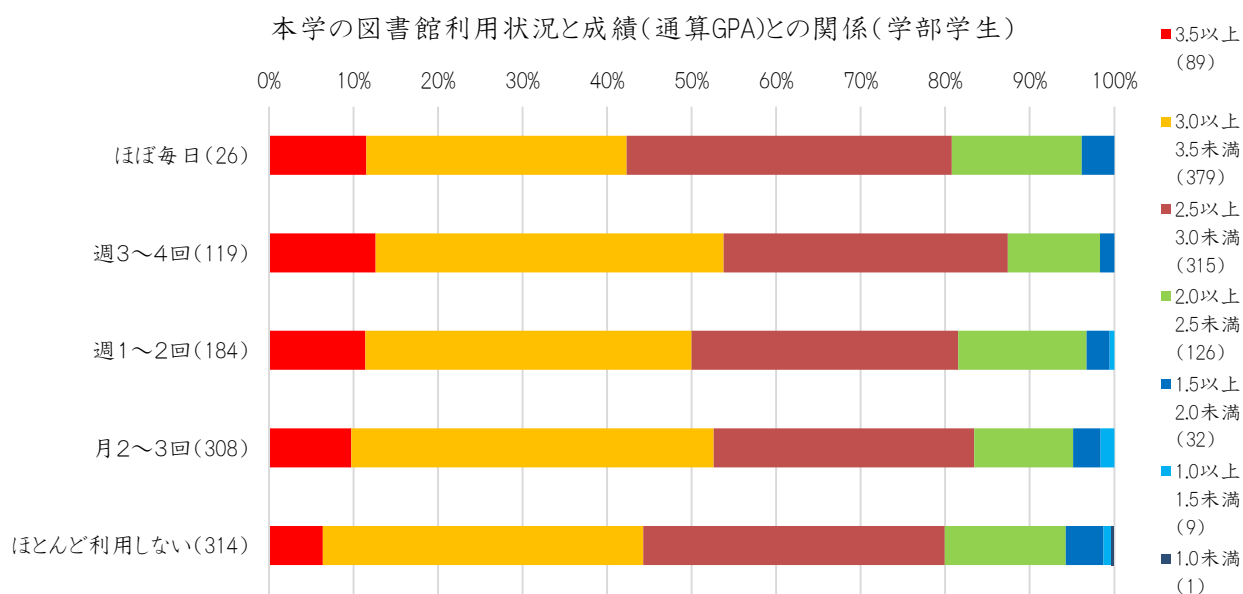


全学では、①「ほとんど利用しない」(33.2%)、②「月2～3回」(32.3%)、③「週1～2回」(19.4%)の順であった。

キャンパス別では、「ほぼ毎日」と「週3～4回」の合計で、全学(15.1%)よりも割合が低かったのは、釧路校(10.3%)、岩見沢校(9.6%)であった。一方、「ほとんど利用しない」で、全学(33.2%)よりも割合が低かったのは、札幌校(37.1%)、旭川校(36.8%)であった。

■ 本学の図書館の利用状況と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (379)	2.5以上 3.0未満 (315)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
ほぼ毎日(26)	11.5%	30.8%	38.5%	15.4%	3.8%	0.0%	0.0%
週3～4回(119)	12.6%	41.2%	33.6%	10.9%	1.7%	0.0%	0.0%
週1～2回(184)	11.4%	38.6%	31.5%	15.2%	2.7%	0.5%	0.0%
月2～3回(308)	9.7%	42.9%	30.8%	11.7%	3.2%	1.6%	0.0%
ほとんど利用しない(314)	6.4%	37.9%	35.7%	14.3%	4.5%	1.0%	0.3%



本学の図書館の利用状況と成績(通算 GPA)との関係を見たところ、通算 GPA2.0 以上の者及び通算 GPA3.5 以上の者の割合は、本学図書館の利用が「ほぼ毎日」を除くと、「週3～4回」が最も高く、続いて「週1～2回」、「月2～3回」、「ほとんど利用しない」の順となっている。

一方、「ほぼ毎日」の者の割合は、通算 GPA2.0 以上の者が約 96%、通算 GPA2.5 以上の者が約 81%であり、「週3～4回」、「週1～2回」、「月2～3回」の者のいずれの割合よりも低く、「ほとんど利用しない」者の割合と同様の傾向(通算 GPA2.0 以上の者が約 94%、通算 GPA2.5 以上の者が約 80%)であった。

問17. 本学の図書館をよく利用する理由は何ですか。

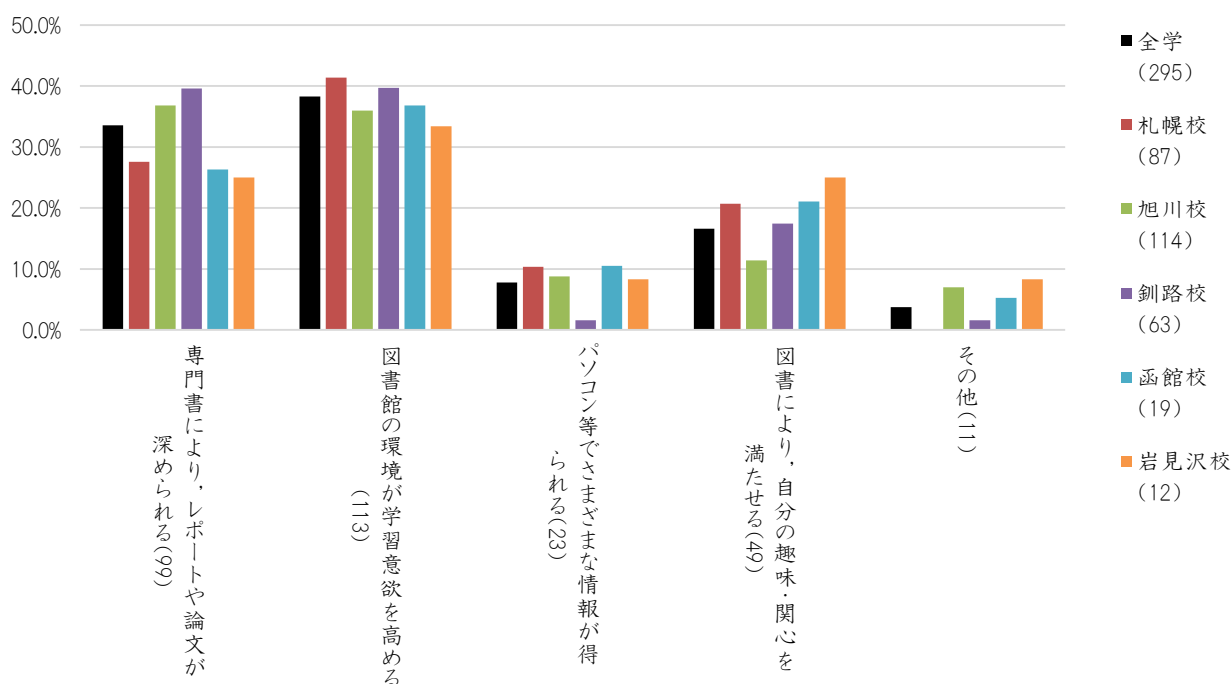
※問16で「01.ほぼ毎日」、「02.週3～4回」を選択した人のみ回答してください。

〔該当するものを全て選んでください。〕

区分	全学 (295)	札幌校 (87)	旭川校 (114)	釧路校 (63)	函館校 (19)	岩見沢校 (12)
専門書により, レポートや論文が深められる(99)	33.6%	27.6%	36.8%	39.6%	26.3%	25.0%
図書館の環境が学習意欲を高める(113)	38.3%	41.4%	36.0%	39.7%	36.8%	33.4%
パソコン等でさまざまな情報が得られる(23)	7.8%	10.3%	8.8%	1.6%	10.5%	8.3%
図書により, 自分の趣味・関心を満たせる(49)	16.6%	20.7%	11.4%	17.5%	21.1%	25.0%
その他(11)	3.7%	0.0%	7.0%	1.6%	5.3%	8.3%

※その他(試験勉強、新聞を読む、CDを聞く、自習、話し合いのスペース、課題作業)

本学の図書館をよく利用する理由(学部学生)



全学では、①「図書館の環境が学習意欲を高める」(38.3%)、②「専門書により, レポートや論文が深められる」(33.6%)、③「図書により, 自分の興味・関心を満たせる」(16.6%)の順であった。

キャンパス別では、回答上位3位までを見ると傾向に大きな違いはないが、「パソコン等でさまざまな情報が得られる」については、全学(7.8%)であったが、割合が最も高い函館校(10.5%)から、最も低い釧路校(1.6%)まで回答にばらつきがあった。

問18. 本学の図書館をあまり利用しない理由は何ですか。

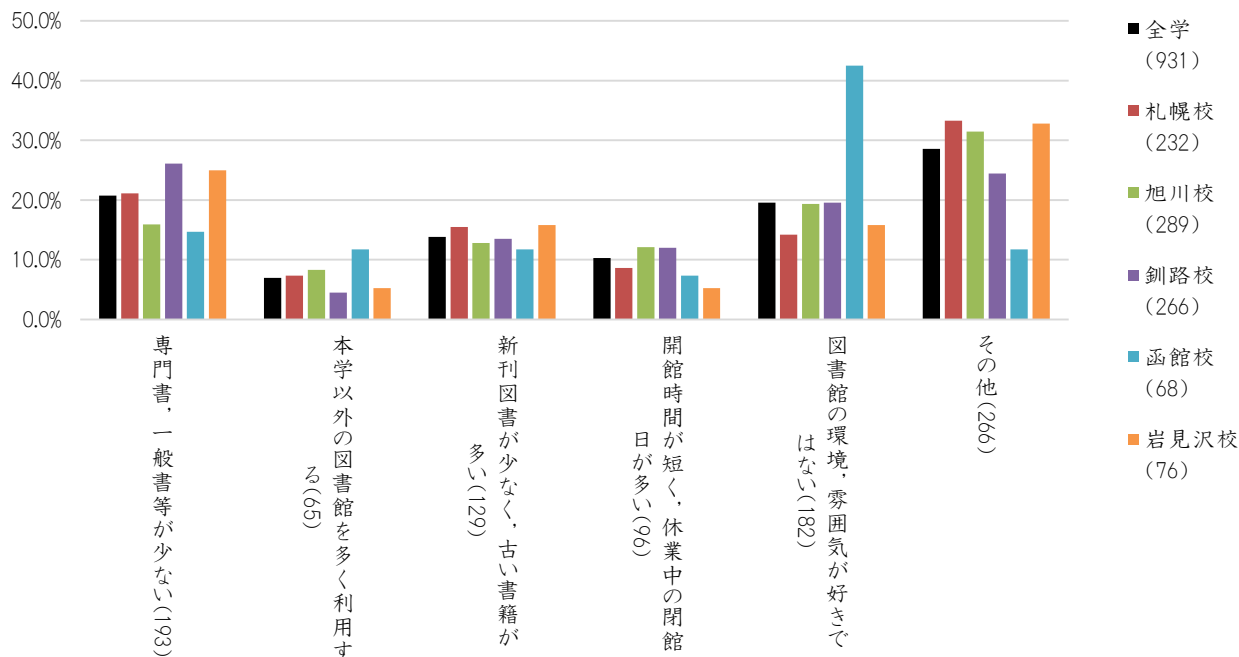
※問16で「03. 週1～2回」、「04. 月2～3回」、「05. ほとんど利用しない」を選択した人のみ回答してください。〔該当するものを全て選んでください。〕

区分	全学 (931)	札幌校 (232)	旭川校 (289)	釧路校 (266)	函館校 (68)	岩見沢校 (76)
専門書, 一般書等が少ない(193)	20.7%	21.1%	15.9%	26.1%	14.7%	25.0%
本学以外の図書館を多く利用する(65)	7.0%	7.3%	8.3%	4.5%	11.8%	5.3%
新刊図書が少なく, 古い書籍が多い(129)	13.9%	15.5%	12.8%	13.5%	11.8%	15.8%
開館時間が短く, 休業中の閉館日が多い(96)	10.3%	8.6%	12.1%	12.0%	7.4%	5.3%
図書館の環境, 雰囲気が好きではない(182)	19.5%	14.2%	19.4%	19.5%	42.5%	15.8%
その他(266)	28.6%	33.3%	31.5%	24.4%	11.8%	32.8%

※その他

(多忙, 学校が遠い, 海外の論文雑誌が少ない, 勉強に熱心ではない, 本を読まない, コンセントが使えない, 飲食出来ない, 用事が無い, 行きにくい, 遠い, 学会誌が少ない, 本は購入する, ゼミ室の図書で足りる, 楽譜がない等)

本学の図書館をあまり利用しない理由(学部学生)



全校では、①「その他」(28.6%)、②「専門書, 一般書等が少ない」(20.7%)、③「図書館の環境, 雰囲気が好きではない」(19.5%)の順であった。

キャンパス別では、函館校で「図書館の環境, 雰囲気が好きではない」(42.5%)と全学(19.5%)の割合よりかなり高い結果であった。

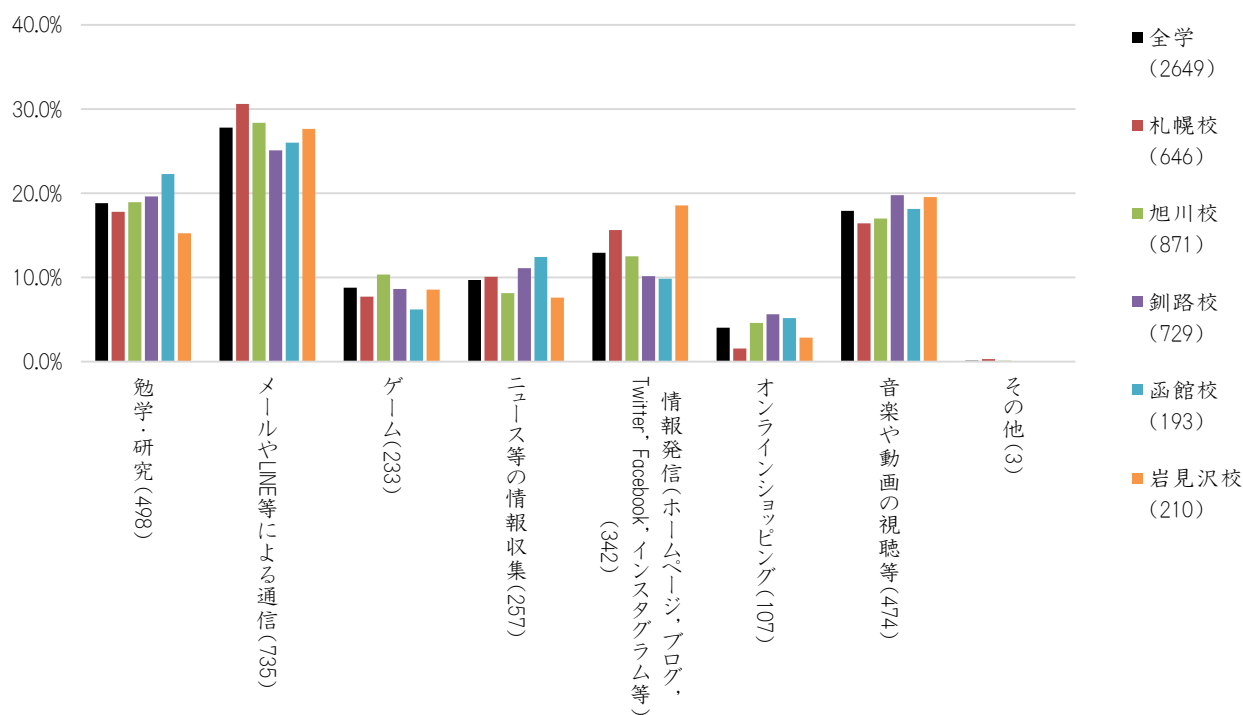
問19. あなたは、インターネットをどのようなことに利用していますか。

[主なものを3つ以内で選んでください。]

区分	全学 (2649)	札幌校 (646)	旭川校 (871)	釧路校 (729)	函館校 (193)	岩見沢校 (210)
勉学・研究(498)	18.8%	17.8%	18.9%	19.6%	22.3%	15.2%
メールやLINE等による通信(735)	27.8%	30.6%	28.4%	25.1%	26.0%	27.6%
ゲーム(233)	8.8%	7.7%	10.3%	8.6%	6.2%	8.6%
ニュース等の情報収集(257)	9.7%	10.1%	8.2%	11.1%	12.4%	7.6%
情報発信(ホームページ、ブログ、Twitter、Facebook、Instagram等)(342)	12.9%	15.6%	12.5%	10.2%	9.8%	18.6%
オンラインショッピング(107)	4.0%	1.5%	4.6%	5.6%	5.2%	2.9%
音楽や動画の視聴等(474)	17.9%	16.4%	17.0%	19.8%	18.1%	19.5%
その他(3)	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

※その他(ネットサーフィン、レポート作成・提出、音楽クリエイト)

インターネットの利用用途(学部学生)



全学では、①「メールや LINE 等による通信」(27.8%)、②「勉学・研究」(18.8%)、③「音楽や動画の視聴等」(17.9%)、④「情報発信(ホームページ、ブログ、twitter、Facebook、Instagram等)」(12.9%)の順であった。

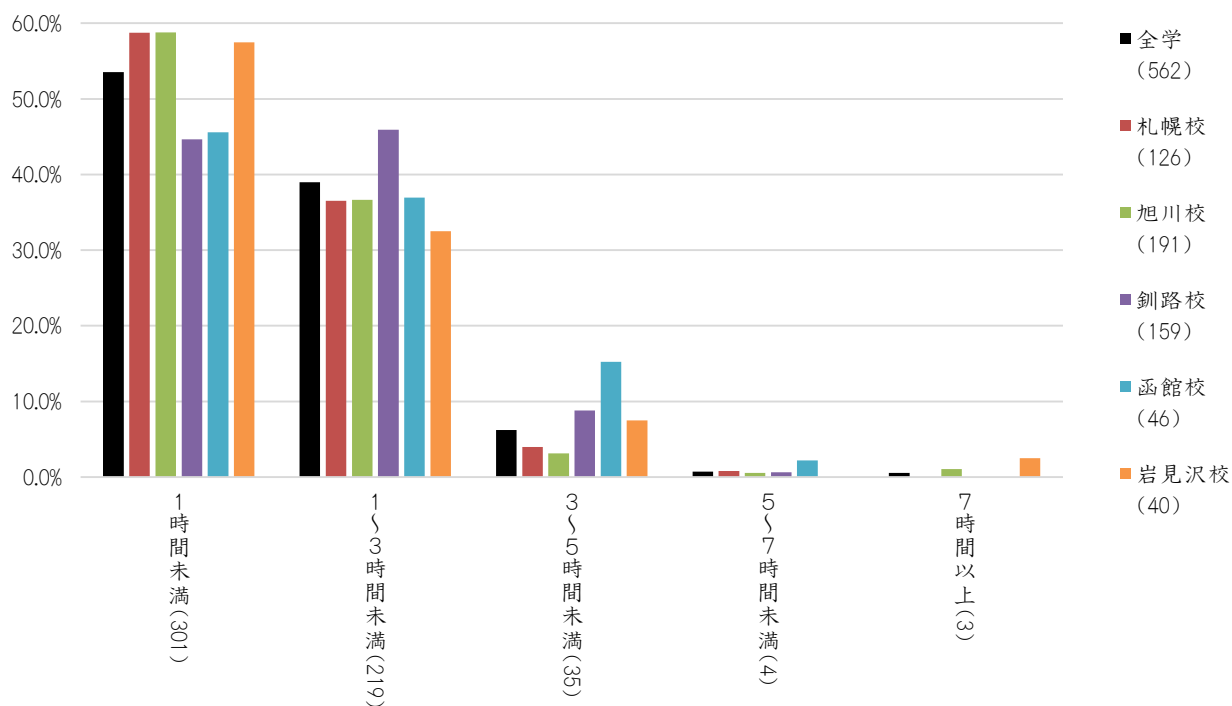
キャンパス別でも、全学の傾向と大きな違いは見られなかった。

問20. あなたが、勉強・研究でインターネットを利用する時間は1日平均どれくらいですか。

※問19で、「01. 勉学・研究」を選択した人のみ回答してください。

区分	全学 (562)	札幌校 (126)	旭川校 (191)	釧路校 (159)	函館校 (46)	岩見沢校 (40)
1時間未満(301)	53.6%	58.7%	58.8%	44.7%	45.6%	57.5%
1～3時間未満(219)	39.0%	36.5%	36.6%	45.9%	37.0%	32.5%
3～5時間未満(35)	6.2%	4.0%	3.1%	8.8%	15.2%	7.5%
5～7時間未満(4)	0.7%	0.8%	0.5%	0.6%	2.2%	0.0%
7時間以上(3)	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.5%

勉強・研究でインターネットを利用する時間数(1日平均)(学部学生)



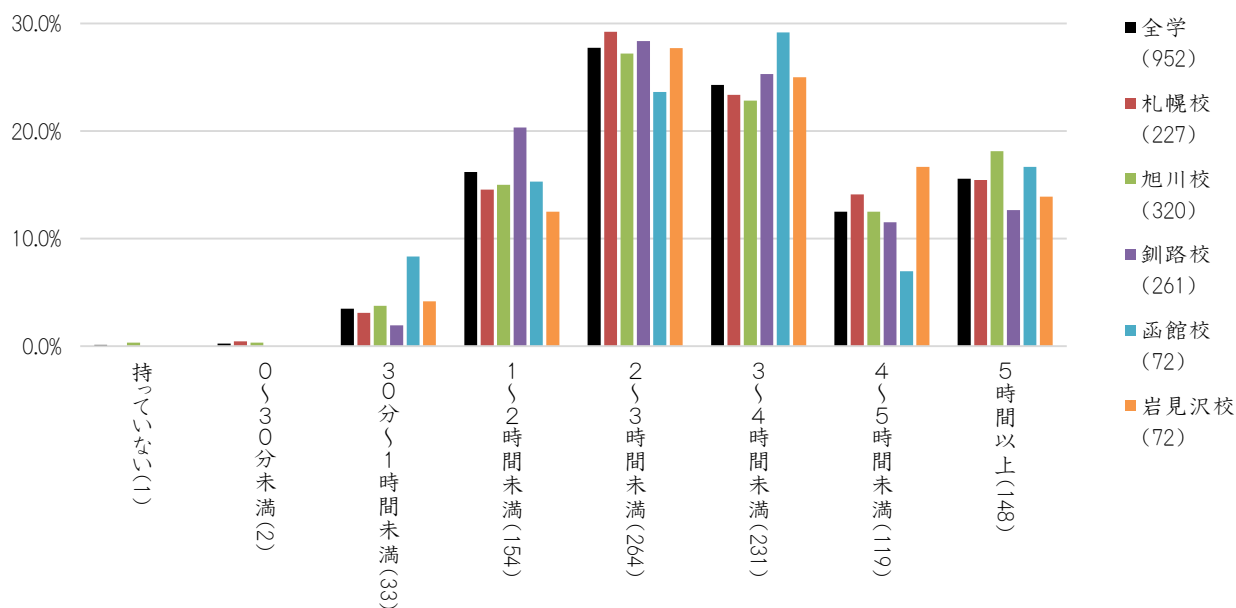
全学では、①「1時間未満」(53.6%)、②「1～3時間未満」(39.0%)、③「3～5時間未満」(6.2%)の順であり、3時間未満と回答した者が全体の約93%を占める結果となった。

キャンパス別では、函館校で「3～5時間未満」(15.2%)が全学(6.2%)の割合よりも比較的高かった。

問21. あなたは、1日平均どれくらい携帯電話又はスマートフォンを利用していますか。

区 分	全学 (952)	札幌校 (227)	旭川校 (320)	釧路校 (261)	函館校 (72)	岩見沢校 (72)
持っていない(1)	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
0～30分未満(2)	0.2%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
30分～1時間未満(33)	3.5%	3.1%	3.8%	1.9%	8.3%	4.2%
1～2時間未満(154)	16.2%	14.5%	15.0%	20.3%	15.3%	12.5%
2～3時間未満(264)	27.7%	29.2%	27.2%	28.4%	23.6%	27.7%
3～4時間未満(231)	24.3%	23.3%	22.8%	25.3%	29.2%	25.0%
4～5時間未満(119)	12.5%	14.1%	12.5%	11.5%	6.9%	16.7%
5時間以上(148)	15.5%	15.4%	18.1%	12.6%	16.7%	13.9%

携帯電話・スマートフォン利用時間数(1日平均)(学部学生)



全学では、①「2～3時間未満」(27.7%)、②「3～4時間未満」(24.3%)、③「1～2時間未満」(16.2%)、④「5時間以上」(15.5%)、⑥「4～5時間以上」(12.5%)の順であった。2時間未満の者が全体の約 20%、2～4時間未満の者が約 52%、4時間以上の者は約 30%となっている。

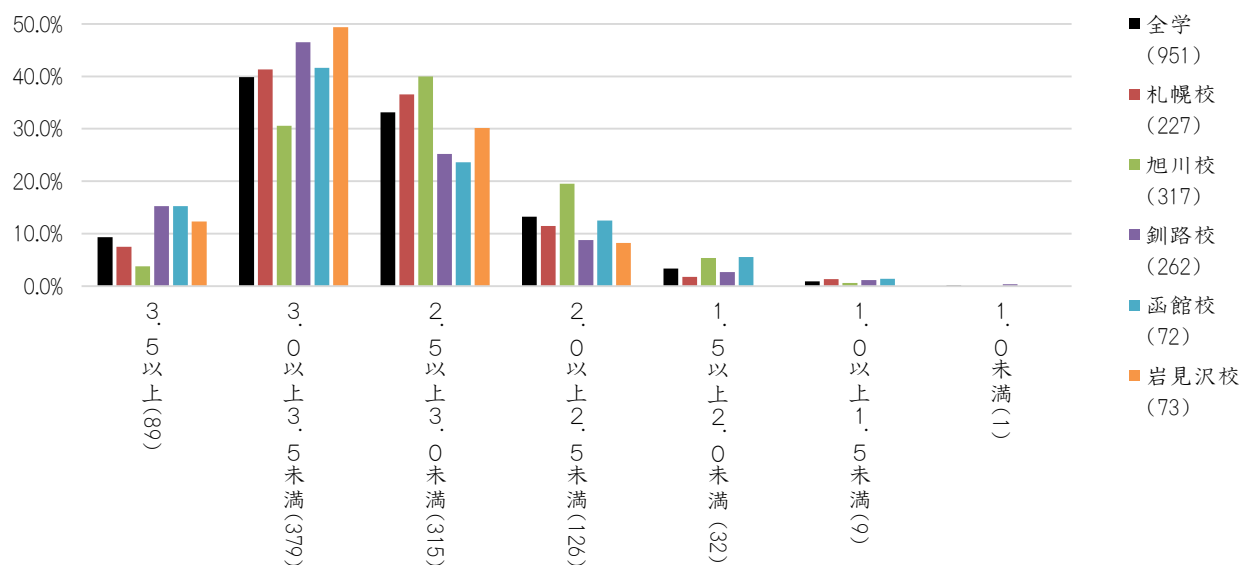
キャンパス別では、「30分～1時間未満」の割合で全学(3.5%)と比べて、函館校(8.3%)が最も高く、釧路校(1.9%)が最も低かった。

V 修学について

問22. あなたのこれまでの成績(通算 GPA)について, 教えてください。

区分	全学 (951)	札幌校 (227)	旭川校 (317)	釧路校 (262)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
3.5以上(89)	9.4%	7.5%	3.8%	15.3%	15.3%	12.3%
3.0以上3.5未満(379)	39.9%	41.3%	30.6%	46.5%	41.6%	49.4%
2.5以上3.0未満(315)	33.1%	36.6%	40.0%	25.2%	23.6%	30.1%
2.0以上2.5未満(126)	13.2%	11.5%	19.6%	8.8%	12.5%	8.2%
1.5以上2.0未満(32)	3.4%	1.8%	5.4%	2.7%	5.6%	0.0%
1.0以上1.5未満(9)	0.9%	1.3%	0.6%	1.1%	1.4%	0.0%
1.0未満(1)	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%

成績(通算GPA)(学部学生)



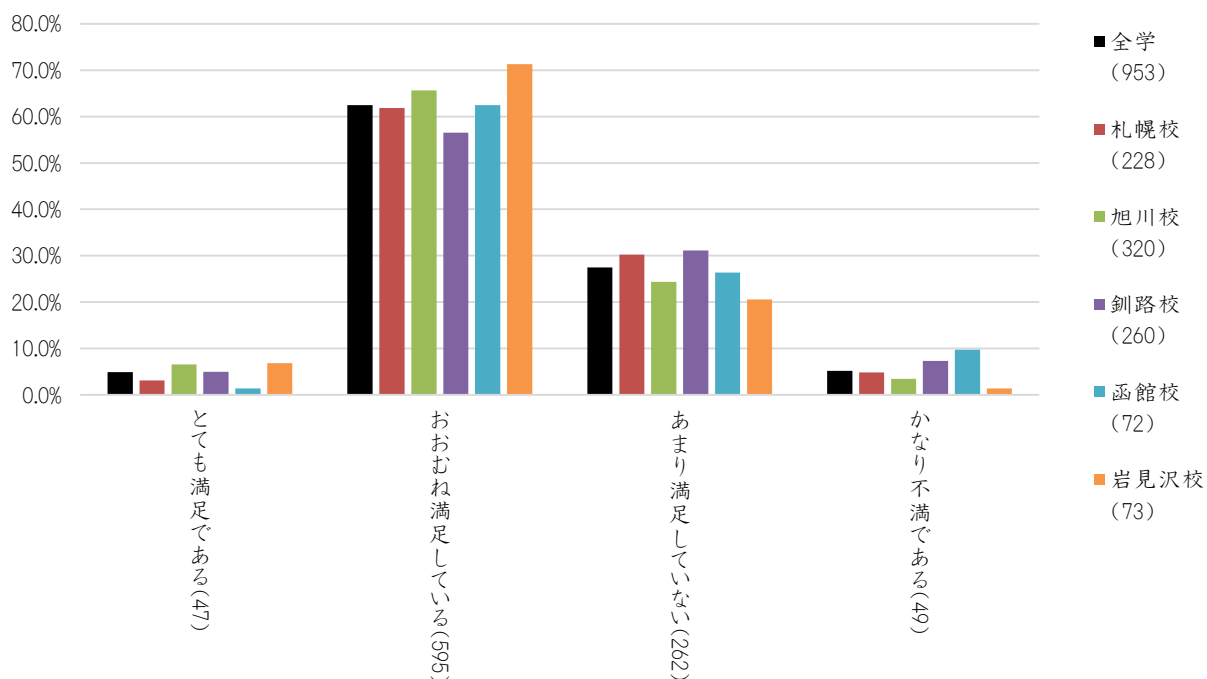
全学では、①「3.0 以上 3.5 未満」(39.9%)、②「2.5 以上 3.0 未満」(33.1%)、③「2.0 以上 2.5 未満」(13.2%)の順であった。

キャンパス別では、「3.5 以上」の割合が全学(9.4%)よりも低いのは、札幌校(7.5%)、旭川校(3.8%)であった。また、全学では「3.0 以上 3.5 未満」の割合が最も高いが、「2.5 以上 3.0 未満」の割合が最も高かったのが旭川校(40.0%)であった。

問23. あなたは、本学の教育・授業について、満足していますか。

区分	全学 (953)	札幌校 (228)	旭川校 (320)	釧路校 (260)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
とても満足である(47)	4.9%	3.1%	6.6%	5.0%	1.4%	6.8%
おおむね満足している(595)	62.5%	61.8%	65.6%	56.5%	62.5%	71.3%
あまり満足していない(262)	27.5%	30.3%	24.4%	31.2%	26.4%	20.5%
かなり不満である(49)	5.1%	4.8%	3.4%	7.3%	9.7%	1.4%

本学の教育・授業への満足度(学部学生)

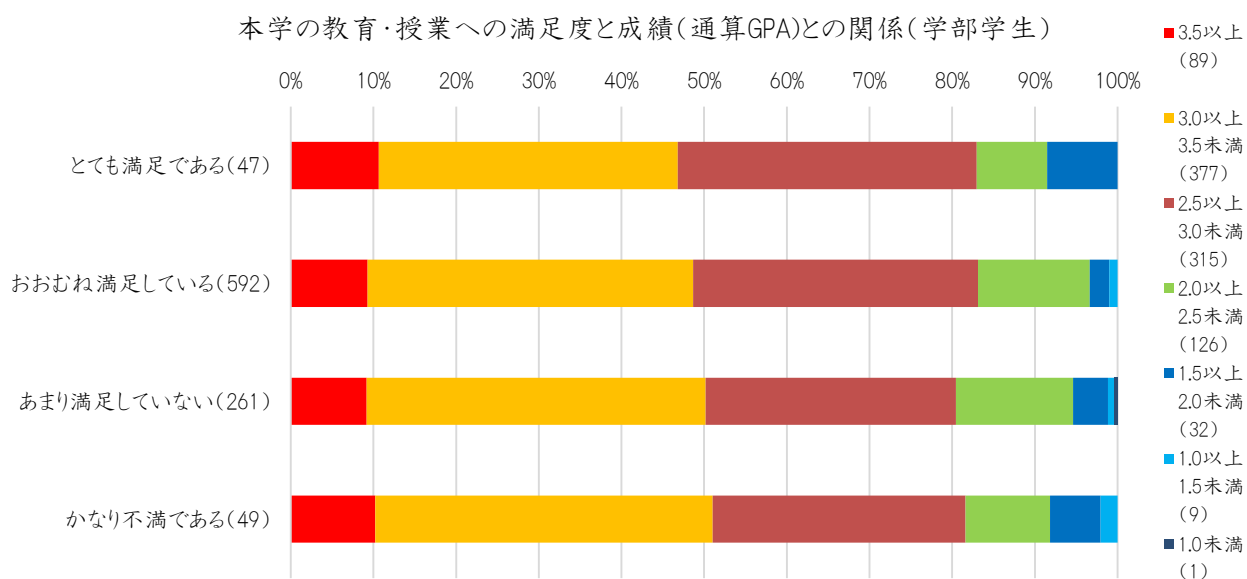


全学では、①「おおむね満足している」(62.5%)、②「あまり満足していない」(27.5%)、③「かなり不満がある」(5.1%)、④「とても満足である」(4.9%)の順であった。満足(「とても満足」+「おおむね満足」と回答した者が約 67%、不満(「あまり満足していない」+「かなり不満」と回答した者が約 33%であった。

キャンパス別では、「とても満足」の割合が全学(4.9%)と比べて、札幌校(3.1%)、函館校(1.4%)で低かった。また、「かなり不満である」の割合が全学(5.1%)と比べて、函館校(9.7%)、釧路校(7.3%)で高かった。

■ 本学の教育・授業への満足度と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (377)	2.5以上 3.0未満 (315)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
とても満足である(47)	10.6%	36.2%	36.2%	8.5%	8.5%	0.0%	0.0%
おおむね満足している(592)	9.3%	39.4%	34.5%	13.5%	2.4%	1.0%	0.0%
あまり満足していない(261)	9.2%	41.0%	30.3%	14.2%	4.2%	0.8%	0.4%
かなり不満である(49)	10.2%	40.8%	30.6%	10.2%	6.1%	2.0%	0.0%

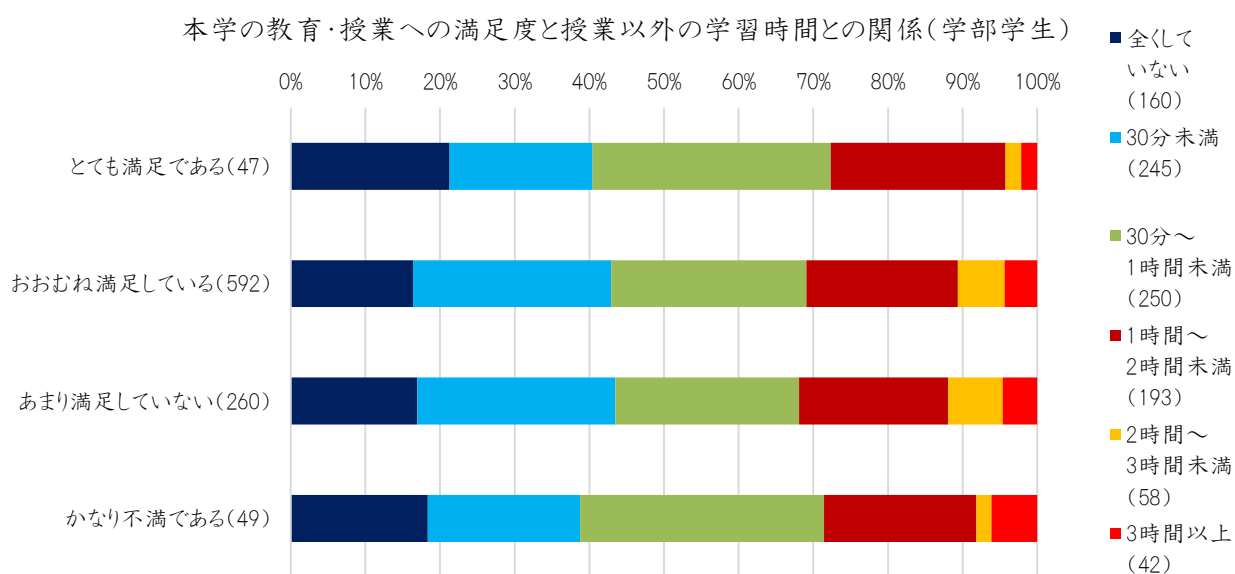


本学の教育・授業への満足度と成績(通算 GPA)の関係について見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、満足度の各区分で約 81%～約 83%であり、大きな傾向の違いは見られない。

通算 GPA2.0 以上の者の割合では、「おおむね満足している」が約 97%で最も高く、順に「あまり満足していない」が約 95%、「かなり不満である」が約 92%、「とても満足している」が約 92%となっており、満足度の高低と成績(通算 GPA)との相関は見られなかった。

■ 本学の教育・授業への満足度と授業以外の学習時間(問 27)の関係について

区 分	全くて いない (160)	30分未満 (245)	30分～ 1時間未満 (250)	1時間～ 2時間未満 (193)	2時間～ 3時間未満 (58)	3時間以上 (42)
とても満足である(47)	21.3%	19.1%	31.9%	23.4%	2.1%	2.1%
おおむね満足している(592)	16.4%	26.5%	26.2%	20.3%	6.3%	4.4%
あまり満足していない(260)	16.9%	26.5%	24.6%	20.0%	7.3%	4.6%
かなり不満である(49)	18.4%	20.4%	32.7%	20.4%	2.0%	6.1%



本学の教育・授業への満足度と授業以外の学習時間の関係について見たところ、学習1時間未満の者の割合は、満足度の各区分で約68%～約72%であり、大きな傾向の違いはなかった。学習時間2時間未満の者の割合は、「とても満足である」が約96%、「おおむね満足している」が約89%、「あまり満足していない」が約88%、「かなり不満である」が約92%であり、満足度の高低と学習時間との相関は見られなかった。

問24. あなたが、満足できない理由について、教えてください。

※問23で、「03. あまり満足していない」「04. かなり不満である」を選択した人のみ回答してください。

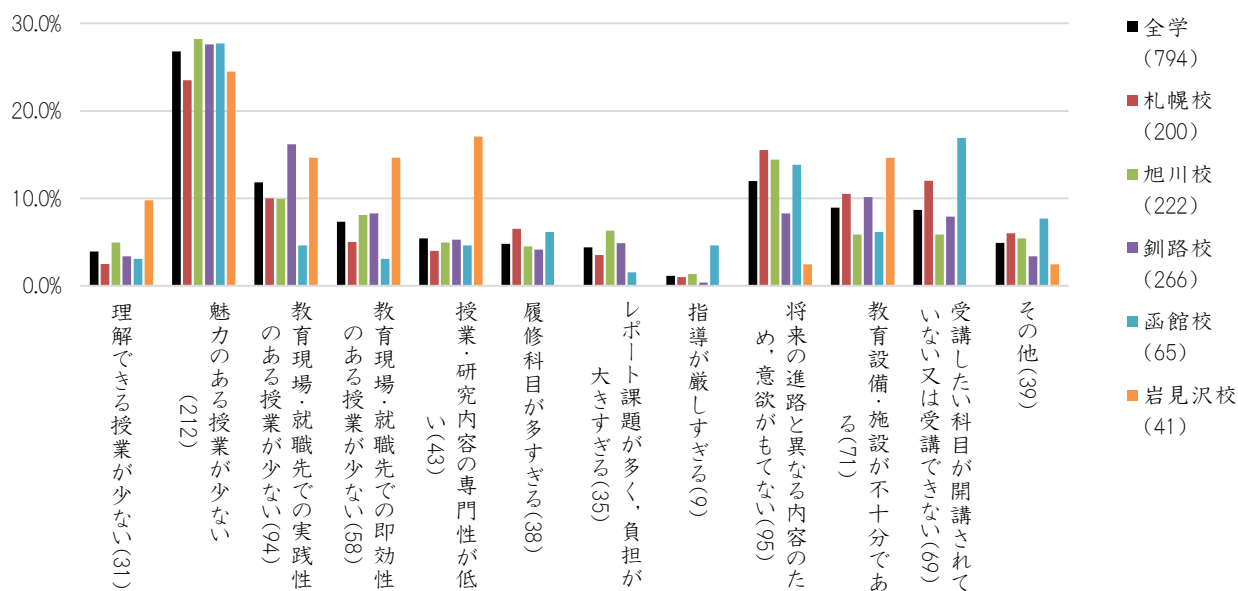
〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

区 分	全学 (794)	札幌校 (200)	旭川校 (222)	釧路校 (266)	函館校 (65)	岩見沢校 (41)
理解できる授業が少ない(31)	3.9%	2.5%	5.0%	3.4%	3.1%	9.8%
魅力のある授業が少ない(212)	26.8%	23.5%	28.2%	27.6%	27.7%	24.5%
教育現場・就職先での実践性のある授業が少ない(94)	11.8%	10.0%	9.9%	16.2%	4.6%	14.6%
教育現場・就職先での即効性のある授業が少ない(58)	7.3%	5.0%	8.1%	8.3%	3.1%	14.6%
授業・研究内容の専門性が低い(43)	5.4%	4.0%	5.0%	5.3%	4.6%	17.1%
履修科目が多すぎる(38)	4.8%	6.5%	4.5%	4.1%	6.2%	0.0%
レポート課題が多く、負担が大きすぎる(35)	4.4%	3.5%	6.3%	4.9%	1.5%	0.0%
指導が厳しすぎる(9)	1.1%	1.0%	1.4%	0.4%	4.6%	0.0%
将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない(95)	12.0%	15.5%	14.4%	8.3%	13.8%	2.4%
教育設備・施設が不十分である(71)	8.9%	10.5%	5.9%	10.2%	6.2%	14.6%
受講したい科目が開講されていない又は受講できない(69)	8.7%	12.0%	5.9%	7.9%	16.9%	0.0%
その他(39)	4.9%	6.0%	5.4%	3.4%	7.7%	2.4%

※その他

(講義・教員により単位取得条件が異なる、分かりにくい、時間を守らない、定員オーバーになりやすい、必修科目が多く負担、授業の質の差、民間・公務員対策が少ない、CBTの取り組み方、GPA制度による単位不足)

本学の教育・授業に満足できない理由(学部学生)



全学では、①「魅力のある授業が少ない」(26.8%)、②「将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない」(12.0%)、③「教育現場・就職先での実践性のある授業が少ない」(11.8%)の順であった。

キャンパス別では、岩見沢校で「将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない」(2.4%)は全学(12.0%)の割合よりも低いが、「授業・研究内容の専門性が低い」(17.1%)は全学(5.4%)の割合よりも高い。「受講したい科目が開講されていない又は受講できない」は、函館校(16.9%)、札幌校(12.0%)で全学(8.7%)の割合よりも高かった。

問 25. あなたは、どのような大学の教育・授業を期待していますか。

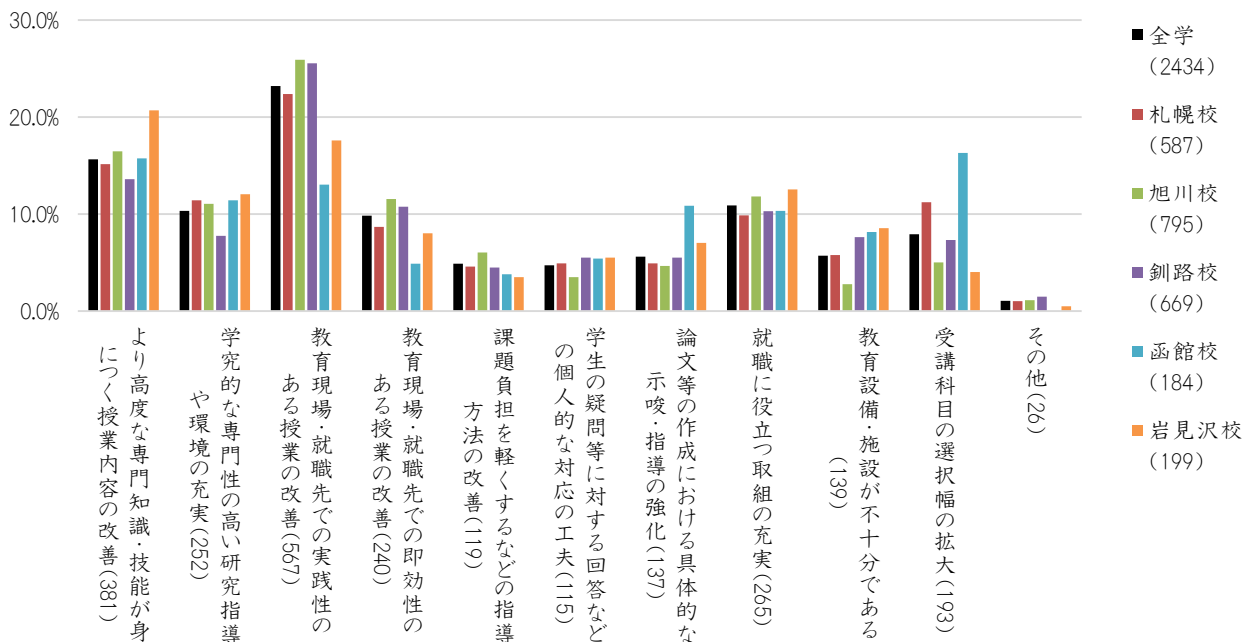
〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

区分	全学 (2434)	札幌校 (587)	旭川校 (795)	釧路校 (669)	函館校 (184)	岩見沢校 (199)
より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善(381)	15.7%	15.2%	16.5%	13.6%	15.8%	20.7%
学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実(252)	10.4%	11.4%	11.1%	7.8%	11.4%	12.1%
教育現場・就職先での実践性のある授業の改善(567)	23.2%	22.4%	25.9%	25.6%	13.0%	17.6%
教育現場・就職先での即効性のある授業の改善(240)	9.9%	8.7%	11.6%	10.8%	4.9%	8.0%
課題負担を軽くするなどの指導方法の改善(119)	4.9%	4.6%	6.0%	4.5%	3.8%	3.5%
学生の疑問等に対する回答などの個人的な対応の工夫(115)	4.7%	4.9%	3.5%	5.5%	5.4%	5.5%
論文等の作成における具体的な示唆・指導の強化(137)	5.6%	4.9%	4.7%	5.5%	10.9%	7.0%
就職に役立つ取組の充実(265)	10.9%	9.9%	11.8%	10.3%	10.3%	12.6%
教育設備・施設が不十分である(139)	5.7%	5.8%	2.8%	7.6%	8.2%	8.5%
受講科目の選択幅の拡大(193)	7.9%	11.2%	5.0%	7.3%	16.3%	4.0%
その他(26)	1.1%	1.0%	1.1%	1.5%	0.0%	0.5%

※その他

(履修制度の改善、現場を多く見たい、プレゼンテーション技法、教職以外のキャリア教育、授業時間の遵守、英語力、特別講師による授業、課題意識、世界史の強化)

大学の教育・授業に期待するもの(学部学生)



全学では、①「教育現場・就職先での実践性のある授業の改善」(23.2%)、②「より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善」(15.7%)、③「就職に役立つ取組の充実」(10.9%)、④「学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実」(10.4%)の順であった。

キャンパス別では、「受講科目の選択幅の拡大」の割合が全学(7.9%)に比べて、函館校(16.2%)、札幌校(11.2%)で高かった。

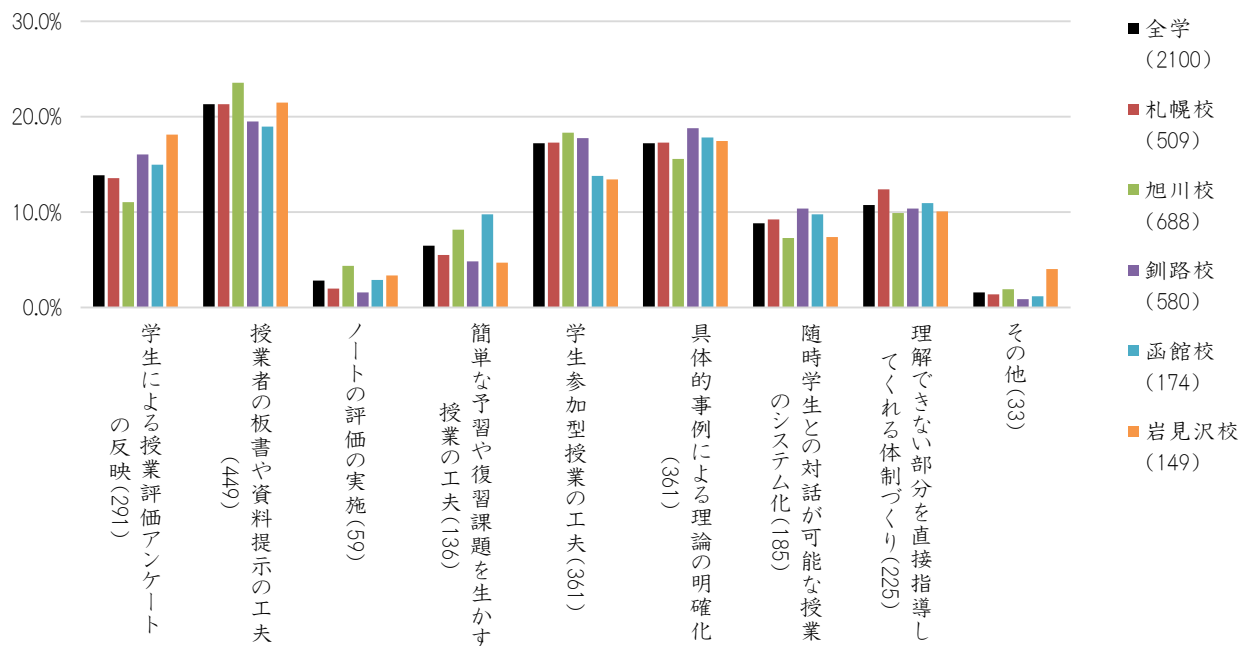
問 26. 授業内容の理解度や参加意欲を高める授業とするために、あなたはどのような手立てが必要だと考えますか。〔主なものを3つ以内で選択してください。〕

区 分	全学 (2100)	札幌校 (509)	旭川校 (688)	釧路校 (580)	函館校 (174)	岩見沢校 (149)
学生による授業評価アンケートの反映(291)	13.9%	13.6%	11.0%	16.0%	14.9%	18.1%
授業者の板書や資料提示の工夫(449)	21.3%	21.3%	23.5%	19.5%	19.0%	21.5%
ノートの評価の実施(59)	2.8%	2.0%	4.4%	1.6%	2.9%	3.4%
簡単な予習や復習課題を生かす授業の工夫(136)	6.5%	5.5%	8.1%	4.8%	9.8%	4.7%
学生参加型授業の工夫(361)	17.2%	17.3%	18.3%	17.8%	13.8%	13.4%
具体的事例による理論の明確化(361)	17.2%	17.3%	15.6%	18.8%	17.8%	17.4%
随時学生との対話が可能な授業のシステム化(185)	8.8%	9.2%	7.3%	10.3%	9.8%	7.4%
理解できない部分を直接指導してくれる体制づくり(225)	10.7%	12.4%	9.9%	10.3%	10.9%	10.1%
その他(33)	1.6%	1.4%	1.9%	0.9%	1.1%	4.0%

※その他

(講師と学生の距離を縮める、教員の交代、専門性の向上、課題設定の個別化、授業の少人数化、時間を守る、必修科目の減少、完全配信型講義、実技授業)

授業の理解度や参加意欲を高めるために必要な手立て(学部学生)



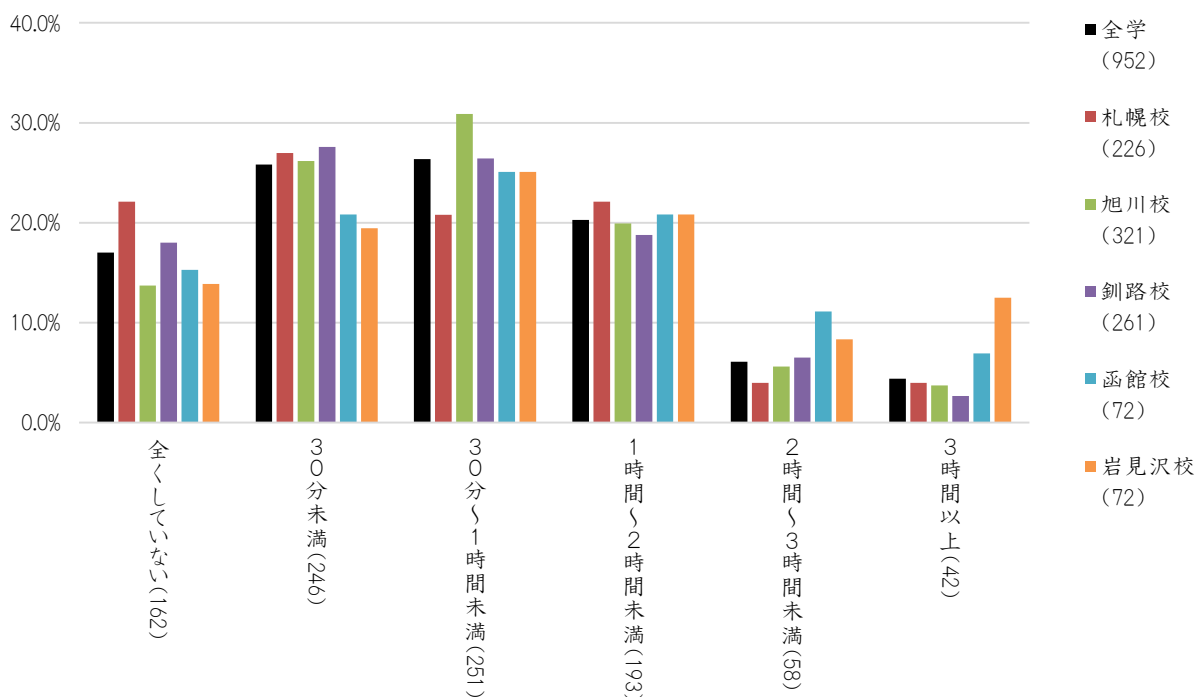
全学では、①「授業者の板書や資料提示の工夫」(21.3%)、②「学生参加型授業の工夫」(17.2%)と「具体的事例による理論の明確化」、④「学生による授業評価アンケートの反映」(13.9%)、⑤「理解できない部分を直接指導してくれる体制づくり」(10.7%)の順であった。

キャンパス別でも、全学の傾向と比べて大きな違いは見られなかった。

問 27. あなたは、授業時間以外に、予習・復習、課題などに1日平均どのくらいの時間を
使っていますか。

区 分	全学 (952)	札幌校 (226)	旭川校 (321)	釧路校 (261)	函館校 (72)	岩見沢校 (72)
全くしていない(162)	17.0%	22.1%	13.7%	18.0%	15.3%	13.9%
30分未満(246)	25.8%	27.0%	26.2%	27.6%	20.8%	19.4%
30分～1時間未満(251)	26.4%	20.8%	30.9%	26.4%	25.1%	25.1%
1時間～2時間未満(193)	20.3%	22.1%	19.9%	18.8%	20.8%	20.8%
2時間～3時間未満(58)	6.1%	4.0%	5.6%	6.5%	11.1%	8.3%
3時間以上(42)	4.4%	4.0%	3.7%	2.7%	6.9%	12.5%

授業時間以外の学習時間数(1日平均)(学部学生)



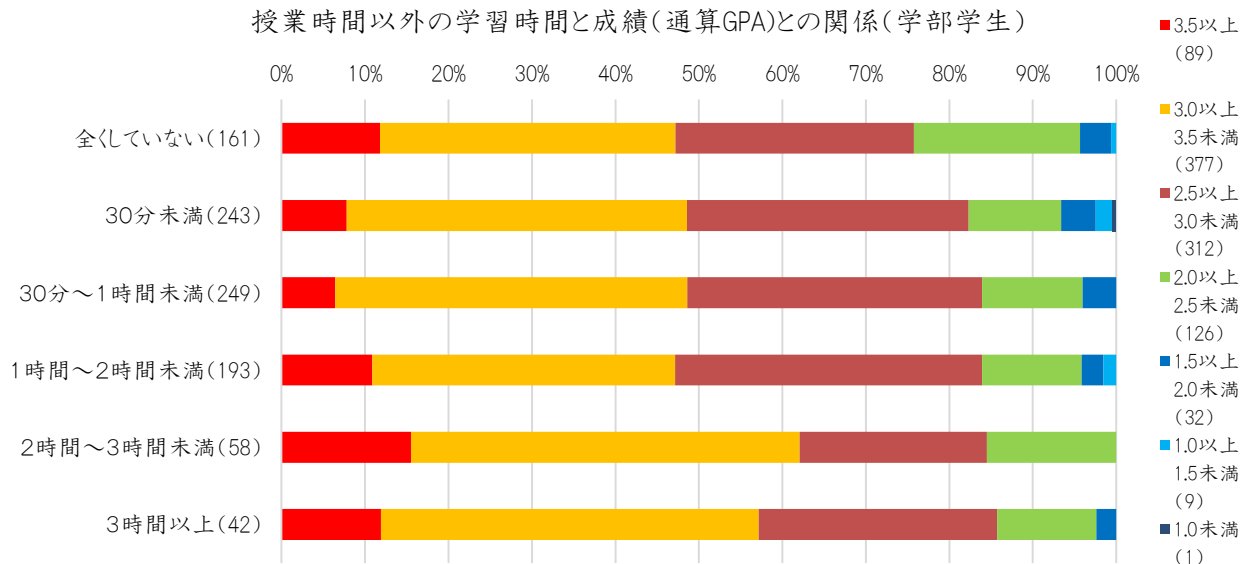
全学では、①「30分～1時間未満」(26.4%)、②「30分未満」(25.8%)、③「1時間～2時間未満」(20.3%)の順であり、これらの合計で全体の約73%を占めている。

キャンパス別では、全学では「30分～1時間未満」の割合が最も高いが、「30分未満」の割合が最も高いのが、釧路校(27.6%)、札幌校(27.0%)であった。2時間以上は、全学では約11%だが、岩見沢校では約21%、函館校では約18%となっている。

■授業時間以外の学習時間と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (377)	2.5以上 3.0未満 (312)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
全くしていない(161)	11.8%	35.4%	28.6%	19.9%	3.7%	0.6%	0.0%
30分未満(243)	7.8%	40.7%	33.7%	11.1%	4.1%	2.1%	0.4%
30分～1時間未満(249)	6.4%	42.2%	35.3%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%
1時間～2時間未満(193)	10.9%	36.3%	36.8%	11.9%	2.6%	1.6%	0.0%
2時間～3時間未満(58)	15.5%	46.6%	22.4%	15.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3時間以上(42)	11.9%	45.2%	28.6%	11.9%	2.4%	0.0%	0.0%

授業時間以外の学習時間と成績(通算GPA)との関係(学部学生)



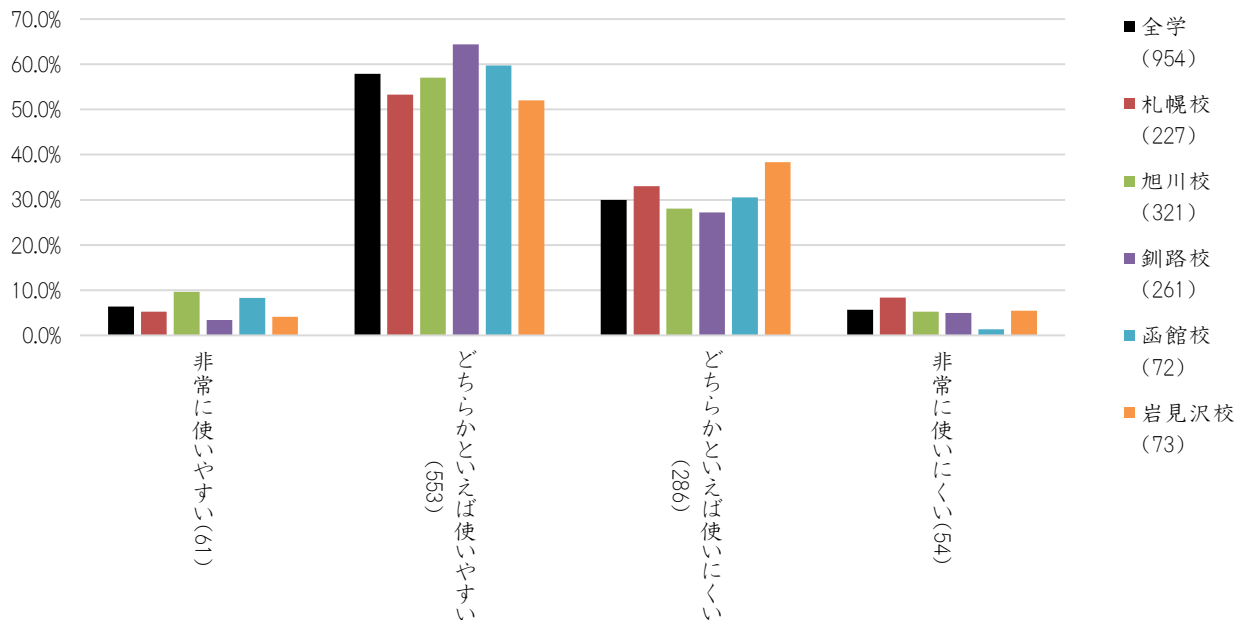
授業時間以外の学習時間と成績(通算 GPA)の関係について見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、学習時間「30分未満」から「3時間以上」までは、約 82%～約 86%であり、大きな傾向の違いはないが、授業以外の学習を「全くしていない」者は約 76%であり、授業以外の学習をしている者よりも低い傾向が見られる。

通算 GPA3.0 以上の者では、学習を「全くしていない者」から学習時間「1時間～2時間」までの者の割合は、約 47%～約 49%であるが、「2～3時間未満」で約 62%、「3時間以上」で約 67%であり、学習時間2時間未満の者よりも、学習時間2時間以上の者の方が成績(通算 GPA)が高い傾向が見られる。

問 28. 履修登録やシラバス閲覧等で使用している大学教育情報システムは使いやすいですか。

区分	全学 (954)	札幌校 (227)	旭川校 (321)	釧路校 (261)	函館校 (72)	岩見沢校 (73)
非常に使いやすい(61)	6.4%	5.3%	9.7%	3.4%	8.3%	4.1%
どちらかといえば使いやすい(553)	57.9%	53.3%	57.0%	64.4%	59.7%	52.0%
どちらかといえば使いにくい(286)	30.0%	33.0%	28.0%	27.2%	30.6%	38.4%
非常に使いにくい(54)	5.7%	8.4%	5.3%	5.0%	1.4%	5.5%

大学教育情報システムの利便性(学部学生)



全学では、①「どちらかといえば使いやすい」(57.9%)、②「どちらかといえば使いにくい」(30.0%)、③「非常に使いやすい」(6.4%)、④「非常に使いにくい」(5.7%)の順であった。「使いやすい(「非常に」+「どちらかといえば」)」は全体の約 64%、「使いにくい(「どちらか」+「非常に」)」は全体の約 36%であった。

キャンパス別でも、全学の傾向と大きな違いはなかったが、「非常に使いにくい」の割合では、全学(5.7%)に比べて、札幌校(8.4%)と高く、函館校(1.4%)と低かった。

問29. システムのうち、どの機能が使いにくかったですか。

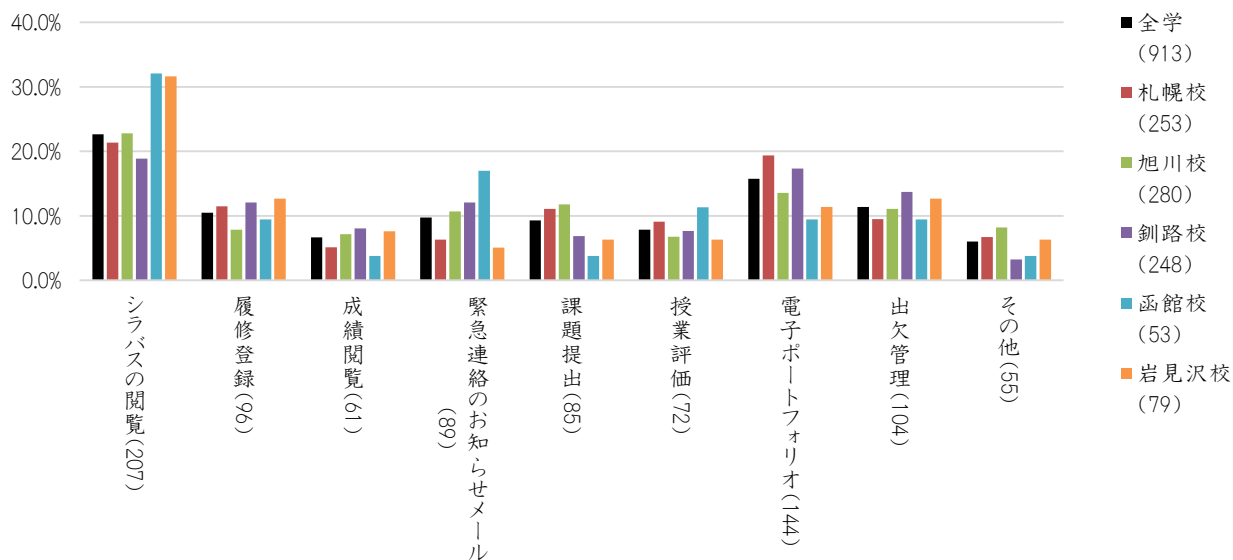
※問 28 で、「03. どちらかといえば使いにくい」「04. 非常に使いにくい」を選択した人のみ回答してください
 [該当するものを全て選択してください。]

区 分	全学 (913)	札幌校 (253)	旭川校 (280)	釧路校 (248)	函館校 (53)	岩見沢校 (79)
シラバスの閲覧(207)	22.7%	21.3%	22.8%	18.9%	32.1%	31.6%
履修登録(96)	10.5%	11.5%	7.9%	12.1%	9.4%	12.7%
成績閲覧(61)	6.7%	5.1%	7.1%	8.1%	3.8%	7.6%
緊急連絡のお知らせメール(89)	9.7%	6.3%	10.7%	12.1%	17.0%	5.1%
課題提出(85)	9.3%	11.1%	11.8%	6.9%	3.8%	6.3%
授業評価(72)	7.9%	9.1%	6.8%	7.7%	11.3%	6.3%
電子ポートフォリオ(144)	15.8%	19.4%	13.6%	17.3%	9.4%	11.4%
出欠管理(104)	11.4%	9.5%	11.1%	13.7%	9.4%	12.7%
その他(55)	6.0%	6.7%	8.2%	3.2%	3.8%	6.3%

※その他

(2 回 ID と PW を打ち込むこと、タイムアウト、ページが開かない、学外からのアクセス、ポップアップ表示が反応しない、スマートフォンで使いにくい、ログインに時間がかかる、デザイン(配置))

大学教育情報システムで使いにくい機能(学部学生)



全学では、①「シラバスの閲覧」(22.7%)、②「電子ポートフォリオ」(15.8%)、③「出欠管理」(11.4%)、④「履修登録」(10.5%)の順であった。

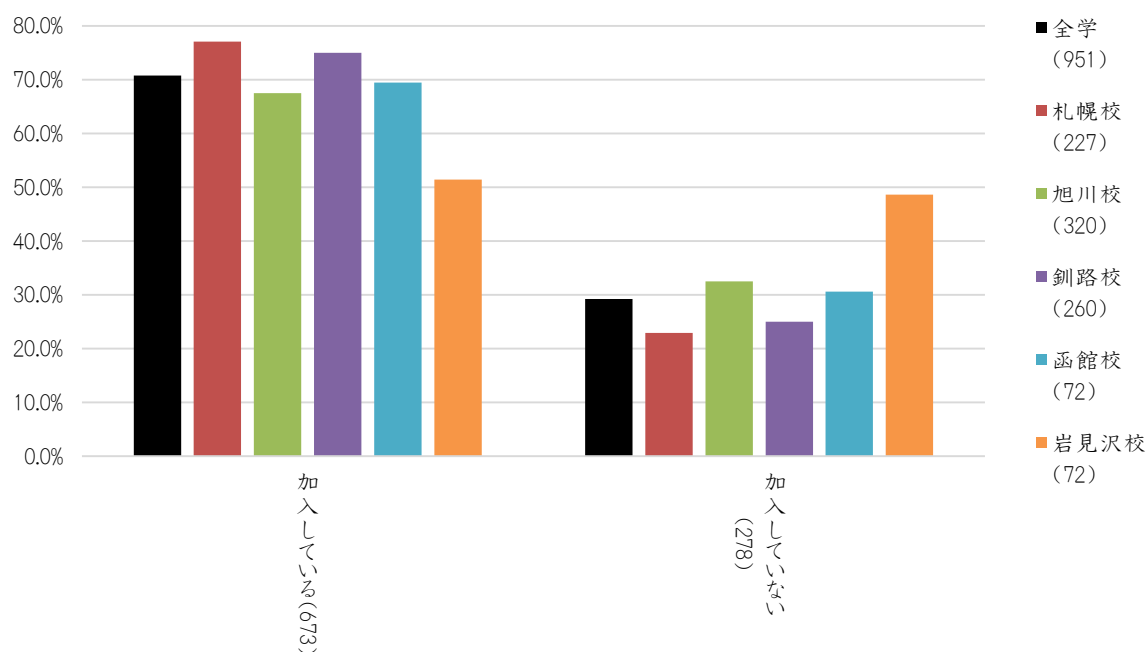
キャンパス別では、函館校で「緊急連絡のお知らせメール」(17.0%)、「授業評価」(11.3%)の割合が高かった。

VI 課外活動やボランティア活動について

問30. あなたは、本学の課外活動団体(部・同好会など)に加入していますか。

区分	全学 (951)	札幌校 (227)	旭川校 (320)	釧路校 (260)	函館校 (72)	岩見沢校 (72)
加入している(673)	70.8%	77.1%	67.5%	75.0%	69.4%	51.4%
加入していない(278)	29.2%	22.9%	32.5%	25.0%	30.6%	48.6%

課外活動団体への加入の有無(学部学生)

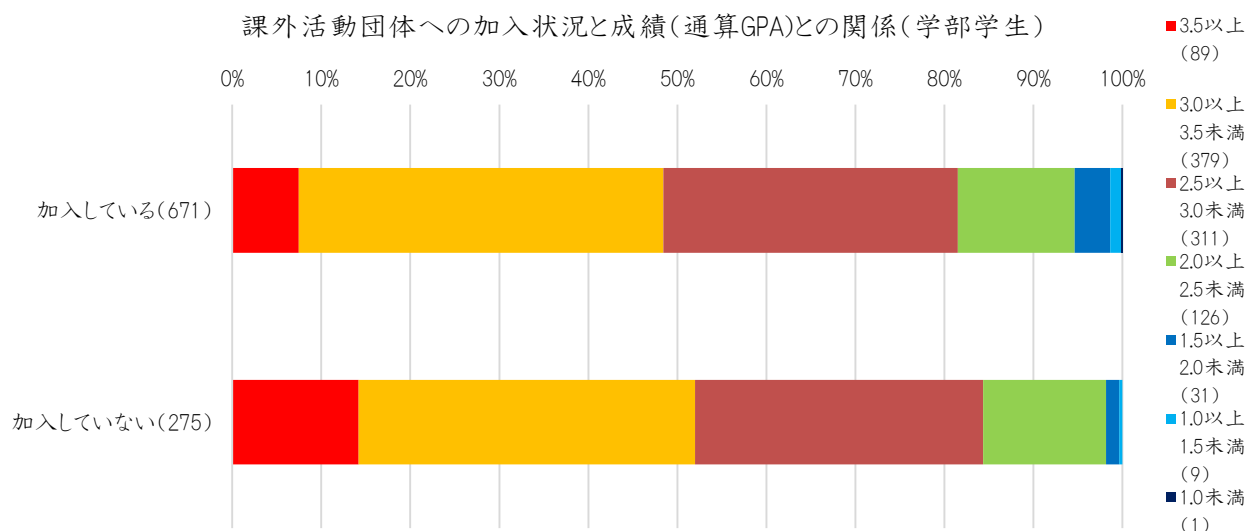


全学では、①「加入している」(70.8%)、②「加入していない」(29.3%)であった。

キャンパス別では、岩見沢校が「加入している」(51.4%)、「加入していない」(48.6%)が拮抗しており、全学の傾向と異なる結果であった。

■ 課外活動団体への加入状況と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (89)	3.0以上 3.5未満 (379)	2.5以上 3.0未満 (311)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (31)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
加入している(671)	7.5%	41.0%	33.1%	13.1%	4.0%	1.2%	0.1%
加入していない(275)	14.2%	37.8%	32.4%	13.8%	1.5%	0.4%	0.0%



課外活動の加入状況と成績(通算 GPA)の関係について見たところ、通算 GPA3.5 以上の者、通算 GPA3.0 以上の者、通算 GPA2.5 以上の者、通算 GPA2.0 以上の者のいずれを見ても、課外活動に「加入している」者より「加入していない」者の方が成績(通算 GPA)の高い者の割合が高い。

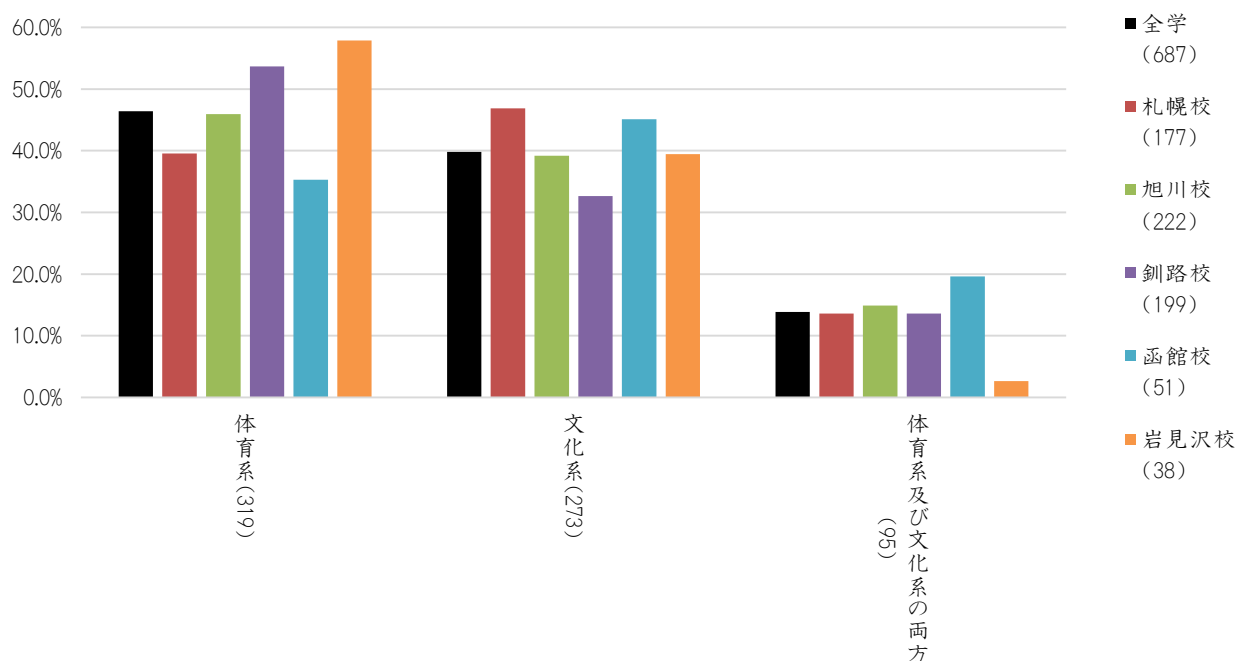
一方で、回答割合上位1位の通算 GPA「3.0 以上 3.5 未満」の者で見ると、課外活動団体に「加入している」が 41.0%、「加入していない」が 37.8%、回答割合上位2位の通算 GPA「2.5 以上 3.0 未満」の者で見ると、課外活動団体に「加入している」が 33.1%、「加入していない」が 32.4%であり、いずれの成績(通算 GPA)についても、課外活動団体に「加入している」者の方が、「加入していない」者よりも高い割合となっていた。

問31. 本学のどのような課外活動団体に参加していますか。

※問 30 で、「01. 加入している」を選択した人のみ回答してください。

区 分	全学 (687)	札幌校 (177)	旭川校 (222)	釧路校 (199)	函館校 (51)	岩見沢校 (38)
体育系(319)	46.4%	39.5%	45.9%	53.7%	35.3%	57.9%
文化系(273)	39.8%	46.9%	39.2%	32.7%	45.1%	39.5%
体育系及び文化系の両方(95)	13.8%	13.6%	14.9%	13.6%	19.6%	2.6%

課外活動団体への加入状況(種別)(学部学生)



全学では、①「体育系」(46.4%)、②「文化系」(39.8%)、③「体育系及び文化系の両方」(13.8%)の順であった。

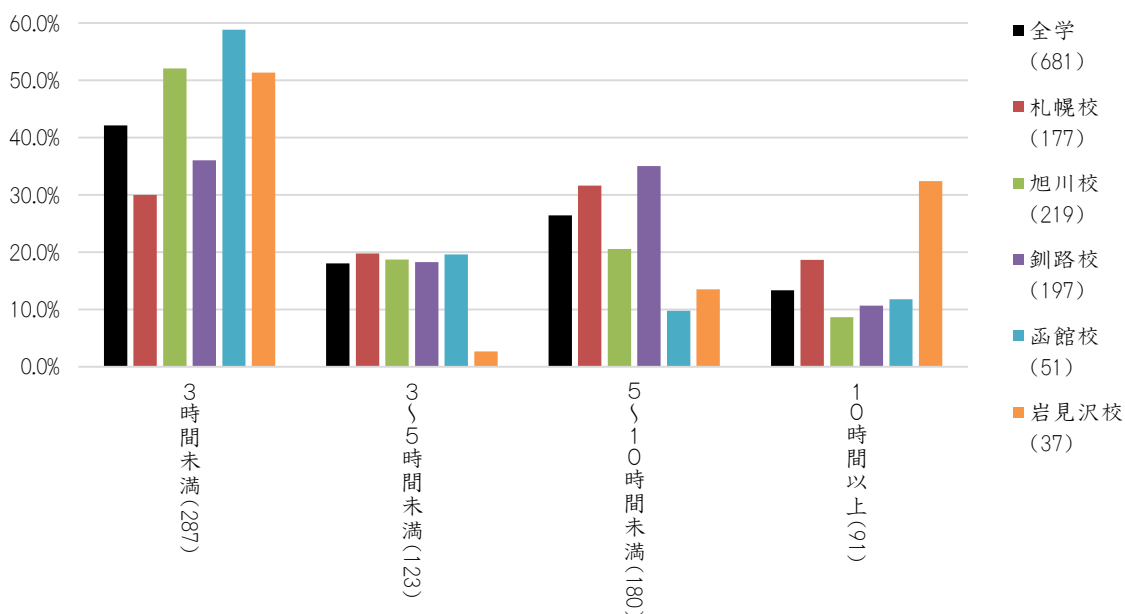
キャンパス別では、「体育系」よりも「文化系」の割合が高いのが、札幌校(46.9%)、函館校(45.1%)であった。岩見沢校では、「体育系及び文化系の両方」の割合(2.6%)は、全学(13.8%)に比べると低かった。

問32. 週平均何時間ぐらい課外活動を行っていますか。

※問 30 で、「01. 加入している」を選択した人のみ回答してください。

区 分	全学 (681)	札幌校 (177)	旭川校 (219)	釧路校 (197)	函館校 (51)	岩見沢校 (37)
3時間未満(287)	42.1%	30.0%	52.1%	36.0%	58.8%	51.4%
3～5時間未満(123)	18.1%	19.8%	18.7%	18.3%	19.6%	2.7%
5～10時間未満(180)	26.4%	31.6%	20.5%	35.0%	9.8%	13.5%
10時間以上(91)	13.4%	18.6%	8.7%	10.7%	11.8%	32.4%

課外活動時間数(週平均)(学部学生)



全学では、①「3時間未満」(42.1%)、②「5～10時間未満」(26.4%)、③「3～5時間未満」(18.1%)、④「10時間以上」(13.4%)の順であり、5時間未満が全体の約60%を占めている。

キャンパス別では、5時間未満の割合が全学で約60%だが、全学の割合よりも高かったのが、函館校で約78%、旭川校で約71%であり、全学の割合より低かったのが、岩見沢校で約54%、札幌校で約50%、釧路校で約49%となっている。

問33. 加入の動機, 理由は何ですか。

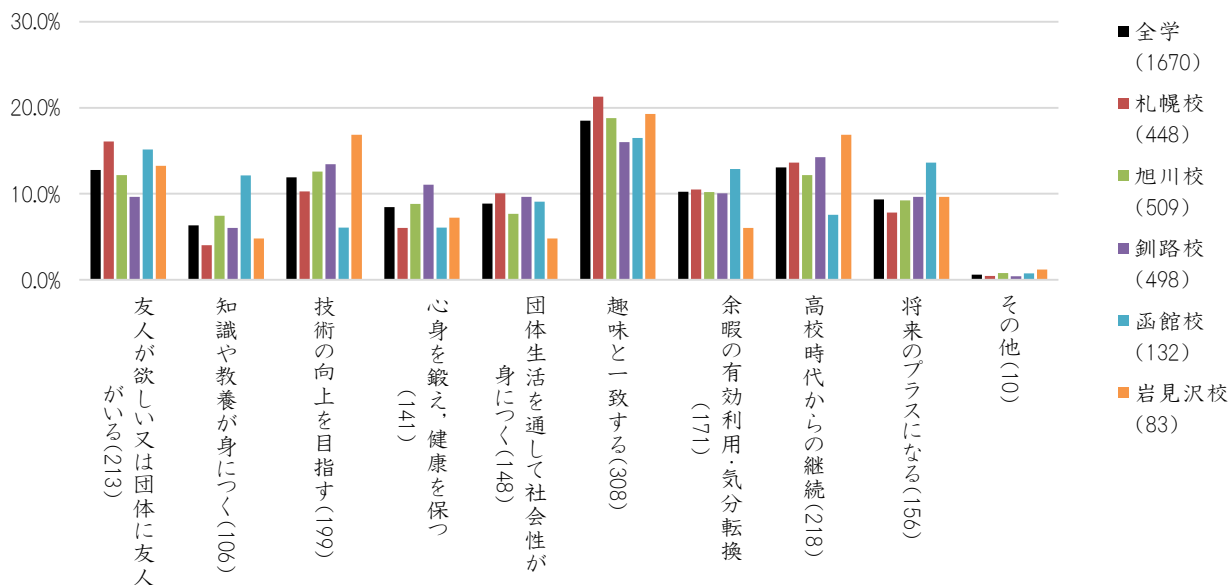
※問 30 で, 「01. 加入している」を選択した人のみ回答してください。

〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

区 分	全学 (1670)	札幌校 (448)	旭川校 (509)	釧路校 (498)	函館校 (132)	岩見沢校 (83)
友人が欲しい又は団体に友人がいる(213)	12.8%	16.1%	12.2%	9.6%	15.2%	13.3%
知識や教養が身につく(106)	6.3%	4.0%	7.5%	6.0%	12.1%	4.8%
技術の向上を目指す(199)	11.9%	10.3%	12.6%	13.5%	6.1%	16.9%
心身を鍛え, 健康を保つ(141)	8.4%	6.0%	8.8%	11.0%	6.1%	7.2%
団体生活を通して社会性が身につく(148)	8.9%	10.0%	7.7%	9.6%	9.1%	4.8%
趣味と一致する(308)	18.5%	21.3%	18.8%	16.0%	16.5%	19.3%
余暇の有効利用・気分転換(171)	10.2%	10.5%	10.2%	10.0%	12.9%	6.0%
高校時代からの継続(218)	13.1%	13.6%	12.2%	14.3%	7.6%	16.9%
将来のプラスになる(156)	9.3%	7.8%	9.2%	9.6%	13.6%	9.6%
その他(10)	0.6%	0.4%	0.8%	0.4%	0.8%	1.2%

※その他(マネージャーをやりたいかった、先輩に誘われるため、競技が好きだから)

課外活動団体への加入の動機・理由(学部学生)



全学では、①「趣味と一致する」(18.5%)、②「高校時代からの継続」(13.1%)、③「友人が欲しい又は団体に友人がいる」(12.8%)、④と「技術の向上を目指す」(11.9%)、⑤「余暇の有効利用・気分転換」(10.2%)の順であった。

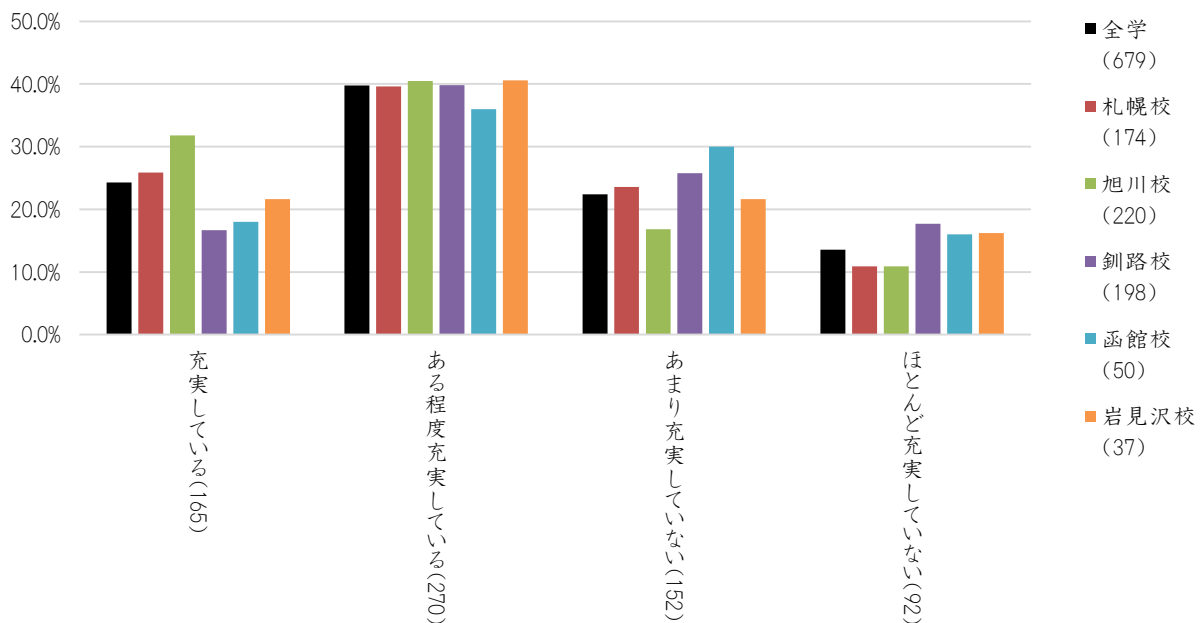
キャンパス別では、全学の傾向と大きな違いはないが、函館校では「知識や教養が身につく」(12.1%)が全学(6.3%)と比べて割合が高かった。

問34. あなたは、大学の課外活動施設についてどのように思いますか。

※問 30 で、「01. 加入している」を選択した人のみ回答してください。

区分	全学 (679)	札幌校 (174)	旭川校 (220)	釧路校 (198)	函館校 (50)	岩見沢校 (37)
充実している(165)	24.3%	25.9%	31.8%	16.7%	18.0%	21.6%
ある程度充実している(270)	39.8%	39.6%	40.5%	39.8%	36.0%	40.6%
あまり充実していない(152)	22.4%	23.6%	16.8%	25.8%	30.0%	21.6%
ほとんど充実していない(92)	13.5%	10.9%	10.9%	17.7%	16.0%	16.2%

課外活動施設の充実度(学部学生)



全学では、①「ある程度充実している」(39.8%)、②「充実している」(24.3%)の順であり、全体の約 64%を占めている。

キャンパス別では、「あまり充実していない」と「ほとんど充実していない」の合計の割合が 40%を超えていたのは、函館校(46%)、釧路校(約 44%)であった。

問35. 加入していない主な理由は何ですか。

※問 30 で、「02. 加入していない」を選択した人のみ回答してください。

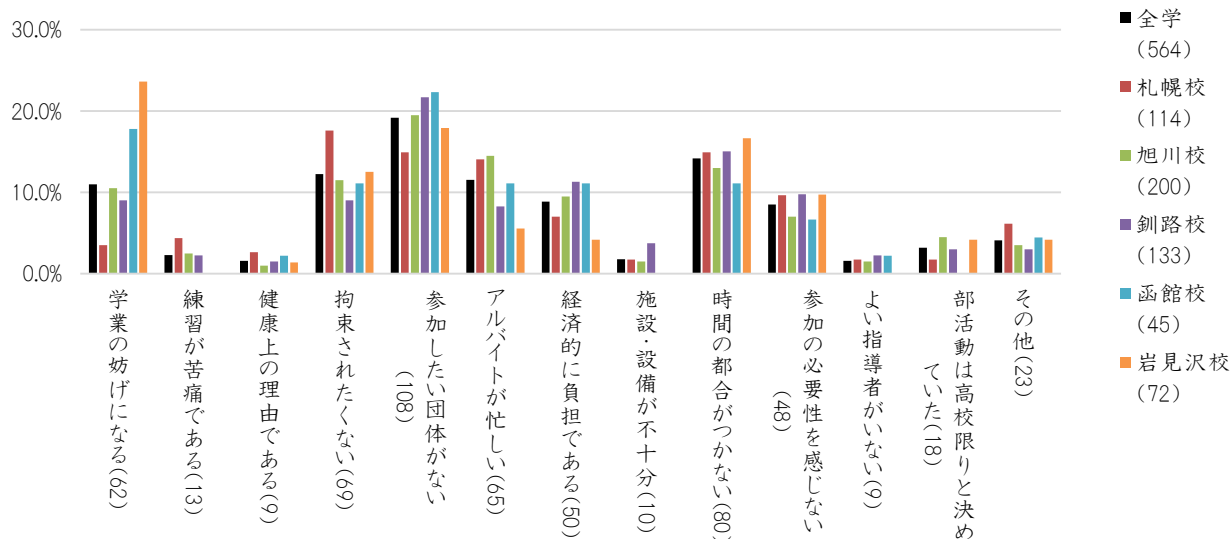
〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

区 分	全学 (564)	札幌校 (114)	旭川校 (200)	釧路校 (133)	函館校 (45)	岩見沢校 (72)
学業の妨げになる(62)	11.0%	3.5%	10.5%	9.0%	17.8%	23.6%
練習が苦痛である(13)	2.3%	4.4%	2.5%	2.3%	0.0%	0.0%
健康上の理由である(9)	1.6%	2.6%	1.0%	1.5%	2.2%	1.4%
拘束されたくない(69)	12.2%	17.6%	11.5%	9.0%	11.1%	12.5%
参加したい団体がない(108)	19.1%	14.9%	19.5%	21.7%	22.3%	17.9%
アルバイトが忙しい(65)	11.5%	14.0%	14.5%	8.3%	11.1%	5.6%
経済的に負担である(50)	8.9%	7.0%	9.5%	11.3%	11.1%	4.2%
施設・設備が不十分(10)	1.8%	1.8%	1.5%	3.8%	0.0%	0.0%
時間の都合がつかない(80)	14.2%	14.9%	13.0%	15.0%	11.1%	16.7%
参加の必要性を感じない(48)	8.5%	9.6%	7.0%	9.8%	6.7%	9.7%
よい指導者がいない(9)	1.6%	1.8%	1.5%	2.3%	2.2%	0.0%
部活動は高校限り決めていた(18)	3.2%	1.8%	4.5%	3.0%	0.0%	4.2%
その他(23)	4.1%	6.1%	3.5%	3.0%	4.4%	4.2%

※その他

(引退、活動場所が遠い、外部団体に所属、廃部になった、作品制作を優先、タイミングを逃した、意欲がわかない)

課外活動団体に加入していない主な理由(学部学生)

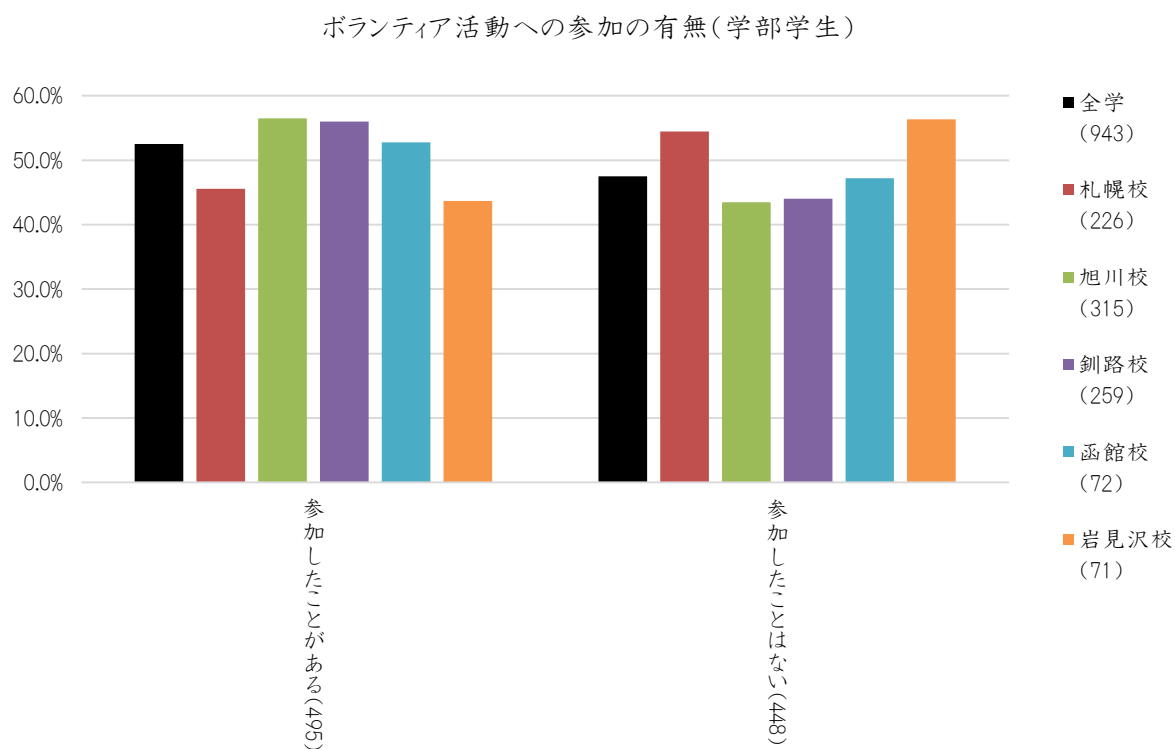


全学では、①「参加したい団体がない」(19.1%)、②「時間の都合がつかない」(14.2%)、③「拘束されたくない」(12.2%)、④「アルバイトが忙しい」(11.5%)、⑤「学業の妨げになる」(11.0%)の順であった。

キャンパス別では、「学業の妨げになる」の割合が全学(11.0%)と比べて、岩見沢校(23.6%)、函館校(17.8%)で高かった。

問36. あなたは、大学入学後、授業関係以外のボランティア活動に参加したことがありますか。

区 分	全学 (943)	札幌校 (226)	旭川校 (315)	釧路校 (259)	函館校 (72)	岩見沢校 (71)
参加したことがある(495)	52.5%	45.6%	56.5%	56.0%	52.8%	43.7%
参加したことはない(448)	47.5%	54.4%	43.5%	44.0%	47.2%	56.3%

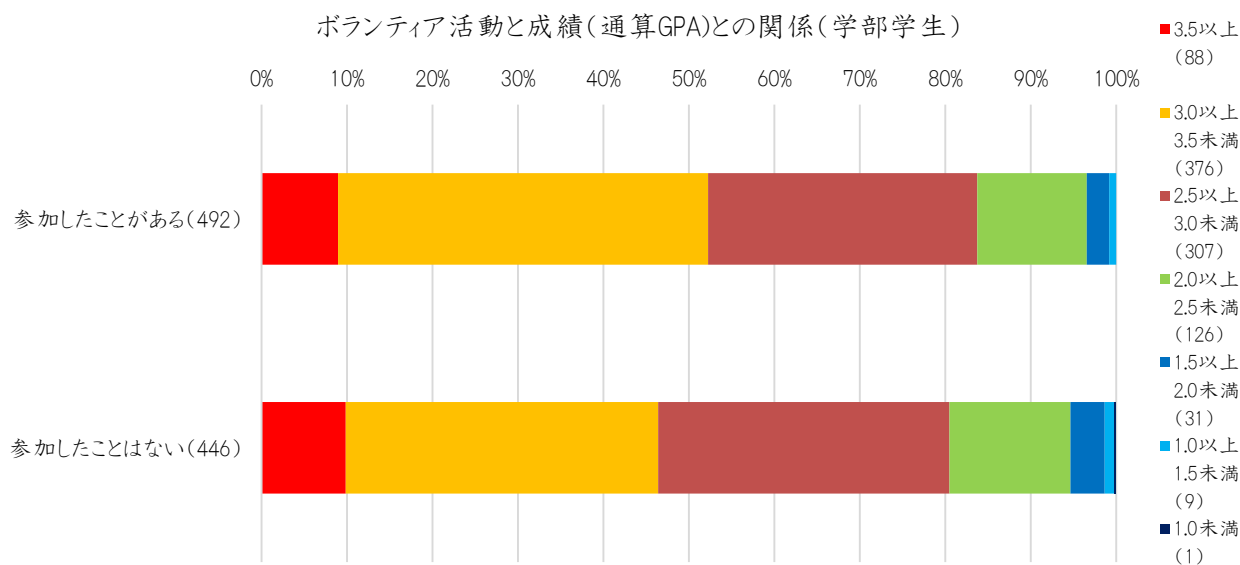


全学では、①「参加したことがある」(52.5%)、②「参加したことはない」(47.5%)であった。

キャンパス別では、「参加したことがある」よりも「参加したことはない」の割合が高かったのが、岩見沢校(56.3%)、札幌校(54.4%)であった。

■ ボランティア活動の有無と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (88)	3.0以上 3.5未満 (376)	2.5以上 3.0未満 (307)	2.0以上 2.5未満 (126)	1.5以上 2.0未満 (31)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
参加したことがある(492)	8.9%	43.3%	31.5%	12.8%	2.6%	0.8%	0.0%
参加したことはない(446)	9.9%	36.5%	34.1%	14.1%	4.0%	1.1%	0.2%



ボランティア活動の有無と成績(通算 GPA)の関係について見たところ、通算 GPA3.0 以上の者では、ボランティア活動に「参加したことがある」者が約 52%、「参加したことがない」者が約 46%、通算 GPA2.5 以上の者では、「参加したことがある」者が約 84%、「参加したことがない」者が約 81%、通算 GPA2.0 以上の者では、「参加したことがある」者が約 97%、「参加したことがない」者が約 95%であり、いずれも「参加したことがある」者の方がやや高い割合となっている。

一方で、通算 GPA「3.5 以上」の割合は、「参加したことがある」(8.9%)、「参加したことがない」(9.9%)であり、わずかではあるが、「参加したことがない」者の割合の方が高い。

問37. どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。

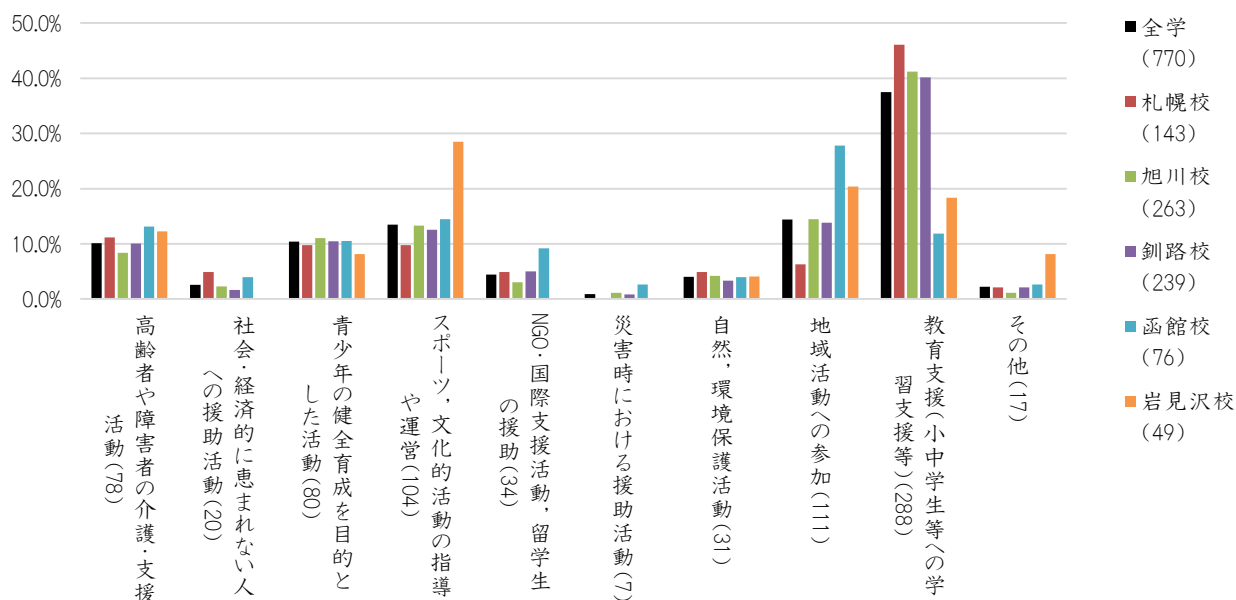
※問36で、「01. 参加したことがある」を選択した人のみ回答してください。

〔該当するものを全て選んでください。〕

区分	全学 (770)	札幌校 (143)	旭川校 (263)	釧路校 (239)	函館校 (76)	岩見沢校 (49)
高齢者や障害者の介護・支援活動(78)	10.1%	11.2%	8.4%	10.0%	13.2%	12.2%
社会・経済的に恵まれない人への援助活動(20)	2.6%	4.9%	2.3%	1.7%	3.9%	0.0%
青少年の健全育成を目的とした活動(80)	10.4%	9.8%	11.0%	10.5%	10.5%	8.2%
スポーツ, 文化的活動の指導や運営(104)	13.5%	9.8%	13.3%	12.6%	14.5%	28.5%
NGO・国際支援活動, 留学生の援助(34)	4.4%	4.9%	3.0%	5.0%	9.2%	0.0%
災害時における援助活動(7)	0.9%	0.0%	1.1%	0.8%	2.6%	0.0%
自然, 環境保護活動(31)	4.0%	4.9%	4.2%	3.3%	3.9%	4.1%
地域活動への参加(111)	14.4%	6.3%	14.4%	13.8%	27.8%	20.4%
教育支援(小中学生等への学習支援等)(288)	37.5%	46.1%	41.2%	40.2%	11.8%	18.4%
その他(17)	2.2%	2.1%	1.1%	2.1%	2.6%	8.2%

※その他(幼稚園、病院、保育園、プレーパーク、演奏活動、障害を持つ子供との交流、国際交流、舞台のスタッフ)

参加したことがあるボランティア活動の種類(学部学生)



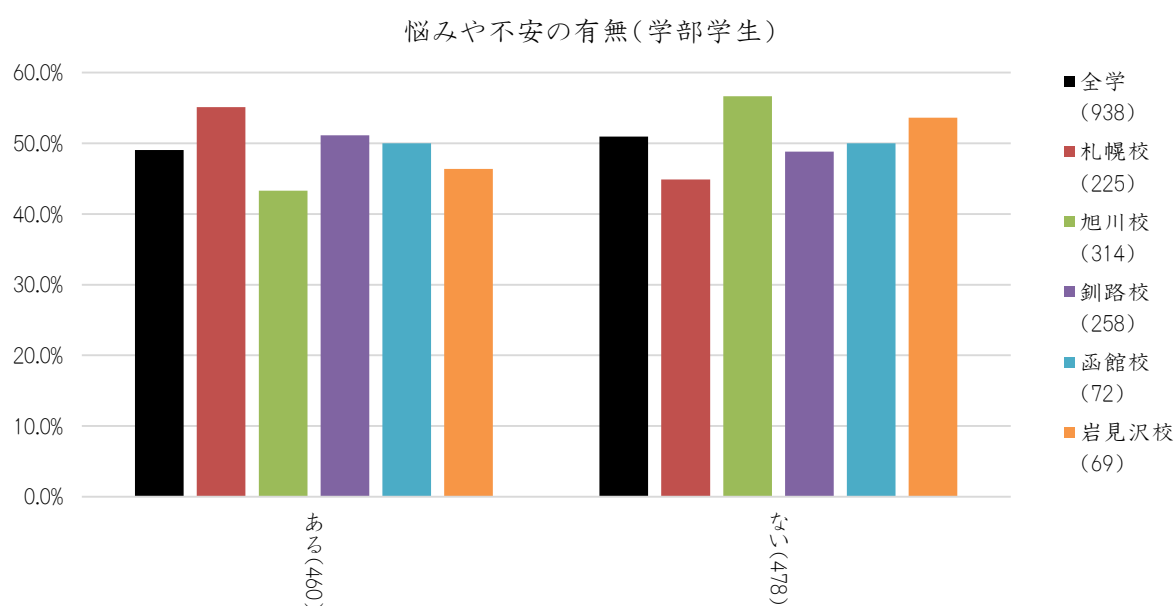
全学では、①「教育支援(小中学生等への学習支援等)」(37.5%)、②「地域活動への参加」(14.4%)、③「スポーツ, 文化的活動の指導や運営」(13.5%)、④「青少年の健全育成を目的とした活動」(10.4%)、⑤「高齢者や障害者の介護・支援活動」(10.1%)の順であった。

キャンパス別では、函館校で「地域活動への参加」(27.8%)の割合が最も高く、岩見沢校で「スポーツ, 文化的活動の指導や運営」(28.5%)の割合が最も高かった。

VII 学生相談体制について

問38. あなたは、現在、悩みや不安がありますか。

区分	全学 (938)	札幌校 (225)	旭川校 (314)	釧路校 (258)	函館校 (72)	岩見沢校 (69)
ある(460)	49.0%	55.1%	43.3%	51.2%	50.0%	46.4%
ない(478)	51.0%	44.9%	56.7%	48.8%	50.0%	53.6%

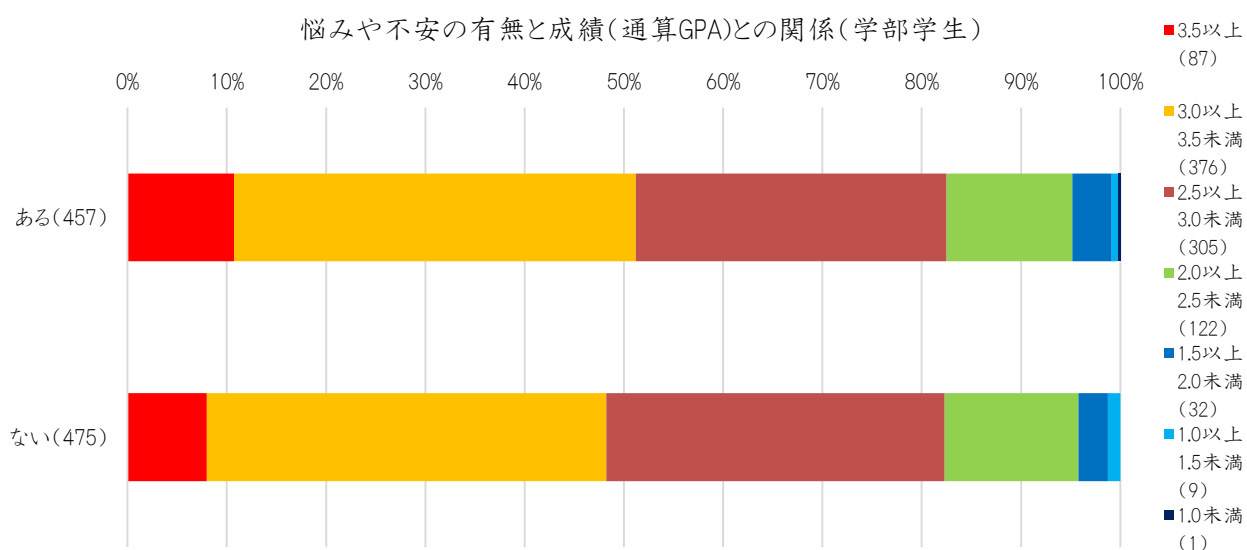


全学では、①「ない」(51.0%)、②「ある」(49.0%)であった。

キャンパス別では、「ない」よりも「ある」の割合が高かったのが、札幌校(55.1%)、釧路校(51.2%)であった。

■ 悩みや不安の有無と成績(通算 GPA)(問 22)の関係について

区 分	3.5以上 (87)	3.0以上 3.5未満 (376)	2.5以上 3.0未満 (305)	2.0以上 2.5未満 (122)	1.5以上 2.0未満 (32)	1.0以上 1.5未満 (9)	1.0未満 (1)
ある(457)	10.7%	40.5%	31.3%	12.7%	3.9%	0.7%	0.2%
ない(475)	8.0%	40.2%	34.1%	13.5%	2.9%	1.3%	0.0%

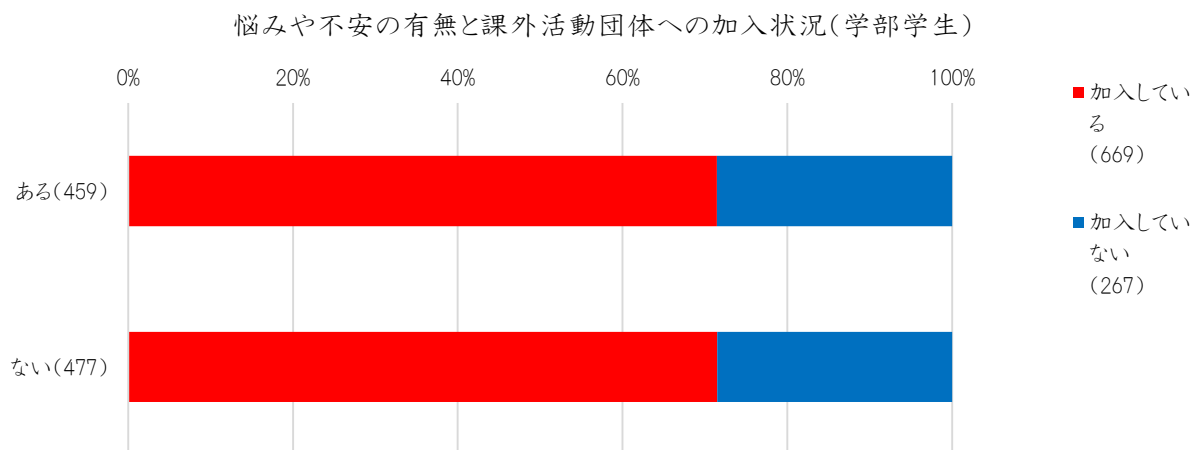


悩みや不安の有無と成績(通算 GPA)の関係について見たところ、通算 GPA2.5 以上の者の割合は、悩みが「ある」が約 83%で、「ない」が約 82%であり、大きな傾向の違いはない。通算 GPA2.0 以上の者の割合でみると、悩みが「ある」が約 95%、「ない」が約 96%であり、やはり大きな傾向の違いはない。

今回の調査からは、全体的な傾向として、悩みや不安の有無と成績(通算 GPA)の高低との間に相関関係はうかがえなかった。

■ 悩みや不安の有無と課外活動団体への加入状況(問 31)の関係について

区 分	加入している (669)	加入していない (267)
ある(459)	71.5%	28.5%
ない(477)	71.5%	28.5%



悩みや不安の有無と課題活動団体への加入状況の関係について見たところ、「加入している」「加入していない」ともに悩みの有無の割合は同率であり、両者の間に相関関係は見られなかった。

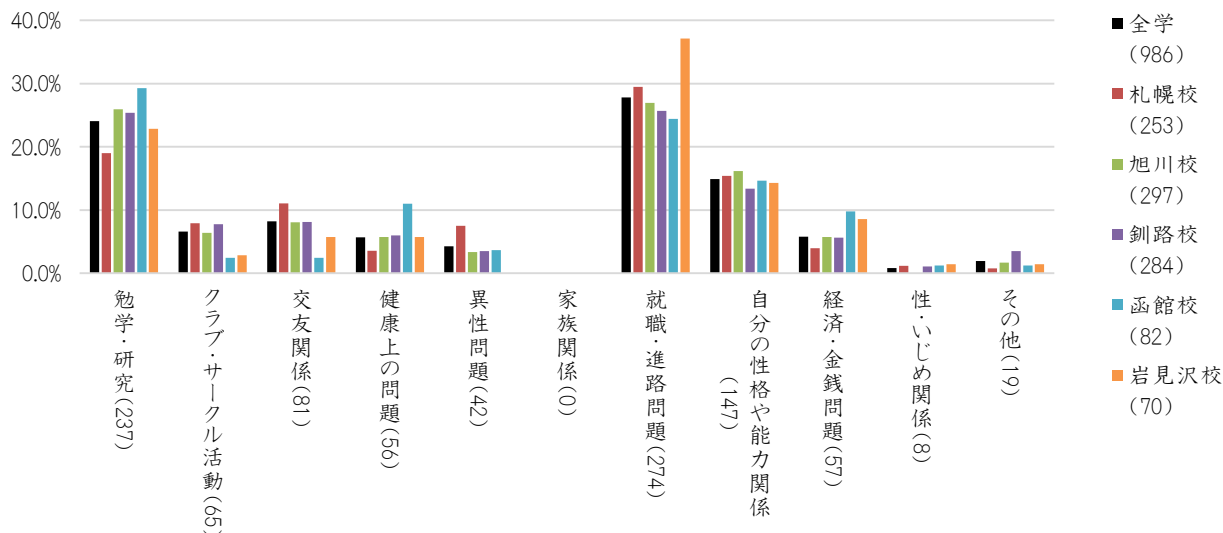
問39. あなたの悩みや不安の主なものは何ですか。

※問 38 で、「01. ある」を選択した人のみ回答してください。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

区 分	全学 (986)	札幌校 (253)	旭川校 (297)	釧路校 (284)	函館校 (82)	岩見沢校 (70)
勉学・研究(237)	24.0%	19.0%	25.9%	25.4%	29.3%	22.9%
クラブ・サークル活動(65)	6.6%	7.9%	6.4%	7.7%	2.4%	2.9%
交友関係(81)	8.2%	11.1%	8.1%	8.1%	2.4%	5.7%
健康上の問題(56)	5.7%	3.6%	5.7%	6.0%	11.0%	5.7%
異性問題(42)	4.3%	7.5%	3.4%	3.5%	3.7%	0.0%
家族関係(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就職・進路問題(274)	27.8%	29.5%	26.9%	25.7%	24.4%	37.1%
自分の性格や能力関係(147)	14.9%	15.4%	16.2%	13.4%	14.6%	14.3%
経済・金銭問題(57)	5.8%	4.0%	5.7%	5.6%	9.8%	8.6%
性・いじめ関係(8)	0.8%	1.2%	0.0%	1.1%	1.2%	1.4%
その他(19)	1.9%	0.8%	1.7%	3.5%	1.2%	1.4%

※その他(学士論文、ゼミ教官、アルバイト、寮生活、学びたい学問を学べていない)

悩みや不安の種類(学部学生)



全学では、①「就職・進路問題」(27.8%)、②「勉学・研究」(24.0%)、③「自分の性格や能力関係」(14.9%)の順であった。

キャンパス別では、全学の傾向と大きな違いはないが、函館校では「交友関係」(2.4%)が全学(8.2%)の割合よりも低く、「健康上の問題」(11.0%)が全学(5.7%)の割合よりも高かった。

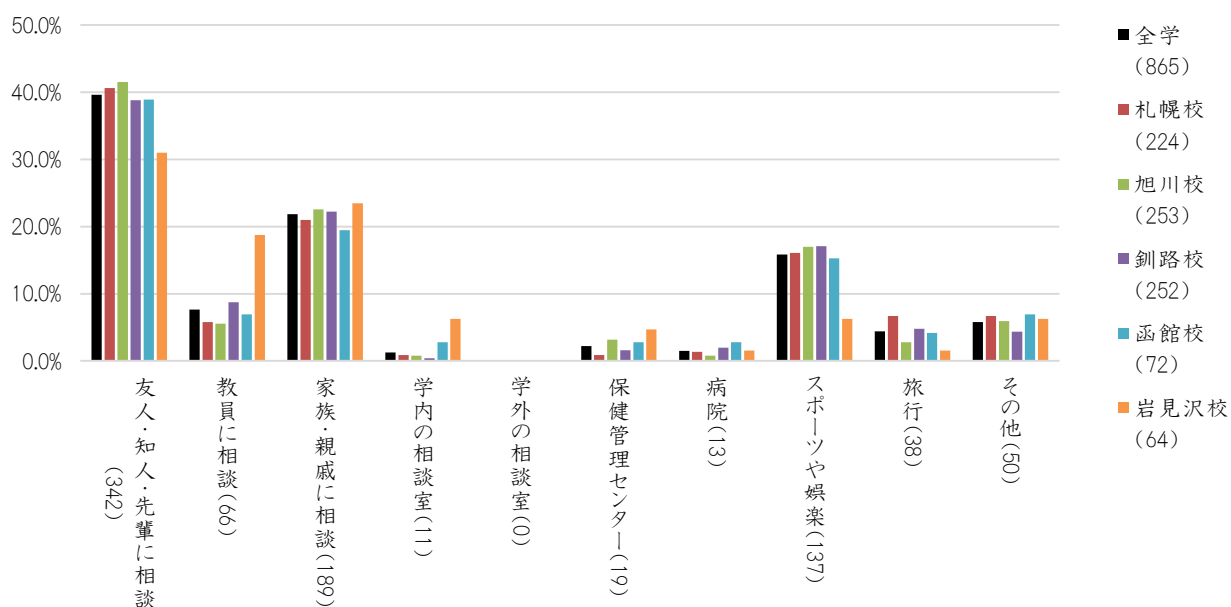
問40. 悩みや不安は、どのような方法で解消していますか。

※問 38 で、「01. ある」を選択した人のみ回答してください。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

区 分	全学 (865)	札幌校 (224)	旭川校 (253)	釧路校 (252)	函館校 (72)	岩見沢校 (64)
友人・知人・先輩に相談(342)	39.6%	40.6%	41.5%	38.8%	38.9%	31.0%
教員に相談(66)	7.6%	5.8%	5.5%	8.7%	6.9%	18.8%
家族・親戚に相談(189)	21.8%	21.0%	22.5%	22.2%	19.4%	23.4%
学内の相談室(11)	1.3%	0.9%	0.8%	0.4%	2.8%	6.3%
学外の相談室(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保健管理センター(19)	2.2%	0.9%	3.2%	1.6%	2.8%	4.7%
病院(13)	1.5%	1.3%	0.8%	2.0%	2.8%	1.6%
スポーツや娯楽(137)	15.8%	16.1%	17.0%	17.1%	15.3%	6.3%
旅行(38)	4.4%	6.7%	2.8%	4.8%	4.2%	1.6%
その他(50)	5.8%	6.7%	5.9%	4.4%	6.9%	6.3%

※その他(自分で解決策を考える、解消していない、買い物、インターネットで情報を探す、睡眠)

悩みや不安の解消法(学部学生)



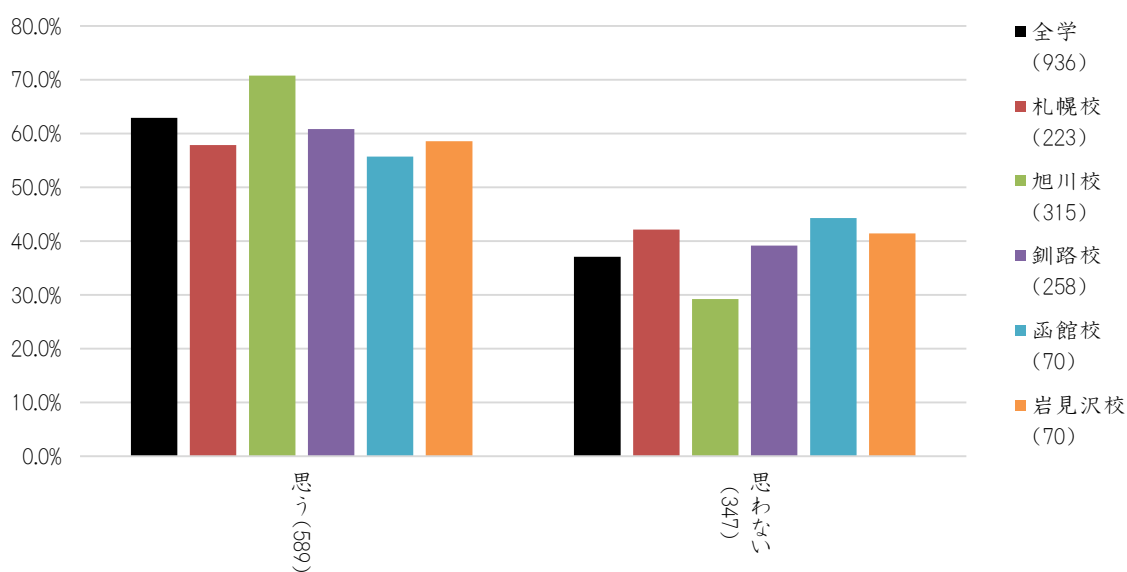
全学では、①「友人・知人・先輩に相談」(39.6%)、②「家族・親戚に相談」(21.8%)、③「スポーツや娯楽」(15.8%)の順であった。

キャンパス別では、岩見沢校では「教員に相談」(18.8%)、「学内の相談室」(6.3%)が全学(7.6%)、(1.3%)の割合よりも高い一方で、「スポーツや娯楽」(6.3%)が全学(15.8%)の割合よりも低かった。

問41. あなたは、学生なんでも相談室，人権相談員，保健管理センターのカウンセラーなど大学の学生の相談を受ける体制について、十分整っていると思いますか。

区 分	全学 (936)	札幌校 (223)	旭川校 (315)	釧路校 (258)	函館校 (70)	岩見沢校 (70)
思う(589)	62.9%	57.8%	70.8%	60.9%	55.7%	58.6%
思わない(347)	37.1%	42.2%	29.2%	39.1%	44.3%	41.4%

本学の学生相談体制が十分だと思うか(学部学生)



全学では、①「思う」(62.9%)、②「思わない」(37.1%)であった。

キャンパス別でも、全学と同様の傾向であり、特に旭川校で「思う」(70.8%)の割合が高かった。

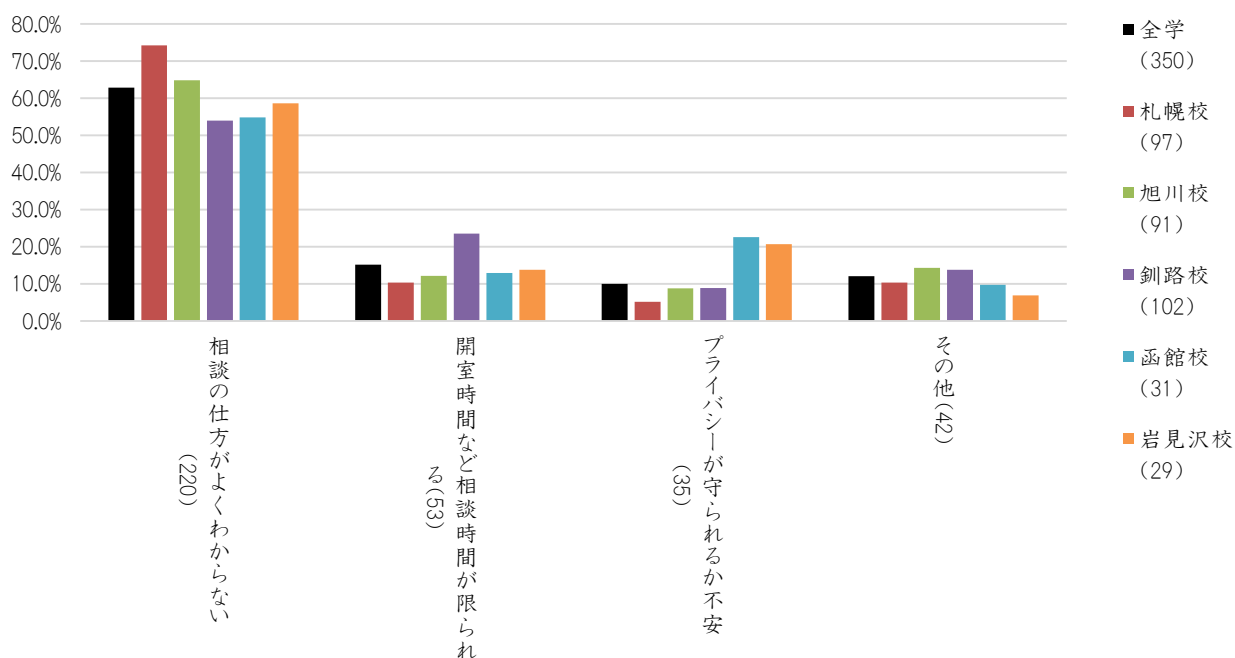
問42. あなたが、相談体制が十分だと思わない主な理由は何ですか。

※問41で、「02. 思わない」を選択した人のみ回答してください。

区分	全学 (350)	札幌校 (97)	旭川校 (91)	釧路校 (102)	函館校 (31)	岩見沢校 (29)
相談の仕方がよくわからない(220)	62.9%	74.2%	64.8%	54.0%	54.8%	58.6%
開室時間など相談時間が限られる(53)	15.1%	10.3%	12.1%	23.5%	12.9%	13.8%
プライバシーが守られるか不安(35)	10.0%	5.2%	8.8%	8.8%	22.6%	20.7%
その他(42)	12.0%	10.3%	14.3%	13.7%	9.7%	6.9%

※その他(相談員をよく知らない、行きづらい雰囲気)

学生相談体制が十分だと思わない理由(学部学生)



全学では、①「相談の仕方がよくわからない」(62.9%)、②「開室時間など相談時間が限られる」(15.1%)、③「その他」(12.0%)、④「プライバシーが守られるか不安」(10.0%)の順であった。

キャンパス別では、「プライバシーが守られるか不安」が函館校(22.6%)、岩見沢校(20.7%)で全学(10.0%)の割合よりも高かった。「開室時間など相談時間が限られる」は釧路校(23.5%)で全学(15.1%)の割合よりも高かった。

学 生 生 活 实 态 调 查
【大 学 院 生】

Ⅰ 基本事項について

問1. あなたの所属する課程は何ですか。

問2. あなたの修学校について教えてください。

(ここでは、あなたが日常的に授業を受けているキャンパスを選んでください。)

問3. あなたの現在の学年は何年次ですか。

問4. あなたの入学前の立場について教えてください。

区分		全学	札幌校・ 岩見沢校	旭川校	釧路校	函館校
所属	修士課程	55	25	20	9	1
	専門職学位課程 (教職大学院)	19	10	3	1	5
学年	1年次	38	15	11	6	6
	2年次以上	31	16	11	4	0
属性	現職教員	15	10	2	0	3
	本学学部生	51	22	19	8	2
	他大学学部生	3	1	1	0	1
	その他	5	2	1	2	0

※その他

(公立学校非常勤、嘱託職員、会社員、市職員等)

II 本学を志望した動機について

問5. 本学を選んだ動機は何ですか。〔主なものを2つ以内で選んでください。〕

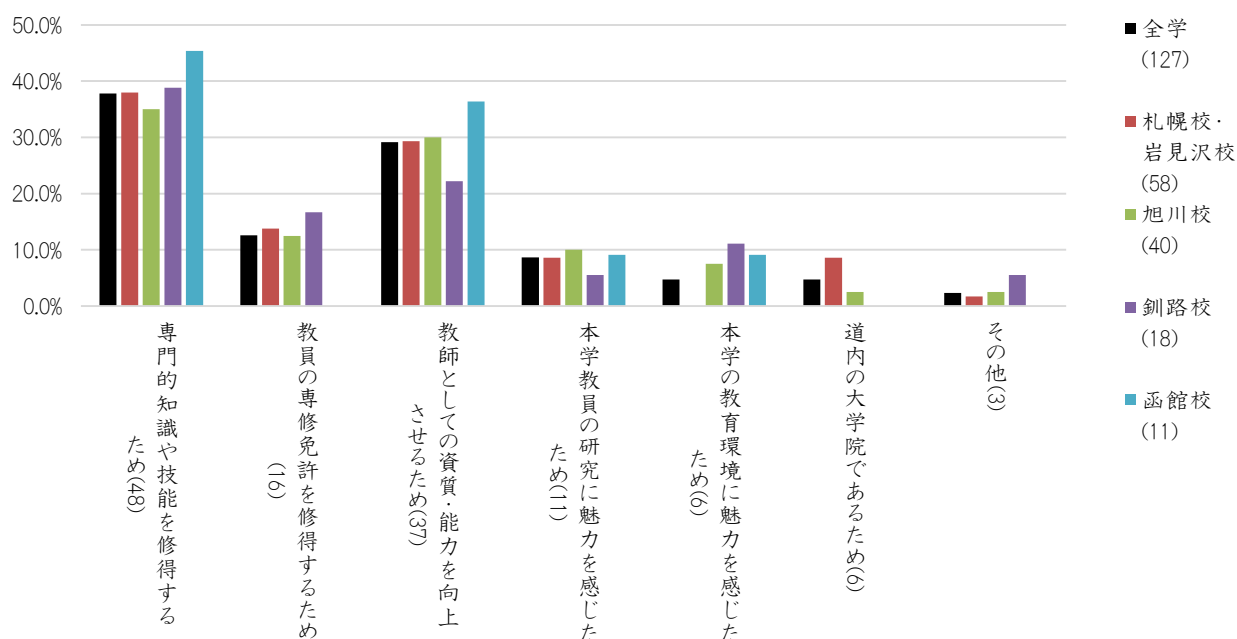
【全学】

区 分	全学 (127)	札幌校・ 岩見沢校 (58)	旭川校 (40)	釧路校 (18)	函館校 (11)
専門的知識や技能を修得するため(48)	37.8%	38.0%	35.0%	38.8%	45.4%
教員の専修免許を修得するため(16)	12.6%	13.8%	12.5%	16.7%	0.0%
教師としての資質・能力を向上させるため(37)	29.1%	29.3%	30.0%	22.2%	36.4%
本学教員の研究に魅力を感じたため(11)	8.7%	8.6%	10.0%	5.6%	9.1%
本学の教育環境に魅力を感じたため(6)	4.7%	0.0%	7.5%	11.1%	9.1%
道内の大学院であるため(6)	4.7%	8.6%	2.5%	0.0%	0.0%
その他(3)	2.4%	1.7%	2.5%	5.6%	0.0%

※その他：(臨床心理士の資格取得、学習サポート事業運営、北海道教育委員会大学院派遣のため)

※()内の数字は回答数。また、回答割合の高いもの(上位3位など)を網掛けで表示(以下、全て同じ)

本学を志望した動機(大学院生)



全学では、①「専門的知識や技能を修得するため」(37.8%)、②「教師としての資質・能力を向上させるため」(29.1%)、③「教員の専修免許を修得するため」(29.1%)の順であった。

キャンパス別では、「本学の教育環境に魅力を感じたため」の割合が釧路校(11.1%)、函館校(9.1%)で全学(4.7%)よりも比較的高かった。札幌校・岩見沢校では、「道内の大学院であるため」(8.6%)が全学の割合(4.7%)よりも高かった。函館校では、「教員の専修免許を修得するため」の割合が0.0%であった。

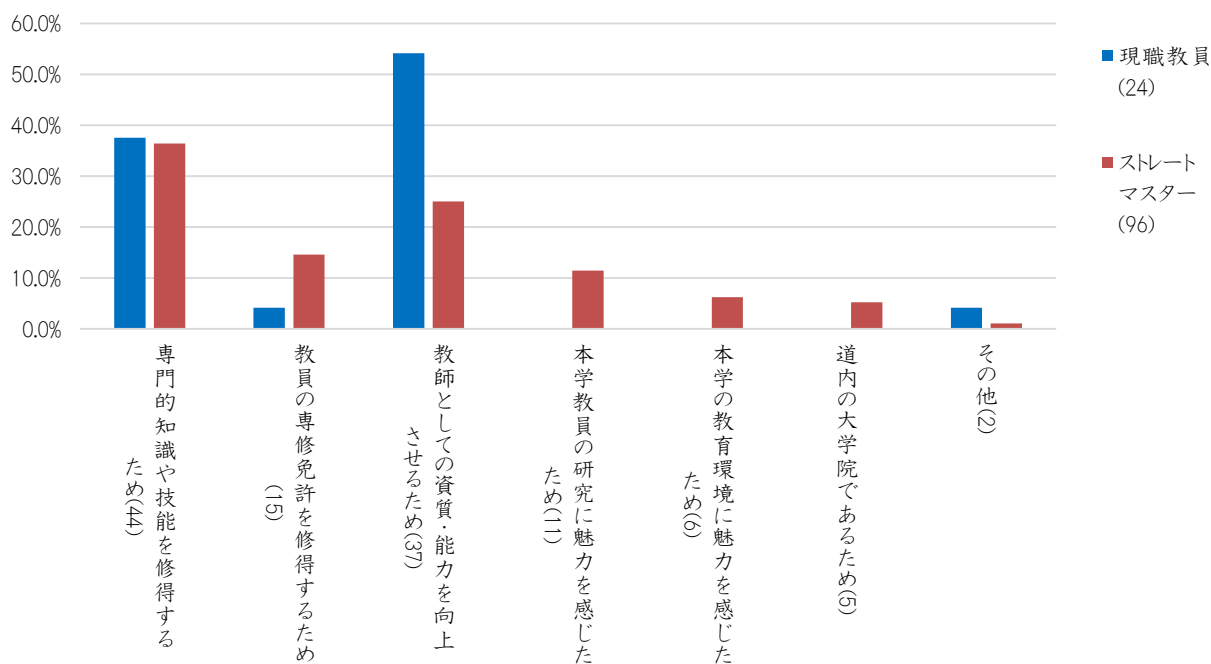
問5. 本学を選んだ動機は何ですか。〔主なものを2つ以内で選んでください。〕

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (24)	ストレート マスター (96)
専門的知識や技能を修得するため(44)	37.5%	36.4%
教員の専修免許を修得するため(15)	4.2%	14.6%
教師としての資質・能力を向上させるため(37)	54.1%	25.0%
本学教員の研究に魅力を感じたため(11)	0.0%	11.5%
本学の教育環境に魅力を感じたため(6)	0.0%	6.3%
道内の大学院であるため(5)	0.0%	5.2%
その他(2)	4.2%	1.0%

※その他:(北海道教育委員会大学院派遣のため、学習サポート事業運営のため)

本学を志望した動機(大学院生・属性別)



現職教員では、①「教師としての資質・能力を向上させるため」(54.1%)、②「専門的知識や技能を修得するため」(37.5%)の順であり、これらの合計で全体の約 92%を占めている。

ストレートマスターでは、①「専門的知識や技能を修得するため」(36.4%)、②「教師としての資質・能力を向上させるため」(25.0%)、③「教員の専修免許を修得するため」(14.6%)、④「本学教員の研究に魅力を感じたため」(11.5%)の順であった。

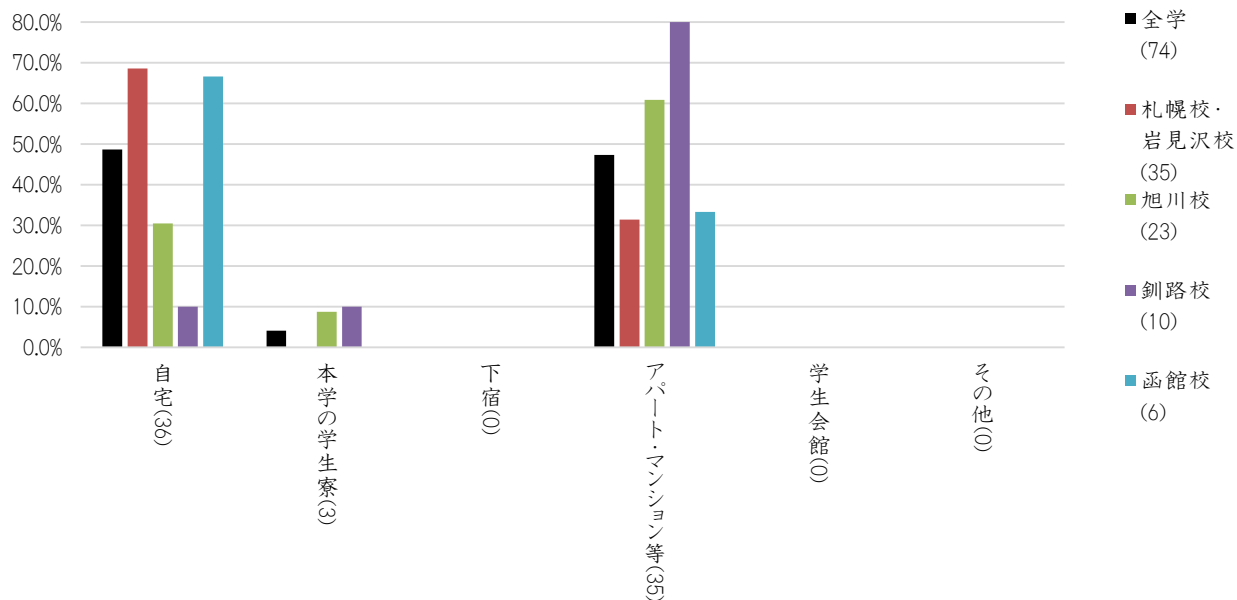
Ⅲ 住居及び通学について

問6. あなたの現在の住居はどれですか。

【全学】

区 分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
自宅(36)	48.6%	68.6%	30.4%	10.0%	66.7%
本学の学生寮(3)	4.1%	0.0%	8.7%	10.0%	0.0%
下宿(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
アパート・マンション等(35)	47.3%	31.4%	60.9%	80.0%	33.3%
学生会館(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

住居の種別(大学院生)



全学では、①「自宅」(48.6%)、②「アパート・マンション等」(47.3%)の順でこれらの合計で約96%を占めている。

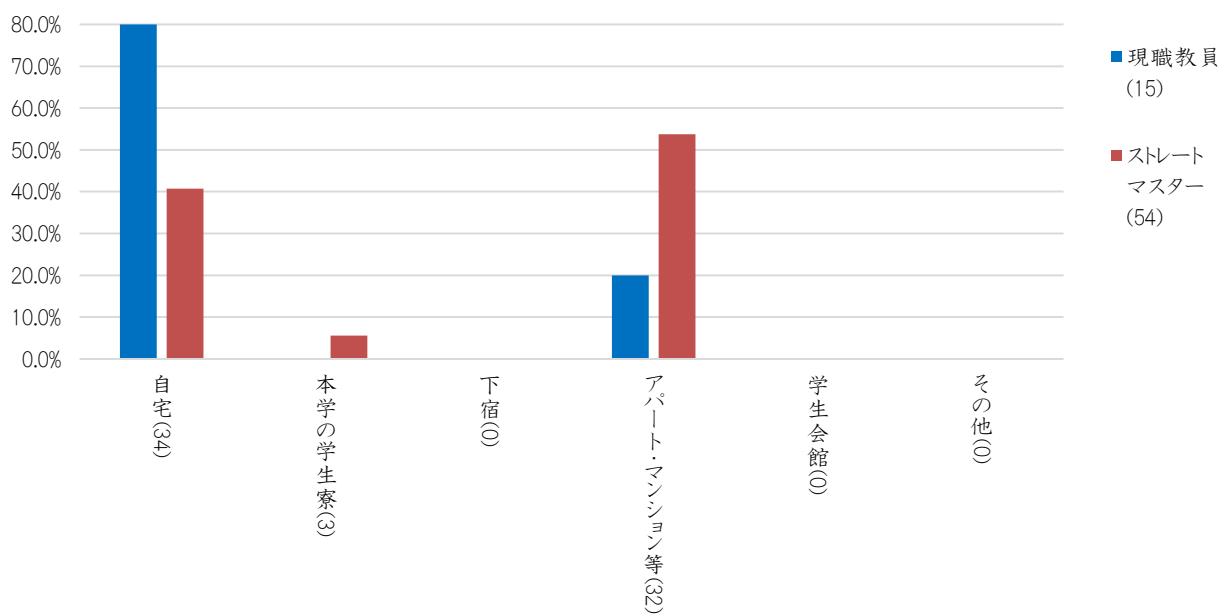
キャンパス別では、札幌校・岩見沢校、函館校では、「自宅」の割合(68.6%、66.7%)が高く、釧路校、旭川校では、「アパート・マンション等」の割合(80.0%、60.9%)が高かった。

問6. あなたの現在の住居はどれですか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
自宅(34)	80.0%	40.7%
本学の学生寮(3)	0.0%	5.6%
下宿(0)	0.0%	0.0%
アパート・マンション等(32)	20.0%	53.7%
学生会館(0)	0.0%	0.0%
その他(0)	0.0%	0.0%

住居の種別(大学院生・属性別)

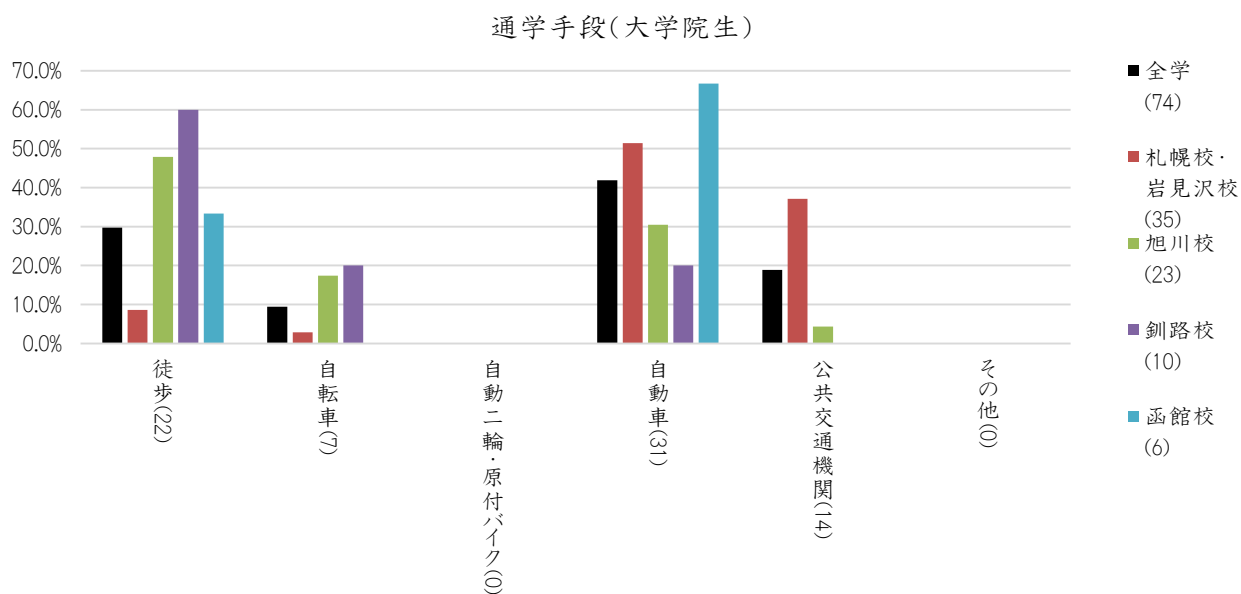


現職教員では、①「自宅」(80.0%)、②「アパート・マンション等」(20.0%)の順であった。
 ストレートマスターでは、①「アパート・マンション等」(53.7%)、②「自宅」(40.7%)の順であった。

問7. 主として何を利用して通学していますか。

【全学】

区 分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
徒歩(22)	29.7%	8.6%	47.9%	60.0%	33.3%
自転車(7)	9.5%	2.9%	17.4%	20.0%	0.0%
自動二輪・原付バイク(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(31)	41.9%	51.4%	30.4%	20.0%	66.7%
公共交通機関(14)	18.9%	37.1%	4.3%	0.0%	0.0%
その他(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



全学では、①「自動車」(41.9%)、②「徒歩」(29.7%)、③「公共交通機関」(18.9%)の順であった。

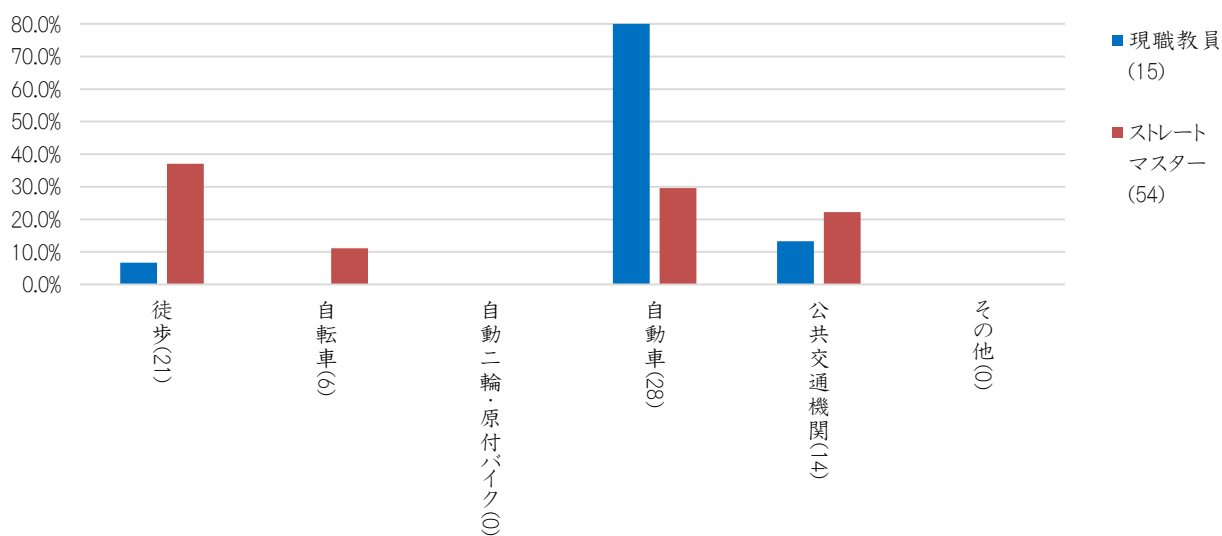
キャンパス別では、札幌校・岩見沢校では、「公共交通機関」の割合(37.1%)が高く、釧路校、旭川校では、「徒歩」の割合(60.0%、47.9%)が高かった。

問7. 主として何を利用して通学していますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
徒歩(21)	6.7%	37.1%
自転車(6)	0.0%	11.1%
自動二輪・原付バイク(0)	0.0%	0.0%
自動車(28)	80.0%	29.6%
公共交通機関(14)	13.3%	22.2%
その他(0)	0.0%	0.0%

通学手段(大学院生・属性別)



現職教員では、①「自動車」(80.0%)、②「公共交通機関」(13.3%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「徒歩」(37.1%)、②「自動車」(29.6%)、③「公共交通機関」(22.2%)、④「自転車」(11.1%)の順であった。

Ⅳ 経済状況について

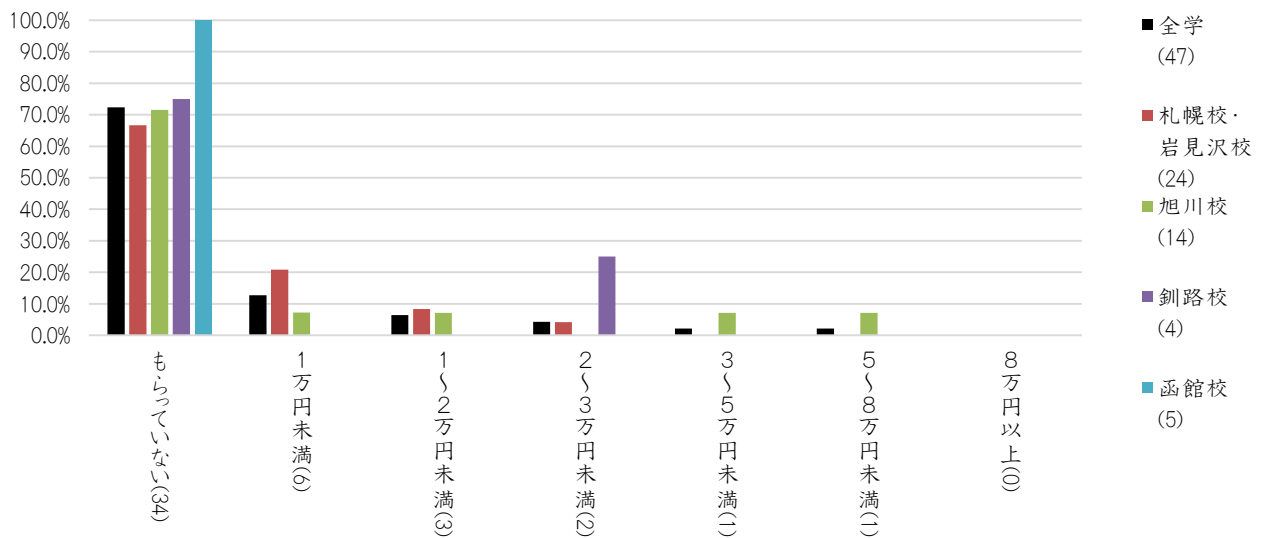
問8. あなたは、保護者等から1カ月平均いくら小遣いをもらっていますか。

(交通費,書籍代,自宅外での食費を含む。) ※問6で、「自宅」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (47)	札幌校・ 岩見沢校 (24)	旭川校 (14)	釧路校 (4)	函館校 (5)
もらっていない(34)	72.3%	66.7%	71.5%	75.0%	100.0%
1万円未満(6)	12.8%	20.8%	7.2%	0.0%	0.0%
1～2万円未満(3)	6.4%	8.3%	7.1%	0.0%	0.0%
2～3万円未満(2)	4.3%	4.2%	0.0%	25.0%	0.0%
3～5万円未満(1)	2.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
5～8万円未満(1)	2.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
8万円以上(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

お小遣い(月平均)(大学院生)



全学では、①「もらっていない」(72.3%)、②「1万円未満」(12.8%)の順であり、これらの合計で約 85%を占めている。

キャンパス別では、「もらっていない」と「1万円未満」の合計が全学で約 15%だが、釧路校で 25.0%、旭川校で約 21%という結果であった。

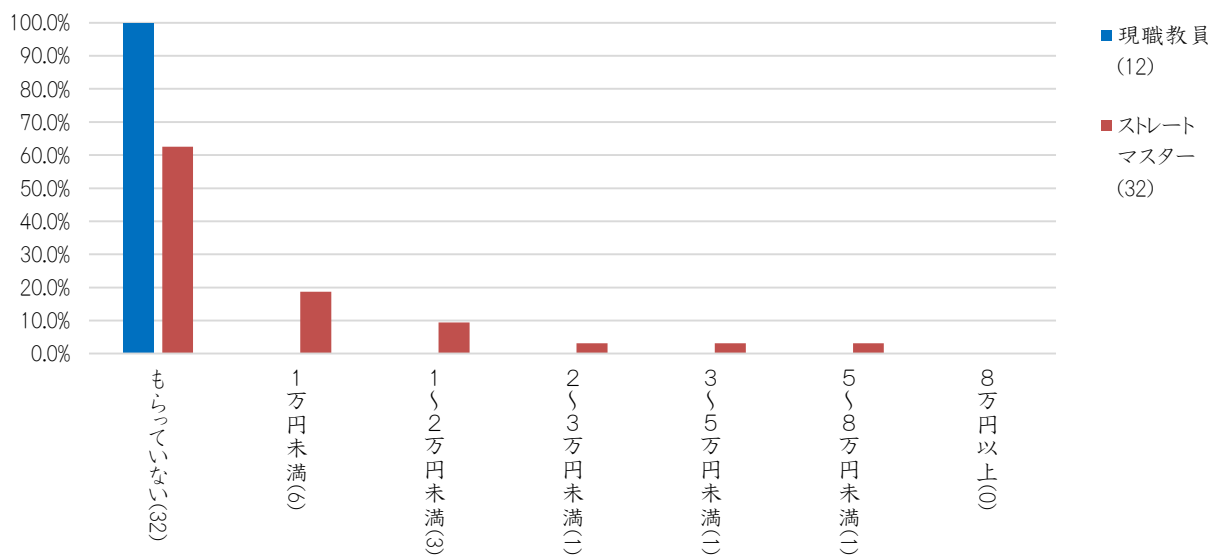
問8. あなたは、保護者等から1カ月平均いくら小遣いをもらっていますか。

(交通費,書籍代,自宅外での食費を含む。) ※問6で、「自宅」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (12)	ストレート マスター (32)
もらっていない(32)	100.0%	62.5%
1万円未満(6)	0.0%	18.8%
1～2万円未満(3)	0.0%	9.4%
2～3万円未満(1)	0.0%	3.1%
3～5万円未満(1)	0.0%	3.1%
5～8万円未満(1)	0.0%	3.1%
8万円以上(0)	0.0%	0.0%

お小遣い(月平均)(大学院生・属性別)



現職教員では、「もらっていない」が100.0%であった。

ストレートマスターでは、①「もらっていない」(62.5%)、②「1万円未満」(18.8%)、③「1～2万円未満」(9.4%)の順であり、約38%がお小遣いをもらっているという結果であった。

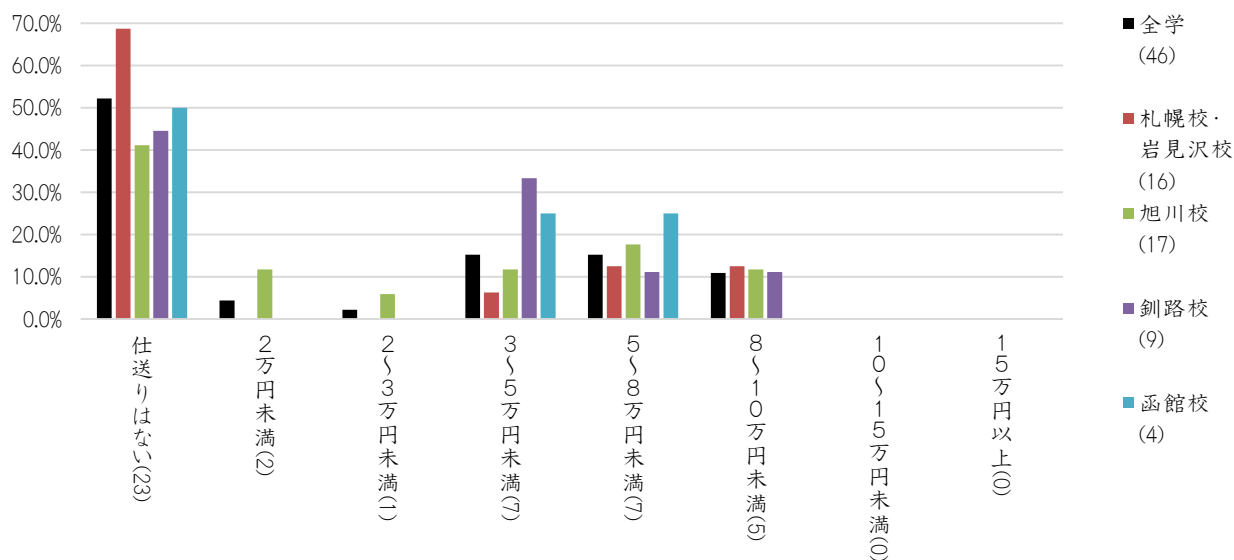
問9. あなたは、保護者等から1カ月平均いくら仕送りを受けていますか。

※問6で、「本学の学生寮」「下宿」「アパート・マンション等」「学生会館」「その他」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (46)	札幌校・ 岩見沢校 (16)	旭川校 (17)	釧路校 (9)	函館校 (4)
仕送りはない(23)	52.2%	68.7%	41.1%	44.5%	50.0%
2万円未満(2)	4.3%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
2～3万円未満(1)	2.2%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
3～5万円未満(7)	15.2%	6.3%	11.8%	33.3%	25.0%
5～8万円未満(7)	15.2%	12.5%	17.6%	11.1%	25.0%
8～10万円未満(5)	10.9%	12.5%	11.8%	11.1%	0.0%
10～15万円未満(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15万円以上(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

仕送り(月平均)(大学院生)



全学では、①「仕送りはない」(52.2%)、②「3～5万円未満」、「5～8万円未満」(15.2%)、④「8～10万円未満」(10.9%)の順であり、3～10万円未満が全体の約41%を占めている。

キャンパス別では、「3～5万円未満」と「5～8万円未満」の合計で全学の割合(約30%)より高かったのが、函館校(50.0%)、釧路校(約44%)であった。旭川校では「2万円未満」の割合(11.8%)が全学(4.3%)よりも高かった。

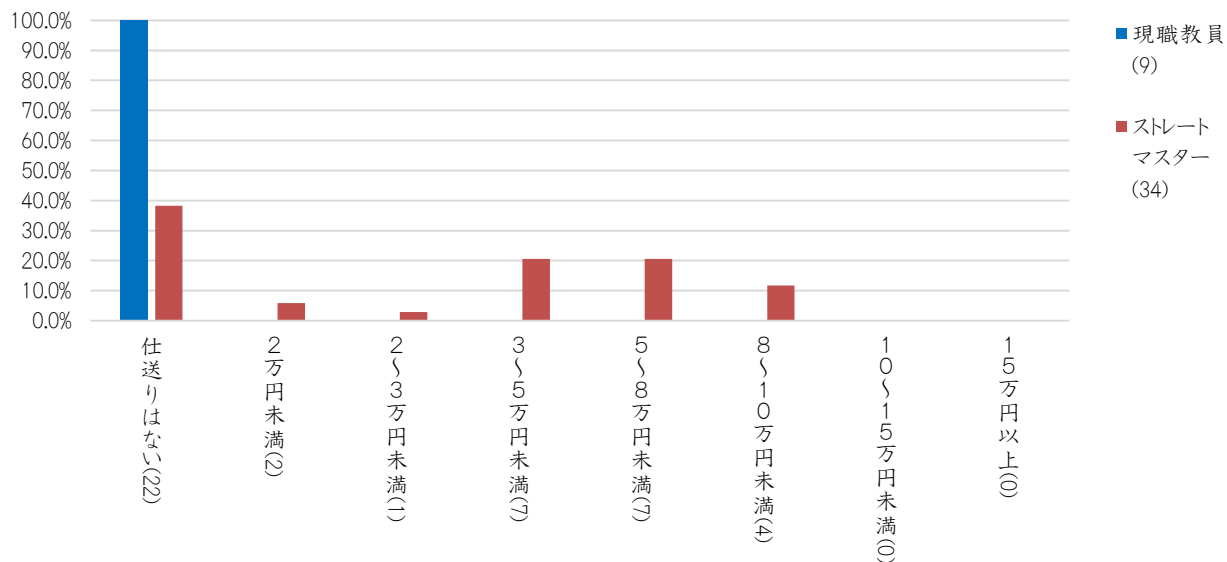
問9. あなたは、保護者等から1カ月平均いくら仕送りを受けていますか。

※問6で、「本学の学生寮」「下宿」「アパート・マンション等」「学生会館」「その他」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (9)	ストレート マスター (34)
仕送りはない(22)	100.0%	38.2%
2万円未満(2)	0.0%	5.9%
2～3万円未満(1)	0.0%	2.9%
3～5万円未満(7)	0.0%	20.6%
5～8万円未満(7)	0.0%	20.6%
8～10万円未満(4)	0.0%	11.8%
10～15万円未満(0)	0.0%	0.0%
15万円以上(0)	0.0%	0.0%

仕送り(月平均)(大学院生)



現職教員では、「仕送りはない」が100.0%であった。

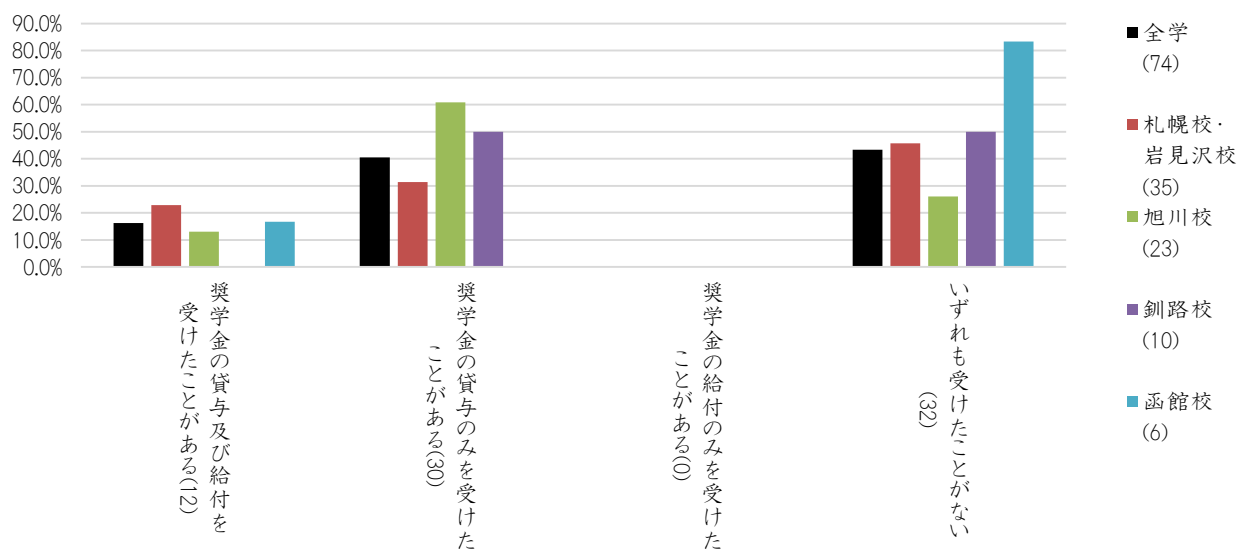
ストレートマスターでは、①「仕送りはない」(38.2%)、②「3～5万円未満」、「5～8万円未満」(20.6%)、④「8～10万円未満」(11.8%)の順であり、約62%が仕送りを受けているという結果であった。

問10. あなたは、これまでに奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。

【全学】

区 分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
奨学金の貸与及び給付を受けたことがある(12)	16.2%	22.9%	13.0%	0.0%	16.7%
奨学金の貸与のみを受けたことがある(30)	40.5%	31.4%	60.9%	50.0%	0.0%
奨学金の給付のみを受けたことがある(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
いずれも受けたことがない(32)	43.3%	45.7%	26.1%	50.0%	83.3%

奨学金の貸与・給付状況(大学院生)



全学では、①「いずれも受けたことがない」(43.3%)、②「奨学金の貸与のみを受けたことがある」(40.5%)、③「奨学金の貸与のみを受けたことがある」(16.2%)、④「奨学金の給付のみを受けたことがある」(0.0%)の順であった。

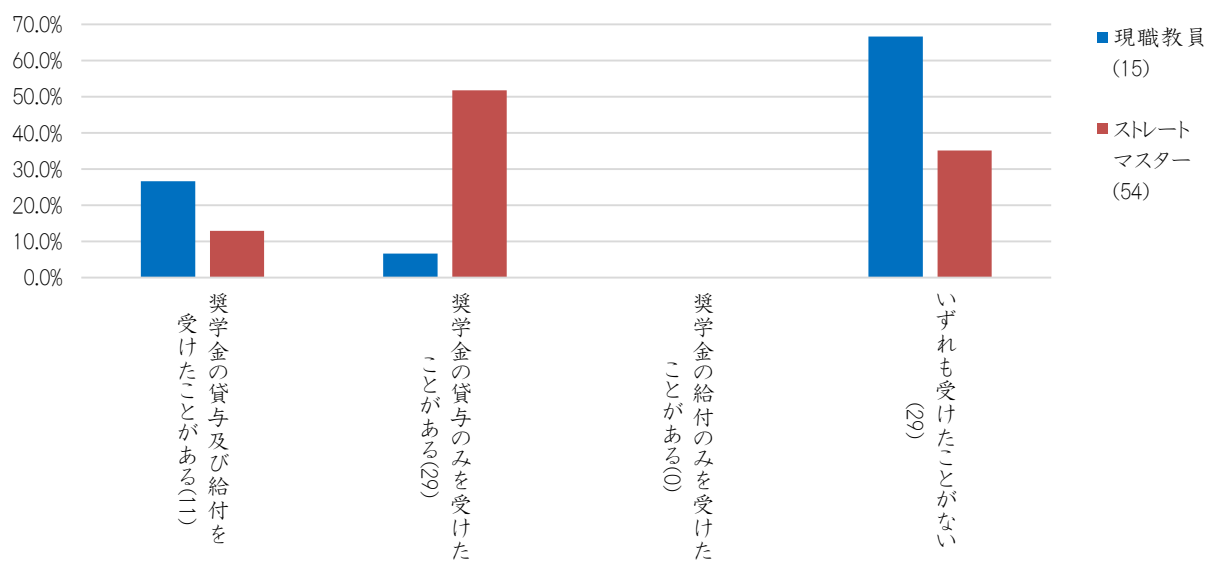
キャンパス別では、函館校で「いずれも受けたことがない」の割合(83.3%)が高かった。また、釧路校で「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」の割合は 0.0%であった。

問10. あなたは、これまでに奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
奨学金の貸与及び給付を受けたことがある(11)	26.7%	13.0%
奨学金の貸与のみを受けたことがある(29)	6.7%	51.8%
奨学金の給付のみを受けたことがある(0)	0.0%	0.0%
いずれも受けたことがない(29)	66.6%	35.2%

奨学金の貸与・給付状況(大学院生・属性別)



現職教員では、①「いずれも受けたことがない」(66.6%)、②「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」(26.7%)、③「奨学金の貸与のみを受けたことがある」(6.7%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「奨学金の貸与のみを受けたことがある」(51.8%)、②「いずれも受けたことがない」(35.2%)、③「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」(13.0%)の順であった。

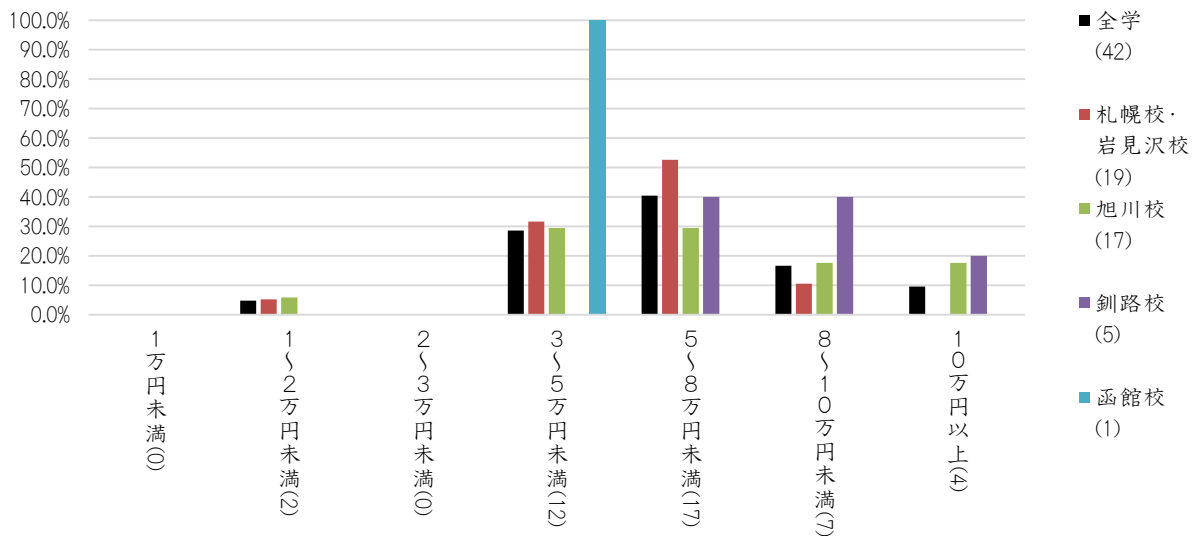
問11. 奨学金の月額はいくらですか。(貸与及び給付を合わせた額。一時金の場合は月額に換算する。)

※問10で、「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」「奨学金の貸与のみを受けたことがある」「奨学金の給付のみを受けたことがある」を選択した人のみ回答してください。

【本学】

区 分	全学 (42)	札幌校・ 岩見沢校 (19)	旭川校 (17)	釧路校 (5)	函館校 (1)
1万円未満(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1～2万円未満(2)	4.8%	5.3%	5.9%	0.0%	0.0%
2～3万円未満(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5万円未満(12)	28.6%	31.6%	29.5%	0.0%	100.0%
5～8万円未満(17)	40.4%	52.6%	29.4%	40.0%	0.0%
8～10万円未満(7)	16.7%	10.5%	17.6%	40.0%	0.0%
10万円以上(4)	9.5%	0.0%	17.6%	20.0%	0.0%

奨学金月額(大学院生)



全学では、①「5～8万円未満」(40.4%)、②「3～5万円未満」(28.6%)、③「8～10万円未満」(16.7%)の順であり、3～8万円未満で全体の約69%を占めている。

キャンパス別では、釧路校で、8万円以上の層の割合(約60%)が全学の割合(約26%)と比べて高かった。

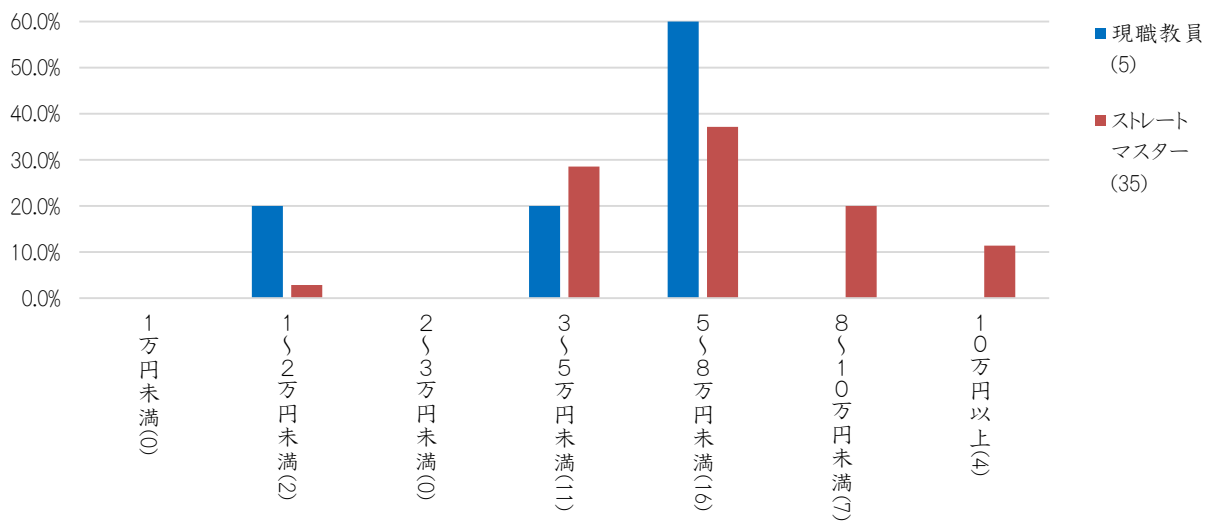
問11. 奨学金の月額はいくらですか。(貸与及び給付を合わせた額。一時金の場合は月額に換算する。)

※問10で、「奨学金の貸与及び給付を受けたことがある」「奨学金の貸与のみを受けたことがある」「奨学金の給付のみを受けたことがある」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (5)	ストレート マスター (35)
1万円未満(0)	0.0%	0.0%
1～2万円未満(2)	20.0%	2.9%
2～3万円未満(0)	0.0%	0.0%
3～5万円未満(11)	20.0%	28.6%
5～8万円未満(16)	60.0%	37.1%
8～10万円未満(7)	0.0%	20.0%
10万円以上(4)	0.0%	11.4%

奨学金月額(大学院生・属性別)



現職教員では、①「5～8万円未満」、②「1～2万円未満」、「3～5万円未満」(20.0%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「5～8万円未満」(37.1%)、②「3～5万円未満」(28.6%)、③「8～10万円未満」(20.0%)、④「10万円以上」(11.4%)の順であった。

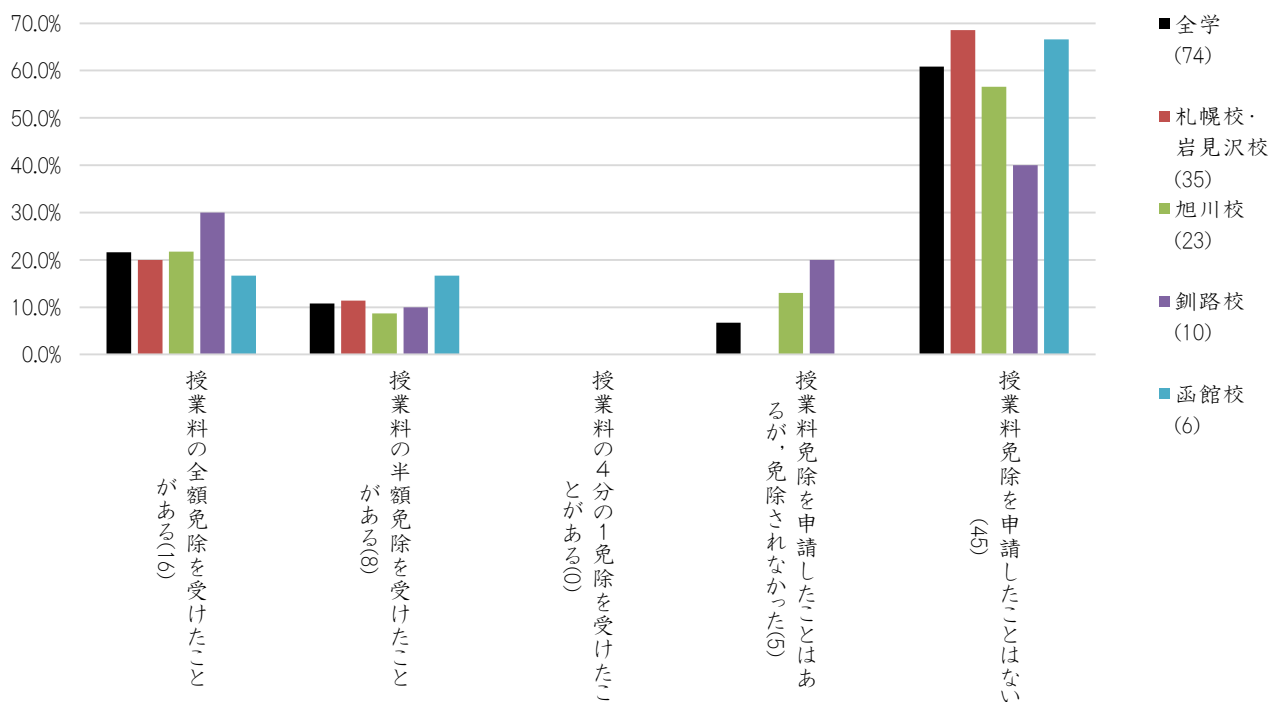
問12. あなたは、これまでに授業料免除を受けたことがありますか。

(次の選択肢に複数該当する場合は、最も免除額の多いもの一つを選んでください。)

【本学】

区分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
授業料の全額免除を受けたことがある(16)	21.6%	20.0%	21.7%	30.0%	16.7%
授業料の半額免除を受けたことがある(8)	10.8%	11.4%	8.7%	10.0%	16.7%
授業料の4分の1免除を受けたことがある(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
授業料免除を申請したことはあるが、免除されなかった(5)	6.8%	0.0%	13.0%	20.0%	0.0%
授業料免除を申請したことはない(45)	60.8%	68.6%	56.6%	40.0%	66.6%

授業料免除状況(大学院生)



全学では、①「授業料免除を申請したことはない」(60.8%)、②「授業料の全額免除を受けたことがある」(21.6%)、③「授業料免除の半額免除を受けたことがある」(10.8%)の順であった。

キャンパス別でも、全学の傾向とおおむね大きな違いは見られないが、「授業料免除を申請したことがあるが、免除されなかった」の割合が釧路校(20.0%)、旭川校(13.0%)で全学の割合(6.8%)よりも高かった。

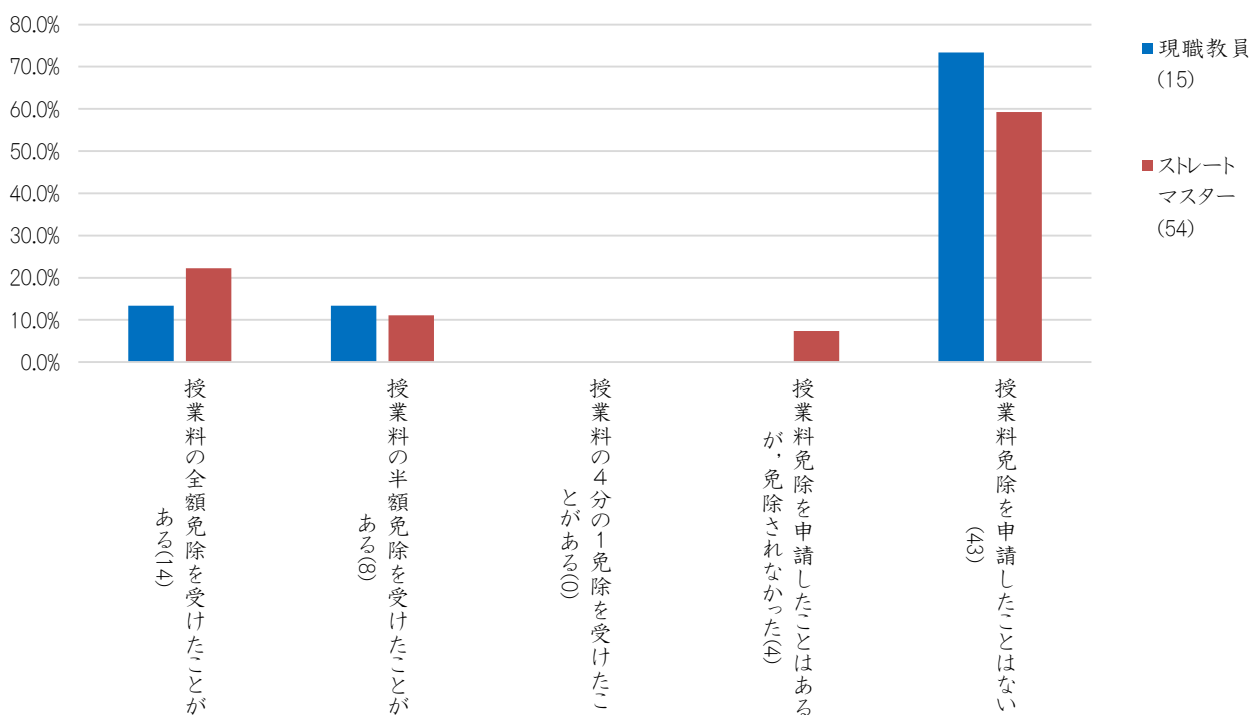
問12. あなたは、これまでに授業料免除を受けたことがありますか。

(次の選択肢に複数該当する場合は、最も免除額の多いもの一つを選んでください。)

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
授業料の全額免除を受けたことがある(14)	13.3%	22.2%
授業料の半額免除を受けたことがある(8)	13.3%	11.1%
授業料の4分の1免除を受けたことがある(0)	0.0%	0.0%
授業料免除を申請したことはあるが、免除されなかった(4)	0.0%	7.4%
授業料免除を申請したことはない(43)	73.4%	59.3%

授業料免除状況(大学院生・属性別)



現職教員では、①「授業料免除を申請したことはない」(73.4%)、②「授業料の全額免除を受けたことがある」、「授業料免除の半額免除を受けたことがある」(13.3%)の順であった。

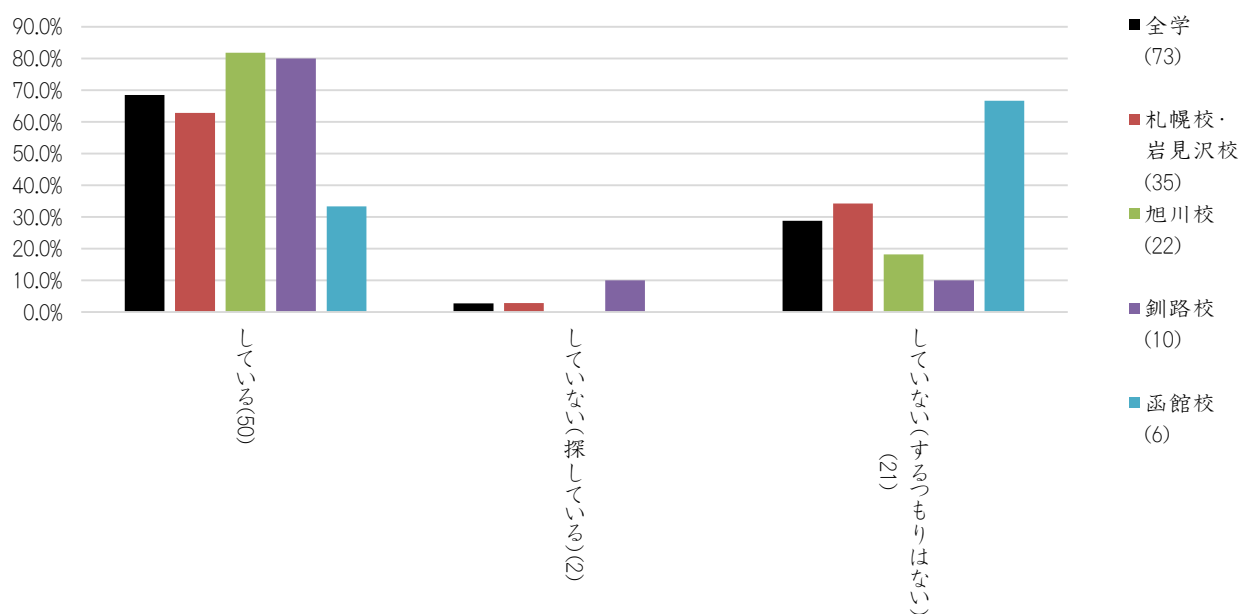
ストレートマスターでは、①「授業料免除を申請したことはない」(73.4%)、②「授業料の全額免除を受けたことがある」(22.2%)、③「授業料免除の半額免除を受けたことがある」(11.1%)の順であった。

問13. あなたは、現在アルバイトをしていますか。

【全学】

区 分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (22)	釧路校 (10)	函館校 (6)
している(50)	68.5%	62.8%	81.8%	80.0%	33.3%
していない(探している)(2)	2.7%	2.9%	0.0%	10.0%	0.0%
していない(するつもりはない)(21)	28.8%	34.3%	18.2%	10.0%	66.7%

アルバイトの有無(大学院生)



全学では、①「している」(68.5%)、②「していない(するつもりはない)」(28.8%)、③「していない(探している)」(2.7%)の順であった。

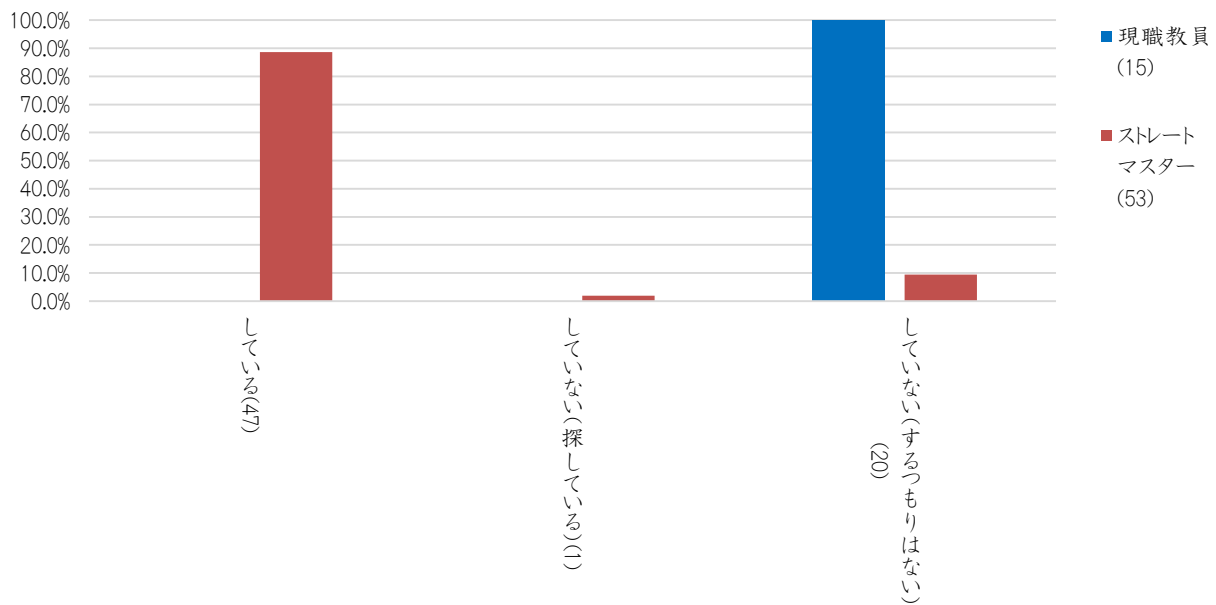
キャンパス別では、函館校で「している」の割合(33.3%)が低く、「していない(するつもりはない)」の割合(66.7%)が高かった。

問13. あなたは、現在アルバイトをしていますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (53)
している(47)	0.0%	88.7%
していない(探している)(1)	0.0%	1.9%
していない(するつもりはない)(20)	100.0%	9.4%

アルバイトの有無(大学院生・属性別)



現職教員では、「していない(するつもりはない)」が100.0%であった。

ストレートマスターでは、①「している」(88.7%)、②「していない(するつもりはない)」(9.4%)、③「していない(探している)」(1.9%)の順であった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

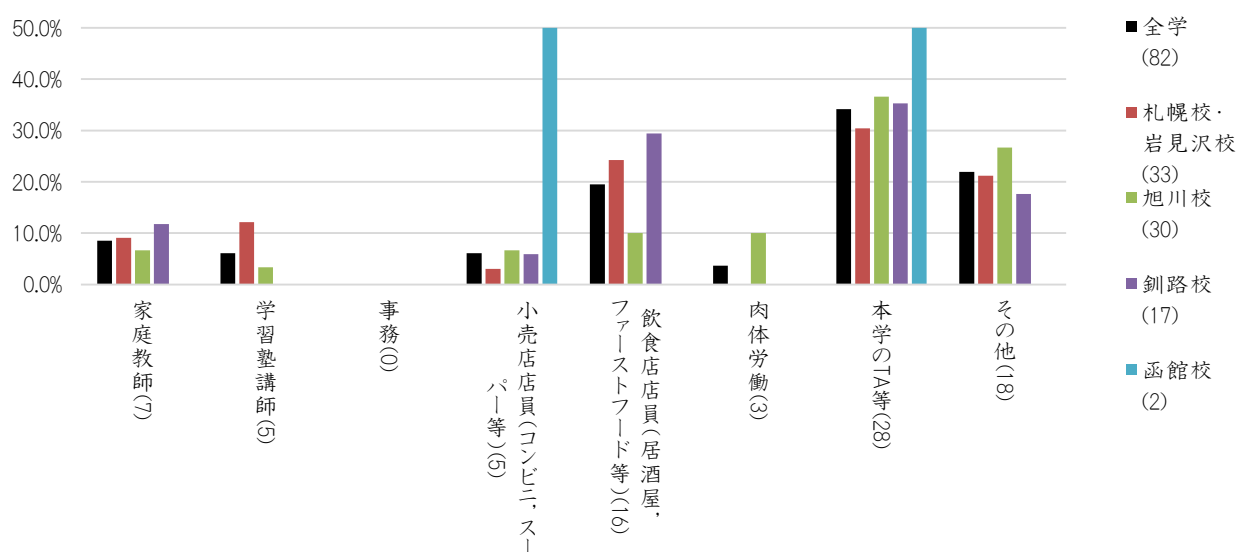
(ア):職種は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

【全学】

区分	全学 (82)	札幌校・ 岩見沢校 (33)	旭川校 (30)	釧路校 (17)	函館校 (2)
家庭教師(7)	8.5%	9.1%	6.7%	11.8%	0.0%
学習塾講師(5)	6.1%	12.1%	3.3%	0.0%	0.0%
事務(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小売店店員(コンビニ、スーパー等)(5)	6.1%	3.0%	6.7%	5.9%	50.0%
飲食店店員(居酒屋、ファーストフード等)(16)	19.5%	24.2%	10.0%	29.4%	0.0%
肉体労働(3)	3.7%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
本学のTA等(28)	34.1%	30.4%	36.6%	35.3%	50.0%
その他(18)	22.0%	21.2%	26.7%	17.6%	0.0%

※その他:(道非常勤教員、教育支援施設、図書館勤務、ギャラリー、アパレル、就職、福祉施設)

アルバイト(職種)(大学院生)



全学では、①「本学のTA等」(34.1%)、②「その他」(22.0%)、③「飲食店店員(居酒屋、ファーストフード等)」(19.5%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校・岩見沢校では、「学習塾講師」の割合(12.1%)が全学の割合(6.1%)よりも高かった。函館校では、「小売店店員(コンビニ、スーパー等)」の割合(6.1%)が全学の割合(50.0%)よりも高かった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(ア):職種は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

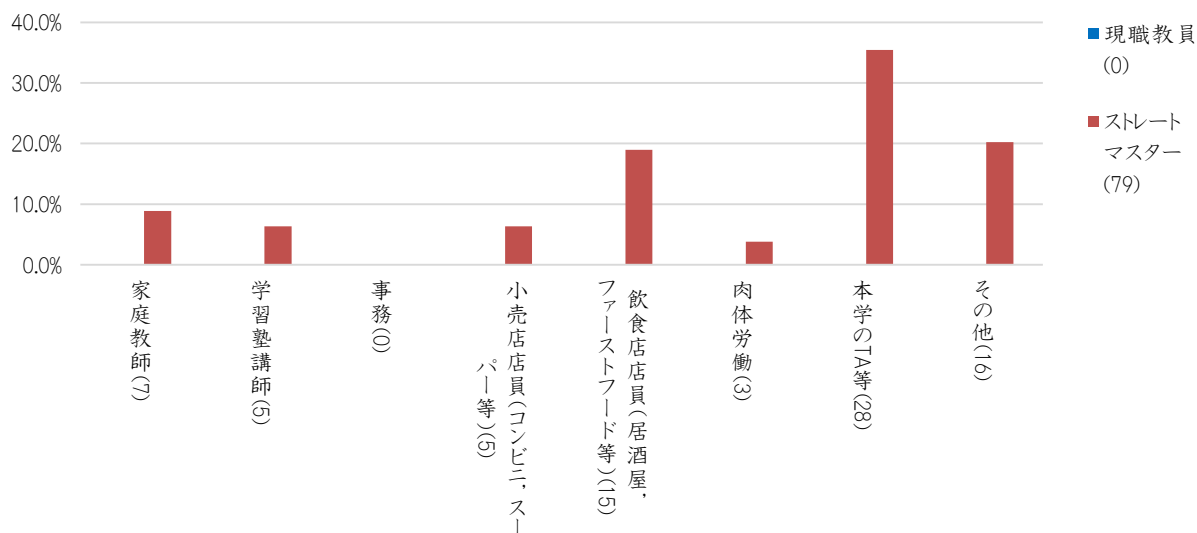
【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区分	現職教員 (0)	ストレート マスター (79)
家庭教師(7)	0.0%	8.9%
学習塾講師(5)	0.0%	6.3%
事務(0)	0.0%	0.0%
小売店店員(コンビニ, スーパー等)(5)	0.0%	6.3%
飲食店店員(居酒屋, ファーストフード等)(15)	0.0%	19.0%
肉体労働(3)	0.0%	3.8%
本学のTA等(28)	0.0%	35.4%
その他(16)	0.0%	20.3%

※その他

(道職員非常勤、非常勤講師、某施設の教育支援、大学付属図書館、ギャラリー、アパレル、接客)

アルバイト(職種)(大学院生・属性別)



現職教員は、問13で「している」を選択した者がいないため、問14(ア)～(オ)は0.0%である。

ストレートマスターでは、①「本学のTA等」(35.4%)、②「その他」(20.3%)、③「飲食店店員(居酒屋・ファーストフード等)」(19.0%)の順であった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

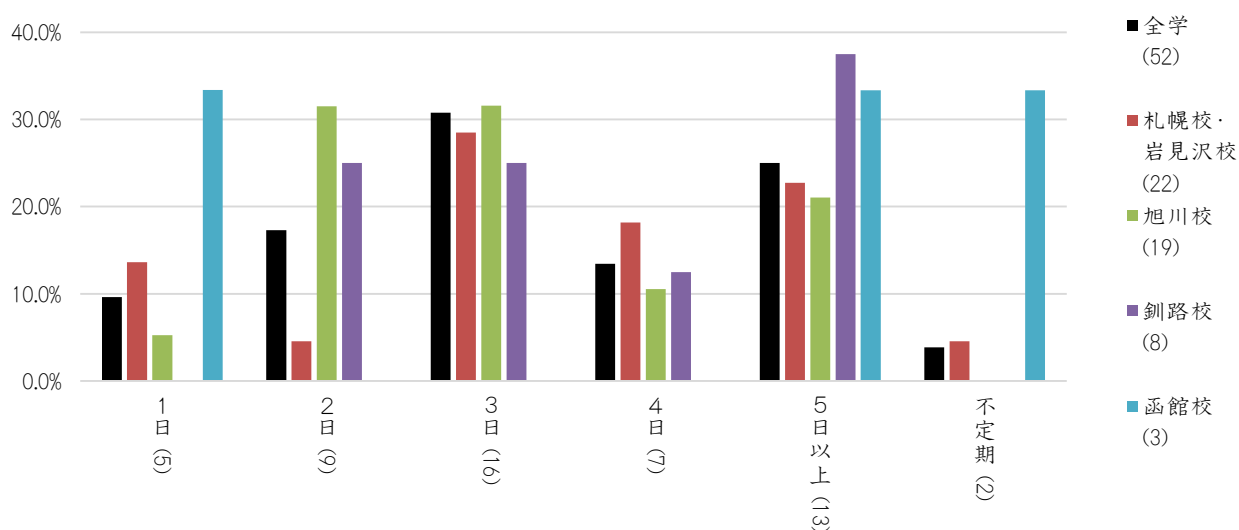
※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(イ):1週間に何日ぐらい働きますか。

【全学】

区分	全学 (52)	札幌校・ 岩見沢校 (22)	旭川校 (19)	釧路校 (8)	函館校 (3)
1日(5)	9.6%	13.6%	5.3%	0.0%	33.4%
2日(9)	17.3%	4.5%	31.5%	25.0%	0.0%
3日(16)	30.8%	28.5%	31.6%	25.0%	0.0%
4日(7)	13.5%	18.2%	10.5%	12.5%	0.0%
5日以上(13)	25.0%	22.7%	21.1%	37.5%	33.3%
不定期(2)	3.8%	4.5%	0.0%	0.0%	33.3%

アルバイト(週当たり勤務日数)(大学院生)



全学では、週当たり①「3日」(30.8%)、②「5日以上」(25.0%)、③「2日」(17.3%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校で「2日」の割合(4.5%)が全学の割合(17.3%)より低く、「4日」の割合(18.2%)が全学の割合(13.5%)より高かった。釧路校では、「5日以上」の割合(37.5%)が高く、「1日」の割合は0.0%であった。函館校では、「1日」(33.4%)、「5日以上」「不定期」(33.3%)の順であり、全学の傾向とは異なる結果であった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

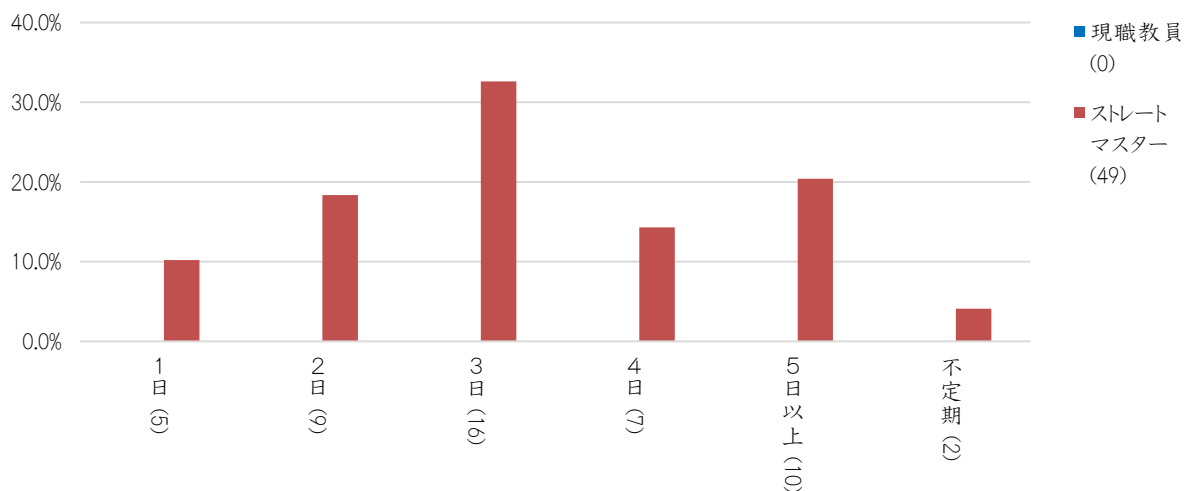
※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(イ):1週間に何日ぐらい働きますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (0)	ストレート マスター (49)
1日(5)	0.0%	10.2%
2日(9)	0.0%	18.4%
3日(16)	0.0%	32.6%
4日(7)	0.0%	14.3%
5日以上(10)	0.0%	20.4%
不定期(2)	0.0%	4.1%

アルバイト(週当たり勤務日数)(大学院生・属性別)



現職教員は、問13で「している」を選択した者がいないため、問14(ア)～(オ)は0.0%である。
 ストレートマスターでは、①「3日」(32.6%)、②「5日以上」(20.4%)、③「2日」(18.4%)の順であった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

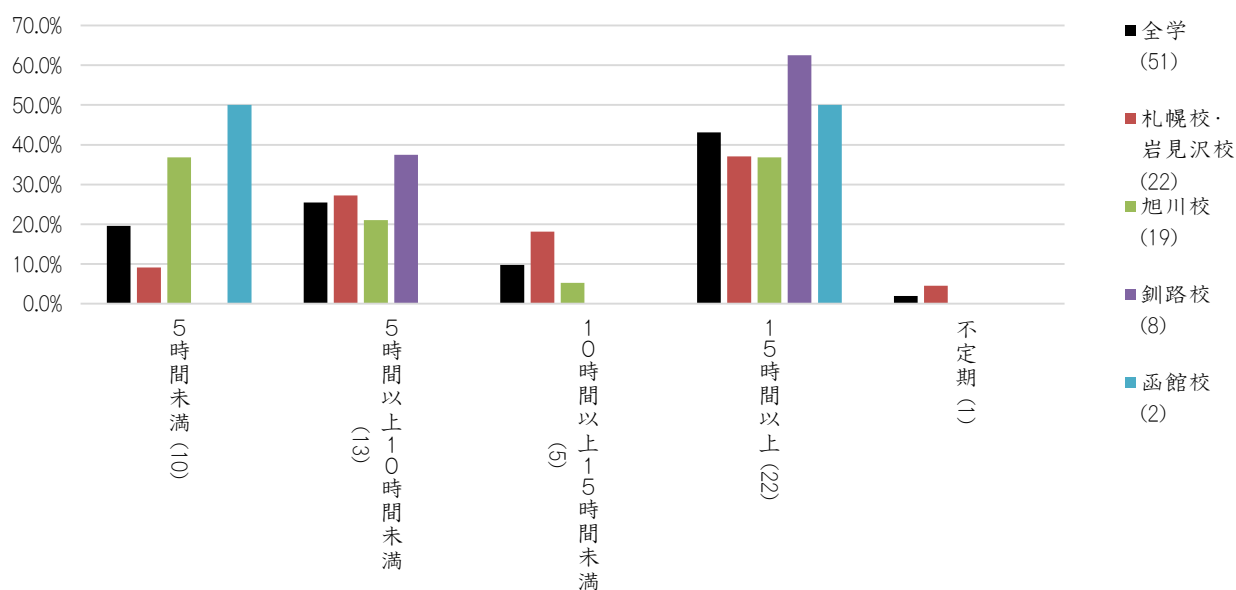
※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(ウ):1週間に何時間ぐらい働きますか。

【全学】

区分	全学 (51)	札幌校・ 岩見沢校 (22)	旭川校 (19)	釧路校 (8)	函館校 (2)
5時間未満(10)	19.6%	9.1%	36.8%	0.0%	50.0%
5時間以上10時間未満(13)	25.5%	27.3%	21.1%	37.5%	0.0%
10時間以上15時間未満(5)	9.8%	18.2%	5.3%	0.0%	0.0%
15時間以上(22)	43.1%	37.1%	36.8%	62.5%	50.0%
不定期(1)	2.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%

アルバイト(週当たり勤務時間数)(大学院生)



全学では、①「15時間以上」(43.1%)、②「5時間以上10時間未満」(25.5%)、③「5時間未満」(19.6%)の順であった。

キャンパス別では、「15時間以上」の割合が釧路校(62.5%)、函館校(50.0%)で、全学の割合(43.1%)よりも高かった。また、「5時間未満」の割合が函館校(50.0%)、旭川校(36.8%)で、全学の割合(19.6%)よりも高かった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

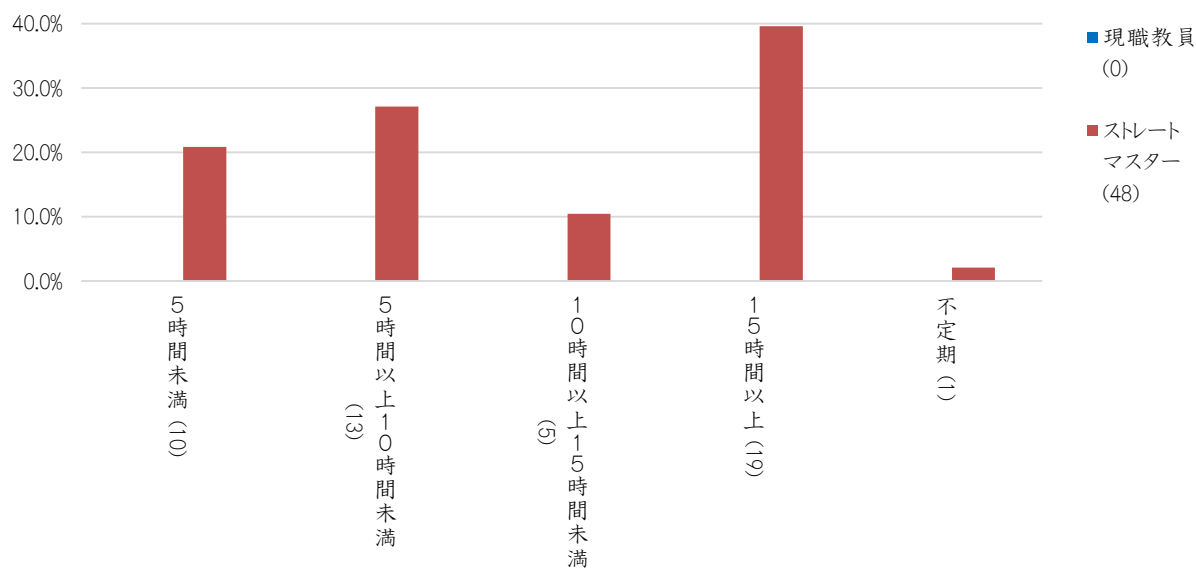
※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(ウ):1週間に何時間ぐらい働きますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (0)	ストレート マスター (48)
5時間未満(10)	0.0%	20.8%
5時間以上10時間未満(13)	0.0%	27.1%
10時間以上15時間未満(5)	0.0%	10.4%
15時間以上(19)	0.0%	39.6%
不定期(1)	0.0%	2.1%

アルバイト(週当たり勤務時間数)(大学院生・属性別)



現職教員は、問13で「している」を選択した者がいないため、問14(ア)～(オ)は0.0%である。

ストレートマスターでは、①「15時間以上」(39.6%)、②「5時間以上10時間未満」(27.1%)、③「5時間未満」(20.8%)、④「10時間以上15時間未満」(10.4%)の順であった。

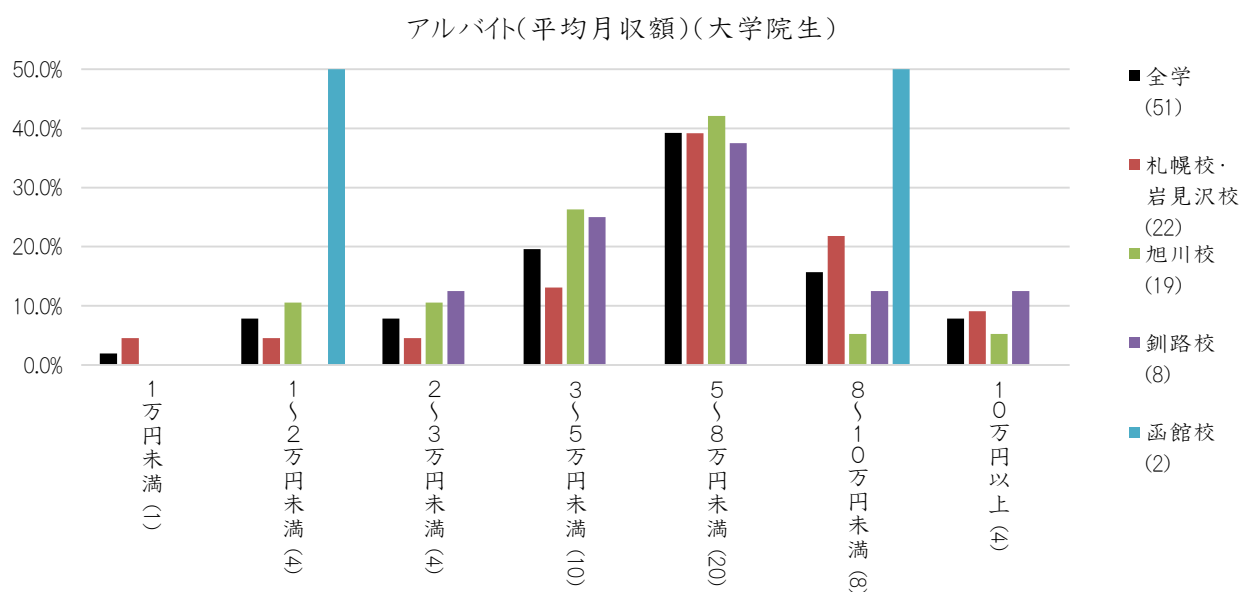
問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(エ):アルバイトによる平均の月収はいくらですか。

【全学】

区分	全学 (51)	札幌校・ 岩見沢校 (22)	旭川校 (19)	釧路校 (8)	函館校 (2)
1万円未満(1)	2.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
1～2万円未満(4)	7.8%	4.5%	10.5%	0.0%	50.0%
2～3万円未満(4)	7.8%	4.5%	10.5%	12.5%	0.0%
3～5万円未満(10)	19.6%	13.1%	26.3%	25.0%	0.0%
5～8万円未満(20)	39.2%	39.2%	42.1%	37.5%	0.0%
8～10万円未満(8)	15.7%	21.8%	5.3%	12.5%	50.0%
10万円以上(4)	7.8%	9.1%	5.3%	12.5%	0.0%



全学では、①「5～8万円未満」(39.2%)、②「3～5万円未満」(19.6%)、③「8～10万円未満」(15.7%)の順であり、これらの合計で約75%を占めている。

キャンパス別では、8万円以上の層で、全学では約24%だが、函館校で50.0%、札幌校・岩見沢校で約31%と高く、釧路校は25.0%で全学とほぼ同様、旭川校では約11%で低くなっている。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

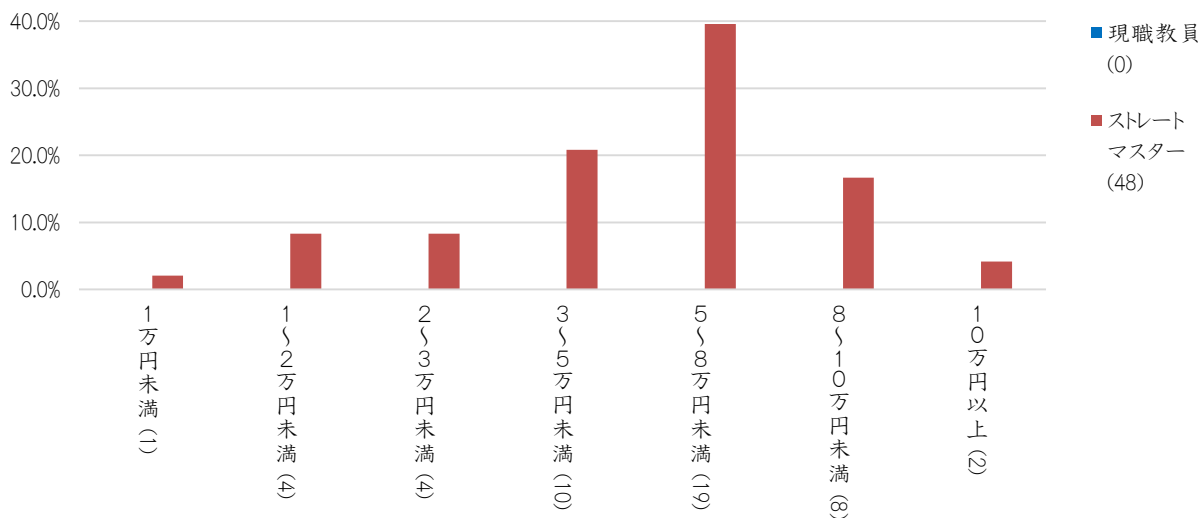
※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

(エ):アルバイトによる平均の月収はいくらですか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (0)	ストレート マスター (48)
1万円未満(1)	0.0%	2.1%
1～2万円未満(4)	0.0%	8.3%
2～3万円未満(4)	0.0%	8.3%
3～5万円未満(10)	0.0%	20.8%
5～8万円未満(19)	0.0%	39.6%
8～10万円未満(8)	0.0%	16.7%
10万円以上(2)	0.0%	4.2%

アルバイト(平均月収額)(大学院生・属性別)



現職教員は、問13で「している」を選択した者がいないため、問14(ア)～(オ)は0.0%である。

ストレートマスターでは、①「5～8万円未満」(39.6%)、②「3～5万円未満」(20.8%)、③「8～10万円未満」(16.7%)の順であった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

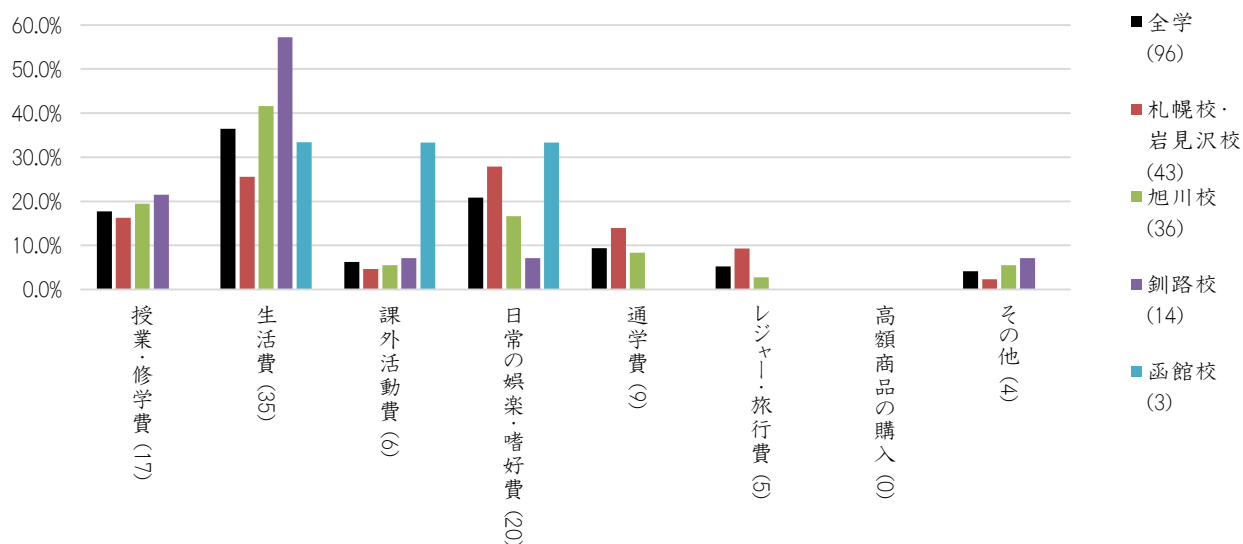
(オ):収入の主な用途は何ですか。〔主なものを2つ以内で選んでください。〕

【全学】

区分	全学 (96)	札幌校・ 岩見沢校 (43)	旭川校 (36)	釧路校 (14)	函館校 (3)
授業・修学費(17)	17.7%	16.3%	19.4%	21.5%	0.0%
生活費(35)	36.5%	25.6%	41.6%	57.2%	33.4%
課外活動費(6)	6.3%	4.7%	5.6%	7.1%	33.3%
日常の娯楽・嗜好費(20)	20.8%	27.9%	16.7%	7.1%	33.3%
通学費(9)	9.4%	14.0%	8.3%	0.0%	0.0%
レジャー・旅行費(5)	5.2%	9.3%	2.8%	0.0%	0.0%
高額商品の購入(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(4)	4.2%	2.3%	5.6%	7.1%	0.0%

※その他:(書籍、携帯料金、研究費)

アルバイト(収入の主な用途)(大学院生)



全学では、①「生活費」(36.5%)、②「日常の娯楽・嗜好費」(20.8%)、③「授業・修学費」(17.7%)の順であった。

キャンパス別では、釧路校で「生活費」の割合(57.2%)が高く、「日常の娯楽・嗜好費」の割合(7.1%)は低かった。函館校では、「課外活動費」の割合(33.3%)が全学の割合(6.3%)よりも高かった。

問14. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。

※問13で、「している」を選択した人のみ回答してください。

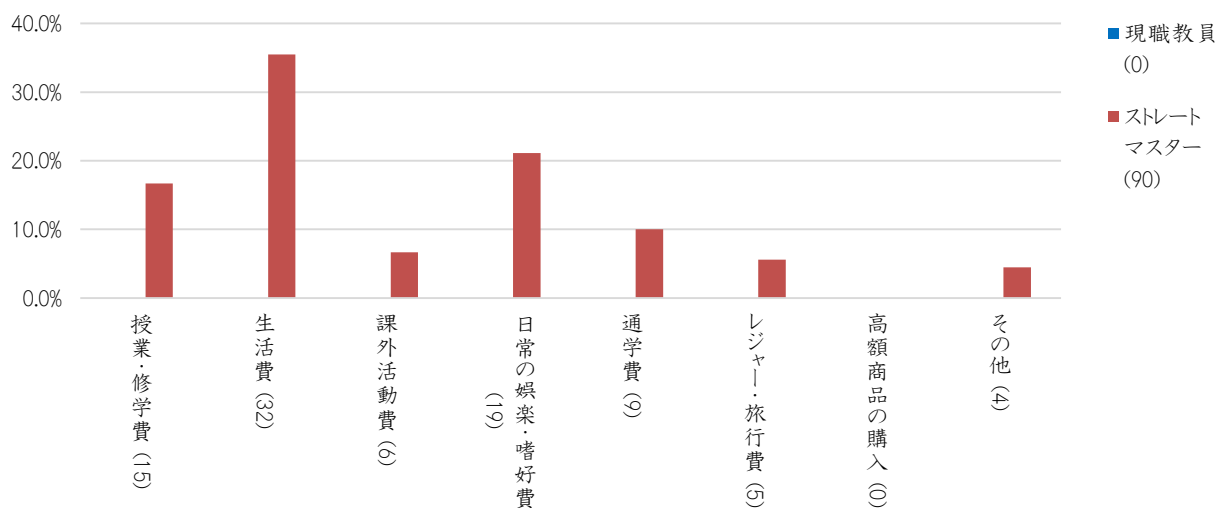
(オ): 収入の主な用途は何ですか。〔主なものを2つ以内で選んでください。〕

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (0)	ストレート マスター (90)
授業・修学費(15)	0.0%	16.7%
生活費(32)	0.0%	35.5%
課外活動費(6)	0.0%	6.7%
日常の娯楽・嗜好費(19)	0.0%	21.1%
通学費(9)	0.0%	10.0%
レジャー・旅行費(5)	0.0%	5.6%
高額商品の購入(0)	0.0%	0.0%
その他(4)	0.0%	4.4%

※その他:(書籍、携帯料金、研究費)

アルバイト(収入の主な用途)(大学院生・属性別)



現職教員は、問13で「している」を選択した者がいないため、問14(ア)～(オ)は0.0%である。

ストレートマスターでは、①「生活費」(35.5%)、②「日常の娯楽・嗜好費」(21.1%)、③「授業・修学費」(16.7%)、④「通学費」(10.0%)の順であった。

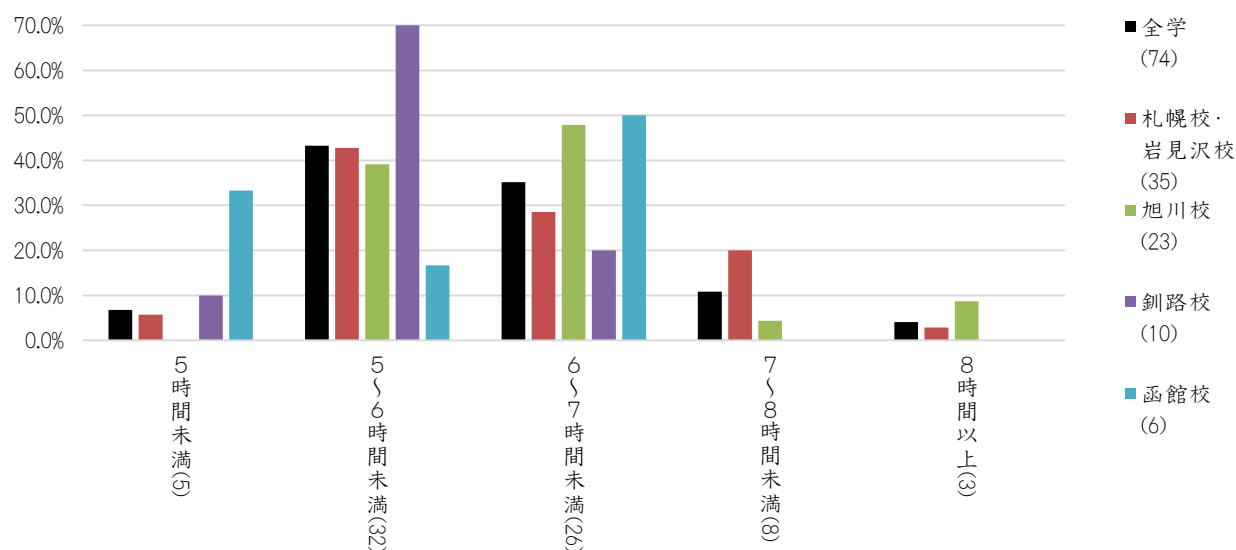
V 普段の生活について

問15. あなたの1日の平均睡眠時間は、どのくらいですか。

【全学】

区分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
5時間未満(5)	6.8%	5.7%	0.0%	10.0%	33.3%
5～6時間未満(32)	43.2%	42.8%	39.1%	70.0%	16.7%
6～7時間未満(26)	35.1%	28.6%	47.9%	20.0%	50.0%
7～8時間未満(8)	10.8%	20.0%	4.3%	0.0%	0.0%
8時間以上(3)	4.1%	2.9%	8.7%	0.0%	0.0%

睡眠時間数(1日平均)(大学院生)



全学では、①「5～6時間未満」(43.2%)、②「6～7時間未満」(35.1%)、③「7～8時間未満」(10.8%)の順であり、5～7時間未満が全体の約78%を占めている。

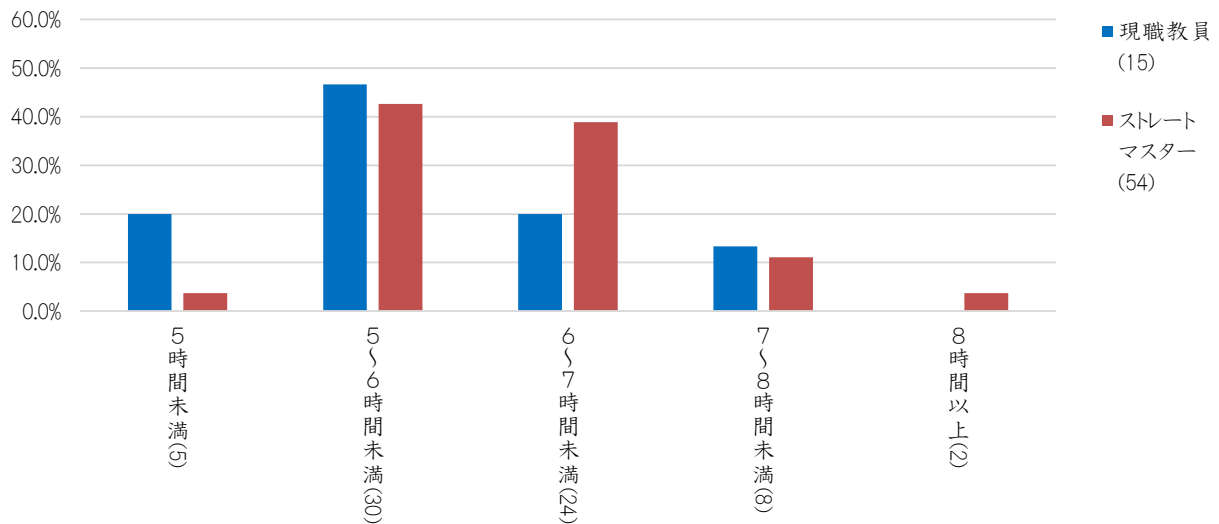
キャンパス別では、釧路校、函館校で7時間以上が0.0%であった。釧路校では、「5～6時間未満」の割合(70.0%)が最も高く、かつ全学(43.2%)よりも高かった。全学の傾向とは異なり、「6～7時間未満」の割合が最も高かったのは、函館校(50.0%)、旭川校(47.9%)であった。

問15. あなたの1日の平均睡眠時間は、どのくらいですか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
5時間未満(5)	20.0%	3.7%
5～6時間未満(30)	46.7%	42.6%
6～7時間未満(24)	20.0%	38.9%
7～8時間未満(8)	13.3%	11.1%
8時間以上(2)	0.0%	3.7%

睡眠時間数(1日平均)(大学院生・属性別)



現職教員では、①「5～6時間未満」(46.7%)、②「5時間未満」、「6～7時間未満」(20.0%)の順であった。

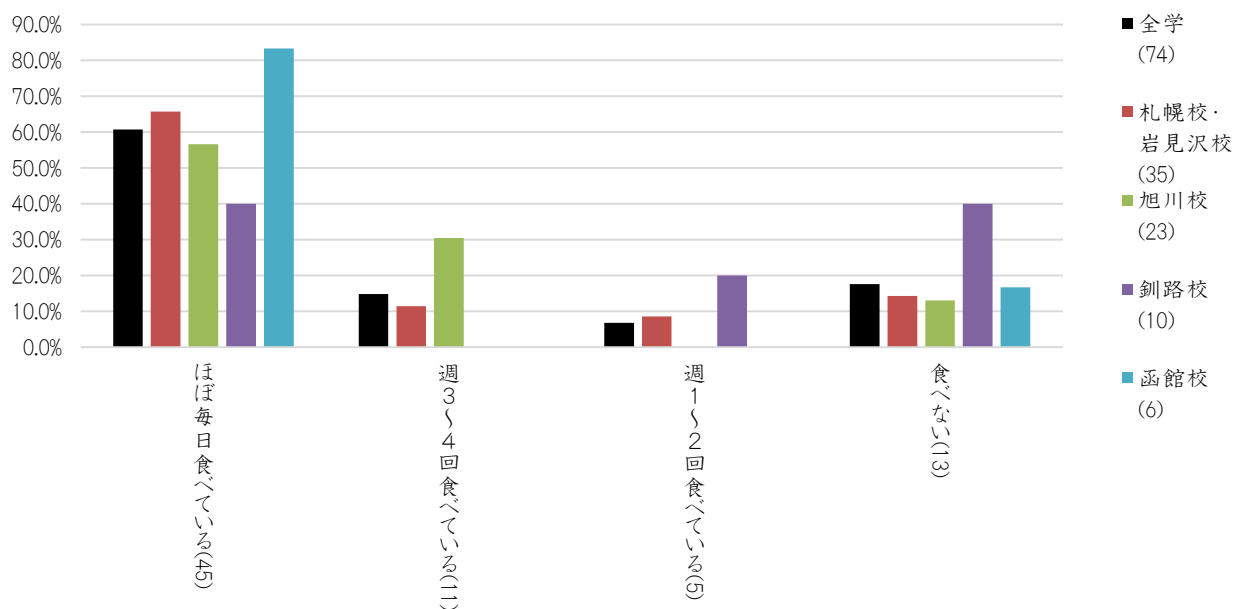
ストレートマスターでは、①「5～6時間未満」(42.6%)、②「6～7時間未満」(38.9%)、③「7～8時間未満」(11.1%)の順であった。

問16. あなたは、朝食を摂っていますか。

【全学】

区分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
ほぼ毎日食べている(45)	60.7%	65.7%	56.6%	40.0%	83.3%
週3～4回食べている(11)	14.9%	11.4%	30.4%	0.0%	0.0%
週1～2回食べている(5)	6.8%	8.6%	0.0%	20.0%	0.0%
食べない(13)	17.6%	14.3%	13.0%	40.0%	16.7%

朝食の摂取状況(大学院生)



全学では、①「ほぼ毎日食べている」(60.7%)、②「食べない」(17.6%)、③「週3～4回食べている」(14.9%)、④「週1～2回食べている」(6.8%)の順であった。

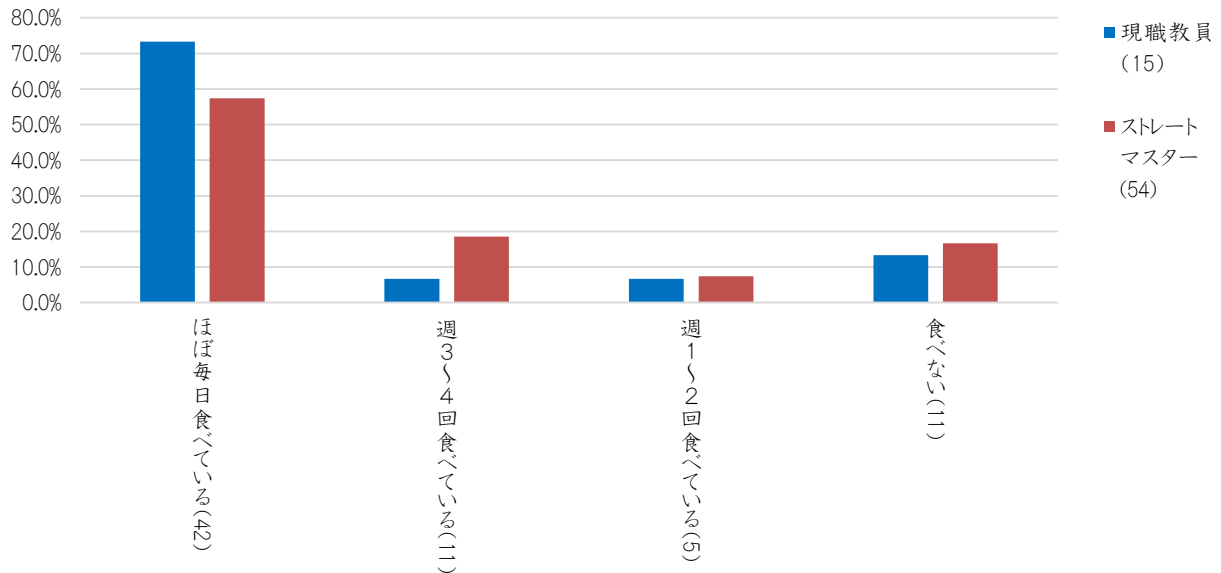
キャンパス別では、釧路校で「食べない」の割合(40.0%)が高く、函館校で「ほぼ毎日食べている」の割合(83.3%)が高かった。

問16. あなたは、朝食を摂っていますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
ほぼ毎日食べている(42)	73.3%	57.4%
週3～4回食べている(11)	6.7%	18.5%
週1～2回食べている(5)	6.7%	7.4%
食べない(11)	13.3%	16.7%

朝食の摂取状況(大学院生・属性別)



現職教員では、①「ほぼ毎日食べている」(73.3%)、②「食べない」(13.3%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「ほぼ毎日食べている」(57.4%)、②「週3～4回食べている」(18.5%)、③「食べない」(16.7%)の順であった。

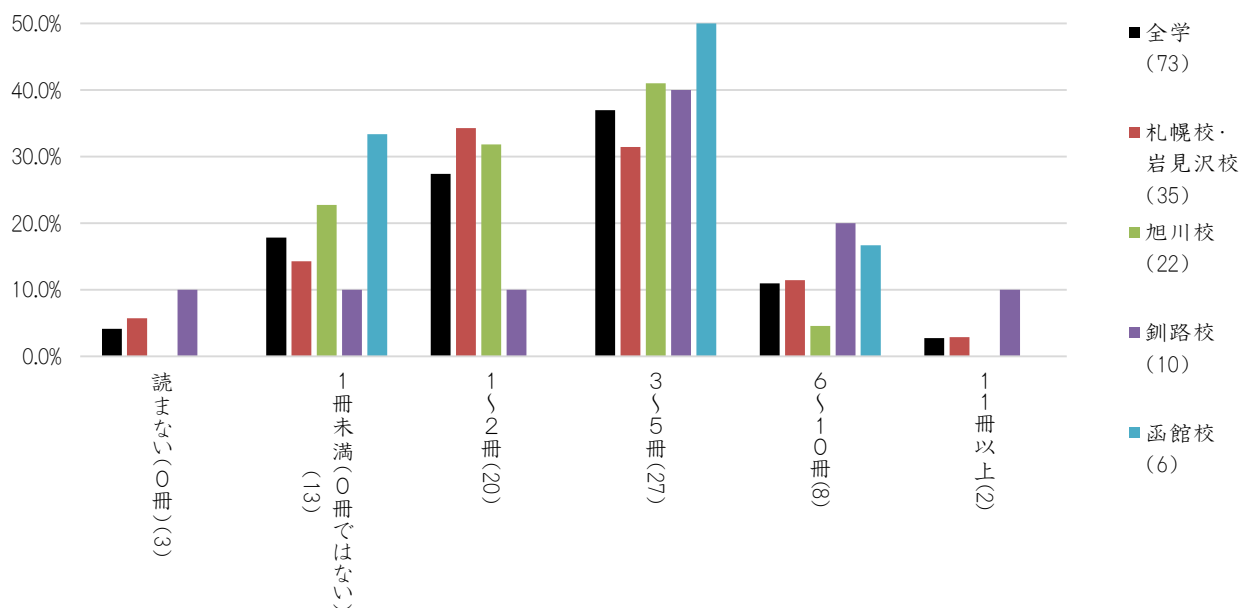
問17. あなたは、平均して月に何冊ぐらい本を読みますか。

(専門書・教養書等の冊数。雑誌・週刊誌，マンガは除く。)

【全学】

区分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (22)	釧路校 (10)	函館校 (6)
読まない(0冊)(3)	4.1%	5.7%	0.0%	10.0%	0.0%
1冊未満(0冊ではない)(13)	17.8%	14.3%	22.7%	10.0%	33.3%
1～2冊(20)	27.4%	34.3%	31.8%	10.0%	0.0%
3～5冊(27)	37.0%	31.4%	41.0%	40.0%	50.0%
6～10冊(8)	11.0%	11.4%	4.5%	20.0%	16.7%
11冊以上(2)	2.7%	2.9%	0.0%	10.0%	0.0%

読書量(月平均)(大学院生)



全学では、①「3～5冊」(37.0%)、②「1～3冊」(27.4%)、③「1冊未満(0冊ではない)」(17.8%)、④「6～10冊」(11.0%)の順であった。

キャンパス別では、「読まない(0冊)」と「1冊未満(0冊ではない)」の合計が全学では約22%だが、函館校では33.3%という結果であった。一方、3冊以上の層では、釧路校で70%、函館校で約67%で全学の約51%よりも高かった。

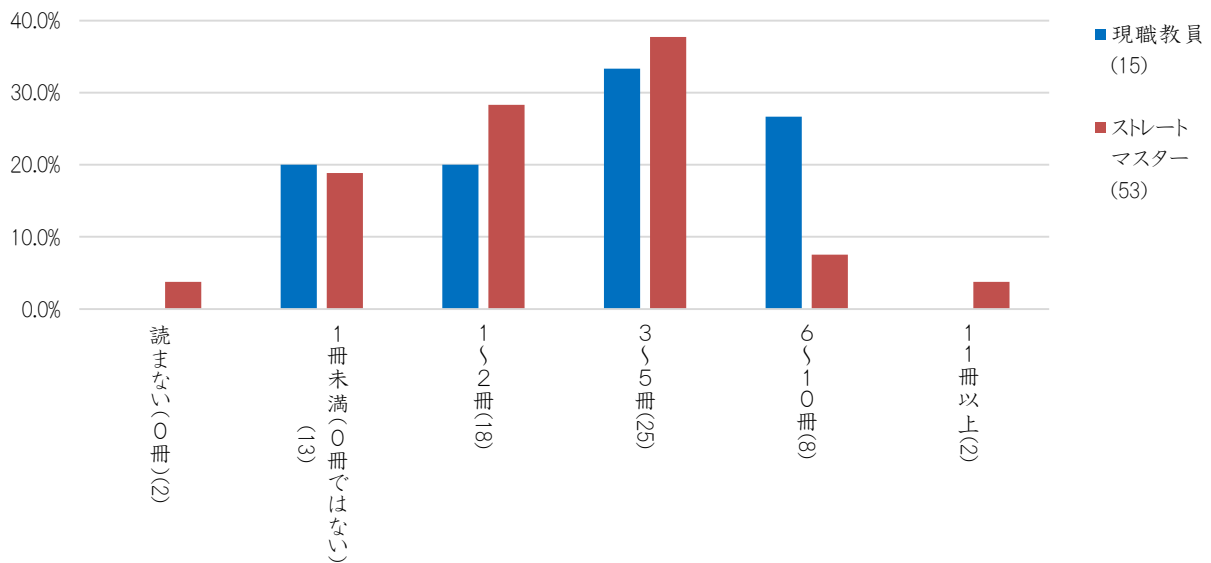
問17. あなたは、平均して月に何冊ぐらい本を読みますか。

(専門書・教養書等の冊数。雑誌・週刊誌、マンガは除く。)

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (53)
読まない(0冊)(2)	0.0%	3.8%
1冊未満(0冊ではない)(13)	20.0%	18.9%
1～2冊(18)	20.0%	28.3%
3～5冊(25)	33.3%	37.7%
6～10冊(8)	26.7%	7.5%
11冊以上(2)	0.0%	3.8%

読書量(月平均)(大学院生・属性別)



現職教員では、①「3～5冊」(33.3%)、②「6～10冊」(26.7%)、③「1冊未満(0冊ではない)」、「1～2冊」(20.0%)の順であった。

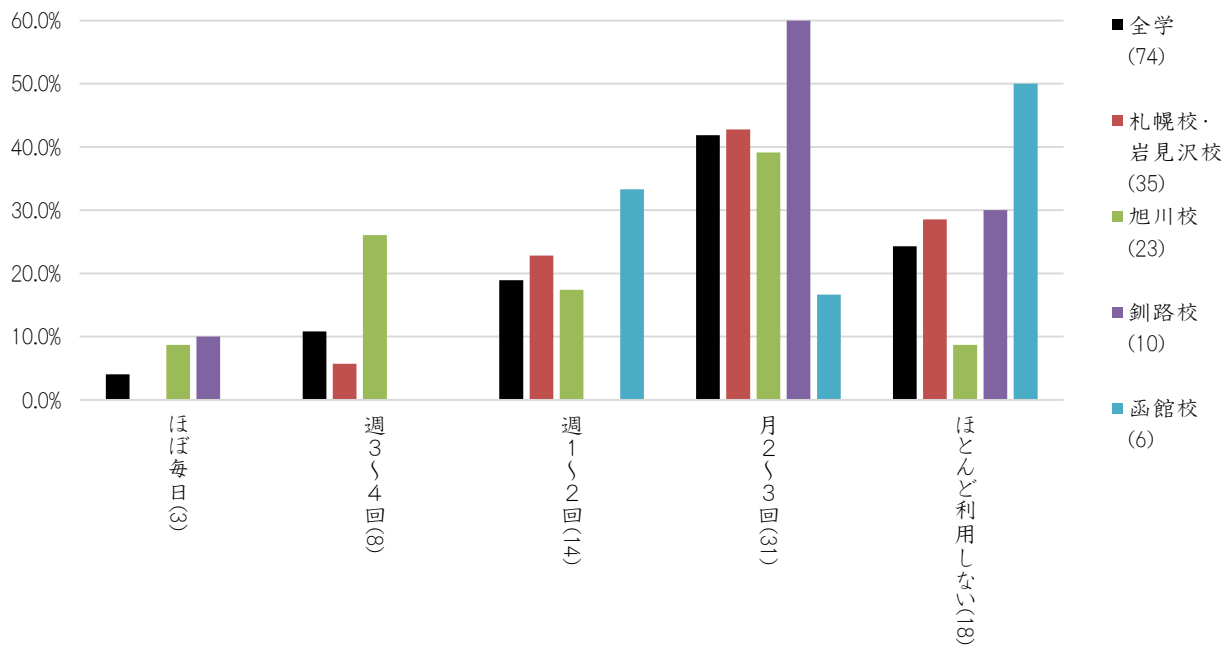
ストレートマスターでは、①「3～5冊」(37.7%)、②「1～2冊」(28.3%)、③「1冊未満(0冊ではない)」という順であった。

問18. 本学の図書館をどの程度利用していますか。

【全学】

区 分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
ほぼ毎日(3)	4.1%	0.0%	8.7%	10.0%	0.0%
週3～4回(8)	10.8%	5.7%	26.1%	0.0%	0.0%
週1～2回(14)	18.9%	22.9%	17.4%	0.0%	33.3%
月2～3回(31)	41.9%	42.8%	39.1%	60.0%	16.7%
ほとんど利用しない(18)	24.3%	28.6%	8.7%	30.0%	50.0%

本学の図書館利用状況(大学院生)



全学では、①「月2～3回」(41.9%)、②「ほとんど利用しない」(24.3%)、③「週1～2回」(18.9%)、④「週3～4回」(10.8%)の順であった。

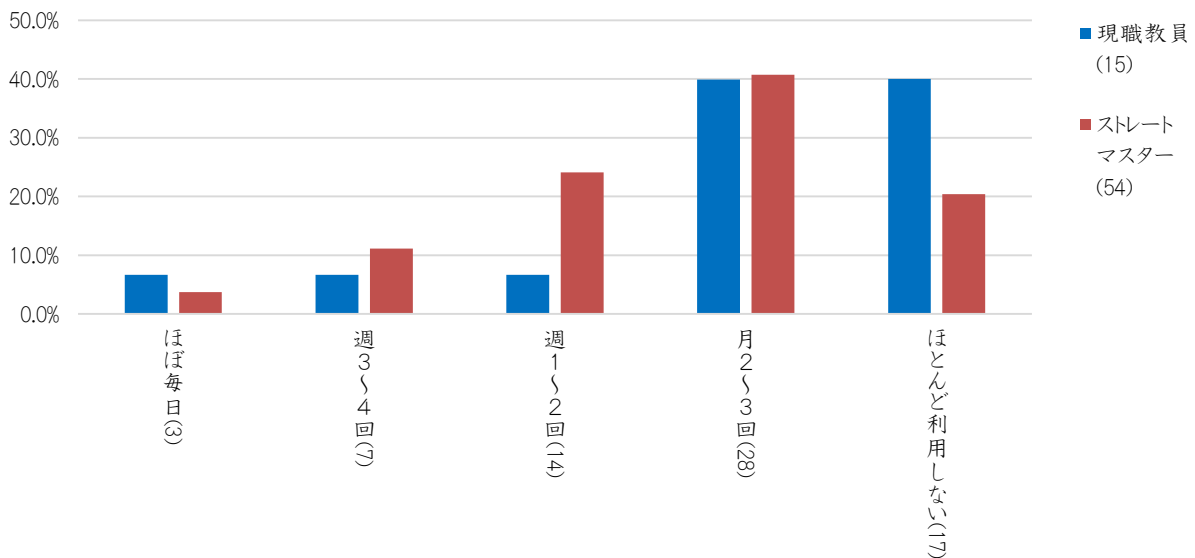
キャンパス別では、「ほぼ毎日」が札幌校・岩見沢校、函館校で0.0%であり、釧路校(10.0%)、旭川校(8.7%)であった。「ほとんど利用しない」は全学の割合(24.3%)よりも高かったのが、函館校(50.0%)、釧路校(30.0%)、札幌校・岩見沢校(28.6%)であり、全学の割合よりも低かったのが、旭川校(8.7%)であった。

問18. 本学の図書館をどの程度利用していますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
ほぼ毎日(3)	6.7%	3.7%
週3～4回(7)	6.7%	11.1%
週1～2回(14)	6.7%	24.1%
月2～3回(28)	39.9%	40.7%
ほとんど利用しない(17)	40.0%	20.4%

本学の図書館利用状況(大学院・属性別)



現職教員では、①「ほとんど利用しない」(40.0%)、②「月2～3回」(39.9%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「月2～3回」(40.7%)、②「週1～2回」(24.1%)、③「ほとんど利用しない」(20.4%)、④「週3～4回」(11.1%)の順であった。

問19. 本学の図書館をよく利用する理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

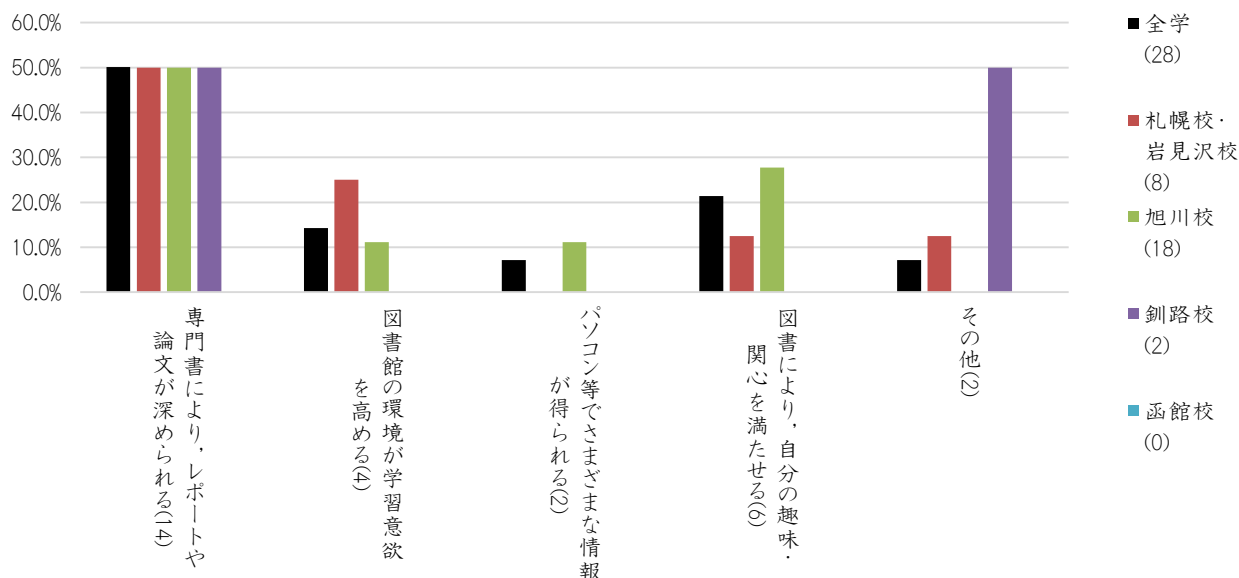
※問18で、「ほぼ毎日」「週3～4回」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区 分	全学 (28)	札幌校・ 岩見沢校 (8)	旭川校 (18)	釧路校 (2)	函館校 (0)
専門書により, レポートや論文が深められる(14)	50.1%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
図書館の環境が学習意欲を高める(4)	14.3%	25.0%	11.1%	0.0%	0.0%
パソコン等でさまざまな情報が得られる(2)	7.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
図書により, 自分の趣味・関心を満たせる(6)	21.4%	12.5%	27.8%	0.0%	0.0%
その他(2)	7.1%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%

※その他:(アルバイト上の都合、仕事で活用するため)

本学の図書館をよく利用する理由(大学院生)



全学では、①「専門書により, レポートや論文が深められる」(50.1%)、②「図書により, 自分の趣味・関心を満たせる」(21.4%)、③「図書館の環境が学習意欲を高める」(14.3%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校・岩見沢校で「図書館の環境が学習意欲を高める」の割合(25.0%)が全学の割合(14.3%)よりも高かった。

問19. 本学の図書館をよく利用する理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

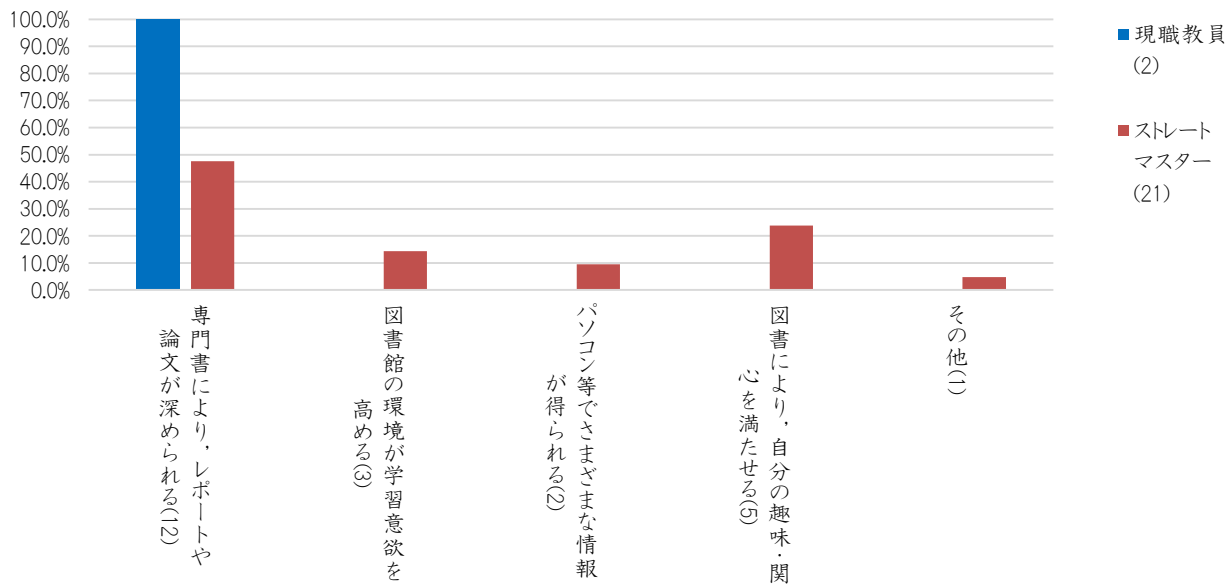
※問18で、「ほぼ毎日」「週3～4回」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (2)	ストレート マスター (21)
専門書により, レポートや論文が深められる(12)	100.0%	47.6%
図書館の環境が学習意欲を高める(3)	0.0%	14.3%
パソコン等でさまざまな情報が得られる(2)	0.0%	9.5%
図書により, 自分の趣味・関心を満たせる(5)	0.0%	23.8%
その他(1)	0.0%	4.8%

※その他:(アルバイト上の都合)

本学の図書館をよく利用する理由(大学院生・属性別)



現職教員では、①「専門書により, レポートや論文が深められる」が100%であった。

ストレートマスターでは、①「専門書により, レポートや論文が深められる」(47.6%)、②「図書により, 自分の趣味・関心を満たせる」(23.8%)、③「図書館の環境が学習意欲を高める」(14.3%)の順であった。

問20. 本学の図書館をあまり利用しない理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

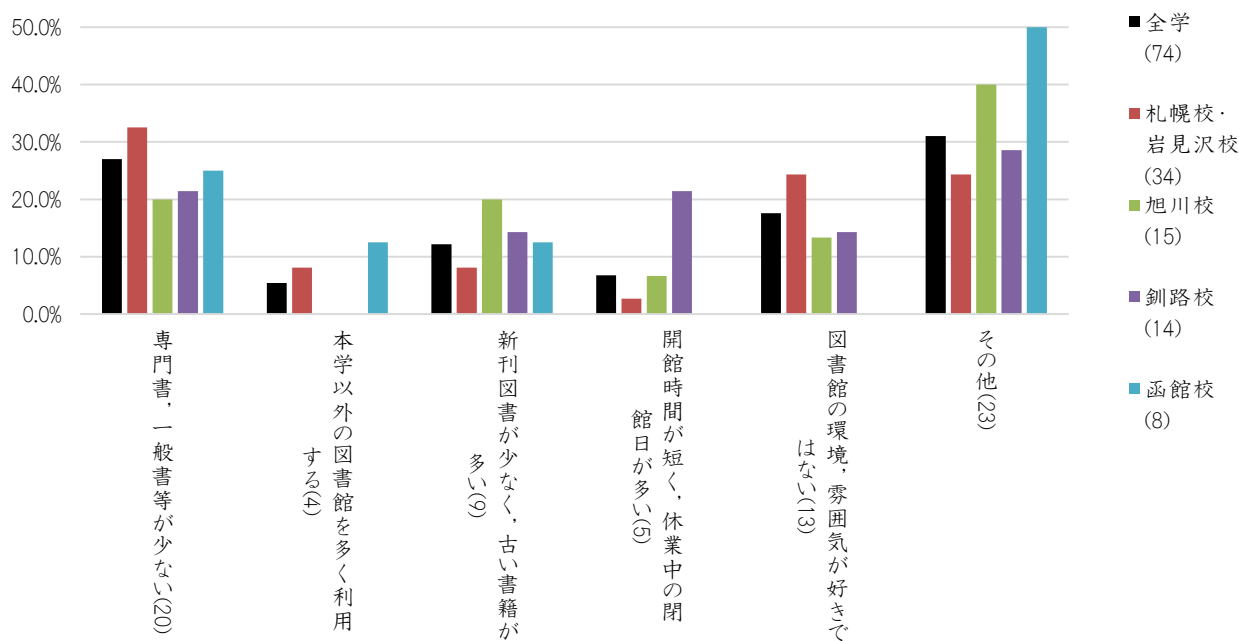
※問18で、「週1～2回」「月2～3回」「ほとんど利用しない」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (34)	旭川校 (15)	釧路校 (14)	函館校 (8)
専門書, 一般書等が少ない(20)	27.0%	32.5%	20.0%	21.4%	25.0%
本学以外の図書館を多く利用する(4)	5.4%	8.1%	0.0%	0.0%	12.5%
新刊図書が少なく, 古い書籍が多い(9)	12.2%	8.1%	20.0%	14.3%	12.5%
開館時間が短く, 休業中の閉館日が多い(5)	6.8%	2.7%	6.7%	21.4%	0.0%
図書館の環境, 雰囲気が好きではない(13)	17.6%	24.3%	13.3%	14.3%	0.0%
その他(23)	31.0%	24.3%	40.0%	28.6%	50.0%

※その他:(遠い、時間が無い、書籍は購入している、専門書がない、インターネットで代用する)

本学の図書館をあまり利用しない理由(大学院生)



全学では、①「その他」(31.0%)、②「専門書, 一般書等が少ない」(27.0%)、③「図書館の環境, 雰囲気が好きではない」(17.6%)、④「新刊図書が少なく, 古い書籍が多い」(12.2%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校・岩見沢校で「図書館の環境, 雰囲気が好きではない」(24.3%)、旭川校で「新刊図書が少なく, 古い書籍が多い」(20.0%)、釧路校で「開館時間が短く, 休業中の閉館日が多い」(21.4%)、函館校で「本学以外の図書館を多く利用する」(12.5%)が全学の割合よりも高かった。

問20. 本学の図書館をあまり利用しない理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕

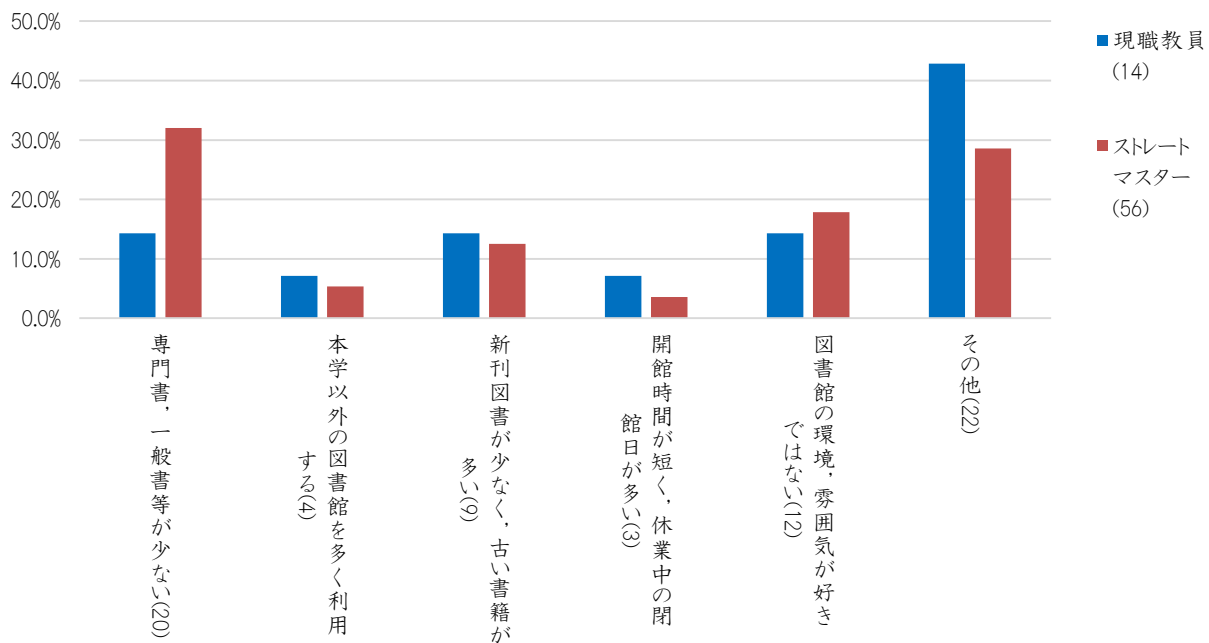
※問18で、「週1～2回」「月2～3回」「ほとんど利用しない」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (14)	ストレート マスター (56)
専門書, 一般書等が少ない(20)	14.3%	32.0%
本学以外の図書館を多く利用する(4)	7.1%	5.4%
新刊図書が少なく, 古い書籍が多い(9)	14.3%	12.5%
開館時間が短く, 休業中の閉館日が多い(3)	7.1%	3.6%
図書館の環境, 雰囲気が好きではない(12)	14.3%	17.9%
その他(22)	42.9%	28.6%

※その他:(遠い、時間が無い、書籍は購入している、専門書がない、インターネットで代用する)

本学の図書館をあまり利用しない理由(大学院生・属性別)



現職教員では、①「その他」(42.9%)、②「専門書, 一般書等が少ない」、「新刊図書が少なく, 古い書籍が多い」、「図書館の環境, 雰囲気が好きではない」(14.3%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「専門書, 一般書等が少ない」(32.0%)、②「その他」(28.6%)、③「図書館の環境, 雰囲気が好きではない」(17.9%)、④「新刊図書が少なく, 古い書籍が多い」(12.5%)の順であった。

問21. あなたは、インターネットをどのようなことに利用していますか。

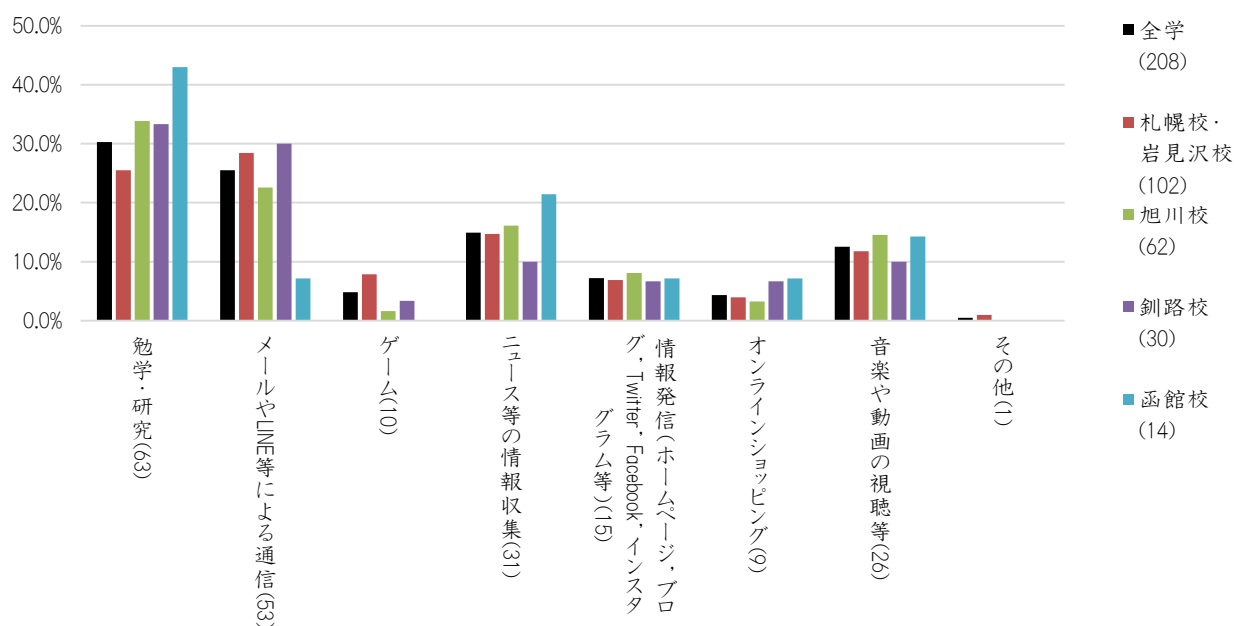
〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

【全学】

区分	全学 (208)	札幌校・ 岩見沢校 (102)	旭川校 (62)	釧路校 (30)	函館校 (14)
勉学・研究(63)	30.3%	25.5%	33.9%	33.3%	43.0%
メールやLINE等による通信(53)	25.5%	28.4%	22.6%	30.0%	7.1%
ゲーム(10)	4.8%	7.8%	1.6%	3.3%	0.0%
ニュース等の情報収集(31)	14.9%	14.7%	16.1%	10.0%	21.4%
情報発信(ホームページ、ブログ、Twitter、Facebook、Instagram等)(15)	7.2%	6.9%	8.1%	6.7%	7.1%
オンラインショッピング(9)	4.3%	3.9%	3.2%	6.7%	7.1%
音楽や動画の視聴等(26)	12.5%	11.8%	14.5%	10.0%	14.3%
その他(1)	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※その他：(インターネットを利用しない)

インターネット利用用途(大学院生)



全学では、①「勉学・研究」(30.3%)、②「メールやLINE等による通信」(25.5%)、③「ニュース等の情報収集」(14.9%)、④「音楽や動画の視聴等」(12.5%)の順であった。

キャンパス別では、函館校で「勉強・研究」の割合(43.0%)が高く、「メールやLINE等による通信」の割合(7.1%)が低かった。

問21. あなたは、インターネットをどのようなことに利用していますか。

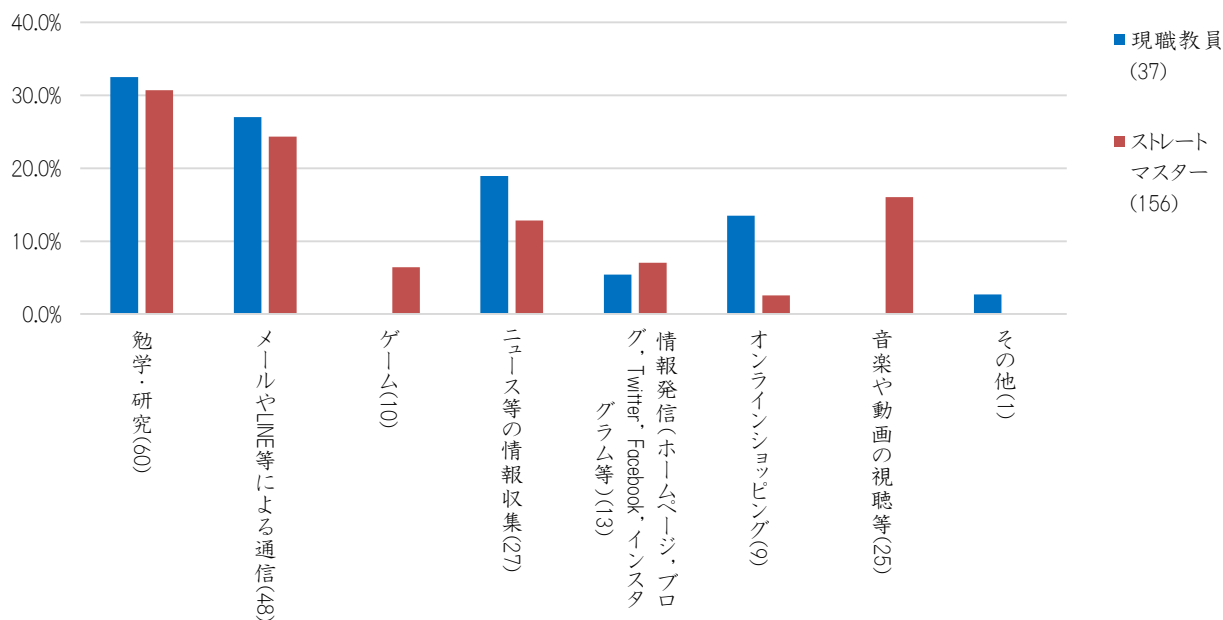
[主なものを3つ以内で選んでください。]

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (37)	ストレート マスター (156)
勉強・研究(60)	32.5%	30.7%
メールやLINE等による通信(48)	27.0%	24.4%
ゲーム(10)	0.0%	6.4%
ニュース等の情報収集(27)	18.9%	12.8%
情報発信(ホームページ, ブログ, Twitter, Facebook, インスタグラム等)(13)	5.4%	7.1%
オンラインショッピング(9)	13.5%	2.6%
音楽や動画の視聴等(25)	0.0%	16.0%
その他(1)	2.7%	0.0%

※その他:(インターネットを利用しない)

インターネット利用用途(大学院生・属性別)



現職教員では、①「勉強・研究」(32.5%)、②「メールやLINE等による通信」(27.0%)、③「ニュース等の情報収集」(18.9%)、④「オンラインショッピング」(13.5%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「勉強・研究」(30.7%)、②「メールやLINE等による通信」(24.4%)、③「音楽や動画の視聴等」(16.0%)、④「ニュース等の情報収集」(12.8%)の順であった。

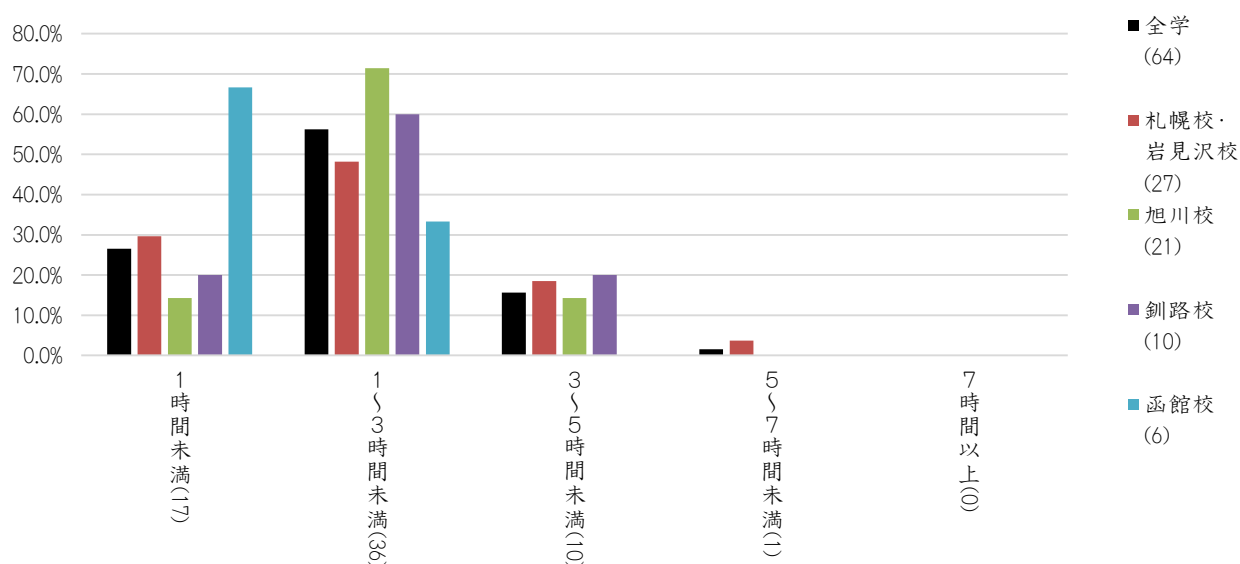
問22. あなたが、勉強・研究でインターネットを利用する時間は1日平均どれくらいですか。

※問21で、「勉強・研究」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区 分	全学 (64)	札幌校・ 岩見沢校 (27)	旭川校 (21)	釧路校 (10)	函館校 (6)
1時間未満(17)	26.6%	29.6%	14.3%	20.0%	66.7%
1～3時間未満(36)	56.2%	48.2%	71.4%	60.0%	33.3%
3～5時間未満(10)	15.6%	18.5%	14.3%	20.0%	0.0%
5～7時間未満(1)	1.6%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
7時間以上(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

勉強・研究でインターネットを利用する時間数(1日平均)
(大学院生)



全学では、①「1～3時間未満」(56.2%)、②「1時間未満」(26.6%)、③「3～5時間未満」(15.6%)の順であり、3時間未満が全体の約83%を占めている。

キャンパス別では、函館校で「1時間未満」の割合(66.7%)が最も高く、3時間以上は0%であった。「1～3時間未満」では、旭川校(71.4%)、釧路校(60.0%)が全学の割合(56.2%)よりも高かった。

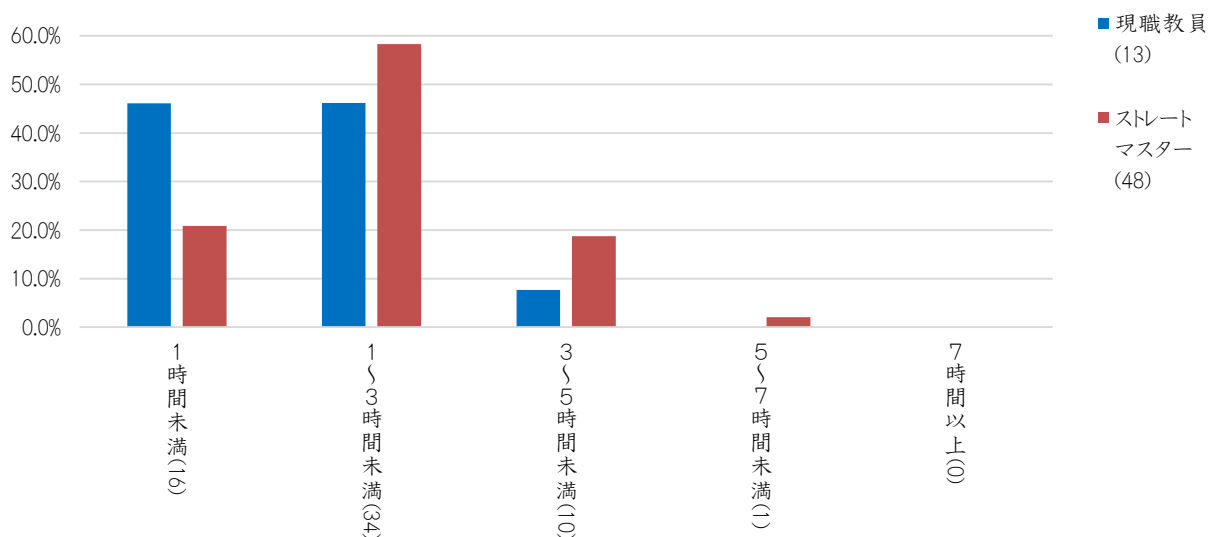
問22. あなたが、勉強・研究でインターネットを利用する時間は1日平均どれくらいですか。

※問21で、「勉強・研究」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (13)	ストレート マスター (48)
1時間未満(16)	46.1%	20.8%
1～3時間未満(34)	46.2%	58.3%
3～5時間未満(10)	7.7%	18.8%
5～7時間未満(1)	0.0%	2.1%
7時間以上(0)	0.0%	0.0%

勉強・研究でインターネットを利用する時間数(1日平均)
(大学院生・属性別)



現職教員では、①「1～3時間未満」(46.2%)、②「1時間未満」(46.1%)の順であり、これらの合計(3時間未満)が全体の約92%を占めている。

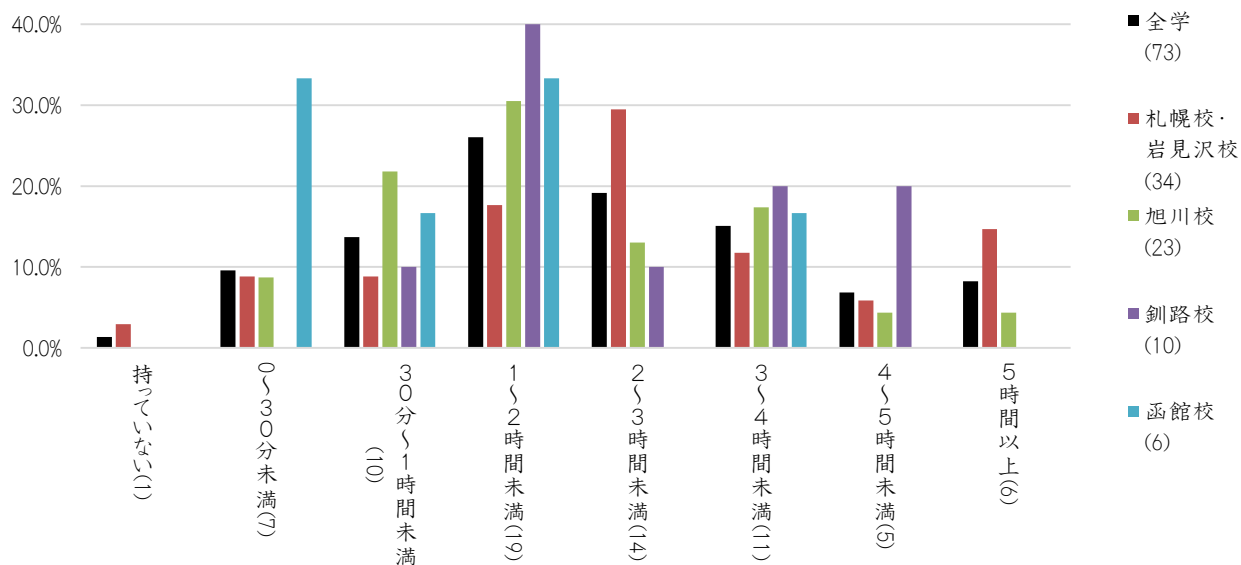
ストレートマスターでは、①「1～3時間未満」(58.3%)、②「1時間未満」(20.8%)、③「3～5時間未満」の順であり、3時間未満が全体の約79%を占めている。

問23. あなたは、1日平均どれくらい携帯電話又はスマートフォンを利用していますか。

【全学】

区分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (34)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
持っていない(1)	1.4%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
0～30分未満(7)	9.6%	8.8%	8.7%	0.0%	33.3%
30分～1時間未満(10)	13.7%	8.8%	21.8%	10.0%	16.7%
1～2時間未満(19)	26.0%	17.6%	30.5%	40.0%	33.3%
2～3時間未満(14)	19.2%	29.5%	13.0%	10.0%	0.0%
3～4時間未満(11)	15.1%	11.8%	17.4%	20.0%	16.7%
4～5時間未満(5)	6.8%	5.9%	4.3%	20.0%	0.0%
5時間以上(6)	8.2%	14.7%	4.3%	0.0%	0.0%

携帯電話・スマートフォンの利用時間数(1日平均)
(大学院生)



全学では、①「1～2時間未満」(26.0%)、②「2～3時間未満」(19.2%)、③「3～4時間未満」(15.1%)、④「30分～1時間未満」(13.7%)の順であった。

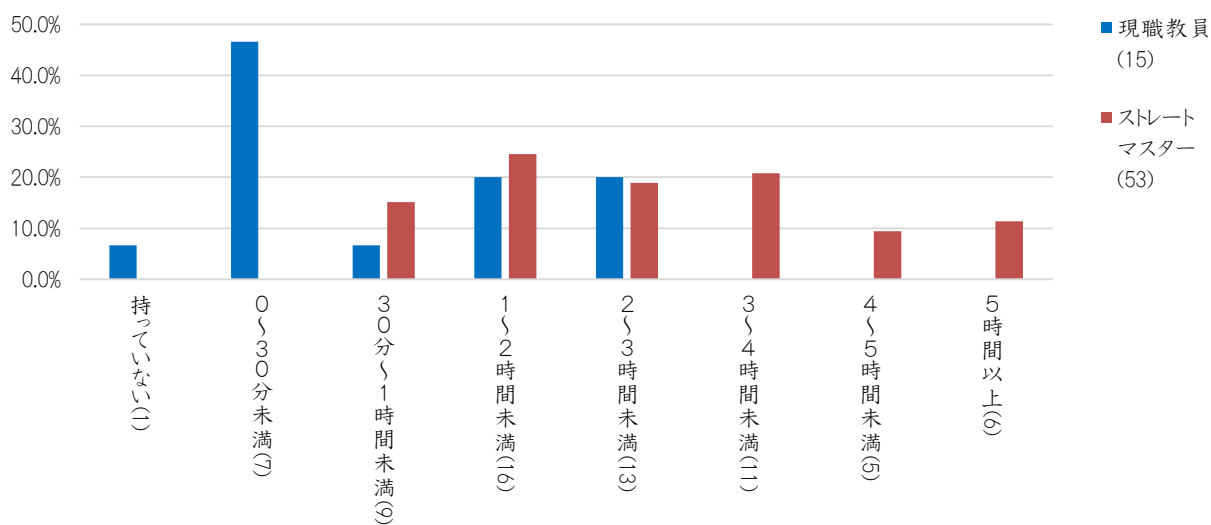
キャンパス別では、函館校では「0～30分未満」の割合(33.3%)が全学(9.6%)よりも高く、「2～3時間未満」の割合は0.0%であった。札幌校・岩見沢校では、全学の傾向と異なり、「2～3時間未満」の割合(29.5%)が最も高かった。

問23. あなたは、1日平均どれくらい携帯電話又はスマートフォンを利用していますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (53)
持っていない(1)	6.7%	0.0%
0～30分未満(7)	46.6%	0.0%
30分～1時間未満(9)	6.7%	15.1%
1～2時間未満(16)	20.0%	24.5%
2～3時間未満(13)	20.0%	18.9%
3～4時間未満(11)	0.0%	20.8%
4～5時間未満(5)	0.0%	9.4%
5時間以上(6)	0.0%	11.3%

携帯電話・スマートフォンの利用時間数(1日平均)
(大学院生・属性別)



現職教員では、①「0～30分未満」(46.6%)、②「1～2時間未満」、「2～3時間未満」(20.0%)であり、3時間以上は0%であった。

ストレートマスターでは、①「1～2時間未満」(24.5%)、②「3～4時間未満」(20.8%)、③「2～3時間未満」(18.9%)、④「30分～1時間未満」(15.1%)、⑤「5時間以上」(11.3%)の順であった。

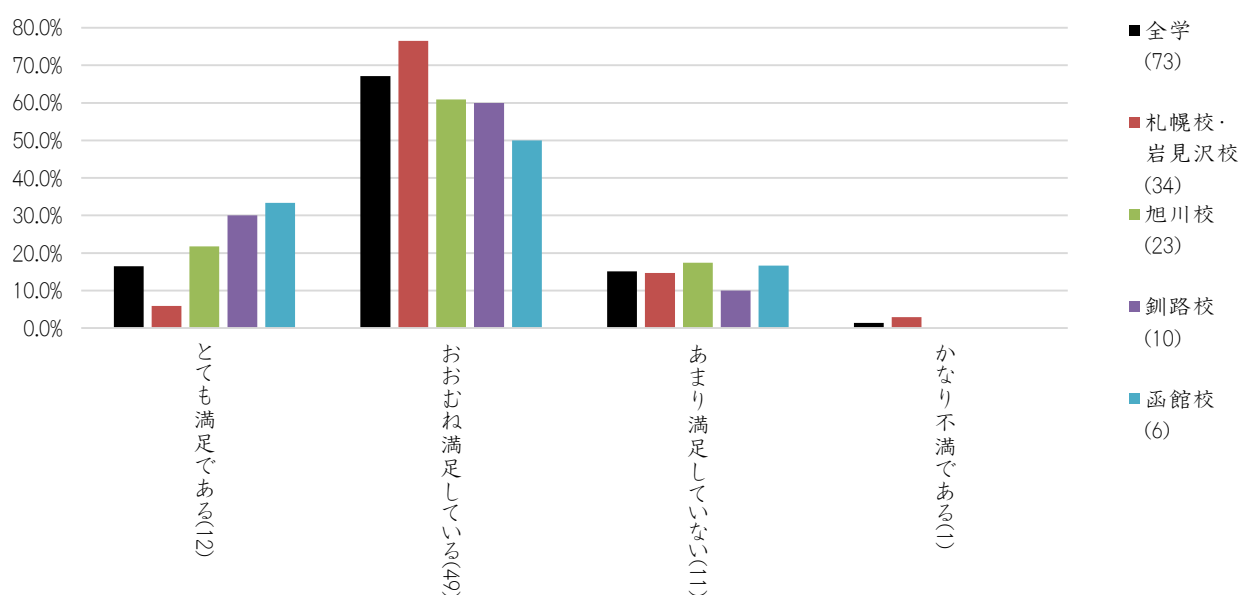
VI 修学について

問24. あなたは、本学の教育・授業について、満足していますか。

【全学】

区分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (34)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
とても満足である(12)	16.4%	5.9%	21.7%	30.0%	33.3%
おおむね満足している(49)	67.1%	76.5%	60.9%	60.0%	50.0%
あまり満足していない(11)	15.1%	14.7%	17.4%	10.0%	16.7%
かなり不満である(1)	1.4%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

本学の教育・授業への満足度



全学では、①「おおむね満足している」(67.1%)、②「とても満足である」(16.4%)の順であり、これらの合計で約 84%を占めている。

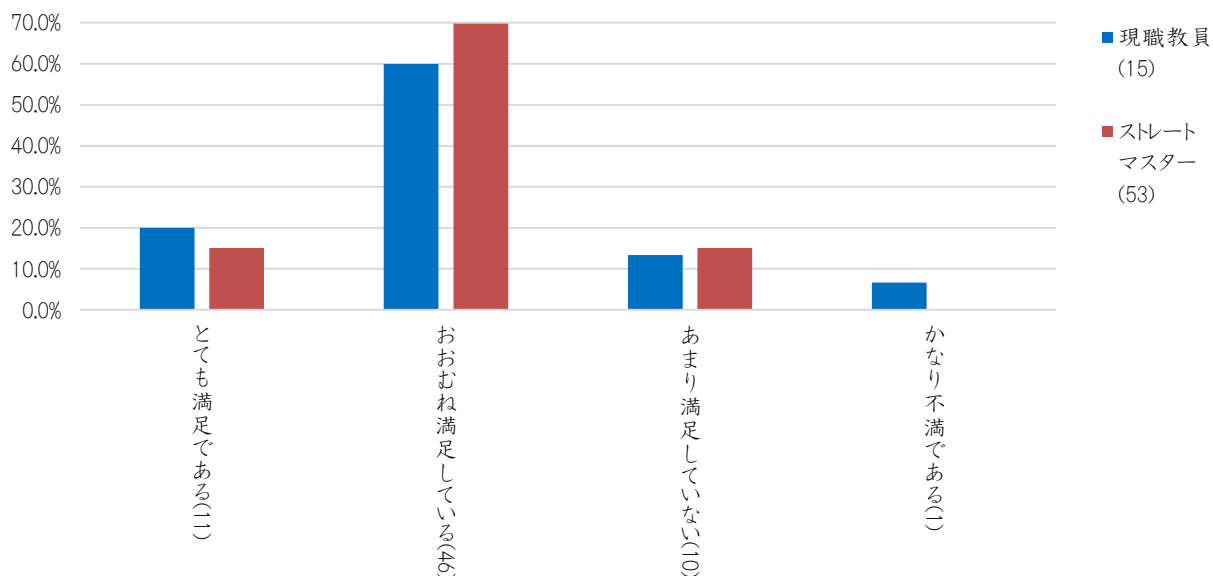
キャンパス別では、「とても満足である」が全学の割合(16.4%)よりも高かったのが、函館校(33.3%)、釧路校(30.0%)、旭川校(21.7%)であり、全学の割合よりも低かったのが、札幌校・岩見沢校(5.9%)であった。

問24. あなたは、本学の教育・授業について、満足していますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (53)
とても満足である(11)	20.0%	15.1%
おおむね満足している(46)	60.0%	69.8%
あまり満足していない(10)	13.3%	15.1%
かなり不満である(1)	6.7%	0.0%

本学の教育・授業への満足度(大学院生・属性別)



現職教員では、①「おおむね満足している」(60.0%)、②「とても満足である」(20.0%)、③「あまり満足していない」(13.3%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「おおむね満足している」(69.8%)、②「とても満足である」、「あまり満足していない」(15.1%)の順であった。「かなり不満である」は 0.0%であった。

問25. あなたが、満足できない理由について、答えてください。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

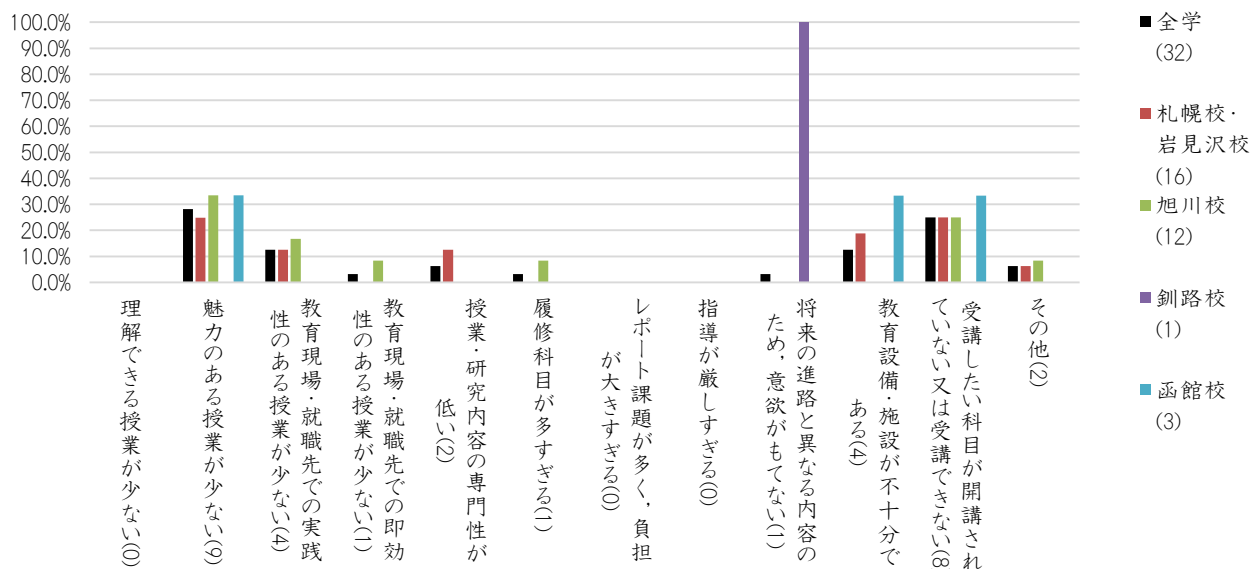
※問24で、「あまり満足していない」「かなり不満である」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (32)	札幌校・ 岩見沢校 (16)	旭川校 (12)	釧路校 (1)	函館校 (3)
理解できる授業が少ない(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
魅力のある授業が少ない(9)	28.1%	24.9%	33.4%	0.0%	33.4%
教育現場・就職先での実践性のある授業が少ない(4)	12.5%	12.5%	16.7%	0.0%	0.0%
教育現場・就職先での即効性のある授業が少ない(1)	3.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
授業・研究内容の専門性が低い(2)	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
履修科目が多すぎる(1)	3.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
レポート課題が多く、負担が大きすぎる(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指導が厳しすぎる(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない(1)	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教育設備・施設が不十分である(4)	12.5%	18.8%	0.0%	0.0%	33.3%
受講したい科目が開講されていない又は受講できない(8)	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	33.3%
その他(2)	6.3%	6.3%	8.3%	0.0%	0.0%

※その他：(大学院生の人数が少ない、教員の負担が大きく手が回っていない)

本学の教育・授業に不満な理由(大学院生)



全学では、①「魅力のある授業が少ない」(28.1%)、②「受講したい科目が開講されていない又は受講できない」(25.0%)、③「教育現場・就職先での実践性のある授業が少ない」、「教育設備・施設が不十分である」(12.5%)の順であった。

キャンパス別では、「教育設備・施設が不十分である」の割合が函館校(33.3%)、札幌校・岩見沢校(18.8%)で高く、旭川校で「履修科目が多すぎる」(8.3%)、釧路校で「将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない」の割合(100.0%)が高かった。

問25. あなたが、満足できない理由について、答えてください。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

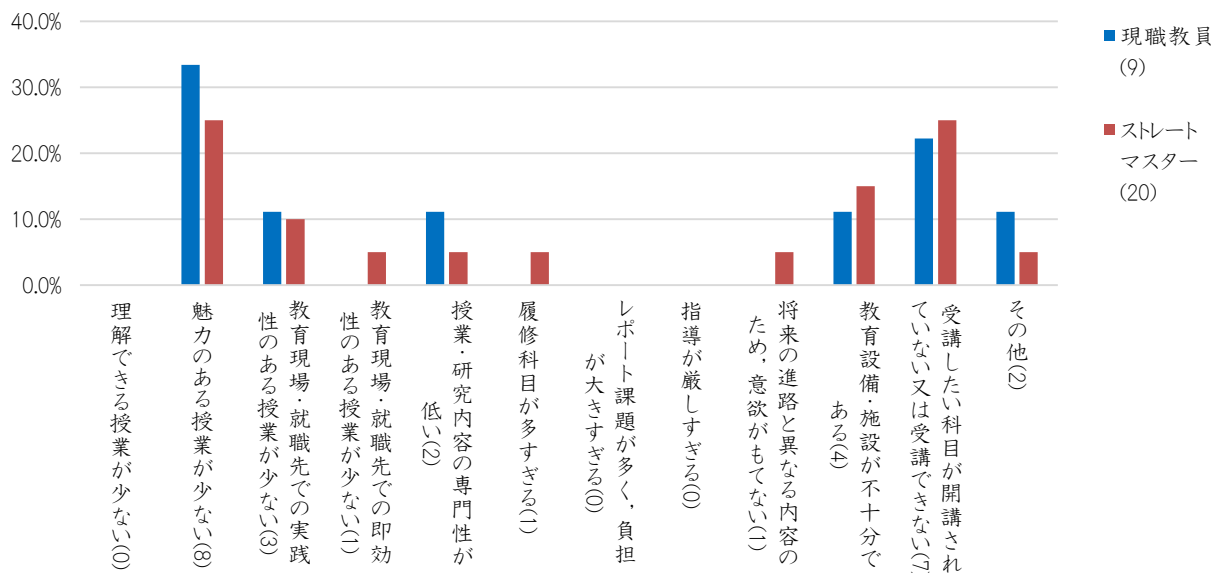
※問24で、「あまり満足していない」「かなり不満である」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (9)	ストレート マスター (20)
理解できる授業が少ない(0)	0.0%	0.0%
魅力のある授業が少ない(8)	33.4%	25.0%
教育現場・就職先での実践性のある授業が少ない(3)	11.1%	10.0%
教育現場・就職先での即効性のある授業が少ない(1)	0.0%	5.0%
授業・研究内容の専門性が低い(2)	11.1%	5.0%
履修科目が多すぎる(1)	0.0%	5.0%
レポート課題が多く、負担が大きすぎる(0)	0.0%	0.0%
指導が厳しすぎる(0)	0.0%	0.0%
将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない(1)	0.0%	5.0%
教育設備・施設が不十分である(4)	11.1%	15.0%
受講したい科目が開講されていない又は受講できない(7)	22.2%	25.0%
その他(2)	11.1%	5.0%

※その他:(大学院生の人数が少ない、教員の負担が大きく手が回っていない)

本学の教育・授業に不満な理由(大学院生・属性別)



現職教員では、①「魅力のある授業が少ない」(33.4%)、②「受講したい科目が開講されていない又は受講できない」(22.2%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「魅力のある授業が少ない」、「受講したい科目が開講されていない又は受講できない」(25.0%)の順であった。

問26. あなたは、どのような大学の教育・授業を期待していますか。

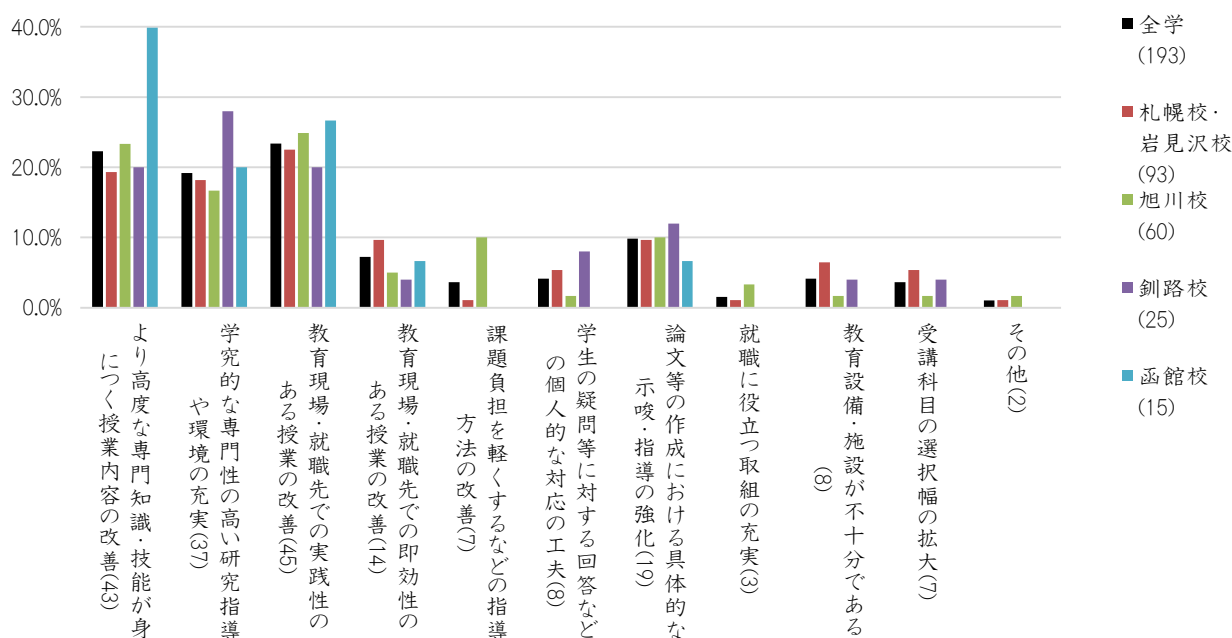
[主なものを3つ以内で選んでください。]

【全学】

区分	全学 (193)	札幌校・ 岩見沢校 (93)	旭川校 (60)	釧路校 (25)	函館校 (15)
より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善(43)	22.3%	19.3%	23.3%	20.0%	39.9%
学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実(37)	19.2%	18.2%	16.7%	28.0%	20.0%
教育現場・就職先での実践性のある授業の改善(45)	23.4%	22.5%	24.9%	20.0%	26.7%
教育現場・就職先での即効性のある授業の改善(14)	7.3%	9.7%	5.0%	4.0%	6.7%
課題負担を軽くするなどの指導方法の改善(7)	3.6%	1.1%	10.0%	0.0%	0.0%
学生の疑問等に対する回答などの個人的な対応の工夫(8)	4.1%	5.4%	1.7%	8.0%	0.0%
論文等の作成における具体的な示唆・指導の強化(19)	9.8%	9.7%	10.0%	12.0%	6.7%
就職に役立つ取組の充実(3)	1.6%	1.1%	3.3%	0.0%	0.0%
教育設備・施設が不十分である(8)	4.1%	6.5%	1.7%	4.0%	0.0%
受講科目の選択幅の拡大(7)	3.6%	5.4%	1.7%	4.0%	0.0%
その他(2)	1.0%	1.1%	1.7%	0.0%	0.0%

※その他:(大学院生が多く授業が成立する、ワンパターンの脱却)

大学の教育・授業に期待するもの(大学院生)



全学では、①「教育現場・就職先での実践性のある授業の改善」(23.4%)、②「より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善」(22.3%)、③「学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実」(19.2%)の順であった。

キャンパス別では、旭川校で「課題負担を軽くするなどの指導方法の改善」の割合(10.0%)が高く、函館校で「より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善」の割合(39.9%)が高かった。

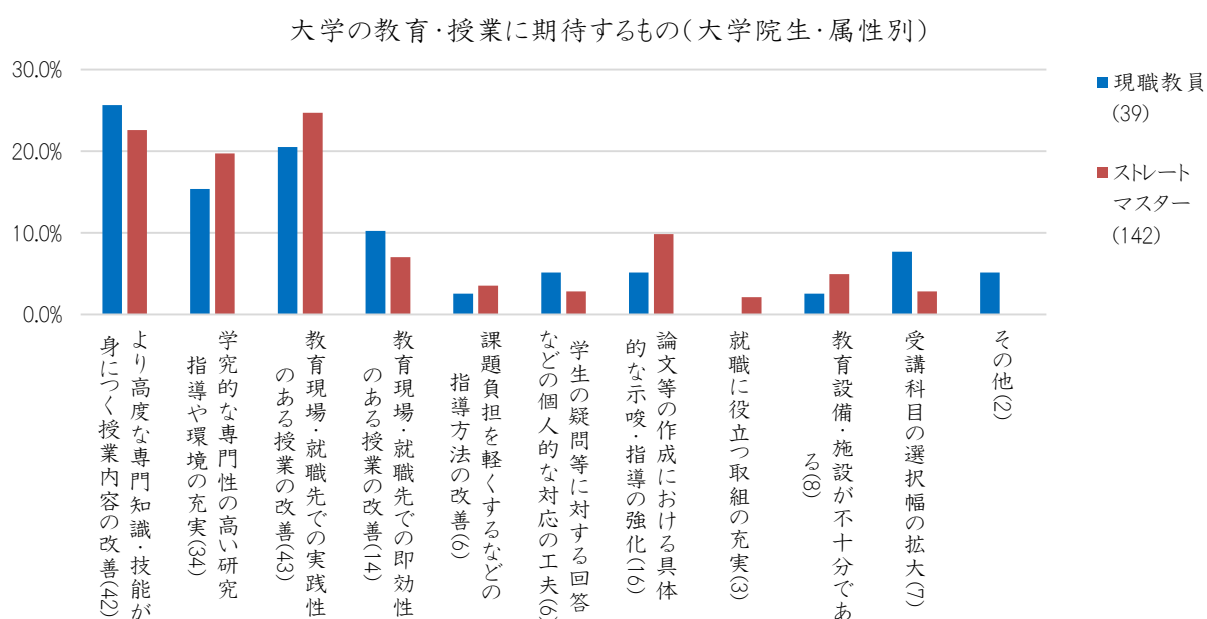
問26. あなたは、どのような大学の教育・授業を期待していますか。

[主なものを3つ以内で選んでください。]

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (39)	ストレート マスター (142)
より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善(42)	25.6%	22.6%
学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実(34)	15.4%	19.7%
教育現場・就職先での実践性のある授業の改善(43)	20.5%	24.7%
教育現場・就職先での即効性のある授業の改善(14)	10.3%	7.0%
課題負担を軽くするなどの指導方法の改善(6)	2.6%	3.5%
学生の疑問等に対する回答などの個人的な対応の工夫(6)	5.1%	2.8%
論文等の作成における具体的な示唆・指導の強化(16)	5.1%	9.9%
就職に役立つ取組の充実(3)	0.0%	2.1%
教育設備・施設が不十分である(8)	2.6%	4.9%
受講科目の選択幅の拡大(7)	7.7%	2.8%
その他(2)	5.1%	0.0%

※その他:(大学院生が多く授業が成立する、ワンパターンの脱却)



現職教員では、①「より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善」(25.6%)、②「教育現場・就職先での実践性のある授業の改善」(20.5%)、③「学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実」(15.4%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「教育現場・就職先での実践性のある授業の改善」(24.7%)、②「より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善」(22.6%)、③「学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実」(19.7%)の順であった。

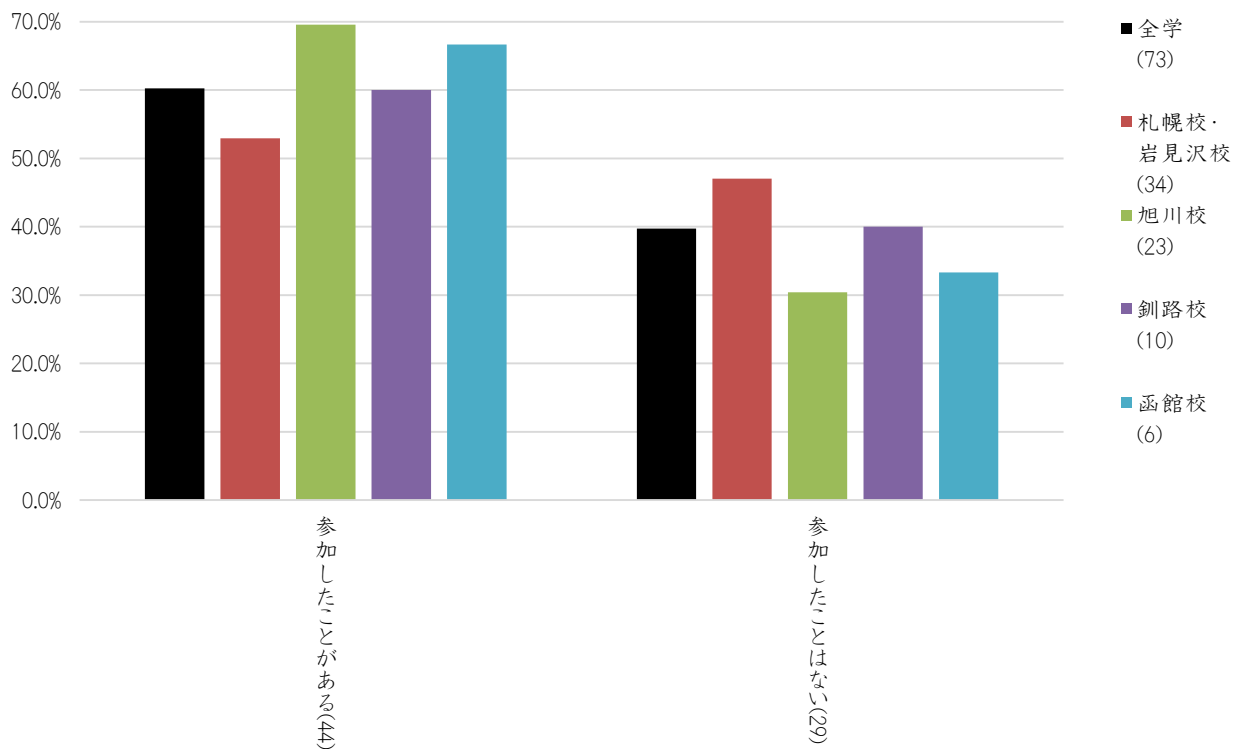
VII ボランティア活動について

問27. あなたは、大学入学後、授業関係以外のボランティア活動に参加したことがありますか。

【全学】

区 分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (34)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
参加したことがある(44)	60.3%	52.9%	69.6%	60.0%	66.7%
参加したことはない(29)	39.7%	47.1%	30.4%	40.0%	33.3%

ボランティア活動への参加の有無(大学院生)



全学では、①「参加したことがある」(60.3%)、②「参加したことがない」(39.7%)であった。

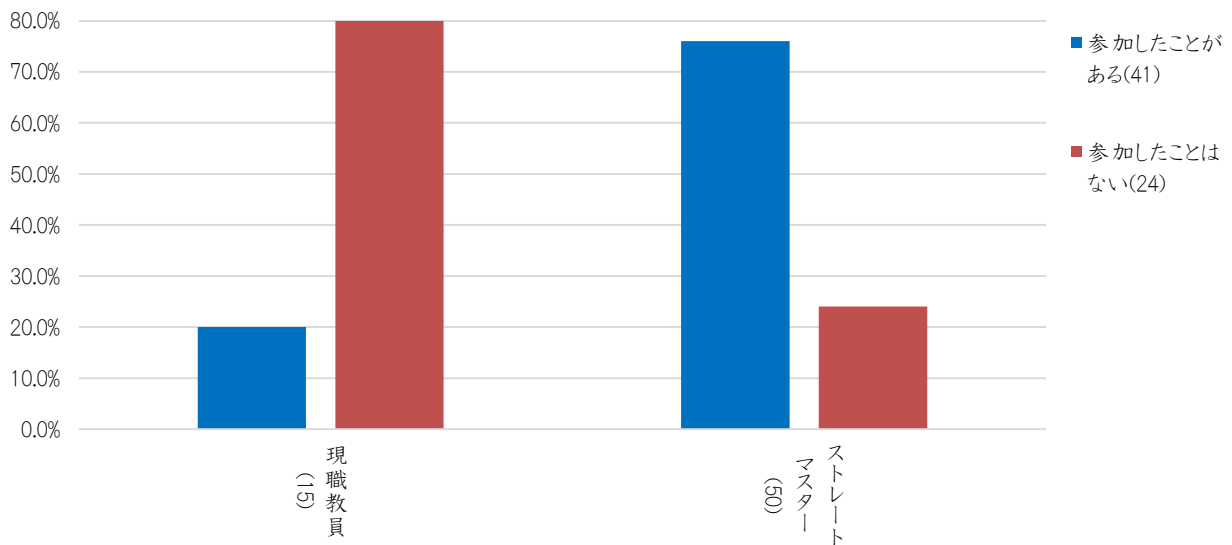
キャンパス別では、「参加したことがある」が全学の割合(60.3%)よりも高いのは、旭川校(69.6%)、函館校(66.7%)であり、全学よりも低いのは、釧路校(60.0%)、札幌校・岩見沢校(52.9%)であった。

問27. あなたは、大学入学後、授業関係以外のボランティア活動に参加したことがありますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (50)
参加したことがある(41)	20.0%	76.0%
参加したことはない(24)	80.0%	24.0%

ボランティア活動への参加の有無(大学院生・属性別)



現職教員では、①「参加したことはない」(80.0%)、②「参加したことがある」(20.0%)であった。

ストレートマスターでは、①「参加したことがある」(76.0%)、②「参加したことはない」(24.0%)であった。

問28. どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。〔該当するものを全て選んでください。〕

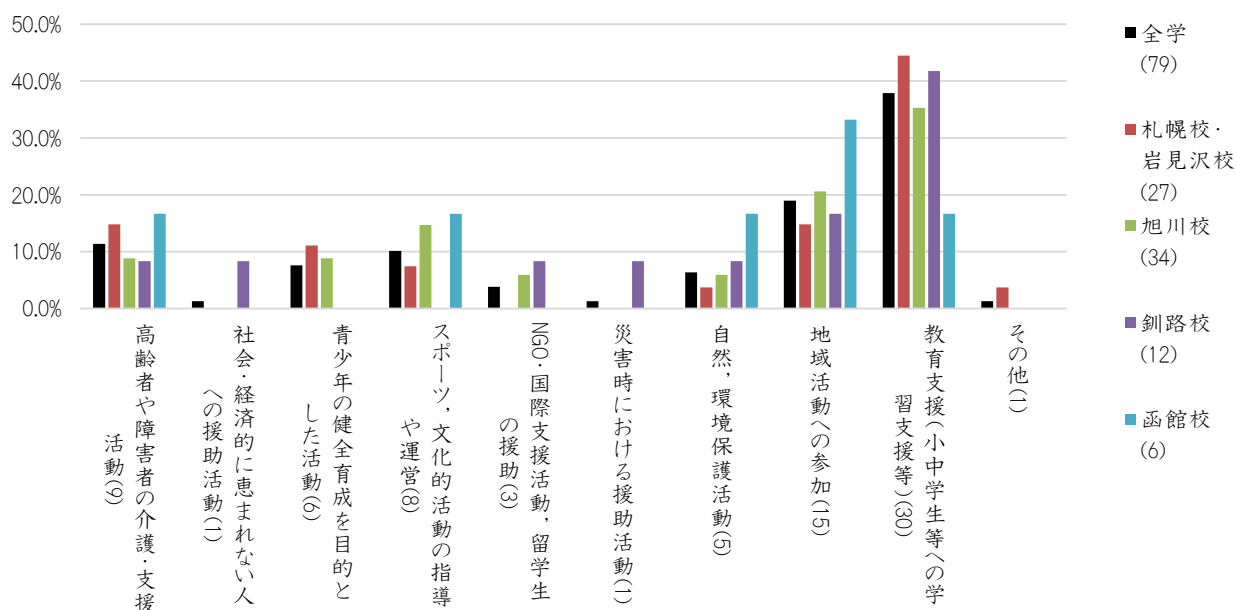
※問 27 で、「参加したことがある」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区 分	全学 (79)	札幌校・ 岩見沢校 (27)	旭川校 (34)	釧路校 (12)	函館校 (6)
高齢者や障害者の介護・支援活動(9)	11.4%	14.8%	8.8%	8.3%	16.7%
社会・経済的に恵まれない人への援助活動(1)	1.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
青少年の健全育成を目的とした活動(6)	7.6%	11.1%	8.8%	0.0%	0.0%
スポーツ, 文化的活動の指導や運営(8)	10.1%	7.4%	14.7%	0.0%	16.7%
NGO・国際支援活動, 留学生の援助(3)	3.8%	0.0%	5.9%	8.3%	0.0%
災害時における援助活動(1)	1.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
自然, 環境保護活動(5)	6.3%	3.7%	5.9%	8.3%	16.7%
地域活動への参加(15)	19.0%	14.8%	20.6%	16.7%	33.2%
教育支援(小中学生等への学習支援等)(30)	37.9%	44.5%	35.3%	41.8%	16.7%
その他(1)	1.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%

※その他:(障がい児と家族のレクリエーション支援活動)

参加したことのあるボランティア活動の種類(大学院生)



全学では、①「教育支援(小中学生等への学習支援等)」(37.9%)、②「地域活動への参加」(19.0%)、③「高齢者や障害者の介護・支援活動」(11.4%)、④「スポーツ, 文化的活動の指導や運営」(10.1%)の順であった。

キャンパス別では、函館校で「地域活動への参加」(33.2%)、「自然, 環境保護活動」(16.7%)の割合が全学よりも高く、釧路校で「社会・経済的に恵まれない人への援助活動」(8.3%)の割合が全学よりも高かった。

問28. どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。〔該当するものを全て選んでください。〕

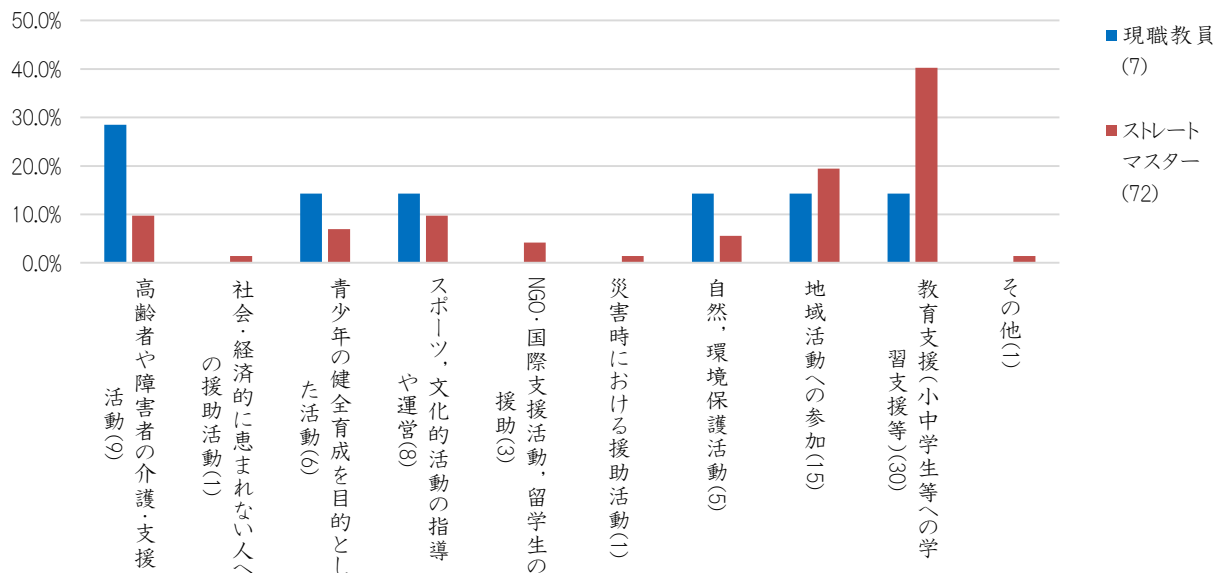
※問27で、「参加したことがある」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (7)	ストレート マスター (72)
高齢者や障害者の介護・支援活動(9)	28.5%	9.7%
社会・経済的に恵まれない人への援助活動(1)	0.0%	1.4%
青少年の健全育成を目的とした活動(6)	14.3%	6.9%
スポーツ, 文化的活動の指導や運営(8)	14.3%	9.7%
NGO・国際支援活動, 留学生の援助(3)	0.0%	4.2%
災害時における援助活動(1)	0.0%	1.4%
自然, 環境保護活動(5)	14.3%	5.6%
地域活動への参加(15)	14.3%	19.4%
教育支援(小中学生等への学習支援等)(30)	14.3%	40.3%
その他(1)	0.0%	1.4%

※その他:(障がい児と家族のレクリエーション支援活動)

参加したことがあるボランティア活動(大学院生・属性別)



現職教員では、「高齢者や障害者の介護・支援活動」(28.5%)が最も高く、このほか、14.3%の回答が5つあるなど、活動内容が分散している傾向がうかがえる。

ストレートマスターでは、①「教育支援(小中学生等への学習支援等)」(40.3%)、②「地域活動への参加」(19.4%)の順であった。

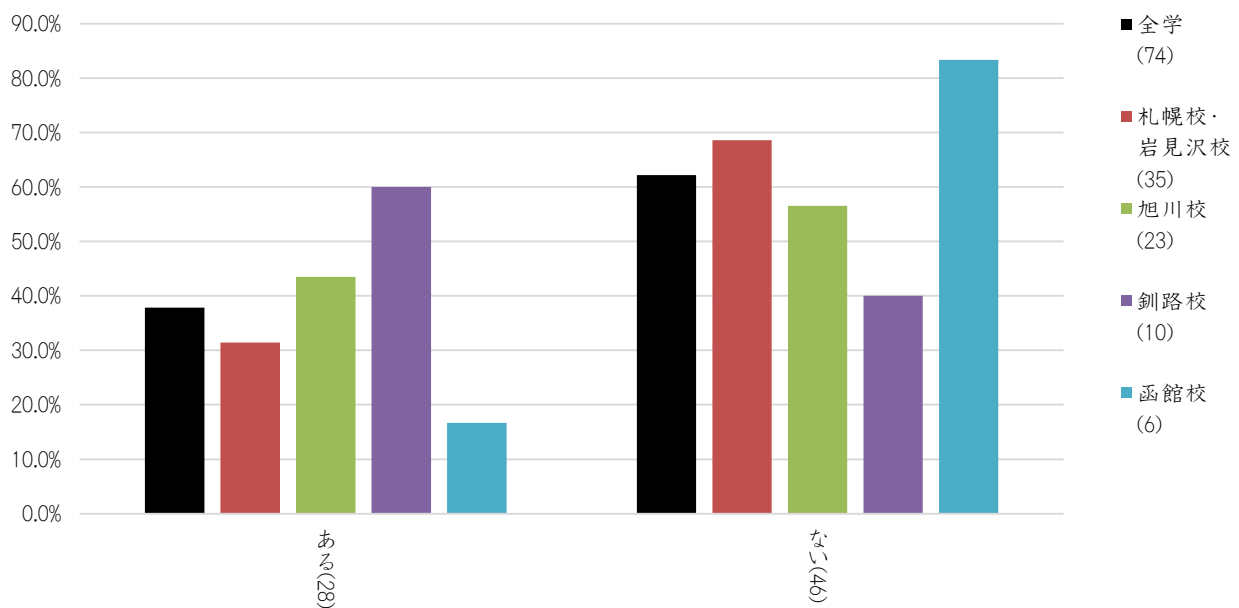
VIII 学生相談体制について

問29. あなたは、現在、悩みや不安がありますか。

【全学】

区 分	全学 (74)	札幌校・ 岩見沢校 (35)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
ある(28)	37.8%	31.4%	43.5%	60.0%	16.7%
ない(46)	62.2%	68.6%	56.5%	40.0%	83.3%

悩みや不安の有無(大学院生)



全学では、①「ない」(62.2%)、「ある」(37.8%)であった。

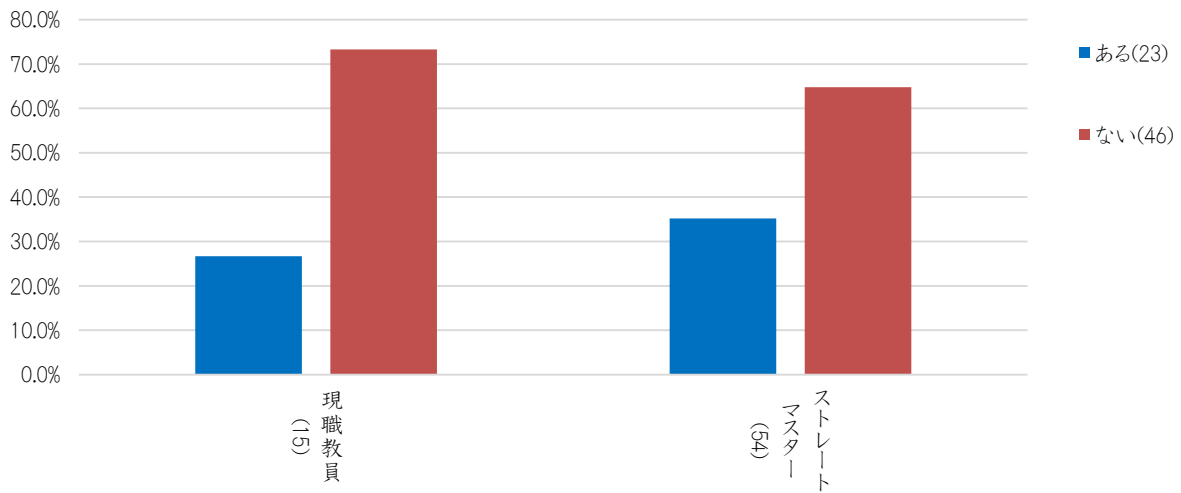
キャンパス別では、釧路校で「ある」(60.0%)であり、「ない」(40.0%)を上回っている。函館校では、「ない」(83.3%)となっており、全学(62.2%)よりも割合が高かった。

問29. あなたは、現在、悩みや不安がありますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
ある(23)	26.7%	35.2%
ない(46)	73.3%	64.8%

悩みや不安の有無(大学院生・属性別)



現職教員では、①「ない」(73.3%)、②「ある」(26.7%)であった。

ストレートマスターでは、①「ない」(64.8%)、②「ある」(35.2%)であった。

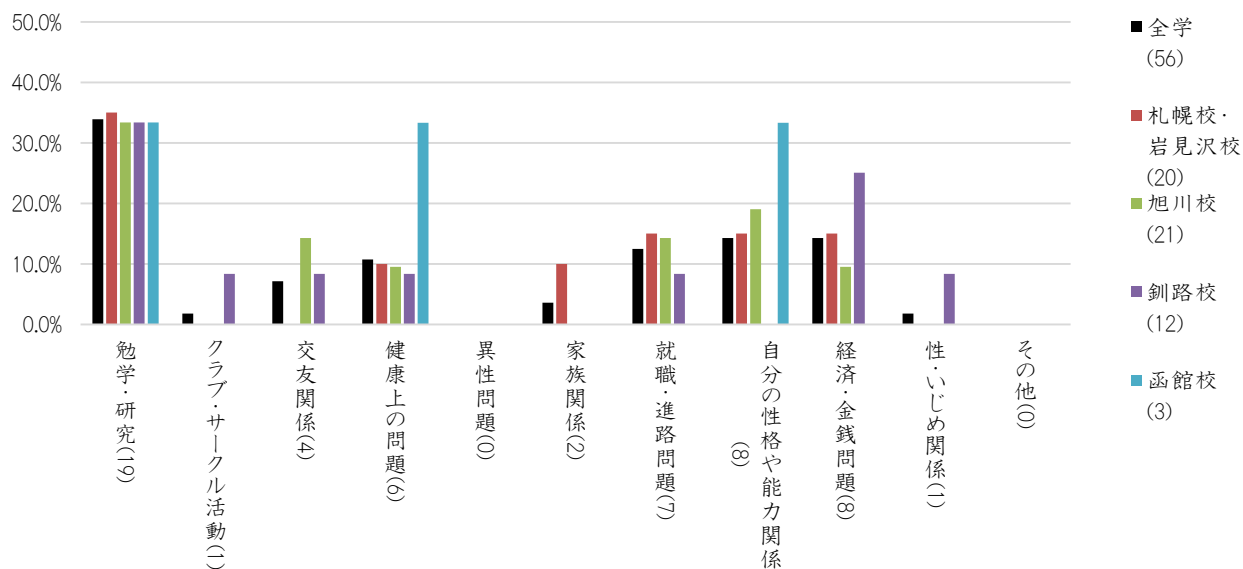
問30. あなたの悩みや不安の主なものは何ですか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

※問29で、「ある」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (56)	札幌校・ 岩見沢校 (20)	旭川校 (21)	釧路校 (12)	函館校 (3)
勉学・研究(19)	33.9%	35.0%	33.4%	33.4%	33.4%
クラブ・サークル活動(1)	1.8%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
交友関係(4)	7.1%	0.0%	14.3%	8.3%	0.0%
健康上の問題(6)	10.7%	10.0%	9.5%	8.3%	33.3%
異性問題(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族関係(2)	3.6%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就職・進路問題(7)	12.5%	15.0%	14.3%	8.3%	0.0%
自分の性格や能力関係(8)	14.3%	15.0%	19.0%	0.0%	33.3%
経済・金銭問題(8)	14.3%	15.0%	9.5%	25.1%	0.0%
性・いじめ関係(1)	1.8%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
その他(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

悩みや不安の種類(大学院生)



全学では、①「勉学・研究」(33.9%)、②「自分の性格や能力関係」、「経済・金銭問題」(14.3%)、④「就職・進路問題」(12.5%)の順であった。

キャンパス別では、釧路校で「経済・金銭問題」の割合(25.1%)が全学の割合よりも高く、函館校で「健康上の問題」、「自分の性格や能力関係」の割合(33.3%)が全学の割合よりも高かった。

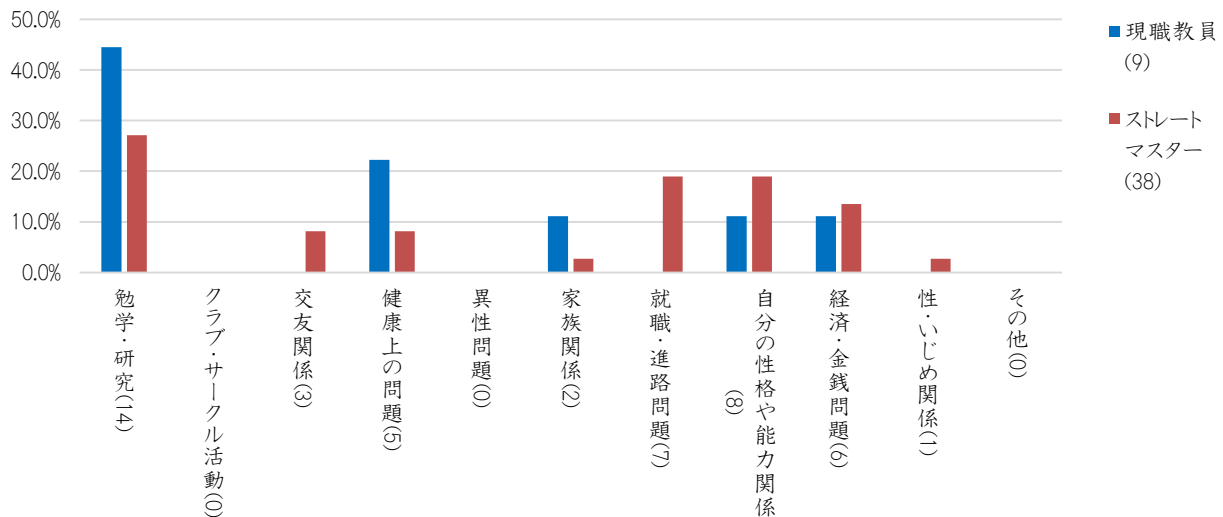
問30. あなたの悩みや不安の主なものは何ですか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

※問29で、「ある」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区分	現職教員 (9)	ストレート マスター (38)
勉学・研究(14)	44.5%	27.1%
クラブ・サークル活動(0)	0.0%	0.0%
交友関係(3)	0.0%	8.1%
健康上の問題(5)	22.2%	8.1%
異性問題(0)	0.0%	0.0%
家族関係(2)	11.1%	2.7%
就職・進路問題(7)	0.0%	18.9%
自分の性格や能力関係(8)	11.1%	18.9%
経済・金銭問題(6)	11.1%	13.5%
性・いじめ関係(1)	0.0%	2.7%
その他(0)	0.0%	0.0%

悩みや不安の種類(大学院生・属性別)



現職教員では、①「勉強・研究」(44.5%)、②「健康上の問題」(22.2%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「勉強・研究」(27.1%)、②「就職・進路問題」、「自分の性格や能力関係」(18.9%)の順であった。

問31. 悩みや不安は、どのような方法で解消していますか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

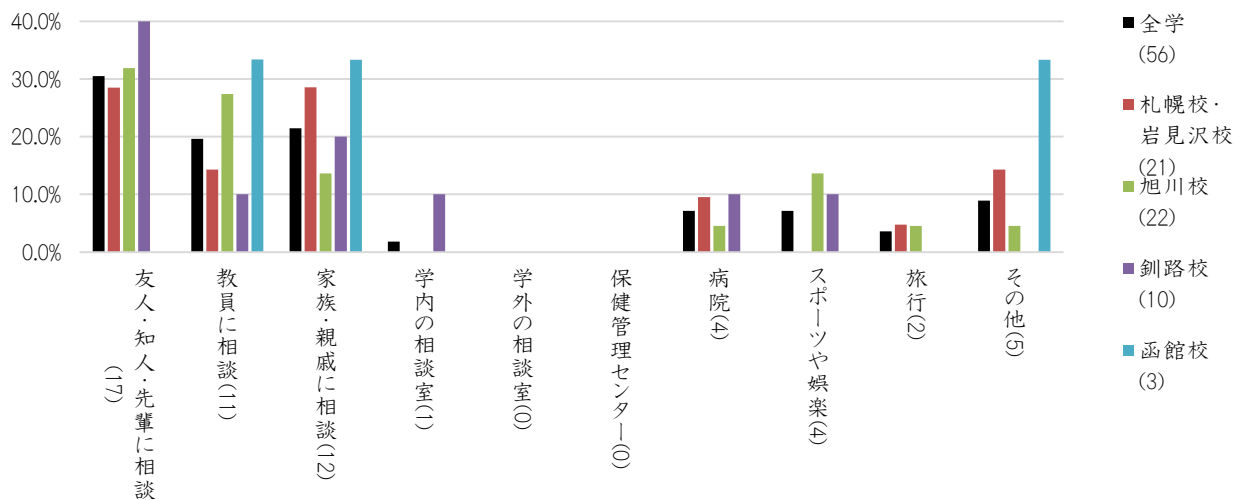
※問29で、「ある」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (56)	札幌校・ 岩見沢校 (21)	旭川校 (22)	釧路校 (10)	函館校 (3)
友人・知人・先輩に相談(17)	30.5%	28.5%	31.9%	40.0%	0.0%
教員に相談(11)	19.6%	14.3%	27.4%	10.0%	33.4%
家族・親戚に相談(12)	21.4%	28.6%	13.6%	20.0%	33.3%
学内の相談室(1)	1.8%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
学外の相談室(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保健管理センター(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院(4)	7.1%	9.5%	4.5%	10.0%	0.0%
スポーツや娯楽(4)	7.1%	0.0%	13.6%	10.0%	0.0%
旅行(2)	3.6%	4.8%	4.5%	0.0%	0.0%
その他(5)	8.9%	14.3%	4.5%	0.0%	33.3%

※その他：(解消していない、誰にも相談しない、アルバイト、休日に休む)

悩みや不安の解消法(大学院生)



全学では、①「友人・知人・先輩に相談」(30.5%)、②「家族・親戚に相談」(21.4%)、③「教員に相談」(19.6%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校・岩見沢校では、「家族・親戚に相談」の割合(28.6%)が最も高く、函館校、旭川校では、「教員に相談」の割合(33.4%、27.4%)が最も高かった。「スポーツや娯楽」の割合が高かったのは、旭川校(13.6%)、釧路校(10.0%)であった。また、函館校では、「友人・知人・先輩に相談」は0.0%であった。

問31. 悩みや不安は、どのような方法で解消していますか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕

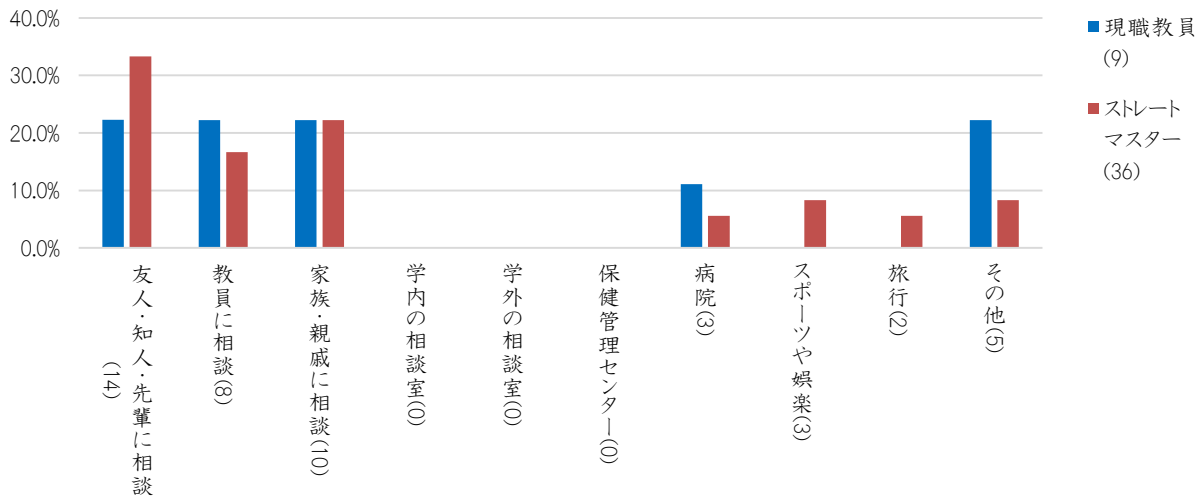
※問 29 で、「ある」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (9)	ストレート マスター (36)
友人・知人・先輩に相談(14)	22.3%	33.3%
教員に相談(8)	22.2%	16.7%
家族・親戚に相談(10)	22.2%	22.2%
学内の相談室(0)	0.0%	0.0%
学外の相談室(0)	0.0%	0.0%
保健管理センター(0)	0.0%	0.0%
病院(3)	11.1%	5.6%
スポーツや娯楽(3)	0.0%	8.3%
旅行(2)	0.0%	5.6%
その他(5)	22.2%	8.3%

※その他:(解消していない、誰にも相談しない、アルバイト、休日に休む)

悩みや不安の解消法(大学院生・属性別)



現職教員では、①「友人・知人・先輩に相談」(22.3%)、②「教員に相談」、「家族・親戚に相談」、
「その他」(22.2%)の順であった。

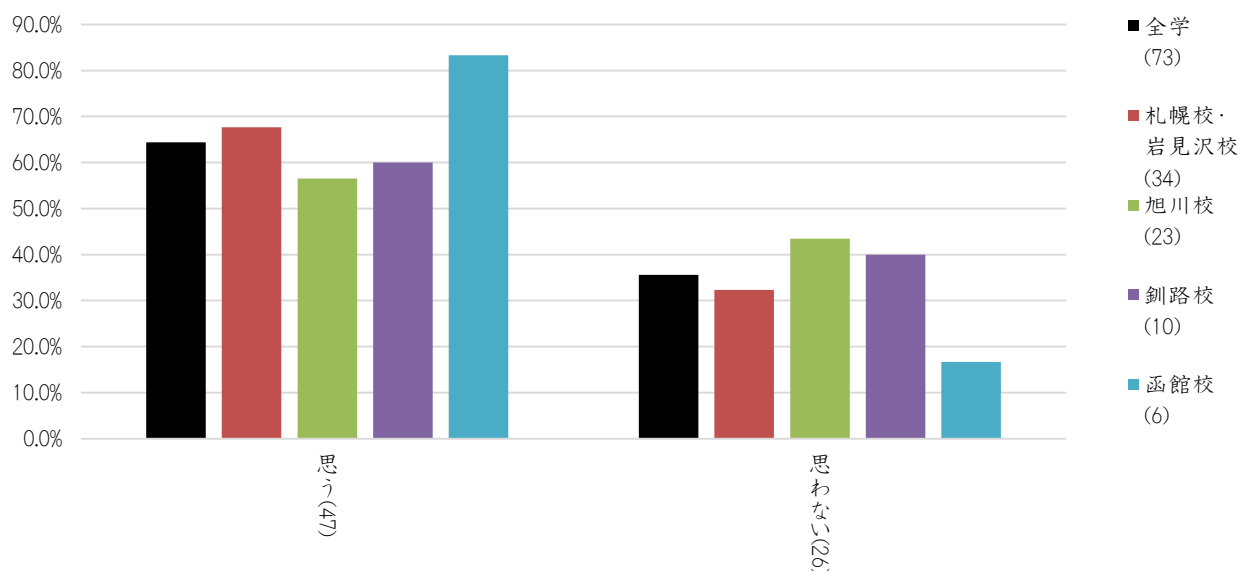
ストレートマスターでは、①「友人・知人・先輩に相談」(33.3%)、②「家族・親戚に相談」(22.2%)、③
「教員に相談」(16.7%)の順であった。

問32. あなたは、学生なんでも相談室，人権相談員，保健管理センターのカウンセラーなど大学の学生の相談を受ける体制について，十分整っていると思いますか。

【全学】

区 分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (34)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
思う(47)	64.4%	67.6%	56.5%	60.0%	83.3%
思わない(26)	35.6%	32.4%	43.5%	40.0%	16.7%

本学の学生相談体制が十分だと思うか(大学院生)



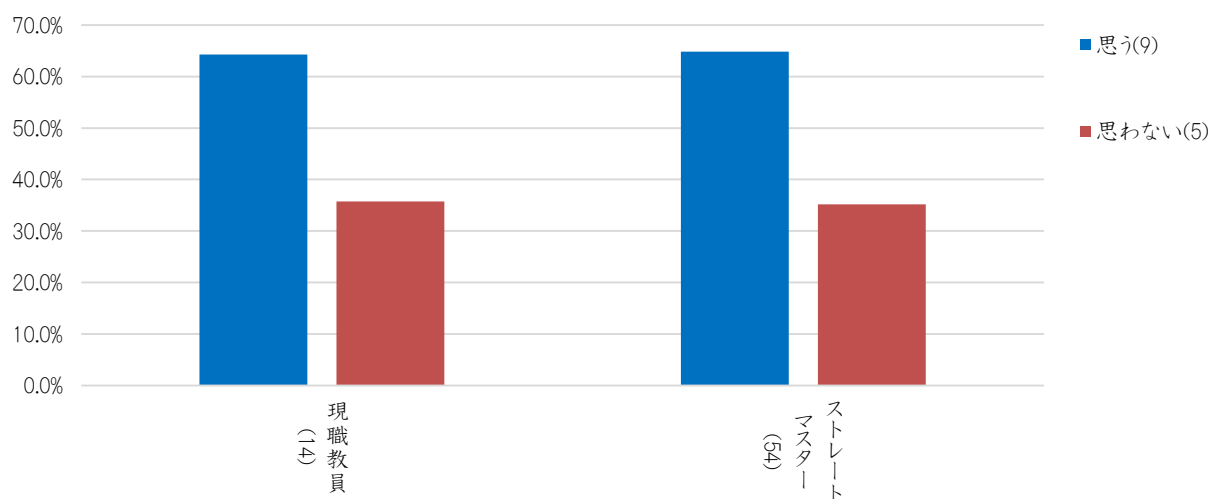
全学では、①「思う」(64.4%)、②「思わない」(35.6%)であった。
キャンパス別では、函館校で「思う」の割合が 83.3%と高かった。

問32. あなたは、学生なんでも相談室，人権相談員，保健管理センターのカウンセラーなど大学の学生の相談を受ける体制について，十分整っていると思いますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (14)	ストレート マスター (54)
思う(44)	64.3%	64.8%
思わない(24)	35.7%	35.2%

本学の学生相談体制が十分だと思うか(大学院生・属性別)



現職教員では、①「思う」(64.3%)、②「思わない」(35.7%)であった。

ストレートマスターでは、①「思う」(64.8%)、②「思わない」(35.2%)であった。

問33. あなたが、相談体制が十分だと思わない主な理由は何ですか。

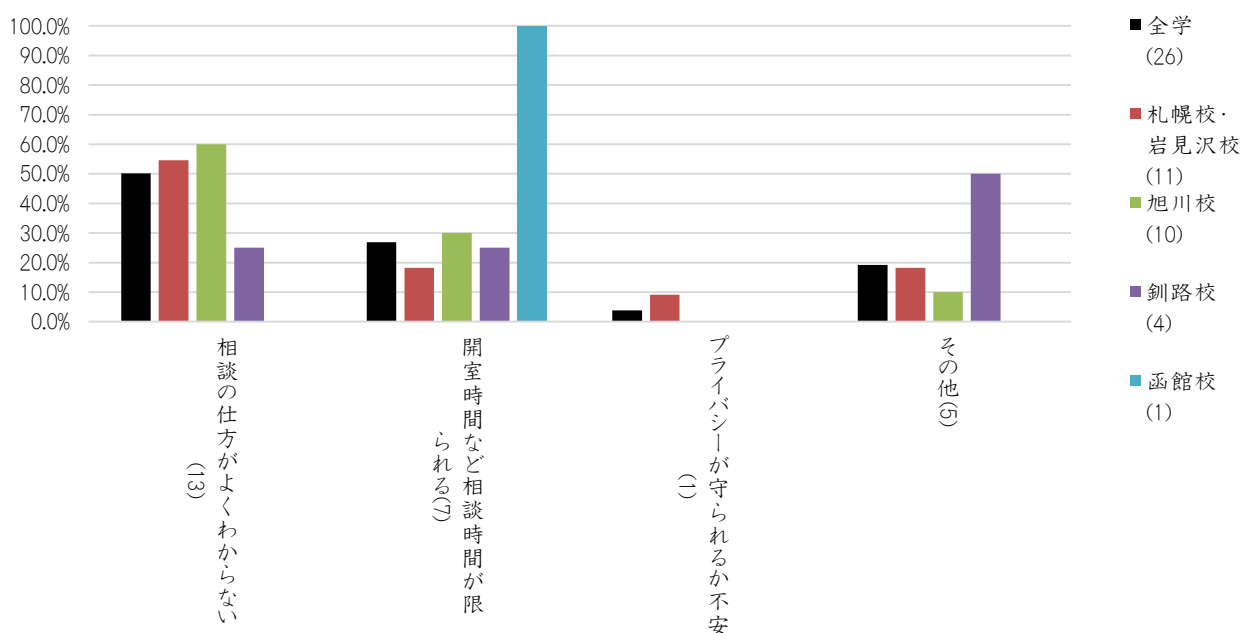
※問32で、「思わない」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (26)	札幌校・ 岩見沢校 (11)	旭川校 (10)	釧路校 (4)	函館校 (1)
相談の仕方がよくわからない(13)	50.1%	54.5%	60.0%	25.0%	0.0%
開室時間など相談時間が限られる(7)	26.9%	18.2%	30.0%	25.0%	100.0%
プライバシーが守られるか不安(1)	3.8%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(5)	19.2%	18.2%	10.0%	50.0%	0.0%

※その他:(話したい人がいない、相談しない、カウンセリングを他で受けている、認知度が低い)

相談体制が十分だと思わない理由(大学院生)



全学では、①「相談の仕方がよくわからない」(50.1%)、②「開室時間など相談時間が限られる」(26.9%)、③「その他」(19.2%)の順であった。

キャンパス別では、札幌校・岩見沢校で「プライバシーが守られるか不安」(9.1%)、函館校で「開室時間など相談時間が限られる」(100.0%)が全学の割合よりも高かった。

問33. あなたが、相談体制が十分だと思わない主な理由は何ですか。

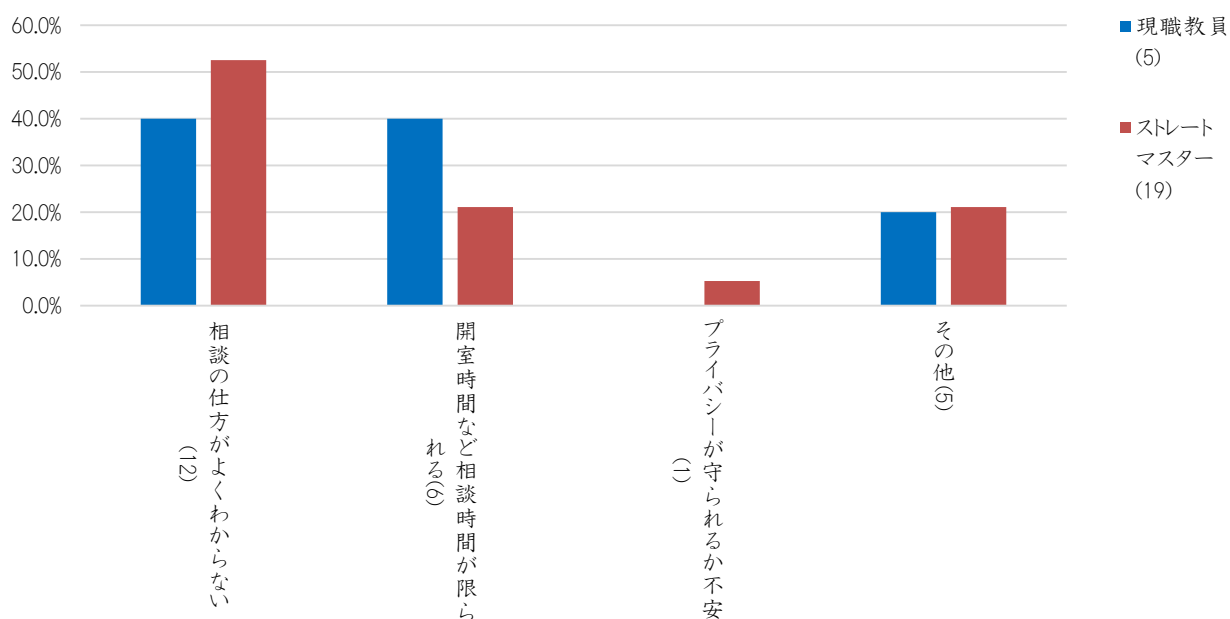
※問32で、「思わない」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (5)	ストレート マスター (19)
相談の仕方がよくわからない(12)	40.0%	52.5%
開室時間など相談時間が限られる(6)	40.0%	21.1%
プライバシーが守られるか不安(1)	0.0%	5.3%
その他(5)	20.0%	21.1%

※その他:(話したい人がいない、相談しない、カウンセリングを他で受けている、認知度が低い)

相談体制が十分だと思わない理由(大学院生・属性別)



現職教員では、①「相談の仕方がよくわからない」、「開室時間など相談時間が限られる」(40.0%)、③「その他」(20.0%)の順であった。

ストレートマスターでは、①「相談の仕方がよくわからない」(52.5%)、②「開室時間など相談時間が限られる」、「その他」(21.1%)の順であった。

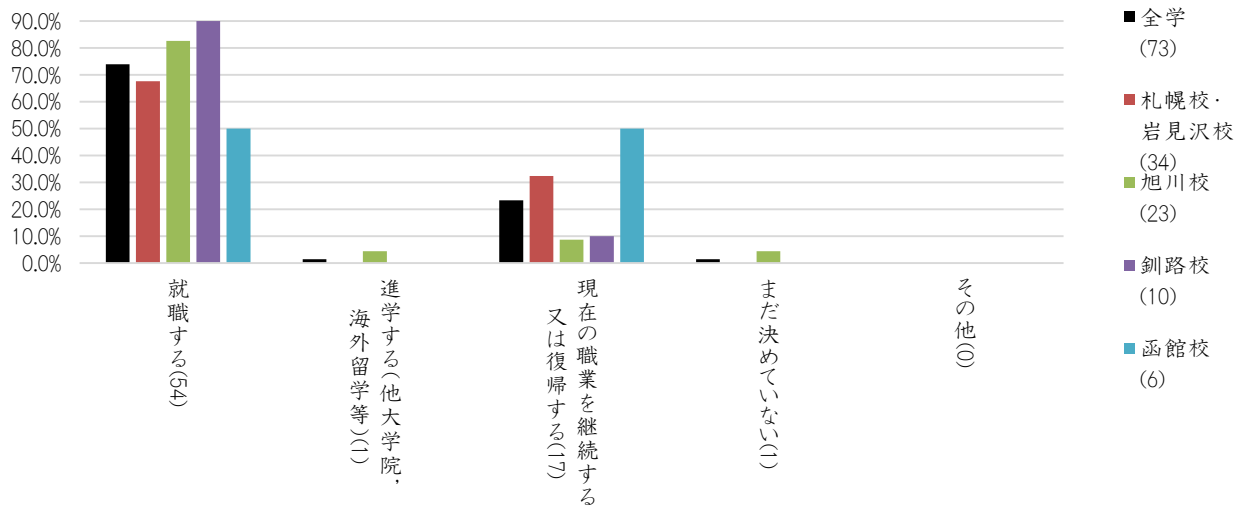
IX 修了後の進路について

問34. 修了後の進路をどのように考えていますか。

【全学】

区 分	全学 (73)	札幌校・ 岩見沢校 (34)	旭川校 (23)	釧路校 (10)	函館校 (6)
就職する(54)	73.9%	67.6%	82.7%	90.0%	50.0%
進学する(他大学院, 海外留学等)(1)	1.4%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%
現在の職業を継続する又は復帰する(17)	23.3%	32.4%	8.7%	10.0%	50.0%
まだ決めていない(1)	1.4%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%
その他(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

修了後の進路(大学院生)



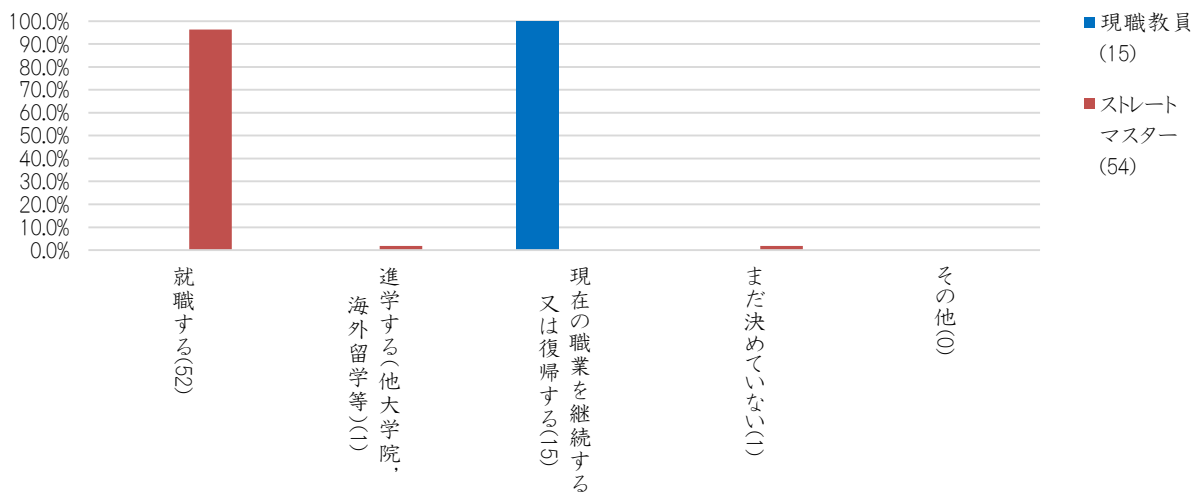
全学では、①「就職する」(73.9%)、②「現在の職業を継続する又は復帰する」(23.3%)の順であった。キャンパス別では、「就職する」の全学の割合(73.9%)よりも高かったのが、釧路校(90.0%)、旭川校(82.7%)であった。また、「現在の職業を継続する又は復帰する」の全学の割合(23.3%)よりも高かったのが、函館校(50.0%)、札幌校・岩見沢校(32.4%)であった。

問34. 修了後の進路をどのように考えていますか。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (15)	ストレート マスター (54)
就職する(52)	0.0%	96.3%
進学する(他大学院, 海外留学等)(1)	0.0%	1.9%
現在の職業を継続する又は復帰する(15)	100.0%	0.0%
まだ決めていない(1)	0.0%	1.9%
その他(0)	0.0%	0.0%

修了後の進路(大学院生・属性別)



現職教員では、「現在の職場を継続する又は復帰する」が100%であった。
 ストレートマスターでは、「就職する」(96.3%)が最も回答の割合が高かった。

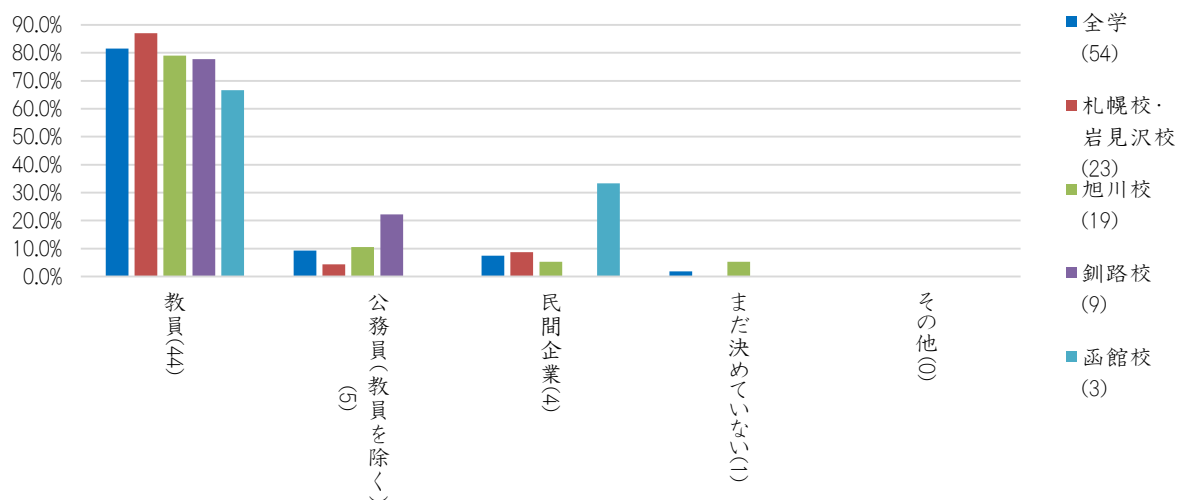
問35. 一番就職したいと思う職業又は就職する職業は何ですか。

※問34で、「就職する」を選択した人のみ回答してください。

【全学】

区分	全学 (54)	札幌校・ 岩見沢校 (23)	旭川校 (19)	釧路校 (9)	函館校 (3)
教員(44)	81.5%	87.0%	78.9%	77.8%	66.7%
公務員(教員を除く)(5)	9.3%	4.3%	10.5%	22.2%	0.0%
民間企業(4)	7.4%	8.7%	5.3%	0.0%	33.3%
まだ決めていない(1)	1.9%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
その他(0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

就職したい(する)職業(大学院生)



全学では、①「教員」(81.5%)、②「公務員(教員を除く)」(9.3%)、③「民間企業」(7.4%)の順であった。

キャンパス別では、「民間企業」の全学の割合(7.4%)よりも高かったのは、函館校(33.3%)、札幌校・岩見沢校(8.7%)である一方、釧路校では0.0%であった。「まだ決めていない」は旭川校では5.3%であったが、他のキャンパスでは0.0%であった。

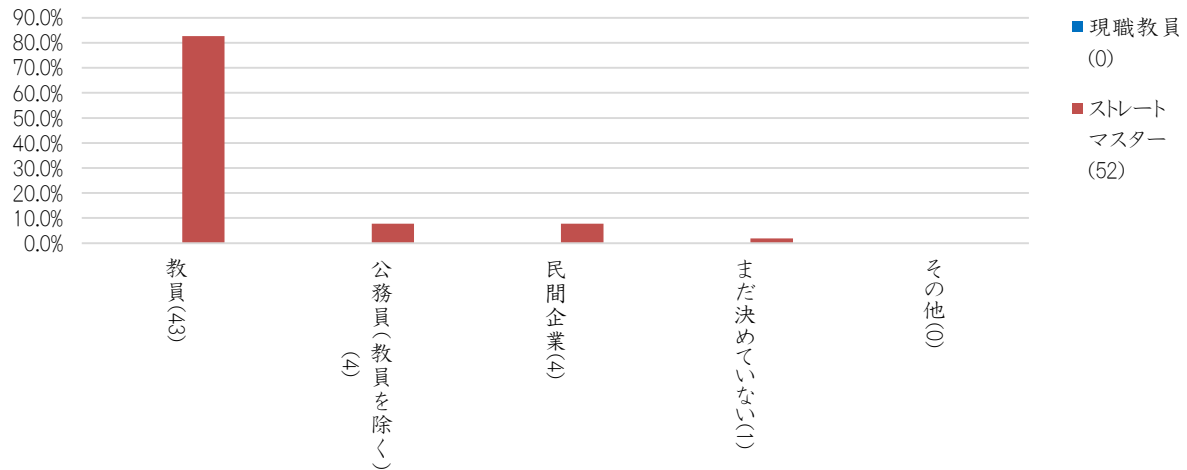
問35. 一番就職したいと思う職業又は就職する職業は何ですか。

※問34で、「就職する」を選択した人のみ回答してください。

【現職教員、ストレートマスター(本学学部生・他大学学部生出身)】

区 分	現職教員 (0)	ストレート マスター (52)
教員(43)	0.0%	82.7%
公務員(教員を除く)(4)	0.0%	7.7%
民間企業(4)	0.0%	7.7%
まだ決めていない(1)	0.0%	1.9%
その他(0)	0.0%	0.0%

就職したい(する)職業(大学院生・属性別)



現職教員では、本設問の該当者はいないため、回答は全て0.0%である。

ストレートマスターでは、①「教員」(82.7%)、②「公務員(教員を除く)」「民間企業」(7.7%)の順であった。

大 学 へ の 要 望 等 調 査
【学部学生、大学院生】

問 大学に要望したいこと、期待すること等がありましたら、自由に記入してください。(特になければ記入不要です。)

| 札幌校

【学部学生】

(1). 本学の教育・学習に関して

〈主な意見〉 ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件は記載を省略。以下、全て同じ)

- ・カリキュラム(科目構成等)(カリキュラムの変更により受講しようとしていた講義が閉講になったり、旧カリキュラムの学生が履修できなくなったりする。特定の講義が特定の曜日・時間帯に集中し、副免が取りにくい。必修科目が指定されすぎ。取りたい授業が重なって取れない。同じ分野の科目は時間を分けてほしい。副免が取りやすいカリキュラムにしてほしい。東洋史、西洋史、社会学のゼミを開講してほしい。教育社会学を学ぶことのできる講座を開講してほしい等)〔6〕
- ・授業(テーマの意義がわからないまま授業が進められてしまうので、説明してほしい。時間厳守しないことを改善してほしい。わかりやすい話し方や板書の仕方を心掛けてほしい。教育に関する客観的な視点が足りない。もっと学校現場に出てから必要となる実践的な学びを深めたい。普通科の高校の文系を卒業した人ことも考えた授業を行ってほしい(全員が数Ⅲの微分・積分を熟知している前提の授業ではなく)等)〔4〕
- ・成績の評価(成績の基準を明確に示してほしい。単位を落とした理由、単位をもらえた理由がわからない等)〔2〕
- ・テスト(テストの出題形式を明確にしてほしい。テストを返却してほしい、採点確認や見直しができない)〔2〕
- ・公欠(就職のためのインターンシップを公欠にしてほしい。冬に公共交通機関が乱れた場合などは出席について配慮してほしい)〔2〕
- ・教育実習前 CBT(教育実習の役に立たない、役に立つものにしてほしい。CBTの冊子を埋める時間がないため、日々の講義で内職するほかない等)〔2〕
- ・シラバス(シラバスが載っていない科目がある)
- ・外部講師(外部講師と事務の連携が取れていない。外部講師を雇う場合はちゃんとした人にしてほしい)

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜主な意見＞

- ・食堂、購買(食堂の座席数を増やしてほしい。食堂の営業時間が短すぎる。土日も購買や食堂を営業してほしい。食堂のコップが汚いので綺麗に洗ってほしい)〔7〕
- ・トイレ(トイレが綺麗になったのでうれしい。サークル棟のトイレの改装予定はないのか。芸術棟のトイレが流れない、掃除がされていない(便器の汚れがいつもついている、廊下に汚物が転がっていたこともある)、温座にならない。B 研究棟 1F の多目的トイレが車椅子を使用するとうまく中に入れない等)〔7〕
- ・体育館(雨漏りがひどい。ゴミ箱を置いてほしい。体育館をもう一つ増やしてほしい。トレーニングルームの設備を増やしてほしい。土日祝日も暖房をいれてほしい等)〔7〕
- ・附属図書館(蔵書が少ないし、最新のものが無い。Wi-Fiを設置してほしい。過去の学習指導要領も置いてほしい。教育出版以外の教科書会社の指導書も置いてほしい。漫画がなくなったので、もう一度置いてほしい)〔5〕
- ・ICT 環境(無線 LAN が使える範囲をもっと広げてほしい。パソコンや AV 機器が古い。Wi-Fi 環境がよくない、勉強のための調べ物ができない。)〔3〕
- ・出席管理用 IC カードリーダー(学生証にリーダーをかざしても「サーバー通信エラー」と表示され出席にならない日が多々あった。不具合がひどい。優先的に直してほしい)〔3〕
- ・スペース(講義の履修(工学)の設備がないため学外に行き受講しなければならない。作品を制作するスペースが足りない。物をしまうスペースが足りず、子どもたちとの活動に必要なスペースが確保できない。研究棟の演習室・実験室の配分が専攻・分野によって著しく差がある等)〔3〕
- ・教材・教具(学生が誰でも使える画用紙や黒板用の大きな定規・分度器など、実際に小・中学校で使用されているものを揃えてほしい。実際の学校現場を模した教室や電子黒板、教具などがあると学びが深まる等)〔2〕
- ・暖房(暖かすぎるときがある。初期設定の温度を下げる工夫ができないか。暖房を自分たちで調整できるようにしてほしい。)〔2〕
- ・施設・設備全般(全体的に施設・設備が不十分。過剰に施設の利用を制限している)〔2〕
- ・サークル棟(1階の流し台が汚い、スポンジや洗剤等を揃えてほしい。サークル棟を増設してほしい等)〔2〕

・照明(廊下の電気をLEDにかえてほしい)

(3). 本学の教職員に関して

〈主な意見〉

・教員(授業がとにかくわかり難い、話し方や板書のわかりにくさ、学ぶ意味が感じられない内容が多々ある。熱心な先生は学生からの評判も高く、感謝しているが、学生のレベルにあった授業をしていない、評価が不鮮明等の教員がいる、直接要望を出しても改善がみられない、授業改善と評価基準等について大学側から対策をとってほしい。学生の気持ちを全く考えない教員がいる、改善してほしい。アカデミック・ハラスメントや思想の偏りがある不適格教員がいる。セクハラに当たることを言ったり、精神疾患の人に「意志が足りない」と言ったりするのはやめてほしい等)〔7〕

・事務職員(2、3年前に比べると対応が迅速かつ丁寧になっている。いつも丁寧に接していただき感謝している。教員に対して事務仕事を振り分けることのないようにしてほしい。学生課、教務課の学生に対する態度が高圧的で話が二転三転するときがある。書類を出しに行ったときやシステムの不具合を知らせたときの職員の対応がひどいときがある)〔4〕

(4). その他

〈主な意見〉

・キャリア支援(卒業してしまえばどうでもいいというような態度が気になる。教採を落ちた人に対してバカにしたような態度を就職支援する立場の人間がしているとは思えない。民間企業志望者へのサポートが不十分。教員以外の就職支援を増やしてほしい等)〔3〕

・連絡(大学に入れない時間や日程はメールしてほしい。重要な知らせは掲示板のほか、メール送信してほしい。オリエンテーションや臨時の講義等の知らせは早くしてほしい、2、3週間前では遅い)〔2〕

【大学院生】

(1). 本学の教育・学習に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞ ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件は記載を省略。以下、全て同じ)

・カリキュラム(科目構成等)(専門性が高められる授業が少なすぎる、専門性を追求できる科目、教員を配置してほしい。教員が不足している講座がある、専門的な必修の科目であるにもかかわらず、非常勤講師で賄っているのはどうか等)〔2〕

・授業(満足できる内容で大変うれしい、働きながらの学びについても理解があり様々な配慮がある)

＜大学院生(教職大学院)＞

＜主な意見＞

・カリキュラム(科目構成等)(履修単位数に制限があり、受講したくても単位数が越えてしまうので受講できないのが残念等)

・授業(学問的に面白いと思える講義の少なさ、授業としての魅力の無さがみられる等)

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・附属図書館(専門書が少ない。ノートパソコンの貸与をなぜやめたのか。北海道新聞の記事検索がカウンターでしかできなくなった。新しい本が入らない。除籍本を自由に持っていけるイベントをやってほしい。電子ジャーナル等が印刷用の印刷機を設置してほしい。インターネットから自由に印刷できる設備が少ない等)〔4〕

・食堂、購買(食堂などのサービスは助かっている。長期休暇期間中も商品在庫を充実してほしい。食堂の混雑を緩和してほしい。レンタカーの手続の際に職員が戸惑っている、マニュアルがないのか。コピーカードの自販機がほしい)〔2〕

・研究棟(研究棟のトイレの更新はいつ頃か。研究室や演習室の配置がわかりにく。B研究棟の廊下が暗い、センサー付きの蛍光灯を設置予定はないのか。土日の研究棟にも暖房を入れるようにしてほしい等)〔2〕

・講堂(舞台照明の切れた電球が更新されない。ステージに上がる場所の階段にクッションを設置してほしい。清掃が入らない場所で汚い、掃除をしようにもモップ等の状態がよくない、掃除用具を更新してほ

しい。吊物の使用を学生にも許可してほしい。湿気がひどい。冬寒い。ステージ横の非常口が腐食しており、雨漏りで足元が水浸しになる等)

・トイレ(全体的に暗く、夜利用するのが怖い)

・教室の環境(学部生が使った後の教室が汚い)

＜大学院生(教職大学院)＞

＜主な意見＞

・附属図書館(卒業後も図書館を利用できるようにしてほしい。圧倒的に本の数が足りない等)〔2〕

・食堂、購買(食堂の時間が短すぎる、生協も魅力がないため、学生はコンビニに行ってしまう)

(3). 本学の教職員に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・教員(教授陣は丁寧に関わってくださり、人間的にも尊敬している。専門性の高い授業をする教員と高校でも教わったような授業をする教員とで差が激しい。科目によって教員の人数に偏りがある。大学教員がする仕事なのかと疑問に思う場面もある。オフィスアワーに行ってもいない教員やオフィスアワーの時間がわからない教員がいる等)〔3〕

＜大学院生(教職大学院)＞

＜主な意見＞

・教員(熱心に指導してくれる教員もいるが、自分本位な授業や指導を行っている教員に対しては改善が必要等)

(4). その他

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・騒音(B研究棟で大きな声での私語や歌いながら歩くなどマナーの問題がある、注意を促してほしい。研究棟に出入りする学生がうるさすぎて講義中に差し支えるレベル等)〔2〕

・喫煙(頻繁にコンビニエンスストアの前で喫煙するのは印象がよくないので、男子寮の裏手などに喫煙スペースを作ってもよいのでは)〔2〕

- ・連絡(大学院生はサテライトの授業が多く、玄関掲示だけではわからないので、インフォメーションなどで校舎閉鎖情報を知らせてほしい)
- ・公共交通機関(授業が終わる時間だと最終バスに間に合わないなので、バス会社と交渉して公共の交通機関で通える環境にしてほしい)

旭川校

【学部学生】

(1). 本学の教育・学習に関して

＜主な意見＞ ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件は記載を省略。以下、全て同じ)

- ・カリキュラム(科目構成等)。「道德の指導法」や「生徒指導の理論と方法」などの科目が「初等」と「中等」に分かれて二倍の単位を取らなければならなくなったが何の意味もないため、元に戻すべき。「小1主免」の学生について、初等国語や初等社会など「初等」を全教科履修させる必要はない。土日や長期休業中の集中講義を必修にすることはやめるべき、学生にも都合がある。4年後期まで必修科目を残さないでほしい。幼児教育の授業が少ない。教養科目が多くて自分の勉強ができない、また内容が薄すぎて授業の時間が無駄。英語の授業は英語で行うべき。現代的教養科目の科目開設数を増やしてほしい。履修したい講義が被ってしまい、あきらめた科目がある。受講したい科目が受けられない、席が余っているのに受講できないことが多い。専攻ごとの差が大きいため、専攻による差をなくすため全学統一で論文を書かせるべき等)〔10〕
- ・授業(もっと実践的な授業があればよい。現場と密接にかかわる実践的な内容になってほしい。シラバスにある授業名と授業内容が一致していないものが多い。同じ授業名なのに教員によって内容が違ふことがある。教科名と内容が一致していない。単位が認定される欠席回数が不明確。遅刻の定義が教員によって違う。遅刻に厳しくしてほしい。講義中のスマホや居眠りにも厳しくしてほしい。ディスカッション形式や生徒参加型の授業にしてほしい。教員によって差がありすぎる。評価に関する基準と講義に関する事項を明確にしてほしい等)〔10〕
- ・テスト(不正行為をなぜ取り締まらないのか。講義担当教員とは別の教員が試験監督を務める「試験監督制度」を導入すべき。不正行為があったにもかかわらず罰しないのはなぜか)〔2〕
- ・ゼミ(先輩が理不尽に後輩をしごくだけのゼミ制度は廃されるべき。ゼミの単位が出ないにもかかわらず準備の量が多い。ゼミの時間を統一すべき)〔2〕
- ・年末年始休業日(休業を成人式までにしてほしい。帰省しづらいので冬休みを増やしてほしい)〔2〕
- ・外部講師(現職教員の担当する授業を減らすか、授業の質を向上させてほしい等)
- ・卒論の査読(卒論の査読システムを強化し、他専攻の教員の厳しい目で審査を行うシステムに切り替えるべき)
- ・出欠確認(受講をしていないのに受講したことになり単位を得ている人が多すぎる、対策を立ててほしい)

- ・GEL プログラム(GEL プログラムへの補助が少なすぎる、ボランティア活動の斡旋をしたり、留学時の資金援助をしたりすべき等)
- ・教育実習前 CBT(実施する効果のない CBT は廃止すべき等)

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜主な意見＞

- ・体育館(教育棟体育館の床を新しくしてほしい。設備が悪すぎる(照明がつかないところがある、雨漏りする、暖房がまどめにつかない、カーテンがないため日差しが入る、近くに水道がない、バスケットのコー트의ラインが旧ウラインのまま、掃除機がないのでモップの埃がとれない等)、教育棟体育館が寒い。自然棟体育館のトレーニング室はウエイト器具が揃っていない)〔4〕
- ・附属図書館(図書資料が少ない、研究分野によって偏りがある。開館時間を延ばしてほしい。たまに暑すぎる。暖房が暑すぎる、燃料がもったいない)〔4〕
- ・課外活動施設(課外活動施設の利用時間を制限しないでほしい。サークル会館の規模を広げてほしい。もっと綺麗にしてほしい等)〔4〕
- ・ICT 環境(学内全域にフリーWi-Fiを設置してほしい。学内で利用可能な Wi-Fi 機能を拡充してほしい。一部で使用可能だが、インターネットを使用したいときに学生自身のスマートフォンを使用しないとインターネットに接続できない教室がある等)〔3〕
- ・食堂、購買(食堂を3コマの授業の後でも間に合うよう営業してほしい。生協が狭いうえ営業時間が短い。釧路校にあったお菓子や紙パックの自販機がほしい)〔3〕
- ・暖房、冷房(暖房を新しくしてほしい。暖房設備が不十分。夏場は暑すぎ、冬場は寒すぎて勉強に集中できない)〔3〕
- ・スロープ対策(急なスロープの撤去。P 棟出入口前の坂道と生協出入口前の坂道に床暖房等を設置してほしい、傾斜と雪で多くの人が転んでいる)〔2〕
- ・出席管理用 IC カードリーダー(結局紙で出席確認をする教員がほとんどであり、設置する意味があったのか。教員によって使わない人もいる。すぐサーバー通信エラーになる)〔2〕
- ・イルミネーション(冬のイルミネーションは必要ない。設置の意図がわからない)〔2〕
- ・衛生環境(教室を綺麗に保ってほしい、掃除の学生アルバイトがあればやりたい)

- ・教室(L301と同じくらいの広さの教室がもう一つほしい)
- ・ゼミ室(安全面が不安、安全に関する 規定を設けてほしい、小さな地震でも本棚が倒れてきそう)
- ・ピアノ室(教育棟のピアノ室が虫の死骸やほこりで汚い。ピアノの音も狂っている)
- ・トイレ(電気がすぐ切れてしまう)
- ・サッカーグラウンド(芝の状態がひどすぎる)
- ・弓道場(弓道場の設置を検討してほしい)
- ・網戸(夏場に大量の虫の死骸が落ちているので、全ての窓に網戸を設置してほしい)
- ・休日の入口(休日の入口を減らさないでほしい)
- ・印刷室の紙の持ち出し(印刷室の紙の持ち出しを取り締まるべき)
- ・紙資源の有効利用(両面印刷や裏紙利用の徹底により資源の無駄をなくすべき、紙資源の回収 BOX を印刷室にも設けるべき)
- ・その他(草刈りと植物の実験を上手く共存できないか。夕方グラウンドに集うカラスの撃退)〔2〕

(3). 本学の教職員に関して

<主な意見>

- ・教員(黒板に向かって一人でぼつぼつ言っていて何を言っているのかわからない授業はやめてほしい。成績を出さない教員がいる。自分の研究に対するこだわり、理念が強すぎて、学生がやりたいことをやらせてくれない。偉そうにしている嫌だ、学生を見下している。すぐに切れる人がある。何年も研究しない、論文を書かない教員は懲戒免職にできないか。Wikipediaのコピペで作成したレジュメを配布しているふざけた教員がいる。精神が病的に異常ともとれる教員を懲戒処分にできないか。教員の低い人権意識に憤りを感じる。所属ゼミを変わらなければならないほどのセクハラをした教員がなぜ懲戒免職にされないのか。ハラスメントの情報があれば大学側がすぐに対応すべき等)〔9〕
- ・事務職員(学務が閉まるのが早い、せめて6時まであけてほしい。学務からのメールが届くのが遅い)〔2〕
- ・教職員共通(すれ違って挨拶を返さない教職員がいる)

(4). その他

<主な意見>

- ・喫煙(喫煙所又は大型の灰皿を設置してほしい。大学の門の前で吸うのはみっともなく見えるので、喫煙スペースを作った方が問題解決になるのでは。大学の前でタバコを吸い、ポイ捨てる学生がいる、厳罰化及び大学周辺での喫煙を禁止すべき)〔4〕
- ・キャリア支援(他の都道府県の教員採用試験を受ける人が一定数いることを前提に指導・支援等を行うべき。教職以外の就職支援の不足、あまりにも入ってくる情報が少ない)〔2〕
- ・大学祭(六稜祭の3日間開催を復活してほしい等)〔2〕
- ・学生の質(すれ違って挨拶を返さない教職員がいる)
- ・飲酒(大学内での飲酒は全面的に禁止すべき)
- ・留学(留学機構がしっかりしていない。受け入れている留学生の数が少なすぎる。協定校が少ない等)
- ・連絡(情報の提示が遅すぎて予定が崩れる)
- ・その他(要望を出してもなかなか解決してくれない、このアンケートに回答していたらタイムアウトになって嫌になった等)〔2〕

【大学院生】

(1). 本学の教育・学習に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・カリキュラム(科目構成等)(夜間の授業に期待したが、実際は受講制限が多い。7時間目の開講している科目が極端に少ない。1日に6・7時間目の2コマ受講できたらよい)

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・構内環境(迷路のような校舎で慣れるまで時間がかかった。緑が多くてよいが草刈りが大変そう)

・附属図書館(図書館は充実していてよい、リニューアルされて使いやすくなったがなかなか利用できなくて残念)

・コピーカードの支給(研究の関係で月のコピー代が非常に高いので、院生にもコピーカードを支給してほしい)

(3). 本学の教職員に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・教員(男女で指導に差がある教員がいる、全員に平等に指導してほしい)

(4). その他

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・喫煙(敷地と外との境界で喫煙する教職員を見たときは残念だった)

・ゴミ(学生の路上喫煙、学生駐車場のゴミの多さ、放置自転車が非常に気になる、ボランティアで清掃したいところだが遠方からの通学であり難しい)

・学生の服装(あまりに自由すぎてややだらしない、このような学生が教員になっていいのか)

川 釧 路 校

【学部学生】

(1). 本学の教育・学習に関して

＜主な意見＞ ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件は記載を省略。以下、全て同じ)

・カリキュラム(科目構成等)(単位を与えることを目的としている授業が存在している。3年次後期での履修が多いが、より多くの免許を推奨しているのであれば、3年次前期にある程度履修できるように配慮してほしい。何の意味があるのかわからない講義が必修ということが多い。急速集中講義になり、土日がなくなり休まらないことが多い。教員がいない研究室もあり、学びたいことを学べないという状況はいかがなものか。授業の選択の幅が少ない。教養科目の選択必修の選択肢を増やしてほしい。なぜ必修科目に人数制限があるのか、受けたい授業も受けられない。第二外国語を充実させてほしい。チームビルディングやスポーツコーチングなど教養以外の知識が学べる講義などを開いてほしい、系列校同士連携をとってその学校の特徴的な講義を他の系列校の人に受けさせてほしい。釧路校は、小学校教員養成に力を注ぎすぎており、学生一人一人の進路にもっと向き合うべきではないか。小学校教員を目指していないにもかかわらず、初等を選ばされた学生もいるということを前提とした授業を特に初等の必修科目では行ってもらいたい。教員になりたくない人も出てくるが、そういう人の教育実習のモチベーションがあがるような取組やサポートがあるとよい、「どうせ先生にならないし」という態度は実習先にも失礼である等)〔11〕

・授業(現場で生きる教育実践をお願いしたい。授業内容のレベルが低すぎる、将来の教員として、しっかりと教科の専門性、生徒指導の専門性を高められる講義を期待する。単位認定の基準が甘すぎる、シラバスの基準に満たないのであれば無駄に救済措置など取らず不可とすべき。専門ではない教員が参考書等で授業を行うのであれば、自分でも学習できる。無意味なものが多い、いつどこで活用されるのか、どのような現場で生きるのかが全くわからない。模擬授業がお粗末すぎる。教育実習、現場で生かすには本番さながらに行うべき。フィールド研究において、ただ畑作業をさせられたのに活動記録に子どもの実態など書けといわれて苦しむ学生が多数存在するので見直すべき。講義形式の授業が多く不満、「主体的・対話的で深い学び」には程遠い。中等音楽免許を取る上での実技の授業が不十分。調律の取れていない楽器が多い中で練習場所を確保するのが困難、研究に専念できる環境を望む。教師の大変さやマイナス的な事ばかりどの講義も言っている、もっと教師の魅力や現場で工夫して成功した話なども聞きたい等)〔9〕

・研究室の配属(第3専攻の研究室決めをもう少し希望が通るようにしてほしい。第3専攻について、学びたいことを学べていない学生が多い、自分が学びたくない科目を強制的に学ばされる環境は、大学に通うモチベーションを下げかねない。研究室に人数を振り分けて配属させるシステムは変えるべき。自分が学びたい研究室に入ることができない、学ぶことができないのはどうなのか。実際に、今、学びたくないことを学ばさせられている、この選考のせいで大学を中退する人もいると聞く。望んでいない研究室

はストレス、入試の段階で教科ごとにわけると対策をしてほしい。自分が教師として教えた科目を選択できるよ、その枠を広げるべき。やりたいことがあって大学に来ているのに希望の研究室に入ることができなく、やりたくない研究をしなくてはならない状況にある学生がいて不公平さを感じる。各教科の研究室があるが、研究室によっては全員が本気で研究しているわけではなく数人が意欲的に研究している、その原因は第一志望の研究室に入れられないことではないか等)〔8〕

- ・教育実習前 CBT(CBT の意義を学生が納得できるよう説明すべき、教育実習にどうつながるのか全くわからない。現状膨大な量をただひたすら書き写すだけの作業で学びが全く無い。インターネットに書いてあることを冊子に写しているだけではないのか、その冊子を持ち込んで行うテストにはどういった効果があるのか、指導案作りや模擬授業をやるほうが学生のためになるのではないのか等)〔6〕
- ・テスト(初等算数についてテキストの問題の解答をくれないのにテストをやるのはどうか。算数のテストで持ち込み可にする意味が分からない。担当の教員を勝手に決められたことが納得いかない等)
- ・シラバス(シラバスが未入力の講義がある)
- ・実習(中等だけ母校実習が認められたのはなぜか。へき地教育に力を入れている釧路校だが、道東の中学校に行くことは許されず、小学校だけが許される等)
- ・年末年始休業日(冬休みが短すぎ)
- ・夏季休業(夏期休業を小学校、中学校と被らせてほしい)
- ・その他(期日に成績を公表してほしい。休講情報をユニパにすべて公表してほしい。ユニパにおいて、履修登録する際に取得予定免許を選択する欄ができたが、取得予定免許に達するまでに必要な残り科目を表示するシステムがあれば取りこぼしが起こらない。大学のレポートや授業内プレゼンで必須となっているので、Microsoft Office の学生への無償提供を検討してほしい。附属や地域の学校や施設との関わりが身内だけで行われているような印象を受ける。長期バイトも掲載してほしい等)〔6〕

(2). 本学の施設・設備等に関して

<主な意見>

- ・暖房(講義を受ける教室や研究室の暖房が入っていないことが多く寒い、学生が多い時間帯は構内全体に暖房を常時つけてほしい。冬の時期に暖房がつかないのは寒冷地としておかしい。講義中、暖房をつけてほしい、学習に適した環境にしてほしい。廊下が寒い。集中講義等、土日の講義のときに暖房を入れてほしい、集中講義は外部講師の先生も来られる。休日に講義があるのにも関わらず、暖房が入っていないのは集中力に欠けるとともに、健康への影響がある。平日の朝6時50分からと土日の

暖房を入れてほしい。図書館横の自習室にいつも暖房が入っておらずとても寒い、暖房スイッチを自習室内に設けてほしい。大きい教室は暖房が弱くてとても寒い。冬になると施設内で寒暖差が激しい、講義棟から購買部へ向かう途中の階段あたりがとくに寒い。学生ホールから食堂までの廊下がとても寒い。釧路校の校舎と体育館は全く暖房を入れてくれない。冬期間の暖房を4・5月まで入れる必要はない、5月の半ばにもかかわらず、大学全体に暖房を入れる必要性がどこにあるのか等）〔20〕

・駐車場(学生用駐車場を整備してほしい。路面状況がひどすぎる。穴が多く、でこぼこがひどい。舗装してほしい。タイヤカバーが割れてしまった。車のバンパーや下回りを擦る音が絶えず聞こえてくる。学生が駐車できる駐車場を増やしてほしい。駐車場と呼んでいるが、区画もされておらず、外部から人が来れば学生は止めることができない。許可をとらないと止められないと行っているが、ほとんどの車が無許可で停めている。駐車場に違法駐車が多いと言っているが、丁寧に止めればまだまだ入ると思うので制限をなくしてほしい。砂利はパンクや砂埃があるため改善してほしい。なぜ家から2キロ未満の学生は、特別な理由がないと駐車場使用の許可が下りないのか、使用可能な駐車場があるのに、使用できないのが理解できない。駐車証を取るまでの手続きが面倒。学生駐車場は学務から許可証を交付されなければ利用できないというが、学務が許可証を交付してくれない、許可証を出してくれないのに許可証がないから駐車場を使うなはおかしい等）〔15〕

・グラウンド(サッカーコート、ラグビーコート、野球場いずれも一面すら取れない劣悪な環境にある、改善してほしい。グラウンドの整備の悪さ(野球サッカー場の中に木や草が生えているなど)を直してほしい。練習試合で他校を呼ぶことが恥ずかしくてできない。備品が壊れているものや古いものが多い。学生だけでグラウンドの整備を行うには限界があり、グラウンド全体に整備が行き届かない。グラウンドが設備されなさ過ぎる。アスリートを目指しているわけでないが、怪我の心配や指導法や安全面について考えるとひどすぎないか。照明設備をつけてほしい。バックネットをつけてほしい。グラウンドのことに関して要望を何度かしているが叶ったことが一度もないのでなんとかしてほしい等）〔12〕

・食堂、購買(購買、学食の営業時間が短い。座れないので学食の開設時間をもっと長くするか、学食を拡大してほしい。新カリキュラムになり、3年生であっても以前のように講義数が減ることはなくなったためか食堂に入れないことが増えた。卒業シーズンになると袴の受付でスペースがとられたり、お客様がいらしたときに学生が入れなくなっていたりするという現状を知ってほしい。食堂の土日開放や集中講義などで受講生が一定数以上に達すれば開放するなどしてほしい。自動販売機が1階にしかないのが不便。全部の自動販売機をhue-pay対応にしてほしい。購買に暖かい飲み物もおいてほしい等）〔9〕

・体育館(体育館の暖房を入れてほしい。冬は運動に全く適さない環境。土日も暖房を入れてほしい。体育館の時計が5分早くなっている。学生に相談も全くなく、体操の設備で9割スペースを取られ、筋トレのマシーンも勝手に捨てられた、どうにかしてほしい等）〔8〕

・正面玄関(重い荷物を持っていたり怪我をしていたりするととても不便なので正面玄関の自動ドアを再開させてほしい。正面玄関の凍結防止マットが無くなったせいで午後から夜にかけて危険で困っている。

冬になると、正面玄関が氷でツルツルになっていて大変危険、転ぶ人もよく見る、せめて砂を巻くなどしてほしい等)〔5〕

- ・ASK(学生総合相談室)(アスクの改装はとてもよかった。ASKのスペースを自習施設として開放してくれたのはいいが、一定の人が溜まっているのでそこを利用しようとしてもしにくい雰囲気になっている。ASKの利用の仕方がよくない学生がいる、大声で話しに来ている印象で、周りに迷惑をかけている。全学年に開かれた学習スペースであるのに、自分の私物を何日も置き、まるで自分のスペースかのように使う人たちがいる。特定の人のマナーの悪さにより、ほかの人が使用できない。キャリアセンター利用のマナーが悪い学生がいる等)〔5〕
- ・トイレ(A棟6階の男子トイレの蛇口の水圧が異常に強い。研究棟7階男子トイレの洗面水道の出が悪い。7階男子トイレの手洗い場が壊れていて押していないと水が出ない、ぜひ自動にしてほしい。保健管理センター横の女子トイレの流れがよくない。購買横の女子トイレの流れがよくない。洋式トイレも何個か水漏れで回りが変色していたりすぐ戻ってきて流しきれず汚水が悪臭を放っていたりするトイレがある、一度全て検して、使用に本当に支障がないか確認してほしい)〔5〕
- ・ICT環境(全館Wi-Fiを使えるようにしてほしい。ASKなどにあるWi-Fiが切られてしまいとても不便、図書館横の自習室に以前まで入っていたWi-Fiが弱すぎて使えなかった。講義棟にWi-Fiをつなげてほしい。図書館の自習室や講義室でもインターネットが使えると学習が進む)〔4〕
- ・附属図書館(改装はとてもよかった。前までは机の上に辞典があったため使いやすかったが、改装でなくなったので、元に戻してほしい。本を増やしてほしい。個人学習室の扉は閉めてほしい。暖房の音がうるさい)〔4〕
- ・課外活動施設(演劇や合唱などのサークル活動を応援し、練習場所の提供や小ホールの照明設備の点検改修工事を行ってほしい。吹奏楽部と軽音楽部で扱いがあまりにも違いすぎる、大学側に勝手に決められた場所と設備によって、こんなにも条件の違う対応をされるのは理不尽。狭い、外の部活がのびのび活動できる場所を作ってほしい等)〔3〕
- ・出席管理用ICカードリーダー(読み取りエラーをなくしてほしい。システムの運用を再検討してほしい、出席票等で出席をとっている授業が多い。全ての教室に配備してほしい。カードリーダーをいい加減直してほしい)〔3〕
- ・ウエイト施設、運動設備(ウエイト施設に足を鍛える器具がない。ウエイト施設を整備してほしい、体育科の教員が筋カトレーニングを行う器具をほとんど撤去した、元に戻してほしい。運動設備の点検が不十分、直せるようなものも放置されている)〔3〕

- ・C棟(寒い、暖房をつけてほしい。C棟に行くプレハブが寒い、暑い。C棟のピアノ全て調律してほしい)〔3〕
- ・武道館(冬の暖房設備を考えてほしい、あまりに寒くて練習にならない。トレーニング設備を充実してほしい)〔2〕
- ・水道設備(7階B棟の奥の水道が薬品臭くて飲めない)
- ・イルミネーション(毎年点灯しているが無駄、駐車場を直すのに充てたらどうか)
- ・その他(リフレの改装はよかった。B棟からC棟へ行くところにある扉の出入りは自由化してほしい。C、D棟側の渡り廊下の玄関を開けてほしい。研究室棟と講義棟の行き来が不便、一度降りないと行けないから。多目的室がアクティブラーニング室になってからは使用していないし、使用しづらくなった。音楽の分野において、音が狂うことの影響が今年度に入って大きくなった)〔6〕

(3). 本学の教職員に関して

<主な意見>

- ・教員(教育は学生に挨拶しなさいというのに挨拶を返さないのはおかしい。人が聞く気になる喋り方をしてほしい。専門でない分野の講義だとしても実りのある講義にしてほしい、ただ実践やワークショップをすればいいという問題ではない。研究室が存在する以上、専門の先生を用意するのは当たり前だと思う。実習のアナウンスや卒論についての対応が甘い。必修単位である講義を開講しない教員、講義中に寝ている教員がいる。教員によって評価の基準が違いすぎる。学生証を忘れただけで欠席扱いにする教員がいる。授業や考え方に学生の需要と大きくかけ離れている教員がいる。受ける意味がない授業があり、教員によって授業の質が目立つ。学生の考えを簡単に批判し、結局自分の考えを教え込む教員がいる。たまに威圧してくる教員がいる。教員に失礼極まりないことを言われとても嫌な思いをした。初等をとった学生が全員小学校教員を目指しているわけではないことを前提として授業を行ってほしい等)〔15〕
- ・事務職員(学務の対応が統一されておらず、人によって対応が異なったり、担当が不在で取扱いができなかったりする。学務の態度が冷たく残念。学務の対応が雑、人との接し方に問題。学務グループに高圧的な職員がいて利用しづらい。学務グループに、愛想が悪くて不愉快な職員がいる。学生の性別によって対応が異なる職員がいる。ネームプレートを学生の見えるところにしっかりつけ、教員と同様に学生評価の制度を設けるべき。学務部の仕事ぶりや対応を良く評価している人が少ないのはなぜか振り返り、改善してほしい。学務グループの空いている時間が短い、5コマの後に間に合わないのは困る。学務グループからのメールだが、あまり重要性の無いメールは何度も送信されるが、重要なものがあまり送られてこない等)〔12〕
- ・教職員共通(学生の意見をしっかり聞き入れてほしい)

(4). その他

<主な意見>

- ・喫煙(校門の前で喫煙している学生や教員をよく見るのが不快。大学敷地内の全面禁煙を推進してほしい。教員駐車場横での喫煙は徒歩で登校するものにとって煙が当たるので不快。学校の前でタバコを吸うのは評判を下げるので、分煙室を作るなど対策が必要)〔4〕
- ・キャリア支援(教員以外の一般就職のための教育や支援が不十分。教師以外の子どもに関わる仕事の紹介や体験を行うことで自分の意志に沿った進路選択ができる。教員以外の職業に就職した人の就職先が知りたい、知りたくても知ることができないのは不便)〔3〕
- ・連絡(ガイダンスや室長サークル長会議の日程管理をしっかりとしてほしい、長期休業前に急に告知されても行けない。入校禁止の日は掲示板に貼る以外にメールを回してほしい)〔2〕
- ・大学教育情報システム(「学生出欠状況確認」のタブが2つ重複して表示されているので修正してほしい。ユニパが使いにくい(30分でタイムアウトしてしまうし、3:00からは毎日メンテナンスで使用不可等))〔2〕
- ・大学祭(学祭の規模をもっと大きしてほしい、学生だけで盛り上げているだけで外部の人が少なすぎ)
- ・経済的支援(金銭的に学業に専念できないため、大学からの援助を手厚くしてほしい)
- ・セキュリティ(パソコンが盗まれる事件があったので、セキュリティをもっと強化すべき)
- ・カウンセリング(相談可能時間などもっと活用しやすいようにしてほしい)
- ・避難訓練(学生も教員も危機感が無い避難訓練はやる意味がない、やり方を変えていくべき)
- ・学生指導(学生の日常会話で「死ぬ」「消えろ」といった言葉をよく耳にするが、将来教員になる人がそんなことを言うのはいかがと思うので、大学全体で指導すべき)
- ・その他(大学はお金をかけるところがおかしい。不満や要望を出しても改善されない、今回こそは改善してほしい。この要望調査の結果を公開してほしい等)〔3〕

【大学院生】

(1). 本学の教育・学習に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・授業(知識詰め込みではなく、考えさせる講義・授業を期待する)

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・駐車場(学生駐車場の路面状況が悪すぎる。大学院生が表の駐車場に止めてもいいようにしてほしい。学生駐車場の穴ぼこを直してほしい、大きな段差で車が故障したり、事故につながったりする)〔2〕

・扉、ドア(裏の扉の修理が遅くて不便。玄関の自動ドア、C棟近くのドアが開かないと不便なので開けてほしい、特に自動ドアはバリアフリーであるべき)〔2〕

・冷房、暖房(暑すぎたり寒すぎたり極端。C棟までの通路が汚いし、寒い等)

・レーザープリンタ(研究の際に論文や書籍等を印刷する量が多いため、大学院生室にレーザープリンタを設置してほしい)

・トイレ(A棟1階女子トイレの手洗いの水道が変なので修理してほしい)

(3). 本学の教職員に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・教員(教員による講義の質に差がありすぎる。挨拶を返さない教職員がいる、教育者としてどうか。同じ教科の教員同士での連携はとってほしい。卒業論文に自分の研究したいことをさせない教員がいると聞くが、学生の意思を尊重するべき。自分の専門分野以外の知識を知るべき。SNSに自分の大学のことを批判的に書いている教職員がいるのはどうか、意見があるのなら学内で話し合うべき等)〔4〕

・事務職員(事務職員の情報共有が疎か、特に就職関係の情報が錯綜しすぎて様々なところにたらい回しにされて大変だった)

(4). その他

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

- ・構内24時間開放(学内を24時間開放してほしい。他大学では研究のために年末などを除き、24時間学内に使える空間が確保されている等)
- ・学内掲示(何年も前のポスターをずっと貼ってある場所がある等)

IV 函 館 校

【学部学生】

(1). 本学の教育・学習に関して

＜主な意見＞ ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件は記載を省略。以下、全て同じ)

・カリキュラム(科目構成等)(語学科目や語学教員を増やしてほしい、今のままでは英語のみ偏り専門性が身につかない。外国語の種類を増やしてほしい。なぜ履修区分Bの必修科目が履修区分Aの科目にあるのか、なぜこの履修区分でこの科目なのかとなる科目が多い。講義が同じ時間に重複してしまい、履修の妨げになる、履修に年単位で時間がかかる、意味のない必修科目がある。テキストが無駄に高価なものを選択している教員が多い。開設科目一覧を配るのが遅い等)〔4〕

・授業(板書の文字を見やすくしてほしい。終わらなければ残される講義がある)〔2〕

・成績の評価(TOEIC テストの点数を卒業要件に定めておきながら、それを達成できるような授業が整備されていない等)

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜主な意見＞

・暖房(暖房機器の音がうるさい。冬の講義室の環境が悪い、暖房が暑く勉強の妨げになる。18 講義室の暖房が講義時間に合わせて温まっていないことが多く体調管理が難しい。14 講義室の暖房が強すぎる等)〔4〕

・厚生会館(厚生会館を早く立て直してほしい。厚生会館の使用について曖昧なままなのはどうしてなのか、対応してほしい。11月時点で不要物の処分が行われておらず、学生には9月末までと言っておきながら、現時点でも処分がされていないのは甚だ遺憾等)〔3〕

・食堂、購買(食堂がもう少し広いとうれしい、座席同士の間隔が狭い。学生数に食堂、購買の施設が見合っておらず、狭く大変混雑する、混雑を避けようとしても営業時間が短く不便であり、改善してほしい。学内の自動販売機の数を増やしてほしい)〔3〕

・設備の不具合(VHS のデジタル化をすべき。毎度機材の不具合で授業が滞る。設備のトラブルが多い。プロジェクターやホワイトボードまで管理が行き届いていない)〔2〕

- ・建物の老朽化(全体的に建物の老朽化がひどすぎる、施設改修を進めてほしい。古くて欠陥が目立つところを修理してほしい。清潔感のある校舎にしてほしい)〔2〕
- ・ICT環境(学内全域にWi-Fiを通してほしい)
- ・附属図書館(参考書などの数を増やしてほしい。理工系参考書が古いものが多いので最新のものを増やしてほしい)
- ・体育館(体育館の女子更衣室の洗面台側の電球が切れているので直してほしい)
- ・冷房(もっと多くの教室に冷房設備を整えてほしい)
- ・トレッドミル(長距離はトレッドミルがあるのとないのとでは練習の質・量ともに大きな違いがあるので、トレッドミルを設置してほしい)
- ・外国語自律学習ステーション(SALLS)(SASにあるTOEICの問題集を図書館のように一時的に借りられるようにしてほしい)
- ・キャンパスの規模(キャンパスの規模が小さく、体育館と研究室等がつながっていたりして迷惑をかけてしまう可能性があるため存分に活動できない)
- ・駐車場(これだけ駐車場が広くあるのなら、許可を取らずとも利用させてほしい)

(3). 本学の教職員に関して

<主な意見>

- ・教員(受講人数が多いと、シラバスに書いていない受講条件を言い出したり、じゃんけんやくじ引きで受講を許可したりする教員がいる。パワーハラスメントとアカデミックハラスメントが一部の教職員に見受けられる、それによって希望の分野の研究ができない。英語学に関する専門的知識をもつ教職員の授業を受けたいがほとんどいない。教育者として適正が問われる教員がいる、具体的には認知的に不安がある方、情緒が不安定な方。教員の気分で毎回怒られるのが本当に嫌だ。ほかの学生も些細で理不尽なことで怒られるし、本当に嫌だと言っている、しっかり考えて対応してほしい等)〔5〕
- ・事務職員(学務グループの対応が非常に悪い。対応が雑である。学務グループの一部の職員が高圧的である。溜息をつきながらここに書いてあるとけだるそうに答える男性職員や書類の記入を間違えたくないから確認しているのに対応がよくない女性職員にイライラする。学務の方でちゃんと仕事しない人が多い。わからないことを聞きに行ってもなんでわからないのと冷たい態度が毎回。周りの友達も行きづらいついて話している等)〔5〕

(4). その他

＜主な意見＞

・不審者対策(大学付近で多発している不審者対策)

【大学院生】

※「(1)本学の教育・学習に関して」から「(4)その他」までいずれも該当記述なし。

V 岩見沢校

【学部学生】

(1). 本学の教育・学習に関して

〈主な意見〉 ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件は記載を省略。以下、全て同じ)

- ・カリキュラム(科目構成等)(ガラス工芸をやりたい。科目の取り方がわかりにくい。卒業論文に使用する分析方法について詳しく学ぶ機会がほしい)〔2〕
- ・授業(スライドをもっとはっきり写るものに変えてほしい。講義ごとで欠席可能な数が違うため不平等)
- ・公欠(部活動の大会での欠席も公欠にしてほしい)
- ・テスト(授業で伝えたことをテストで出すことを徹底してほしい)

(2). 本学の施設・設備等に関して

〈主な意見〉

- ・暖房(暖房設備が極端(暑すぎたり寒かったり)。図書館、カフェスペースの暖房もお願いする)〔2〕
- ・衛生環境(講義室の雰囲気は暗い、講義室の壁や設備が綺麗ではない。学校全体を通して雰囲気が暗い、綺麗ではない)〔2〕
- ・冷房(夏に具合が悪くなる人がいるので、講義室にクーラーを設置してほしい。音楽棟にクーラーを設置してほしい)
- ・ICT環境(全館 Wi-Fi が使えるようにしてほしい)
- ・トイレ(トイレが汚く臭い)
- ・体育館(第2体育館がとても寒い)
- ・食堂(もう少し長く開いてほしい)
- ・プール(プールを設置してほしい)
- ・郵便ポスト(郵便ポストを設置してほしい)

(3). 本学の教職員に関して

※該当記述なし。

(4). その他

＜主な意見＞

・キャリア支援(教職センターの相談日の時間を長くするか日数を増やしてほしい)

【大学院生】

(2). 本学の施設・設備等に関して

＜大学院生(修士課程)＞

＜主な意見＞

・暖房(冬季のアートファクトリーB棟の暖房の温度をもっと上げてほしい)

※「(1)本学の教育・学習に関して」、「(3)本学の教職員に関して」及び「(4)その他」については、いずれも該当記述なし。

学 生 寮 调 查

問1 あなたの居住する学生寮について教えてください。

(単位:人)

区分	全学	札幌校	旭川校	釧路校	函館校	岩見沢校
男子寮	84	10	20	28	20	6
女子寮	69	11	16	24	11	7
全体	153	21	36	52	31	13

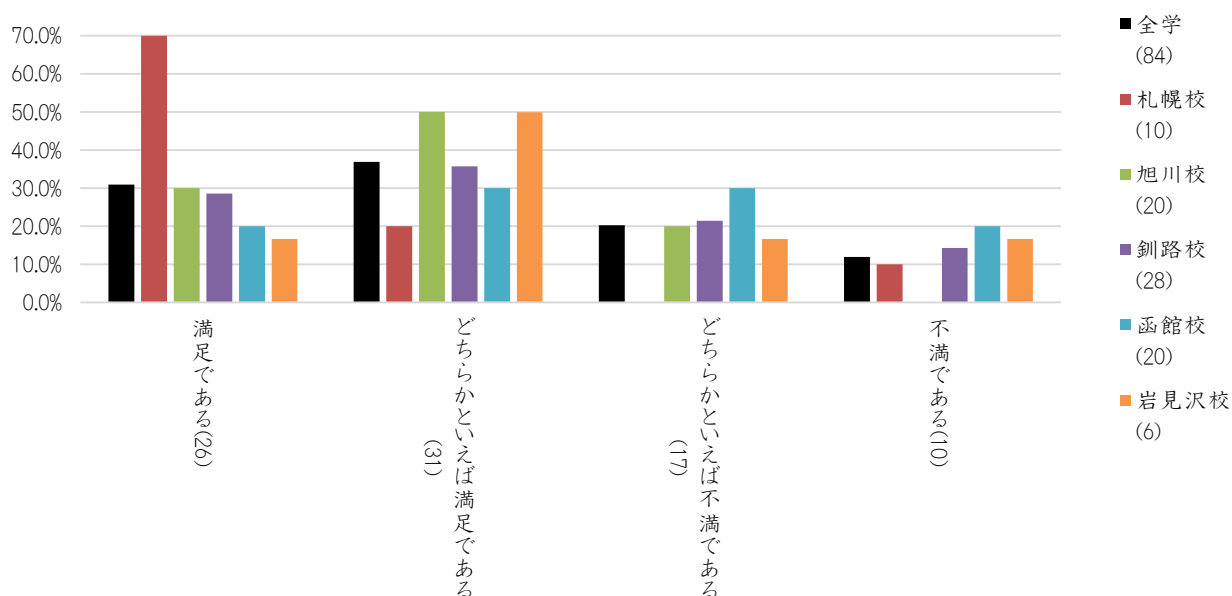
問2 学生寮での生活の満足度について教えてください。

【男子寮】

区分	全学 (84)	札幌校 (10)	旭川校 (20)	釧路校 (28)	函館校 (20)	岩見沢校 (6)
満足である (26)	31.0%	70.0%	30.0%	28.6%	20.0%	16.7%
どちらかといえば満足である (31)	36.9%	20.0%	50.0%	35.7%	30.0%	49.9%
どちらかといえば不満である (17)	20.2%	0.0%	20.0%	21.4%	30.0%	16.7%
不満である (10)	11.9%	10.0%	0.0%	14.3%	20.0%	16.7%

※()内の数字は回答数。また、回答割合の高いもの(上位3位など)を網掛けで表示(以下、全て同じ)

学生寮への満足度(男子寮)



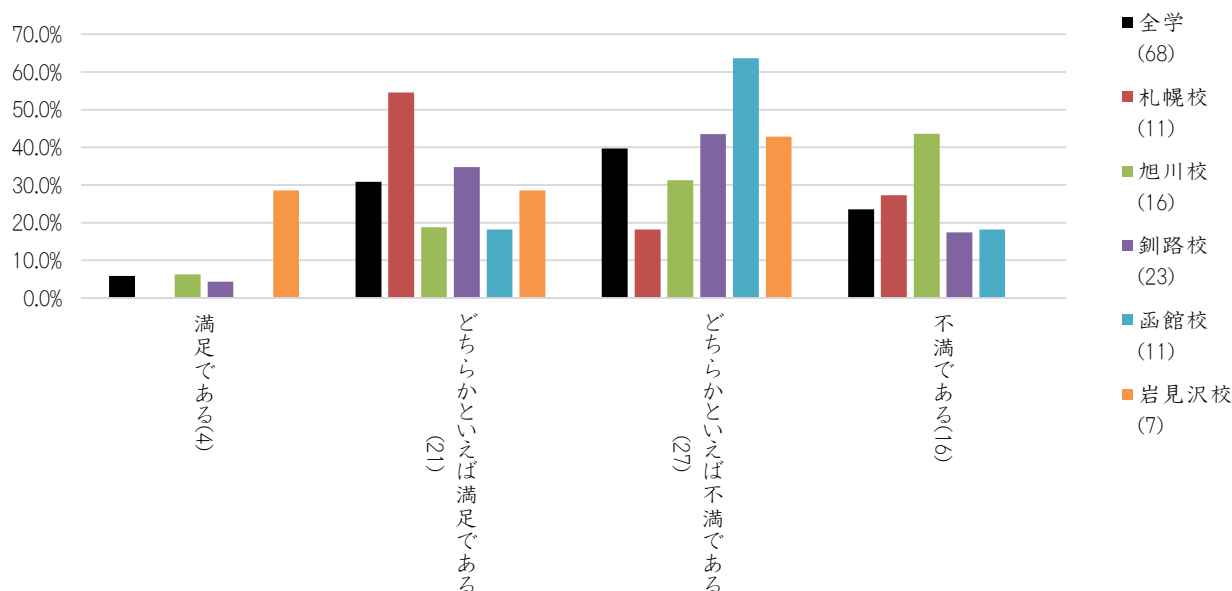
男子寮全体では、①「どちらかといえば満足である」(36.9%)、②「満足である」(31.0%)、③「どちらかといえば不満である」(20.2%)、④「不満である」(11.9%)の順であり、満足(「満足」+「どちらかといえば満足」)は全体の約 68%、不満(「どちらかといえば不満」+「不満」)は全体の約 32%という結果であった。

寮別では、満足(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合が男子寮全体(約 68%)よりも高かったのが、札幌校(90%)、旭川校(80%)であった。不満(「どちらかといえば不満」+「不満」)の割合が男子寮全体(約 32%)よりも高かったのが、函館校(50%)、釧路校(約 36%)、岩見沢校(約 33%)であった。特に、札幌校では、「満足である」の割合(70.0%)が高く、函館校では、「不満である」の割合(20.0%)が高い一方、旭川校では 0.0%であった。

【女子寮】

区分	全学 (68)	札幌校 (11)	旭川校 (16)	釧路校 (23)	函館校 (11)	岩見沢校 (7)
満足である(4)	5.9%	0.0%	6.3%	4.3%	0.0%	28.6%
どちらかといえば満足である(21)	30.9%	54.5%	18.8%	34.8%	18.2%	28.6%
どちらかといえば不満である(27)	39.7%	18.2%	31.3%	43.5%	63.6%	42.8%
不満である(16)	23.5%	27.3%	43.6%	17.4%	18.2%	0.0%

学生寮への満足度(女子寮)



女子寮全体では、①「どちらかといえば不満である」(39.7%)、②「どちらかといえば満足である」(30.9%)、③「不満である」(23.5%)、④「満足である」(5.9%)の順であり、満足(「満足」+「どちらかといえば満足」)は全体の約 36%、不満(「どちらかといえば不満」+「不満」)は全体の約 63%という結果であった。

寮別では、満足(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合が高かったのが、岩見沢校(約 57%)、札幌校(55%)であり、不満(「どちらかといえば不満」+「不満」)の割合が高かったのが、函館校(約 82%)旭川校(約 75%)、釧路校(約 61%)であった。特に、旭川校では、「不満である」の割合(43.6%)が高く、岩見沢校では、「満足である」の割合(28.6%)が高い一方、「不満である」は 0.0%であった。

問3 学生寮での生活で満足な点は何ですか。

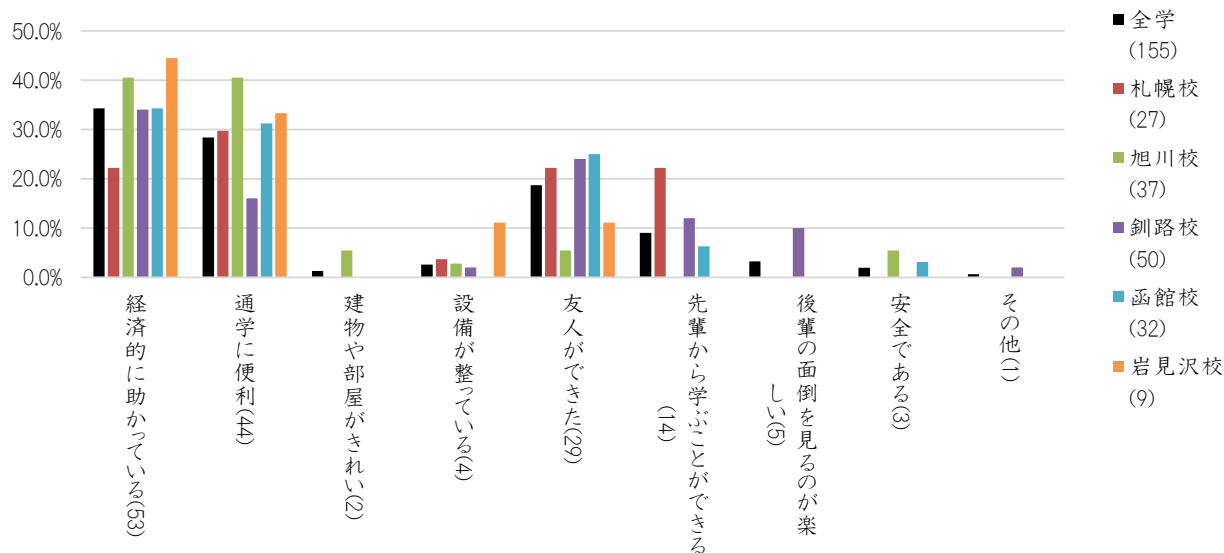
〔主なものを3つ以内で選んでください。〕※問2で、「満足である」「どちらかといえば満足である」を選択した人のみ回答してください。

【男子寮】

区分	全学 (155)	札幌校 (27)	旭川校 (37)	釧路校 (50)	函館校 (32)	岩見沢校 (9)
経済的に助かっている (53)	34.3%	22.2%	40.5%	34.0%	34.3%	44.5%
通学に便利(44)	28.4%	29.7%	40.5%	16.0%	31.3%	33.3%
建物や部屋がきれい (2)	1.3%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
設備が整っている (4)	2.6%	3.7%	2.8%	2.0%	0.0%	11.1%
友人ができた(29)	18.7%	22.2%	5.4%	24.0%	25.0%	11.1%
先輩から学ぶことができる (14)	9.0%	22.2%	0.0%	12.0%	6.3%	0.0%
後輩の面倒を見るのが楽しい (5)	3.2%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
安全である (3)	1.9%	0.0%	5.4%	0.0%	3.1%	0.0%
その他 (1)	0.6%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%

※その他:(友人との交流が面白い)

学生寮に満足な理由(男子寮)



男子寮全体では、①「経済的に助かっている」(34.3%)、②「通学に便利」(28.4%)、③「友人ができた」(18.7%)、④「先輩から学ぶことができる」(9.0%)の順であった。

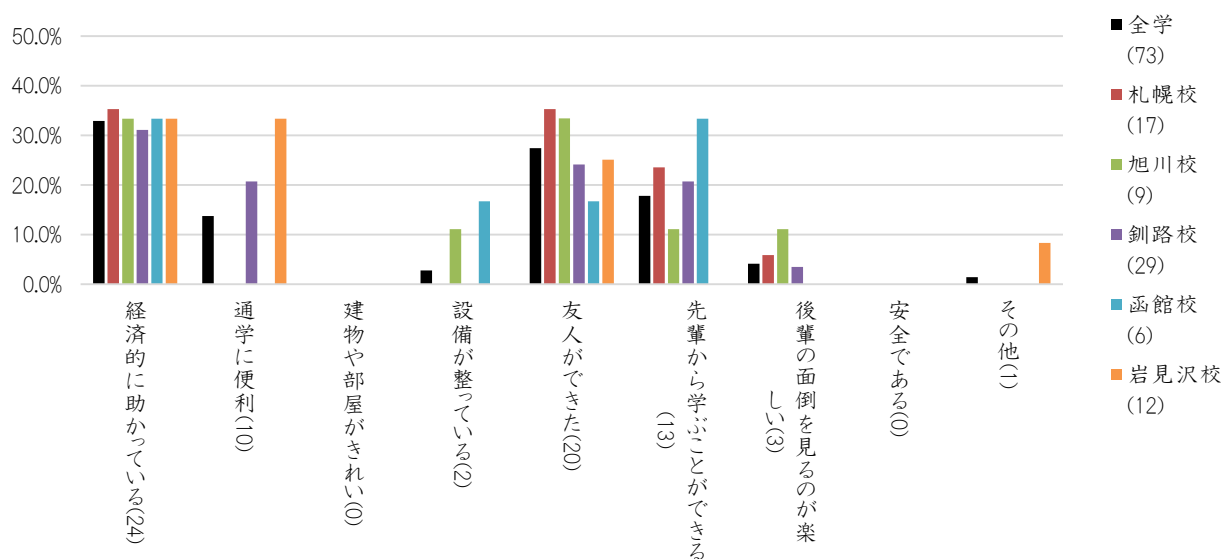
寮別では、「経済的に助かっている」は、札幌校(22.2%)、「通学に便利」は、釧路校(20.7%)、「友人ができた」は、旭川校(5.4%)、「先輩から学ぶことができる」は、旭川校、岩見沢校(0.0%)で回答の割合が低かった。また、「設備が整っている」は、岩見沢校(11.1%)で回答の割合が高かった。

【女子寮】

区分	全学 (73)	札幌校 (17)	旭川校 (9)	釧路校 (29)	函館校 (6)	岩見沢校 (12)
経済的に助かっている (24)	32.9%	35.3%	33.3%	31.1%	33.3%	33.3%
通学に便利 (10)	13.7%	0.0%	0.0%	20.7%	0.0%	33.3%
建物や部屋がきれいな (0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
設備が整っている (2)	2.7%	0.0%	11.1%	0.0%	16.7%	0.0%
友人ができた (20)	27.4%	35.3%	33.4%	24.1%	16.7%	25.1%
先輩から学ぶことができる (13)	17.8%	23.5%	11.1%	20.7%	33.3%	0.0%
後輩の面倒を見るのが楽しい (3)	4.1%	5.9%	11.1%	3.4%	0.0%	0.0%
安全である (0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (1)	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%

※その他:(アパートより暖かい)

学生寮に満足な理由(女子寮)



女子寮全体では、①「経済的に助かっている」(32.9%)、②「友人ができた」(27.4%)、③「先輩から学ぶことができる」(17.8%)、④「通学に便利」(13.7%)の順であった。

寮別では、「通学に便利」は、岩見沢校(33.3%)、釧路校(20.7%)で回答の割合が高かった一方で、札幌校、旭川校、函館校では 0.0%であった。「先輩から学ぶことができる」は、函館校(33.3%)であった一方で、岩見沢校では 0.0%であった。また、「設備が整っている」は、函館校(16.7%)、旭川校(11.1%)で回答の割合が高かった。

問4 学生寮での生活で不満な点は何ですか。

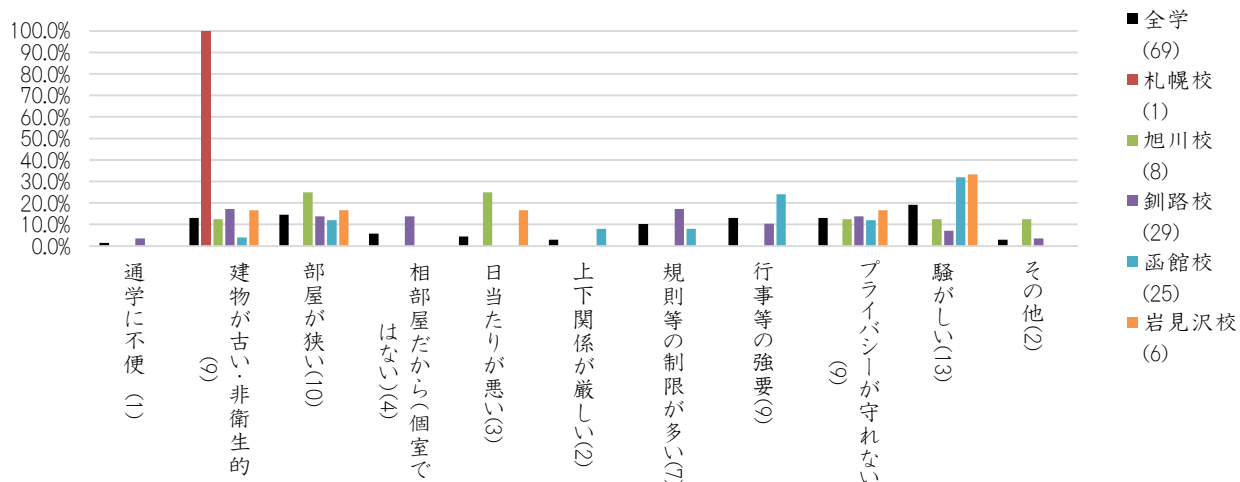
[主なものを3つ以内で選んでください。]※問2で、「どちらかといえば不満である」「不満である」を選択した人のみ回答してください。

【男子寮】

区分	全学 (69)	札幌校 (1)	旭川校 (8)	釧路校 (29)	函館校 (25)	岩見沢校 (6)
通学に不便 (1)	1.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
建物が古い・非衛 生的 (9)	13.0%	100.0%	12.5%	17.2%	4.0%	16.7%
部屋が狭い(10)	14.5%	0.0%	25.0%	13.8%	12.0%	16.7%
相部屋だから(個室 ではない)(4)	5.8%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%	0.0%
日当たりが悪い(3)	4.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%
上下関係が厳しい (2)	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%
規則等の制限が多 い (7)	10.1%	0.0%	0.0%	17.2%	8.0%	0.0%
行事等の強要(9)	13.0%	0.0%	0.0%	10.3%	24.0%	0.0%
プライバシーが守れ ない (9)	13.0%	0.0%	12.5%	13.8%	12.0%	16.7%
騒がしい (13)	19.1%	0.0%	12.5%	7.1%	32.0%	33.2%
その他 (2)	2.9%	0.0%	12.5%	3.4%	0.0%	0.0%

※その他:(物が無くなる)

学生寮に不満な理由(男子寮)



男子寮全体では、①「騒がしい」(19.1%)、②「部屋が狭い」(14.5%)、③「建物が古い・非衛生的」、「行事等の強要」、「プライバシーが守れない」(13.0%)の順で回答が多かった。

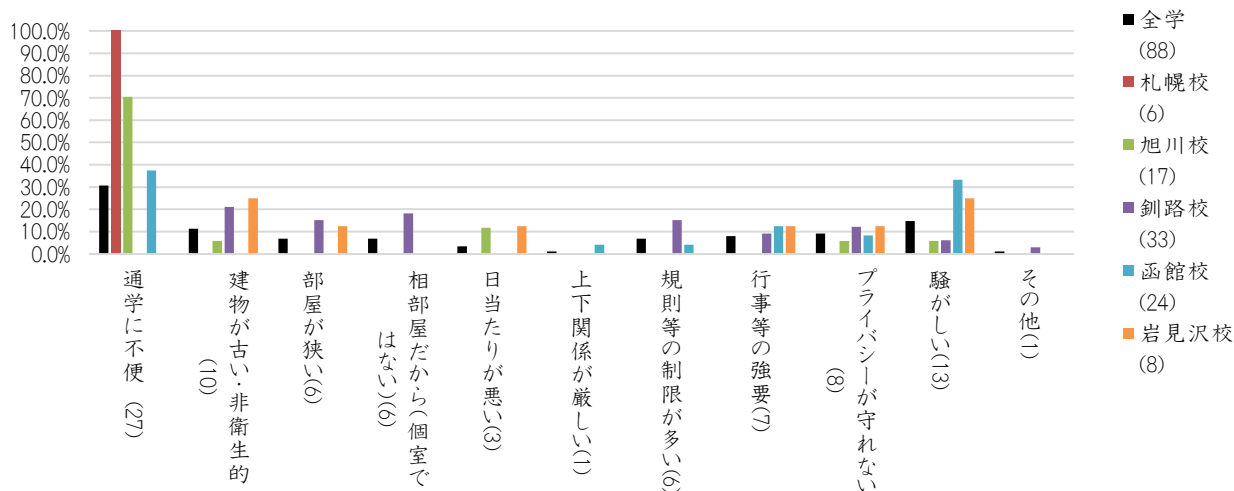
寮別では、「騒がしい」は、「岩見沢校(33.2%)、函館校(32.0%)」、「部屋が狭い」は旭川校(25.0%)、「行事等の強要」は、函館校(24.0%)で回答の割合が高かった。また、「部屋が狭い」は、旭川校(25.0%)、「日当たりが悪い」は、旭川校(25.0%)、岩見沢校(16.7%)、「規則等の制限が多い」は、釧路校(17.2%)で回答の割合が高かった。

【女子寮】

区分	全学 (88)	札幌校 (6)	旭川校 (17)	釧路校 (33)	函館校 (24)	岩見沢校 (8)
通学に不便 (27)	30.7%	100.0%	70.5%	0.0%	37.5%	0.0%
建物が古い・非衛 生的 (10)	11.4%	0.0%	5.9%	21.1%	0.0%	25.0%
部屋が狭い (6)	6.8%	0.0%	0.0%	15.2%	0.0%	12.5%
相部屋だから(個室 ではない) (6)	6.8%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%
日当たりが悪い(3)	3.4%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	12.5%
上下関係が厳しい (1)	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
規則等の制限が多 い (6)	6.8%	0.0%	0.0%	15.2%	4.2%	0.0%
行事等の強要(7)	8.0%	0.0%	0.0%	9.1%	12.5%	12.5%
プライバシーが守れ ない (8)	9.1%	0.0%	5.9%	12.1%	8.3%	12.5%
騒がしい (13)	14.8%	0.0%	5.9%	6.1%	33.3%	25.0%
そ の 他 (1)	1.1%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%

※その他:(清掃に無関心、留学生の世話、物が無くなる、モラルが低い、時間制限が多い)

学生寮に不満な理由(女子寮)



女子寮全体では、①「通学に不便」(30.7%)、②「騒がしい」(14.8%)、③「建物が古い・非衛生的」(11.4%)の順であった。

寮別では、「通学に不便」は、札幌校(100.0%)、旭川校(70.5%)、函館校(37.5%)、「騒がしい」は、函館校(33.3%)、岩見沢校(25.0%)、「建物が古い・非衛生的」は、岩見沢校(25.0%)、釧路校(21.1%)で回答の割合が高かった。また、「日当たりが悪い」は、岩見沢校(12.5%)、旭川校(11.8%)で回答の割合が高かった。このほか、釧路校では、「相部屋だから(個室ではない)」(18.2%)、「部屋が狭い」、「規則等の制限が多い」(15.2%)の割合が高かった。

問5 学生寮に関して大学に要望したいこと等があれば、自由に記入してください。(特になければ記入は不要です。)

(1)札幌校男子寮

〈主な意見〉 ※〔 〕内の数字は意見の件数(1件の場合は記載省略。以下、全て同じ。)

- ・ICT環境(インターネット回線の増強、Wi-Fiが不安定等)〔7〕
- ・施設・設備(排水管やオートロックなどの不良。風が漏れる。虫がよく出る。)[2]

(2)札幌校女子寮

〈主な意見〉

- ・留学生(寮生活のルールを守らない、留学生の人数制限、留学生用の寮の建設等)〔3〕
- ・管理人(大掃除はしてくれない)
- ・施設・設備(お風呂、洗濯機、冷蔵庫、ガスコンロの汚れ)
- ・情報共有(学生寮の予算の用途や金額を知らせてほしい)
- ・人間関係(寮生同士の仲はとてもよく、大切な存在)
- ・自治寮(都合のいいときだけ自治寮であることを主張される)

(3)旭川校男子寮

〈主な意見〉

- ・施設・設備(公共スペースや浴槽が汚い。パソコン・プリンター・プロジェクターを置いてほしい。自販機のバリエーションを増やしてほしい(食品など)等)〔5〕
- ・ルール・マナー(夜間騒がしい。もっときれいに使ってほしい)〔2〕
- ・除雪(駐車場の除雪がされていない)
- ・ICT環境(ネットの回線が遅い)

(4)旭川校女子寮

〈主な意見〉

- ・盗難(食料の他にも盗難被害が多い。冷蔵庫やロッカー前にも監視カメラがほしい。各部屋の鍵が不足、備品の鍵がない。部屋に冷蔵庫がほしい。学務にいても対応してくれない等)〔7〕
- ・通学(大学まで遠くて不便、大学に近い場所に寮を建ててほしい等)〔6〕
- ・施設・設備(出入口がせまい。トイレが詰まりやすい。洗濯機が正常に動かない。掃除機が不調。湯船がほしい又はシャワーに区切りをつけて暖かくなるようにしてほしい。汚い)〔6〕
- ・暖房、冷房、空調(夜中も暖房を入れてほしい。夏場の環境改善をしてほしい。乾燥しすぎ)〔4〕
- ・ICT環境(ネット環境が整っておらず勉強するにも不便。Wi-Fi環境がほしい等)〔3〕

- ・連絡・相談(業者が入る連絡がこない。学務に相談しても何も解決しない。学務と話し合う場を定期的に設けたい。)〔3〕
- ・プライバシー(プライバシーが守られないので、一人部屋にしてほしい。空き部屋があるのなら、一人部屋にできるはず)〔2〕
- ・衛生環境(管理人一人で掃除できる広さや量ではないので改善してほしい。週2回しか風呂場掃除がされないので毎日してほしい。虫が夏に大量発生するので、食料管理が不安)〔2〕
- ・ルール・マナー(入寮後の提出物が多すぎる。入寮手続の期間を長めにとってほしい)
- ・先輩(先輩との関係が悪い人もいる)
- ・管理人(ちゃんと仕事をしてくれない)
- ・除雪(もっときれいに除雪してほしい)
- ・その他(経済的に困っている人には斡旋してほしい)

(5) 釧路校男子寮

<主な意見>

- ・寮の運営(自治寮として継続してほしい。大学側と学生寮が話し合う機会等を設けてほしい。学務グループと学生支援委員会が寮に関する情報を共有できていない。自治寮を止めるなら、学生に負担をかけず運営できる体制を整えるべき。どこからどこまで寮の好きにやっていいのかわからない。問題を起こす人は寮のありがたみを知らないだけなので退寮させて、みんなでいい生活空間を築きたい。寮費が増えたら、何のための寮かわからなくなる。男子寮、女子寮の出入りのルールを以前のルールに戻してほしい等)〔8〕
- ・施設・設備(地下学習室の設備(電子ピアノ、机、椅子、照明など)を増やしてほしい。畳の購入補助がほしい。物を置くスペースを増設してほしい)〔3〕
- ・ルール・マナー(門限などはやめてほしい、バイトができない)
- ・暖房(地下学習室の暖房を何とかしてほしい、冬は勉強できない)
- ・ゴミ(ゴミ処理に関してもっと親身になってほしい)

(6) 釧路校女子寮

<主な意見>

- ・寮の運営(自治寮として継続してほしい。バイトがあるので、自治寮でなくなったときに門限がつくのは困る。入寮した時より寮生活のルールが厳しくなっており年々住みづらくなっている。規則を守れていない学生が多いので、学校管理の下、寮体制を進めてほしい。お金の管理を学生がするのはどうか等)〔5〕
- ・寮務の負担(学業より寮の仕事優先というのはいかが。寮務の負担が他の寮生に比べて極端に負担であり、三役の学生の生活に支障)〔2〕
- ・寮の環境(勉強を行える部屋の環境ではない。留学生の待遇がかわいそう、野放しにされすぎ)
- ・食事(卒論等で寮に帰ってこれないときも欠食を出せるようにしてほしい、料理が余るのが無駄)
- ・その他(たくさんの友人や先輩ができ、学年バラバラの相部屋も異学年交流ができる一方で、学年が異なると生活リズムも異なるため不都合を感じることもある)

(7) 函館校男子寮

＜主な意見＞

- ・ルール・マナー(夜騒がしい。寮内での集まりが多い。飲み会を強制されることが多い。酒の強要がある。空き部屋を利用している卒業生がいる等)〔6〕
- ・施設・設備(1年生のみ2段ベッドが配布されているのはずい、上級生にも配布すべき。2段ベッドが邪魔、返還できないか。共用スペースが汚い。寮の自転車置き場前の電灯を点滅ではなく、常に電気のつくものにしてほしい等)〔5〕
- ・管理人(楽せずもっと気にかけて働いてほしい。管理人の掃除が雑)〔2〕
- ・ゴミ(寮生が敷地内にゴミを捨てる可能性は低く、むしろポイ捨て被害にあっていると考えられるので、大学で「ポイ捨て禁止」の看板を新調するなどの支援をしてほしい)
- ・整備・点検等(寮内の整備点検等を大学で手配してくれるのは助かるが、担当と不法侵入者の区別がつかないので、関係者とわかるものを身につけてほしい)
- ・自動車(車を持てるようにしてほしい、経済的に困難で入寮したこととは関係がない)
- ・喫煙(禁煙にしてほしい、トイレや洗面台などどこにでも灰があるので困る)
- ・暖房(平成29年度は暖房の手配が迅速で助かった)
- ・寮費(寮費の見直しをかけてほしい)

(8) 函館校女子寮

＜主な意見＞

- ・施設・設備(物品庫を広くしてほしい。廊下に物を置かなくて済むよう部屋を広くしてほしい。物をしまうスペースがほとんどない。自転車を止めるスペースが限られている。浴槽が大きすぎてお湯が無駄になるので、浴槽の大きさを半分にしてほしい。個別の郵便受けを設置してほしい。各部屋に洗面台くらいの水道がほしい。セコムの誤作動や故障が多い)〔8〕
- ・通学(寮から大学までバスを出してほしい。冬の通学が不便。夏は自転車が使えるが、冬は自転車が使えない。男子寮と比べて不公平。男子寮の横の空き地に女子寮を建てるべき等)〔6〕
- ・盗難(盗難が多発しているので対策してほしい。郵便受けにロックをつけてほしい等)〔3〕
- ・ルール・マナー(寮費の引き落とし日は奨学金支給日の翌日などにしてほしい。寮生大会でなぜ罰金をとられるのか理解できない)〔2〕
- ・管理人(話しづらく、咳払いや独り言が多いので気になる)
- ・暖房(暖房が使える時期・時間が限られており不便)

(9)岩見沢校男子寮

<主な意見>

- ・ルール・マナー(夜中に騒ぎ散らし、娯楽室で飲みまくり、所構わず吐きまくる)

(10)岩見沢校女子寮

<主な意見>

- ・施設・設備(お風呂のタイルを水はけのいいものにしてほしい。浴槽の大きさを半分にしてほしい。お風呂や捕食室を綺麗にしてほしい。捕食室の排水溝がすぐ詰まる。トイレを個別にしてほしい。布団を干せる場所がない。部屋に備え付けの机やクローゼット、ベッドが狭い部屋の面積を占めていてレイアウトの自由度が低い。網戸の立て付けが悪く、開閉できない)〔8〕
- ・管理人(掃除をもっと徹底してほしい。燃えるゴミしか回収所へ運んでくれない等)〔2〕
- ・盗難(冷蔵庫の盗難がなくなればよい)

参 考 资 料
(调 查 票 等)

平成 29 年 11 月 16 日

各キャンパス長
教職大学院長 殿
学校臨床心理専攻長

北海道教育大学理事
佐川 正 人

平成 29 年度学生生活等実態調査の実施について（通知）

このことについて、別紙 1 「平成 29 年度学生生活実態調査等実施要領」
のとおり実施することになりましたので、お知らせします。

ついては、学生からの回答率向上のため、下記のとおり御協力方よろしく
お願いします。

記

1. 調査実施の周知

学生への掲示や教員会議等による教員への周知により、学生へ本調査へ
の回答促進のための周知徹底をしてください。（別紙 2 参照）

2. 調査の実施方法

業者委託による外部アンケートサイトにアクセスし、調査に回答する方
法により実施します。

各校の回答状況は随時学生課より各校室学務グループにお知らせします
ので、適宜回答率向上のための措置を講じてください。

3. アンケートサイトの公開は、11月20日（月）9時からを予定してい ます。

（担当 学生課学生支援グループ）

平成 29 年度学生生活等実態調査実施要領

1. 調査の目的

①学生生活実態調査

本学の学生の生活実態や学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施する。

②大学への要望等調査

本学の学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施する。

③学生寮調査

学生寮に対する評価や要望等を把握し、今後の学生寮の改善等に役立てることを目的に実施する。

2. 調査の時期

平成 29 年 11 月 20 日（月）～平成 30 年 1 月 8 日（月）

3. 調査の対象

①② 本学の学部学生及び大学院学生全員

③ 本学の学生寮入寮者全員

4. 調査項目等

別添のとおり

5. 調査票の配付方法及び回収方法

業者委託のアンケートサイト機能を利用する。

①学生生活実態調査 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/jittaityousa/29tyousa/>

②大学への要望等調査 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/jittaityousa/29yobo/>

③学生寮調査 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/jittaityousa/gakuseiryo/>

学生には大学教育情報システムのお知らせ機能を利用し、URL を周知する。

6. 調査結果の集計及び分析、報告書の作成

業者委託により、平成 30 年 3 月末までに完了。紙媒体の報告書は作成せず、集計結果は本学 HP、hue-IT 及び大学教育情報システムで公開する予定。

平成29年度学生生活等実態調査【学生生活実態調査】 調査票（学部学生用）

この調査は、本学の学部学生全員を対象に、本学の学生の生活実態や学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施するものです。この調査で得られた回答は、調査目的以外に使用することはありません。これらのことを御理解のうえ、調査に御協力ください。

回答していただいた内容は、調査結果として本学ホームページ等で公表することがありますが、回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。なお、各設問について回答できない箇所は空白のままにさせていただいて結構です。（回答を空白のままにしたことにより不利益が生じることはありません。）

回答上の注意

1. 回答は、回答日時点の状況について記入してください。
2. 同一人物の複数回入力の防止や回答の中断・復帰が可能なよう、回答時のパスワードとして学籍番号を使用しますが、上記で述べたとおり回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。
3. 各設問は特に記載があるものを除き、該当する選択肢を一つ選んで回答してください。設問の末尾に〔 〕書きで複数回答を求めている設問（2つ以内、3つ以内、該当するもの全て）については、その指示に従って回答してください。
4. 設問の冒頭に【 〕書きがある場合は、該当する方のみ回答してください。
5. 各設問で「その他」の選択肢を選んだ場合は、回答欄にその内容を具体的に記述してください。

※調査項目等で御不明な点がございましたら、学務部学生課（g-gakusei@j.hokkyodai.ac.jp）までお問い合わせください。

回答期間：平成29年11月20日～平成30年1月8日

北海道教育大学学務部学生課

Q10. あなたは、これまでに授業料免除を受けたことがありますか。(次の選択肢に複数該当する場合は、最も免除額の多いものを一つ選んでください。)	01. 授業料の全額免除を受けたことがある 02. 授業料の半額免除を受けたことがある 03. 授業料の4分の1免除を受けたことがある 04. 授業料免除を申請したことはあるが、免除されなかった 05. 授業料免除を申請したことはない
Q11. あなたは、現在アルバイトをしていますか。	01. している 02. していない(探している) 03. していない(するつもりはない)
【Q11で、「01. している」を選択した人のみ回答してください。】 Q12. アルバイトをしている人は、職種・従事日数等について教えてください。	(ア) 職種は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕 01. 家庭教師 02. 学習塾講師 03. 事務 04. 小売店店員(コンビニ, スーパー等) 05. 飲食店店員(居酒屋, ファーストフード等) 06. 肉体労働(04~05を除く) 07. 本学のワークスタディ等 08. その他() (イ) 1週間に何日ぐらい働きますか。 01. 1日 02. 2日 03. 3日 04. 4日 05. 5日以上 06. 不定期 (ウ) 1週間に何時間ぐらい働きますか。 01. 5時間未満 02. 5時間以上10時間未満 03. 10時間以上15時間未満 04. 15時間以上 (エ) アルバイトによる平均の月収はいくらですか。 01. 1万円未満 02. 1~2万円未満 03. 2~3万円未満 04. 3~5万円未満 05. 5~8万円未満 06. 8~10万円未満 07. 10万円以上 (オ) 収入の主な用途は何ですか。〔主なものを2つ以内で選んでください。〕 01. 授業・修学費 02. 生活費 03. 課外活動費 04. 日常の娯楽・嗜好費 05. 通学費 06. レジャー・旅行費 07. 高額商品の購入 08. その他()

IV 普段の生活について

Q13. あなたの1日の平均睡眠時間は、どのくらいですか。	01. 5時間未満 02. 5~6時間未満 03. 6~7時間未満 04. 7~8時間未満 05. 8時間以上
Q14. あなたは、朝食を摂っていますか。	01. ほぼ毎日食べている 02. 週3~4回食べている 03. 週1~2回食べている 04. 食べない
Q15. あなたは、平均して月に何冊ぐらい本を読みますか。(専門書・教養書等の冊数。雑誌・週刊誌, マンガは除く。)	01. 読まない(0冊) 02. 1冊未満(0冊ではない) 03. 1~2冊 04. 3~5冊 05. 6~10冊 06. 11冊以上

Q16. 本学の図書館をどの程度利用していますか。	01. ほぼ毎日 02. 週3~4回 03. 週1~2回 04. 月2~3回 05. ほとんど利用しない
【Q16で、「01. ほぼ毎日」「02. 週3~4回」を選択した人のみ回答してください。】 Q17. 本学の図書館をよく利用する理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕	01. 専門書により、レポートや論文が深められる 02. 図書館の環境が学習意欲を高める 03. パソコン等でさまざまな情報が得られる 04. 図書により、自分の趣味・関心を満たせる 05. その他（ ）
【Q16で、「03. 週1~2回」「04. 月2~3回」「05. ほとんど利用しない」を選択した人のみ回答してください。】 Q18. 本学の図書館をあまり利用しない理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕	01. 専門書、一般書等が少ない 02. 本学以外の図書館を多く利用する 03. 新刊図書が少なく、古い書籍が多い 04. 開館時間が短く、休業中の閉館日が多い 05. 図書館の環境、雰囲気が好きではない 06. その他（ ）
Q19. あなたは、インターネットをどのようなことに利用していますか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕	01. 勉学・研究 02. メールやLINE等による通信 03. ゲーム 04. ニュース等の情報収集 05. 情報発信（ホームページ、ブログ、Twitter、Facebook、インスタグラム等） 06. オンラインショッピング 07. 音楽や動画の視聴等 08. その他（ ）
【Q19で、「01. 勉学・研究」を選択した人のみ回答してください。】 Q20. あなたが、勉強・研究でインターネットを利用する時間は1日平均どれくらいですか。	01. 1時間未満 02. 1~3時間未満 03. 3~5時間未満 04. 5~7時間未満 05. 7時間以上
Q21. あなたは、1日平均どれくらい携帯電話又はスマートフォンを利用していますか。	01. 持っていない 02. 0~30分未満 03. 30分~1時間未満 04. 1~2時間未満 05. 2~3時間未満 06. 3~4時間未満 07. 4~5時間未満 08. 5時間以上

V 修学について

Q22. あなたのこれまでの成績(通算GPA)について、答えてください。	01. GPA3.5以上 02. GPA3.0以上3.5未満 03. GPA2.5以上3.0未満 04. GPA2.0以上2.5未満 05. GPA1.5以上2.0未満 06. GPA1.0以上1.5未満 07. GPA1.0未満
Q23. あなたは、本学の教育・授業について、満足していますか。	01. とても満足である 02. おおむね満足している 03. あまり満足していない 04. かなり不満である

<p>【Q23で、「03. あまり満足していない」「04. かなり不満である」を選択した人のみ回答してください。】</p> <p>Q24. あなたが、満足できない理由について、教えてください。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕</p>	<p>01. 理解できる授業が少ない 03. 魅力のある授業が少ない 04. 教育現場・就職先での実践性のある授業が少ない 04. 教育現場・就職先での即効性のある授業が少ない 05. 授業・研究内容の専門性が低い 06. 履修科目が多すぎる 07. レポート課題が多く、負担が大きすぎる 08. 指導が厳しすぎる 09. 将来の進路と異なる内容のため、意欲がもてない 10. 教育設備・施設が不十分である 11. 受講したい科目が開講されていない又は受講できない 12. その他 ()</p>
<p>Q25. あなたは、どのような大学の教育・授業を期待していますか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕</p>	<p>01. より高度な専門知識・技能が身につく授業内容の改善 02. 学究的な専門性の高い研究指導や環境の充実 03. 教育現場・就職先での実践性のある授業の改善 04. 教育現場・就職先での即効性のある授業の改善 05. 課題負担を軽くするなどの指導方法の改善 06. 学生の疑問等に対する回答などの個人的な対応の工夫 07. 論文等の作成における具体的な示唆・指導の強化 08. 就職に役立つ取組の充実 09. 教育設備・施設が不十分である 10. 受講科目の選択幅の拡大 11. その他 ()</p>
<p>Q26. 授業内容の理解度や参加意欲を高める授業とするために、あなたはどのような手立てが必要だと考えますか。〔主なものを3つ以内で選択してください。〕</p>	<p>01. 学生による授業評価アンケートの反映 02. 授業者の板書や資料提示の工夫 03. ノートの評価の実施 04. 簡単な予習や復習課題を生かす授業の工夫 05. 学生参加型授業の工夫 06. 具体的事例による理論の明確化 07. 随時学生との対話が可能な授業のシステム化 08. 理解できない部分を直接指導してくれる体制づくり 09. その他 ()</p>
<p>Q27. あなたは、授業時間以外に、予習・復習、課題などに1日平均どのくらいの時間を使っていますか。</p>	<p>01. 全くしていない 02. 30分未満 03. 30分～1時間未満 04. 1時間～2時間未満 05. 2時間～3時間未満 06. 3時間以上</p>
<p>Q28. 履修登録やシラバス閲覧等で使用している大学教育情報システムは使いやすいですか。</p>	<p>01. 非常に使いやすい 02. どちらかといえば使いやすい 03. どちらかといえば使いにくい 04. 非常に使いにくい</p>
<p>【Q28で、「03. どちらかといえば使いにくい」「04. 非常に使いにくい」を選択した人のみ回答してください。】</p> <p>Q29. システムのうち、どの機能が使いにくかったですか。〔該当するものを全て選択してください。〕</p>	<p>01. シラバスの閲覧 02. 履修登録 03. 成績閲覧 04. 緊急連絡のお知らせメール 05. 課題提出 06. 授業評価 07. 電子ポートフォリオ 08. 出欠管理 09. その他 ()</p>

平成29年度学生生活等実態調査【学生生活実態調査】 調査票（大学院生用）

この調査は、本学の大学院生全員を対象に、本学の学生の生活実態や学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施するものです。この調査で得られた回答は、調査目的以外に使用することはありません。これらのことを御理解のうえ、調査に御協力ください。

回答していただいた内容は、調査結果として本学ホームページ等で公表することがありますが、回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。なお、各設問について回答できない箇所は空白のままにさせていただいて結構です。（回答を空白のままにしたことにより不利益が生じることはありません。）

回答上の注意

1. 回答は、回答日時点の状況について記入してください。
2. 同一人物の複数回入力の防止や回答の中断・復帰が可能なよう、回答時のパスワードとして学籍番号を使用しますが、上記で述べたとおり回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。
3. 各設問は特に記載があるものを除き、該当する選択肢を一つ選んで回答してください。設問の末尾に〔 〕書きで複数回答を求めている設問（2つ以内、3つ以内、該当するもの全て）については、その指示に従って回答してください。
4. 設問の冒頭に【 〕書きがある場合は、該当する方のみ回答してください。
5. 各設問で「その他」の選択肢を選んだ場合は、回答欄にその内容を具体的に記述してください。

※調査項目等で御不明な点がございましたら、学務部学生課（g-gakusei@j.hokkyodai.ac.jp）までお問い合わせください。

回答期間：平成29年11月20日～平成30年1月8日

北海道教育大学学務部学生課

V 普段の生活について

Q15. あなたの1日の平均睡眠時間は、どのくらいですか。	01. 5時間未満 03. 6～7時間未満 05. 8時間以上	02. 5～6時間未満 04. 7～8時間未満	
Q16. あなたは、朝食を摂っていますか。	01. ほぼ毎日食べている 02. 週3～4回食べている 03. 週1～2回食べている	04. 食べない	
Q17. あなたは、平均して月に何冊ぐらい本を読みますか。(専門書・教養書等の冊数。雑誌・週刊誌、マンガは除く。)	01. 読まない(0冊) 02. 1冊未満(0冊ではない) 04. 3～5冊	03. 1～2冊 05. 6～10冊 06. 11冊以上	
Q18. 本学の図書館をどの程度利用していますか。	01. ほぼ毎日 04. 月2～3回	02. 週3～4回 05. ほとんど利用しない	03. 週1～2回
【Q18で、「01. ほぼ毎日」「02. 週3～4回」を選択した人のみ回答してください。】 Q19. 本学の図書館をよく利用する理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕	01. 専門書により、レポートや論文が深められる 02. 図書館の環境が学習意欲を高める 03. パソコン等でさまざまな情報が得られる 04. 図書により、自分の趣味・関心を満たせる 05. その他()		
【Q18で、「03. 週1～2回」「04. 月2～3回」「05. ほとんど利用しない」を選択した人のみ回答してください。】 Q20. 本学の図書館をあまり利用しない理由は何ですか。〔該当するものを全て選んでください。〕	01. 専門書、一般書等が少ない 02. 本学以外の図書館を多く利用する 03. 新刊図書が少なく、古い書籍が多い 04. 開館時間が短く、休業中の閉館日が多い 05. 図書館の環境、雰囲気が好きではない 06. その他()		
Q21. あなたは、インターネットをどのようなことに利用していますか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕	01. 勉学・研究 03. ゲーム 05. 情報発信(ホームページ、ブログ、Twitter、Facebook、インスタグラム等) 06. オンラインショッピング 07. 音楽や動画の視聴等 08. その他()	02. メールやLINE等による通信 04. ニュース等の情報収集	
【Q21で、「01. 勉学・研究」を選択した人のみ回答してください。】 Q22. あなたが、勉強・研究でインターネットを利用する時間は1日平均どれくらいですか。	01. 1時間未満 03. 3～5時間未満 05. 7時間以上	02. 1～3時間未満 04. 5～7時間未満	
Q23. あなたは、1日平均どれくらい携帯電話又はスマートフォンを利用していますか。	01. 持っていない 03. 30分～1時間未満 05. 2～3時間未満 07. 4～5時間未満	02. 0～30分未満 04. 1～2時間未満 06. 3～4時間未満 08. 5時間以上	

Ⅷ 学生相談体制について

Q29. あなたは、現在、悩みや不安がありますか。	01. ある 02. ない
【Q29で、「01. ある」を選択した人のみ回答してください。】 Q30. あなたの悩みや不安の主なものは何ですか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕	01. 勉学・研究 02. クラブ・サークル活動 03. 交友関係 04. 健康上の問題 05. 異性問題 06. 家族関係 07. 就職・進路問題 08. 自分の性格や能力関係 09. 経済・金銭問題 10. 性・いじめ関係 11. その他 ()
【Q29で、「01. ある」を選択した人のみ回答してください。】 Q31. 悩みや不安は、どのような方法で解消していますか。〔主なものを3つ以内で選んでください。〕	01. 友人・知人・先輩に相談 02. 教員に相談 03. 家族・親戚に相談 04. 学内の相談室 05. 学外の相談室 06. 保健管理センター 07. 病院 08. スポーツや娯楽 09. 旅行 10. その他 ()
Q32. あなたは、学生なんでも相談室、人権相談員、保健管理センターのカウンセラーなど大学の学生の相談を受ける体制について、十分整っていると思いますか。	01. 思う 02. 思わない
【Q32で、「02. 思わない」を選択した人のみ回答してください。】 Q33. あなたが、相談体制が十分だと思わない主な理由は何ですか。	01. 相談の仕方がよくわからない 02. 開室時間など相談時間が限られる 03. プライバシーが守られるか不安 04. その他 ()

Ⅸ 修了後の進路について

Q34. 修了後の進路をどのように考えていますか。	01. 就職する 02. 進学する（他大学院、海外留学等） 03. 現在の職業を継続する又は復帰する 04. まだ決めていない 05. その他 ()
【Q35で、「01. 就職する」を選択した人のみ回答してください。】 Q32. 一番就職したいと思う職業又は就職する職業は何ですか。	01. 教員 02. 公務員（教員を除く） 03. 民間企業 04. まだ決めていない 04. その他 ()

質問は以上で終わりです。御協力ありがとうございました。

平成29年度学生生活等実態調査【大学への要望等調査】 調査票（学部学生用）

この調査は、本学の学部生を対象に、本学の学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施するものです。この調査で得られた回答は、調査目的以外に使用することはありません。これらのことを御理解のうえ、調査に御協力ください。（この調査は、大学への要望等がある方のみ御回答いただければ結構です。回答しないことにより不利益が生じることはありません。）

回答していただいた内容は、全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。

回答上の注意

1. 回答は、回答日時点の状況について記入してください。
2. 同一人物の複数回入力の防止や回答の中断・復帰が可能なよう、回答時のパスワードとして学籍番号を使用しますが、上記で述べたとおり回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。
3. この調査は、【学生生活実態調査】（学部学生用）のQ1（あなたの修学校）の入力データを使用することにより、この調査での再入力を不要とするため、【学生生活実態調査】の回答後に記入いただくことを前提としておりますので、まだ回答が済んでいない方は、先に【学生生活実態調査】に回答願います。
4. 設問中の項目ごとに該当する要望等がある場合に記入願います（自由記述）。特になければ記入は不要です。

※調査項目等で御不明な点がありましたら、学務部学生課（g-gakusei@j.hokkyodai.ac.jp）までお問い合わせください。

回答期間：平成29年11月20日～平成30年1月8日

北海道教育大学学務部学生課

<p>Q. 大学に要望したいこと，期待すること等がありましたら，自由に記入してください。（特になければ記入不要です。）</p>	<p>(1) 本学の教育・学習に関して</p> <p>(2) 本学の施設・設備等に関して</p> <p>(3) 本学の教職員に関して</p> <p>(4) その他</p> <p>(自由記述)</p> <p>※上記各項目につき最大500字（計2000字）記入できるようにする。</p>
---	---

質問は以上で終わりです。御協力ありがとうございました。

平成29年度学生生活等実態調査【大学への要望等調査】 調査票（大学院生用）

この調査は、本学の大学院生を対象に、本学の学生支援等に対する要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的に実施するものです。この調査で得られた回答は、調査目的以外に使用することはありません。これらのことを御理解のうえ、調査に御協力ください。（この調査は、大学への要望等がある方のみ御回答いただければ結構です。回答しないことにより不利益が生じることはありません。）

回答していただいた内容は、全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。

回答上の注意

1. 回答は、回答日時点の状況について記入してください。
2. 同一人物の複数回入力の防止や回答の中断・復帰が可能なよう、回答時のパスワードとして学籍番号を使用しますが、上記で述べたとおり回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。
3. この調査は、【学生生活実態調査】（大学院生用）のQ1（あなたの所属の課程）及びQ2（あなたの修学校）の入力データを使用することにより、この調査での再入力を不要とするため、【学生生活実態調査】の回答後に記入いただくことを前提としておりますので、まだ回答が済んでいない方は、先に【学生生活実態調査】に回答願います。
4. 設問中の項目ごとに該当する要望等がある場合に記入願います（自由記述）。特になければ記入は不要です。

※調査項目等で御不明な点がありましたら、学務部学生課（g-gakusei@j.hokkyodai.ac.jp）までお問い合わせください。

回答期間：平成29年11月20日～平成30年1月8日

北海道教育大学学務部学生課

<p>Q. 大学に要望したいこと，期待すること等がありましたら，自由に記入してください。（特になければ記入不要です。）</p>	<p>(1) 本学の教育・学習に関して</p> <p>(2) 本学の施設・設備等に関して</p> <p>(3) 本学の教職員に関して</p> <p>(4) その他</p> <p><u>(自由記述)</u> <u>※上記各項目につき最大500字（計2000字）記入できるようにする。</u></p>
---	--

質問は以上で終わりです。御協力ありがとうございました。

平成29年度学生生活等実態調査【学生寮調査】 調査票

この調査は、本学の学生寮入寮者全員を対象に、学生寮に対する評価や要望等を把握し、今後の学生寮の改善等に役立てることを目的に実施するものです。この調査で得られた回答は、調査目的以外に使用することはありません。これらのことを御理解のうえ、調査に御協力ください。

回答していただいた内容は、調査結果として本学ホームページ等で公表することがありますが、回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。なお、各設問について回答できない箇所は空白のままにさせていただいて結構です。（回答を空白のままにしたことにより不利益が生じることはありません。）

回答上の注意

1. 回答は、回答日時点の状況について記入してください。
2. 同一人物の複数回入力の防止や回答の中断・復帰が可能なよう、回答時のパスワードとして学籍番号を使用しますが、上記で述べたとおり回答は全て個人が特定されないような形で集計・処理しますので、個人の回答が特定されて他の人に知られることは絶対にありません。
3. 各設問は特に記載があるものを除き、該当する選択肢を一つ選んで回答してください。設問の末尾に〔 〕書きで複数回答を求めている設問（3つ以内）については、その指示に従って回答してください。
4. 設問の冒頭に【 〕書きがある場合は、該当する方のみ回答してください。
5. 各設問で「その他」の選択肢を選んだ場合は、回答欄にその内容を具体的に記述してください。

※調査項目等で御不明な点がありましたら、学務部学生課（g-gakusei@j.hokkyodai.ac.jp）までお問い合わせください。

回答期間：平成29年11月20日～平成30年1月8日

北海道教育大学学務部学生課

学生生活等実態調査に ご協力ください！！

本学では、学生の生活実態や本学への要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的として、下記のとおり『学生生活等実態調査』を実施しますので、学生の皆様のご協力をお願いします。

- 1 調査対象
 - ①学生生活実態調査
本学に在籍する学部生及び大学院生全員
 - ②大学への要望等調査
本学に在籍する学部生及び大学院生全員
 - ③学生寮調査
本学の学生寮入寮者全員

- 2 調査期間 平成29年11月20日(月)～平成30年1月8日(月)

- 3 回答方法 大学教育情報システム (UNIVERSAL PASSPORT) のお知らせより、専用回答サイトにアクセスの上回答してください。



平成29年11月20日
北海道教育大学

平成29年12月22日

各キャンパス長
教職大学院長 殿
学校臨床心理専攻長

北海道教育大学理事
佐川 正人

平成29年度学生生活等実態調査の調査期間延長について（通知）

平成29年11月16日付け通知により実施中の「平成29年度学生生活等実態調査」についてですが、回答状況がかんばしくないため、下記のとおり調査期間を延長することとしましたので、お知らせします。

ついでには、今後の大学改善に生かすという本調査の実施意義を踏まえ、本調査に対して、学生が積極的に回答するよう、あらゆる手段を講じて、回答率向上のために取り組んでいただくよう御協力方よろしく申し上げます。

記

調査期間

（現行） 平成29年11月20日（月）～平成30年1月8日（月）

↓

（新） 平成29年11月20日（月）～平成30年1月26日（金）

（担当 学生課学生支援グループ）

学生生活等実態調査に ご協力ください！！

本学では、学生の生活実態や本学への要望等を把握し、今後の大学の学生支援等の改善充実に役立てることを目的として、下記のとおり『学生生活等実態調査』を実施しますので、学生の皆様のご協力をお願いします。

- 1 調査対象
 - ①学生生活実態調査
本学に在籍する学部生及び大学院生全員
 - ②大学への要望等調査
本学に在籍する学部生及び大学院生全員
 - ③学生寮調査
本学の学生寮入寮者全員
- 2 調査期間 平成29年11月20日(月)～平成30年1月26日(金)
- 3 回答方法 大学教育情報システム (UNIVERSAL PASSPORT) のお知らせより、専用回答サイトにアクセスの上回答してください。

期間延長!!



平成29年11月20日
北海道教育大学

学生生活等実態調査報告書(平成 29 年度調査)

平成 30 年6月発行

編集発行 北海道教育大学学務部学生課

〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

TEL 011-778-0269